

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2 放水による溢水</p> <p>1.4.2.1 放水による溢水源</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火活動における溢水量については、防護対象設備が設置されているすべての建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）において、消火活動が連続して実施される時間及びスプリンクラーの放水時間を次のとおり見込んで算出した。</p> <p>発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火栓からの放水、スプリンクラーからの放水及び格納容器スプレイ系からの放水があるが、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内のみで生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。なお、格納容器スプレイ系の作動回路は、チャンネルの単一故障を想定してもその機能を失うことがなく、かつ、誤信号発生による誤動作を防止する設計とする。</p> <p>具体的には、原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御室盤上の操作スイッチ2個を同時に操作することによる手動作動とする設計とする。</p>	<p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>女川原子力発電所2号炉には、自動作動するスプリンクラーが設置されていないことから、火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから、溢水源として考慮しない。</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火水の放水による溢水影響評価対象区画を添付資料24に示す。火災が発生した区画（以下「溢水発生区画」という。）に存在する防護対象設備は、保守的に火災に伴う放水の影響により機能喪失しているものと想定した。ただし、火災発生箇所からの離隔距離が十分大きい場合や、同一区画内で火災が発生しても影響がないような対策がとられている場合はその限りではないものとした。</p>	<p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>泊発電所3号炉には、自動作動するスプリンクラーが設置されていないことから、火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから、溢水源として考慮しない。</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火水の放水による溢水影響評価対象区画を添付資料20に示す。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 設計方針の相違</p> <p>・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>泊では消火活動時に防護対象設備へ配慮して放水する運用であること、消火水放水に対しても被水防護対策を実施していることから、消火水の放水により防護対象設備が機能喪失することは想定していない。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 記載箇所の相違</p> <p>泊は前頁6.1項にスプリンクラー及び格納容器スプレイについて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 消火栓からの放水による溢水</p> <p>原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を考慮し、消火活動における溢水量を以下のとおり評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 260L/min×0.5時間=7.8m³ ・ 260L/min×1.0時間=15.6m³ ・ 260L/min×1.5時間=23.4m³ ・ 260L/min×2.0時間=31.2m³ ・ 260L/min×3.0時間=46.8m³ <p>消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮した。</p> <p>流水経路については放水がある当該フロア及び下階等影響の及ぶエリアを考慮した。</p> <p>消火活動による放水量をもとに放水による溢水影響を各防護区画について評価した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した。</p>	<p>消火活動における溢水量については、3時間の放水により想定される溢水量を、消防法施行令に基づく必要水量及び実放水試験の結果を踏まえ屋内は54m³、屋外は141m³とそれぞれ設定した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-6-1より抜粋</p> <p>6.1 溢水量の算定</p> <p>(2) 放水時間</p> <p>消火活動における消火水の放水時間は、評価ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定した。</p> <p>(3) 溢水量</p> <p>溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水量（屋内消火栓）= 15.6 [m³/h] × 放水時間 ・ 溢水量（屋外消火栓）= 42.0 [m³/h] × 放水時間 </div> <p>溢水量算出の考え方について、添付資料25に示す。</p> <p>溢水経路については放水がある当該フロア及び下階など影響の及ぶエリアを考慮した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域毎に、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>消火水の放水による没水影響評価結果を添付資料26に示す。</p>	<p>消火活動における消火水の放水時間は、溢水ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定した。溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水量（屋内消火栓）= 150L/min × 2 箇所 × 放水時間 ・ 溢水量（屋外消火栓）= 390L/min × 2 箇所 × 放水時間 <p>溢水量算出の考え方について、添付資料21に示す。</p> <p>消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮した。</p> <p>溢水経路については放水がある当該フロア及び下階等影響の及ぶエリアを考慮した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>消火水の放水による没水影響評価結果を添付資料22に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。（先行PWR、島根2号炉と同様） <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【島根・大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火水の放水量については、女川の審査実績を反映した。（詳細は添付資料21「消火水の放水における放水量について」に記載している。） <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大飯審査実績の反映 ・ 泊では消火水放水時の溢水伝播について、消火栓からのホース引き回し経路を考慮していることを記載している。（大飯と同様） <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) スプリンクラーからの放水による溢水</p> <p>a. 溢水量の設定</p> <p>溢水量については、火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後からスプリンクラーの放水停止に要する時間(30分)までを放水時間として設定し以下のとおり評価した。</p> $720\text{m}^3/\text{min} \times 30\text{min} = 21,600$ $= 21.6\text{m}^3$ <p>※今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>b. 放水時間の設定</p> <p>(a) 火災発生時の対応に要する時間</p>  <p>図1.4.2.2.1-1 火災発生時の対応に要する時間</p> <p>(b) 時間評価における保守性について</p> <p>時間評価における保守性については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、(1)現場到着時間の設定について、現場到着までの時間が長くなるように、中央制御室からの移動距離が長いE.L.+26.0mエリアを選定し評価を実施した。さらに、(2)スプリンクラーの放水時間について、運転員は現場到着後に火災状況をすぐに確認でき、現場より中央制御室の運転員に予作動弁閉止（閉止時間約1分）を依頼して、放水の停止を行うので溢水量の低減は可能であるが、余裕を見てスプリンクラーの放水停止までの時間を10分と設定した。</p> <p>また、溢水防護区画外のスプリンクラーが動作し、溢水防護区画に消火水が流入する可能性も考慮した。</p> <p>なお、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水が想定されるのは、耐震B、Cクラスの機器の地震随伴火災、及び高エネルギー配管破損による誤動作であるが、以下の設計に</p>	<p>なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準規則第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価した。</p>	<p>なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準規則第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価した。</p>	<p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> ・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>より、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水は想定しない。</p> <p>○地震時に火災源になるおそれがあるB、Cクラス機器（油内包機器及び電気盤）について、火災の発生防止対策を講じる設計としている。具体的には、油内包機器について、基準地震動Ssによる地震力に対して、当該機器が損壊し内包している油が外部へ漏えいしないことを確認し、その結果、損壊する機器に対しては、損壊しないような改良、もしくはガス式消火装置を設置する設計としている。電気盤については、火災の発生に備えて、ハロンガス消火装置、又は盤内にエアロゾル消火装置を設置し、早期に自動消火できる設計としている。</p> <p>○高エネルギー配管破損時の誤動作を防止するため、スプリンクラーヘッドの開放温度は、高エネルギー配管破損時の室内温度の評価値を上回る設計としている。</p> <p>（添付資料1.4.2-1）消火活動に係る時間設定の考え方 （添付資料1.4.2-2）消火活動に係る放水による溢水影響評価 （添付資料1.4.2-3）消火活動に係る放水による溢水経路図（代表）</p>	<p>6.3 消火水の放水による被水影響評価</p> <p>消火水の放水に伴う被水影響は事象として想定し得るが、消火水の放水による溢水の伝播経路は、想定破損による溢水の伝播経路に包含されており、想定破損による被水影響評価に包含される。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【女川】（再掲）</p> <p>5.3 想定破損による被水影響評価</p> <p>（1）想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料20に示す。</p> </div>	<p>6.3 消火水の放水による被水影響評価</p> <p>評価対象区画内の消火水の放水による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>消火水の放水による被水影響評価フローは、図5-2と同じであり、被水源は「流体を内包する機器」から「消火水放水」に読み替える。</p> <p>消火水の放水による被水影響評価結果について、添付資料18に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・大阪は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は消火水放水に伴う被水は想定破損の評価に包絡されるとしているのに対し、泊では、消火水を放水するエリアの防護対象設備に対して被水影響を確認している。</p> <p>・評価は「5.3 想定破損による被水影響評価」の被水源を想定破損配管から消火水放水に置き換えたのみであるので、5.3項の記載を踏襲した。</p>

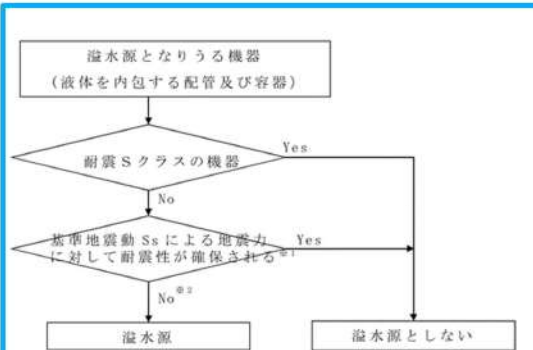
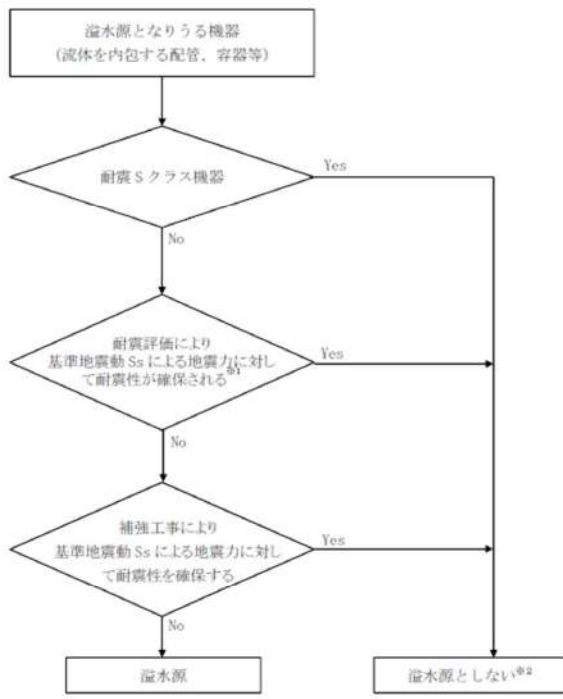
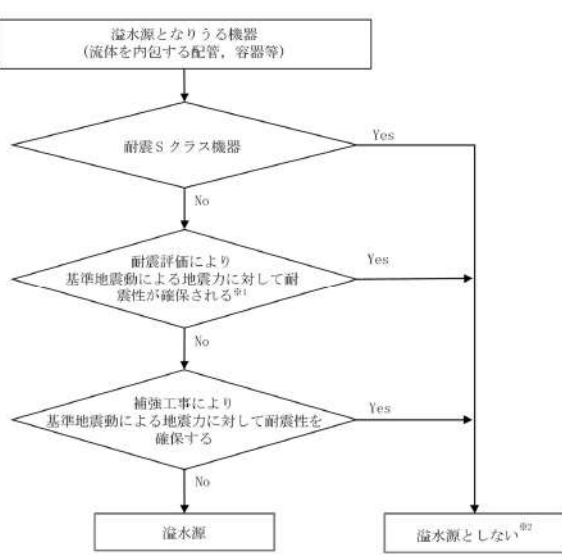
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.3 地震による溢水</p> <p>1.4.3.1 地震による溢水源</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の検討対象とした。</p> <p>1.4.3.2 地震による溢水影響評価</p> <p>1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、耐震Sクラスの機器については、基準地震動Ssによる地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動Ssによる地震力に対して耐震強度評価により耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>一方、溢水源と想定する場合の機器の破損による溢水量は、漏えい検知による停止や配管ルートに基づく流出範囲の限定には期待せず、配管については完全全周破断により系統の全保有水量が流出、容器については容器内保有水の全量が流出するものとした。</p> <p>基準地震動Ssにおける溢水源とする機器の抽出フローを図1.4.3.2.1-1に示す。</p>	<p>7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>7.1 地震起因による溢水源</p> <p>地震に起因する溢水は、地震により破損する機器（配管、容器等）及び使用済燃料プール等のスロッシングを溢水源として考慮した。なお、使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水量については、「8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価」に算出結果を示す。</p> <p>また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>7.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件</p> <p>地震起因による没水影響評価において、基準地震動 Ss による地震力が作用した際のプラント状態を、以下のとおり想定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉は、「地震加速度大」によってスクラムしている ・常用電源の喪失(外部電源喪失) ・耐震 B、C クラス設備の機能喪失 <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動Ssによる地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラス機器のうち、耐震Sクラス機器と同様に基準地震動Ssによる地震力によって耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保が確認されたもの、又は補強工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>地震時に溢水源とする機器の抽出フローを図7-1に示す。</p> <p>地震に起因する溢水源リストを添付資料27に示す。</p>	<p>7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>7.1 地震起因による溢水源</p> <p>地震に起因する溢水は、地震により破損する機器（配管、容器等）及び使用済燃料ビット等のスロッシングを溢水源として考慮した。なお、使用済燃料ビット等のスロッシングによる溢水量については、「8. 使用済燃料ビット等のスロッシング後の機能維持評価」に算出結果を示す。</p> <p>また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>7.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラス機器のうち、耐震Sクラス機器と同様に基準地震動による地震力によって耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保が確認されたもの、又は補強工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>一方、溢水源と想定する場合の機器の破損による溢水量は、漏えい検知による停止や配管ルートに基づく流出範囲の限定には期待せず、配管については完全全周破断により系統の全保有水量が流出、容器については容器内保有水の全量が流出するものとした。</p> <p>地震時に溢水源とする機器の抽出フローを図7-1に示す。</p> <p>地震に起因する溢水源リストを添付資料23に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・大阪審査実績の反映 泊は基準地震動によるプラント状態によらず機器の耐震性から地震に起因する溢水源を判断することを前提条件としている。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・大阪審査実績の反映 ・泊は系統機器の保有水全量を溢水量として考慮していることを記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
 <p>図 1.4.3.2.1-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p> <p>(添付資料 1.4.3-1) 地震時の溢水源(原子炉周辺建屋、制御建屋)</p>	 <p>図7-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p>	 <p>図7-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>																		
<p>これにより、原子炉周辺建屋及び制御建屋に設置されている耐震B、Cクラスの配管及び容器のうち、溢水源として想定する機器について、その溢水量とともに表1.4.3.2.1-1に示す。</p> <table border="1" data-bbox="179 1133 616 1444"> <caption>表 1.4.3.2.1-1 大飯3号炉及び4号炉地震時の溢水源</caption> <thead> <tr> <th>配管及び容器</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂タンク</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>冷却材混床式脱塩塔</td> <td rowspan="3">48.07^{※1}</td> </tr> <tr> <td>冷却材陽イオン脱塩塔</td> </tr> <tr> <td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td> </tr> <tr> <td>冷却材フィルタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系薬品タンク</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48.32</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料 ビットスロッシング</td> <td>41.12^{※2}</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>89.44</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 系統の全保有水量が調べいするものとした。 ※2 「2 使用済燃料ビットの安全確保」に記載</p>	配管及び容器	溢水量 (m ³)	樹脂タンク	0.23	冷却材混床式脱塩塔	48.07 ^{※1}	冷却材陽イオン脱塩塔	冷却材脱塩塔入口フィルタ	冷却材フィルタ		1次系薬品タンク	0.02	合計	48.32	使用済燃料 ビットスロッシング	41.12 ^{※2}	総計	89.44			<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p>
配管及び容器	溢水量 (m ³)																				
樹脂タンク	0.23																				
冷却材混床式脱塩塔	48.07 ^{※1}																				
冷却材陽イオン脱塩塔																					
冷却材脱塩塔入口フィルタ																					
冷却材フィルタ																					
1次系薬品タンク	0.02																				
合計	48.32																				
使用済燃料 ビットスロッシング	41.12 ^{※2}																				
総計	89.44																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
<p>原子炉周辺建屋及び制御建屋の溢水量を表1.4.3.2.1-2のとおり算出した。</p> <table border="1" data-bbox="174 244 622 395"> <caption>表1.4.3.2.1-2 地震時の溢水量</caption> <thead> <tr> <th colspan="3">溢水量(m³)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">原子炉周辺建屋</th> <th rowspan="2">制御建屋</th> </tr> <tr> <th>大飯3号炉</th> <th>大飯4号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.44</td> <td>89.44</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価対象の防護対象設備のある区画内で溢水が発生し、溢水が流出していく「溢水防護区画内漏えい」と評価対象の防護対象設備のある区画外で溢水が発生し、溢水が流入してくる「溢水防護区画外漏えい」を想定した溢水経路を設定した。</p> <p>影響評価に用いる溢水水位の算出は、溢水経路上の溢水防護区画のすべてに対して行い、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した（表1.4.3.2.1-3、表1.4.3.2.1-4）。</p> <p>表1.4.3.2.1-3 大飯3号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="183 1037 604 1455"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L.+ [m]</th> <th>① 溢水水位 (床[m])</th> <th>② 防護対象設備</th> <th>③ 機能喪失高さ (床[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉周辺建屋</td> <td>39.0</td> <td>0.003</td> <td>3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III、IV (3LT-1200,1201)</td> <td>1.09</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17.1</td> <td rowspan="2">0.096</td> <td rowspan="2">0.096</td> <td>3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A,B)</td> <td rowspan="2">0.55</td> <td rowspan="2">①<②</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A,B)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10.0</td> <td rowspan="2">0.154</td> <td rowspan="2">0.096</td> <td>3A,3B 燃料取替用水ポンプ*</td> <td rowspan="2">0.47</td> <td rowspan="2">①<②</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>3C 売てんポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.5</td> <td rowspan="2">0.498</td> <td rowspan="2">0.154</td> <td>3A,3B 使用済燃料ピットポンプ*</td> <td rowspan="2">0.71</td> <td rowspan="2">①<②</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>3A 高圧注入ポンプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>中津川燃料ピットの安全確保</p>	溢水量(m³)			原子炉周辺建屋		制御建屋	大飯3号炉	大飯4号炉	89.44	89.44	0	建屋	E.L.+ [m]	① 溢水水位 (床[m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床[m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	39.0	0.003	3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III、IV (3LT-1200,1201)	1.09	①<②	○	33.6	-	-	-	防護対象無し	○	26.0	-	-	-	防護対象無し	○	17.1	0.096	0.096	3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A,B)	0.55	①<②	○	3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A,B)	10.0	0.154	0.096	3A,3B 燃料取替用水ポンプ*	0.47	①<②	○	3C 売てんポンプ	3.5	0.498	0.154	3A,3B 使用済燃料ピットポンプ*	0.71	①<②	○	3A 高圧注入ポンプ	<p>7.2.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価した。また、地震による設備の破損が複数個所で同時に発生する可能性を考慮し、隔離による漏えい停止には期待できないものとして、建屋内の各区画において設備が破損した場合の溢水量を算定し、溢水が発生した区画からの伝播（上階から下階への伝播）を考慮し、溢水経路を設定し、溢水経路上の評価対象区画のすべてに対して影響評価に用いる溢水水位の算出を行った。</p> <p>以上を踏まえ、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>地震起因による没水影響評価結果を添付資料28に示す。また、耐震B、Cクラス機器の耐震評価について、添付資料29に示す。</p>	<p>7.2.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価した。また、地震による設備の破損が複数個所で同時に発生する可能性を考慮し、隔離による漏えい停止には期待できないものとして、建屋内の各区画において設備が破損した場合の溢水量を算定し、溢水が発生した区画からの伝播（上階から下階への伝播）を考慮し、溢水経路を設定し、溢水経路上の評価対象区画のすべてに対して影響評価に用いる溢水水位の算出を行った。</p> <p>以上を踏まえ、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>地震起因による没水影響評価結果を添付資料24に示す。また、耐震B、Cクラス機器の耐震評価について、添付資料25に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料24「地震起因による没水影響評価結果」に記載している。</p>
溢水量(m³)																																																																
原子炉周辺建屋		制御建屋																																																														
大飯3号炉	大飯4号炉																																																															
89.44	89.44	0																																																														
建屋	E.L.+ [m]	① 溢水水位 (床[m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床[m])	影響評価	判定																																																										
原子炉周辺建屋	39.0	0.003	3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III、IV (3LT-1200,1201)	1.09	①<②	○																																																										
	33.6	-	-	-	防護対象無し	○																																																										
	26.0	-	-	-	防護対象無し	○																																																										
	17.1	0.096	0.096	3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A,B)	0.55	①<②	○																																																									
				3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A,B)																																																												
	10.0	0.154	0.096	3A,3B 燃料取替用水ポンプ*	0.47	①<②	○																																																									
				3C 売てんポンプ																																																												
	3.5	0.498	0.154	3A,3B 使用済燃料ピットポンプ*	0.71	①<②	○																																																									
				3A 高圧注入ポンプ																																																												

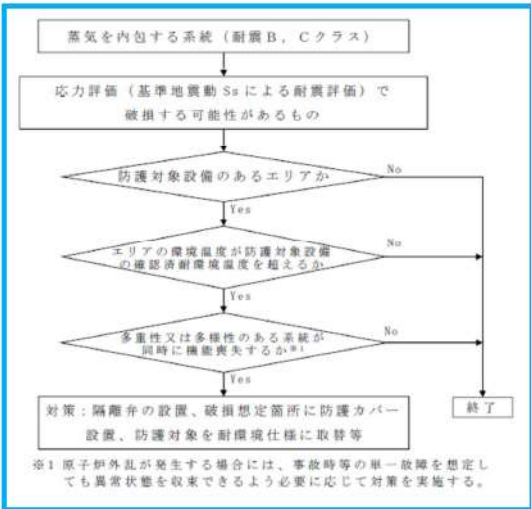
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p>表1.4.3.2.1-4 大飯4号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>屋</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>① 溢水水位 (床+ [m])</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能 喪失高さ (床+ [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉 周辺 建屋</td> <td>39.0</td> <td>0.004</td> <td>4号炉補機冷却水 サージタンク水位 Ⅲ、Ⅳ (4LT-1200, 1201)</td> <td>0.99</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対 象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対 象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>17.1</td> <td>0.095</td> <td>4A, 4B よう薬除去薬 品注入ライン第2止 め弁 (4V-CP-056A, B)</td> <td>0.52</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.095</td> <td>4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ#1</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>10.0</td> <td>0.170</td> <td>4C 光てんポンプ</td> <td>0.29</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ#1</td> <td>0.72</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>3.5</td> <td>0.516</td> <td>4A 高圧注入ポンプ (対策前)</td> <td>0.50</td> <td>①>②</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4A 高圧注入ポンプ (対策後)</td> <td>0.80^{#2}</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1 使用済燃料ピットの安全確保 #2 4A 高圧注入ポンプに対し、0.800m の堰の対策を実施する。</p>	屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床+ [m])	防護対象設備	②機能 喪失高さ (床+ [m])	影響 評価	判定	原子炉 周辺 建屋	39.0	0.004	4号炉補機冷却水 サージタンク水位 Ⅲ、Ⅳ (4LT-1200, 1201)	0.99	①<②	○	33.6	-	-	-	防護対 象無し	○	26.0	-	-	-	防護対 象無し	○		17.1	0.095	4A, 4B よう薬除去薬 品注入ライン第2止 め弁 (4V-CP-056A, B)	0.52	①<②	○		0.095	4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ#1	0.47	①<②	○		10.0	0.170	4C 光てんポンプ	0.29	①<②	○			4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ#1	0.72	①<②	○		3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策前)	0.50	①>②	×			4A 高圧注入ポンプ (対策後)	0.80 ^{#2}	①<②	○	<p>7. 3 地震起因による被水影響評価</p> <p>地震起因による被水影響評価については、以下の理由により評価不要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護対象設備が設置されている区画・エリアにおいて、地震時溢水源となるものは、①使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水、②原子炉補機冷却水系防食剤添加タンク(A)、(B)、③高圧炉心スプレイ補機冷却水系防食剤添加タンクである。 ・地震時溢水源の内、①については、区画番号:R-3F-1における想定破損による被水影響評価結果に含まれる。 ・地震時溢水源②、③については、通常時系統とは隔離されており静水頭であること、また、タンク容量がそれぞれ200L, 5Lと小さく、想定破損による被水評価に含まれる。 	<p>7. 3 地震起因による被水影響評価</p> <p>評価対象区画内の地震起因による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>地震起因による被水影響評価フローは図5-2と同じである。地震起因による被水影響評価結果について、添付資料18に示す。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は地震起因による被水は想定破損の評価に包絡されるとしているのに対し、泊では、耐震B,Cクラス機器が設置されるリアの防護対象設備に対して被水影響を確認している。 ・評価は「5.3 想定破損による被水影響評価」の被水源を想定破損配管から地震起因による溢水源に置き換えたのみであるので、5.3項の記載を踏襲した。
屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床+ [m])	防護対象設備	②機能 喪失高さ (床+ [m])	影響 評価	判定																																																														
原子炉 周辺 建屋	39.0	0.004	4号炉補機冷却水 サージタンク水位 Ⅲ、Ⅳ (4LT-1200, 1201)	0.99	①<②	○																																																														
	33.6	-	-	-	防護対 象無し	○																																																														
	26.0	-	-	-	防護対 象無し	○																																																														
	17.1	0.095	4A, 4B よう薬除去薬 品注入ライン第2止 め弁 (4V-CP-056A, B)	0.52	①<②	○																																																														
		0.095	4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ#1	0.47	①<②	○																																																														
	10.0	0.170	4C 光てんポンプ	0.29	①<②	○																																																														
			4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ#1	0.72	①<②	○																																																														
	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策前)	0.50	①>②	×																																																														
			4A 高圧注入ポンプ (対策後)	0.80 ^{#2}	①<②	○																																																														
<p>1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>被水については溢水源から溢水量を特定せずに評価するため、地震による被水影響評価は想定破損による被水影響評価と同じである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【女川】〈再掲〉</p> <p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>(1) 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料20に示す。</p> </div>																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統については、溢水ガイドに基づく評価フロー(図1.4.3.2.3-1)にしたがい、蒸気影響評価を実施する。</p> <p>蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統は、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する。(表1.4.3.2.3-1)。</p>  <p>図 1.4.3.2.3-1 蒸気影響評価フロー</p> <p>表1.4.3.2.3-1 地震による蒸気影響評価対象系統</p>	<p>7. 4 地震起因による蒸気影響評価</p> <p>高エネルギー流体を内包する機器のうち、基準地震動Ssによって破損が生じる可能性のある機器について破損を想定し、その発生蒸気による影響を評価する。</p> <p>ただし、本評価は、複数系統・複数箇所の同時破損を考慮する点が「5.4 想定破損による蒸気影響評価」と異なるのみで、蒸気の発生区域や影響範囲は想定破損時の評価と同様である。したがって、地震時の蒸気影響評価は想定破損による蒸気影響評価に含まれる。</p> <p>なお、蒸気流出の可能性のある耐震B、Cクラス機器のうち、蒸気を内包する系統(加熱蒸気系)については、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保を確認する、若しくは補強工事を実施することにより耐震性を確保するため破損が発生せず、蒸気影響はない。</p>	<p>7. 4 地震起因による蒸気影響評価</p> <p>高エネルギー流体を内包する機器のうち、基準地震動によって破損が生じる可能性のある機器について破損を想定し、その発生蒸気による影響を評価する。</p> <p>ただし、蒸気流出の可能性のある耐震B、Cクラス機器のうち、蒸気を内包する系統については、基準地震動による地震力に対して耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保を確認する、若しくは補強工事を実施することにより耐震性を確保するため破損が発生せず、蒸気影響はない。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は地震起因により蒸気流出する可能性がある耐震B、Cクラス機器については、すべて基準地震動に対する耐震性を確認しており、蒸気影響がないことを確認している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
<table border="1" data-bbox="208 188 580 671"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>漏水評価における対象範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">化学体積調整系</td> <td>貯水注入配管</td> <td>蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。</td> </tr> <tr> <td>充てん配管</td> <td>蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主蒸気系</td> <td>排汽配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気過熱しきり</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁バイパス配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレン配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>タービン動補給水ポンプ駆動用蒸気配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主給水管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系</td> <td>主給水バイパス配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル部）</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助給水系</td> <td>補助給水配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>—*</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="219 619 580 671">* 蒸気影響評価フローにしたがい、応力評価（基準地震動 Se1 による耐震評価）で破損する可能性がないことを確認するため、蒸気影響評価対象外とする。</p>	系統名	漏水評価における対象範囲	備考	化学体積調整系	貯水注入配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。	充てん配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。	主蒸気系	排汽配管	—*	主蒸気管	—*	主蒸気過熱しきり	—*	主蒸気隔離弁バイパス配管	—*	主蒸気ドレン配管	—*	主給水系	タービン動補給水ポンプ駆動用蒸気配管	—*	主給水管	—*	蒸気発生器ブローダウン系	主給水バイパス配管	—*	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル部）	—*	補助給水系	補助給水配管	—*	補助蒸気供給配管	—*			<p data-bbox="1879 180 1933 201">【大飯】</p> <p data-bbox="1879 215 1995 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1879 250 2130 339">女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p> <p data-bbox="1879 727 1933 748">【大飯】</p> <p data-bbox="1879 762 1995 783">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="1879 798 2130 1158" style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊の海水ポンプ室は循環水ポンプ建屋内に設置されていることから、防護対象設備が設置される建屋における設計方針に包絡されている。 ・泊の海水ポンプ室の設水影響評価の詳細については、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について」に記載している。
系統名	漏水評価における対象範囲	備考																																			
化学体積調整系	貯水注入配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。																																			
	充てん配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。																																			
主蒸気系	排汽配管	—*																																			
	主蒸気管	—*																																			
	主蒸気過熱しきり	—*																																			
	主蒸気隔離弁バイパス配管	—*																																			
	主蒸気ドレン配管	—*																																			
主給水系	タービン動補給水ポンプ駆動用蒸気配管	—*																																			
	主給水管	—*																																			
蒸気発生器ブローダウン系	主給水バイパス配管	—*																																			
	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル部）	—*																																			
補助給水系	補助給水配管	—*																																			
	補助蒸気供給配管	—*																																			
<p data-bbox="105 722 430 746">4 海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p data-bbox="147 759 687 884">海水ポンプエリアの防護対象設備は海水ポンプである。海水ポンプエリアの溢水影響評価については、地震時の溢水及び放水による溢水においては、排水ルートが機能しないと仮定して評価する。</p> <p data-bbox="147 895 687 1021">溢水影響評価として、海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び地震時のCクラス配管からの溢水を想定し、防護対象設備の機能喪失高さまで到達しないことを確認する。</p> <p data-bbox="125 1066 492 1090">4.1 海水ポンプエリアの溢水源と溢水量</p> <p data-bbox="147 1101 665 1158">海水ポンプエリアの流体を内包する耐震Cクラス（Bクラスはない）の溢水源と溢水量を表4.1-1に記載する。</p> <table border="1" data-bbox="165 1193 629 1334"> <caption>表 4.1-1 海水ポンプエリアの溢水源と溢水量</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡水系</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置系</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>173</td> </tr> </tbody> </table>		溢水量 (m ³)	淡水系	169	海水電解装置系	4	合計	173																													
	溢水量 (m ³)																																				
淡水系	169																																				
海水電解装置系	4																																				
合計	173																																				

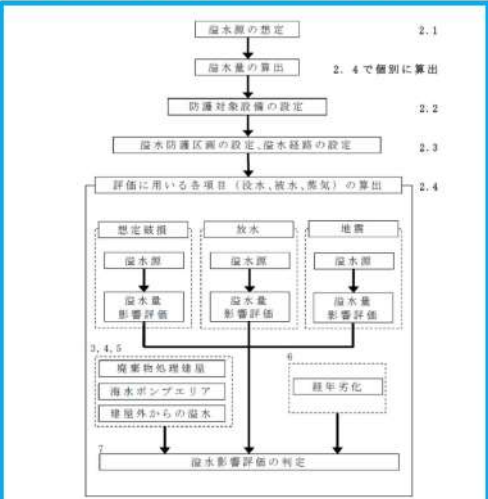
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>4.2 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価</p> <p>4.2.1 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価のうち 没水影響評価</p> <p>海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。配管破損形状は、貫通クラックとして1系統における単一の破損を想定し、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定して溢水流量を算出した。</p> <p>算出した溢水流量（20m³/h）と海水ポンプエリアの床面に設置されている海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量（115m³/h）を比較した結果、海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量の方が大きいことから、海水ポンプの機能喪失高さ（E.L. +4.65m）まで水位が上昇しないことを確認した。</p> <p>4.3 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価</p> <p>4.3.1 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <p>・700ℓ/min×3時間=126m³</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量を173m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p> <p>4.4 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価</p> <p>4.4.1 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>全機器の破損を想定した溢水量(173m³)が流出したと仮定し、溢水水位を算出した。</p> <p>海水ポンプエリアの床面積：240m²</p> <p>以上より、海水ポンプエリアの溢水水位を以下とおり評価した。</p> <p>海水ポンプエリアの溢水水位：約0.73m(=173m³/240m²)</p> <p>さらに、表4.4.1-1のとおり機能喪失高さに至らないことを確認した。</p> <p>表 4.4.1-1 海水ポンプエリアの没水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="174 1329 645 1401"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水水位</th> <th>機能喪失高さ</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水ポンプ</td> <td>E.L. + 3.23m[※]</td> <td>E.L. + 4.65m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※海水ポンプエリアの床面：E.L. + 2.50m</p>		溢水水位	機能喪失高さ	判定	海水ポンプ	E.L. + 3.23m [※]	E.L. + 4.65m	○			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊の海水ポンプ室は循環水ポンプ建屋内に設置されていることから、防護対象設備が設置される建屋における設計方針に包絡されている。 ・泊の海水ポンプ室の没水影響評価の詳細については、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について」に記載している。
	溢水水位	機能喪失高さ	判定								
海水ポンプ	E.L. + 3.23m [※]	E.L. + 4.65m	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、3、4号炉海水ポンプ室前面の入力津波高さT.P.+6.3mに対し、海水ポンプエリア床面はT.P.+2.5mであるが、床面貫通部には海水ポンプエリア浸水防止蓋を設置しているため、津波による流入はない。</p> <p>（添付資料4）海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>2 使用済燃料ピットの安全確保</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統の防護対象設備については、原子炉施設の溢水影響評価において、想定する機器の破損により生じる溢水、消火水系からの放水による溢水及び地震時の機器の破損による溢水に対して機能喪失しないことを確認する。</p> <p>なお、使用済燃料ピットの検討においては、防護対象設備が使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統に限られているものの、「原子炉施設の安全確保」であげた溢水源、溢水量、溢水経路等に影響を受ける可能性があるため、検討は「原子炉施設の安全確保」を含んだ全範囲について行う。</p> <p>ただし、検討内容及び結果が「原子炉施設の安全確保」と同じになる箇所は、内容が同様である旨を記載する。</p>  <p>図 2-1 溢水影響評価の全体（使用済燃料ピットの安全確保）</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.1 溢水源の想定</p> <p>「1.1 溢水源の想定」と同じである。溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 （添付資料1.1） 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>2.2 防護対象設備の設定</p> <p>「1.2 防護対象設備の設定」と同じである。使用済燃料ピットを保安規定で定められた水温（65℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>（添付資料1.2-1） 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 （添付資料1.2-2） 防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離されている区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準第12条で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（弁は配管図、機器は機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。また、溢水防護区画については設計図書（障壁、堰又はその組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については図面等で図示されていることを確認した。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 溢水防護区画内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p> <p>b. 床面開口部及び床面貫通部</p> <p>溢水防護区画床面に床面開口部又は床面貫通部が設置されている場合であっても床面開口部又は床面貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮する。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>溢水防護区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備</p> <p>溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>溢水防護区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮する。ただし、溢水防護区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮する。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部</p> <p>溢水防護区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとする。ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策を施している場合は、溢水防護区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、</p>			<p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大阪は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。</p> <p>d. 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮する。 ただし、水密扉については、水圧による水密性を確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しており、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰 溢水が発生している区画に堰が設置され、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとする。</p> <p>f. 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。 (添付資料1.3-1) 溢水防護区画の設定 (添付資料1.3-2) 溢水経路と溢水経路概念図 (添付資料1.3-3) 溢水影響評価で止水を期待できる設備</p> <p>2.4 評価に用いる各項目の溢水評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 「1.4.1.1 想定破損による溢水源」と同じである。 (添付資料1.4.1-1) 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 想定破損による没水評価フローを含め、「1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響のうち没水影響評価」と同じである。</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 2.4.1.2.1-1 想定破損による没水評価フロー</p> <p>※1 ターミナルエンドは完全全周破断 ※2 原子が外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を取戻できるよう必要に応じて対策を実施する。</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ビットの安全確保」に分けて記載している。</p>
<p>(1) 高エネルギー配管の没水影響評価</p> <p>溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、フロアごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。</p> <p>系統隔離により溢水量を制限しているものについては、検知及び隔離手段に応じた隔離時間を設定し溢水量を算出したところ、溢水源に基づいて評価した溢水防護区画における最高水位が、防護対象設備の機能喪失高さを超えないことを確認した。評価結果を表2.4.1.2.1-1、表2.4.1.2.1-2に示す。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあつては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																								
<p>表2.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (E.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L. [m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">冷却水配管</td> <td rowspan="4">対水注入配管 管端で漏れに り、初期及び特定 に10分、1分で漏 洩。</td> <td rowspan="4">17分</td> <td rowspan="4">17.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.024</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3B. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.038</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3C. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.048</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3D. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.077</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">冷却水配管 高エネルギー ポンプ（ローラ ムフューラ） に漏れ及び特定 に10分、1分で漏 洩。</td> <td rowspan="4">17分</td> <td rowspan="4">17.1</td> <td rowspan="4">17.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.048</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3B. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.077</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3C. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.024</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3D. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.038</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">送出配管 内生流路 入口（保安部 ） 内生流路 出口（保安部 ）</td> <td rowspan="2">19分</td> <td rowspan="2">19.1</td> <td rowspan="2">19.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3B. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.037</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：高エネルギー配管の漏洩発生を想定した場合、E.L. + [m] の高さまで没水し、機器が浸水しない。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定	冷却水配管	対水注入配管 管端で漏れに り、初期及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.024	6.47	①②	A	3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.038	6.71	①②	A	3C. 燃料油循環用ポンプ	6.048	6.47	①②	A	3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.077	6.71	①②	A	冷却水配管 高エネルギー ポンプ（ローラ ムフューラ） に漏れ及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.048	6.47	①②	A	3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.077	6.71	①②	A	3C. 燃料油循環用ポンプ	6.024	6.47	①②	A	3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.038	6.71	①②	A	送出配管 内生流路 入口（保安部 ） 内生流路 出口（保安部 ）	19分	19.1	19.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A	3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.037	6.71	①②	A
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定																																																																						
冷却水配管	対水注入配管 管端で漏れに り、初期及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.024	6.47	①②	A																																																																						
				3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.038	6.71	①②	A																																																																						
				3C. 燃料油循環用ポンプ	6.048	6.47	①②	A																																																																						
				3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.077	6.71	①②	A																																																																						
冷却水配管 高エネルギー ポンプ（ローラ ムフューラ） に漏れ及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.048	6.47	①②	A																																																																						
				3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.077	6.71	①②	A																																																																						
				3C. 燃料油循環用ポンプ	6.024	6.47	①②	A																																																																						
				3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.038	6.71	①②	A																																																																						
送出配管 内生流路 入口（保安部 ） 内生流路 出口（保安部 ）	19分	19.1	19.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A																																																																						
				3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.037	6.71	①②	A																																																																						
<p>表2.4.1.2.1-2 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (E.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L. [m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助冷却水配管</td> <td>高圧センサー検知に5分、初期及び特定に5分、1分で漏洩。</td> <td>5分</td> <td>17.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.064</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：高エネルギー配管の漏洩発生を想定した場合、E.L. + [m] の高さまで没水し、機器が浸水しない。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定	補助冷却水配管	高圧センサー検知に5分、初期及び特定に5分、1分で漏洩。	5分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.064	6.47	①②	A																																																					
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定																																																																						
補助冷却水配管	高圧センサー検知に5分、初期及び特定に5分、1分で漏洩。	5分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.064	6.47	①②	A																																																																						
<p>表2.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (E.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L. [m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">冷却水配管</td> <td rowspan="4">対水注入配管 管端で漏れに り、初期及び特定 に10分、1分で漏 洩。</td> <td rowspan="4">17分</td> <td rowspan="4">17.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3B. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.042</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3C. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.049</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3D. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.067</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">冷却水配管 高エネルギー ポンプ（ローラ ムフューラ） に漏れ及び特定 に10分、1分で漏 洩。</td> <td rowspan="4">17分</td> <td rowspan="4">17.1</td> <td rowspan="4">17.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.049</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3B. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.067</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3C. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3D. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.040</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">送出配管 内生流路 入口（保安部 ） 内生流路 出口（保安部 ）</td> <td rowspan="2">19分</td> <td rowspan="2">19.1</td> <td rowspan="2">19.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3B. 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>6.040</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：高エネルギー配管の漏洩発生を想定した場合、E.L. + [m] の高さまで没水し、機器が浸水しない。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定	冷却水配管	対水注入配管 管端で漏れに り、初期及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A	3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.042	6.72	①②	A	3C. 燃料油循環用ポンプ	6.049	6.47	①②	A	3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.067	6.72	①②	A	冷却水配管 高エネルギー ポンプ（ローラ ムフューラ） に漏れ及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.049	6.47	①②	A	3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.067	6.72	①②	A	3C. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A	3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.040	6.72	①②	A	送出配管 内生流路 入口（保安部 ） 内生流路 出口（保安部 ）	19分	19.1	19.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A	3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.040	6.72	①②	A
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定																																																																						
冷却水配管	対水注入配管 管端で漏れに り、初期及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A																																																																						
				3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.042	6.72	①②	A																																																																						
				3C. 燃料油循環用ポンプ	6.049	6.47	①②	A																																																																						
				3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.067	6.72	①②	A																																																																						
冷却水配管 高エネルギー ポンプ（ローラ ムフューラ） に漏れ及び特定 に10分、1分で漏 洩。	17分	17.1	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.049	6.47	①②	A																																																																						
				3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.067	6.72	①②	A																																																																						
				3C. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A																																																																						
				3D. 使用済燃料ピットポンプ	6.040	6.72	①②	A																																																																						
送出配管 内生流路 入口（保安部 ） 内生流路 出口（保安部 ）	19分	19.1	19.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.023	6.47	①②	A																																																																						
				3B. 使用済燃料ピットポンプ	6.040	6.72	①②	A																																																																						
<p>表2.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (E.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L. [m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助冷却水配管</td> <td>高圧センサー検知に5分、初期及び特定に5分、1分で漏洩。</td> <td>5分</td> <td>17.1</td> <td>3A. 燃料油循環用ポンプ</td> <td>6.064</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：高エネルギー配管の漏洩発生を想定した場合、E.L. + [m] の高さまで没水し、機器が浸水しない。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定	補助冷却水配管	高圧センサー検知に5分、初期及び特定に5分、1分で漏洩。	5分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.064	6.47	①②	A																																																					
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (E.L. [m])	②機器喪失高さ (E.L. [m])	影響評価	判定																																																																						
補助冷却水配管	高圧センサー検知に5分、初期及び特定に5分、1分で漏洩。	5分	17.1	3A. 燃料油循環用ポンプ	6.064	6.47	①②	A																																																																						

【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映
 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

(2) 低エネルギー配管の没水影響評価
 低エネルギー配管は、対象配管の最大支持間隔における発生応力が、評価基準値以内にあり、破損の想定を要する低エネルギー配管系統はなく、没水は発生しないことを確認した。
 (添付資料1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価))

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

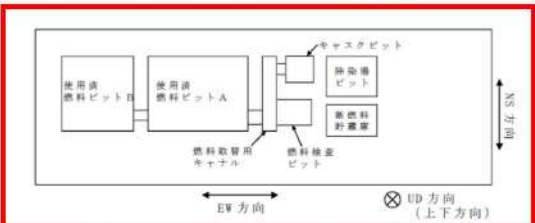
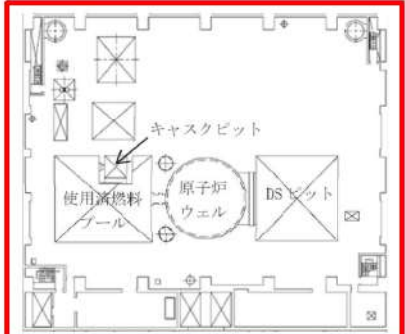
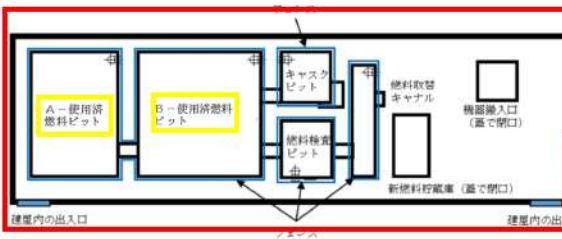
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 「1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価」と同じである。 （添付資料1.4.1-3） 想定破損による溢水影響評価（被水影響評価）</p> <p>2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 「1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価」と同じである。 （添付資料1.4.1-4） 想定破損による溢水影響評価（蒸気影響評価）</p> <p>2.4.2 放水による溢水 2.4.2.1 放水による溢水源 「1.4.2.1 放水による溢水源」と同じである。</p> <p>2.4.2.2 放水による溢水影響評価 2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 「1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価」と同じである。 （添付資料1.4.2-1） 消火活動に係る時間設定の考え方 （添付資料1.4.2-2） 消火活動に係る放水による溢水影響評価 （添付資料1.4.2-3） 消火活動に係る放水による溢水経路図（代表）</p> <p>2.4.3 地震による溢水 2.4.3.1 地震による溢水源 「1.4.3.1 地震による溢水源」と同じである。 （添付資料1.4.3-1） 地震時の溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>2.4.3.2 地震による溢水影響評価 2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 評価対象の防護対象設備のある区画内で溢水が発生し、溢水が流出していく「溢水防護区画内漏えい」と評価対象の防護対象設備のある区画外で溢水が発生し、溢水が流入してくる「溢水防護区画外漏えい」を想定した溢水経路を設定した。 影響評価に用いる溢水水位の算出は、溢水経路上の溢水防護区画に対して行い、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ビットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>喪失に至らないことを確認した（表2.4.3.2.1-1、表2.4.3.2.1-2）。</p> <div data-bbox="201 236 613 746" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表 2.4.3.2.1-1 大飯3号炉 地震による溢水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + ① 溢水水位 (床+ [m])</th> <th>② 防護対象設備</th> <th>③ 機能喪失高さ (床+ [m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>3A, 3B 燃料取替用水ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>①<③</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10.0</td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.71</td> <td>①<③</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.4.3.2.1-2 大飯4号炉 地震による溢水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + ① 溢水水位 (床+ [m])</th> <th>② 防護対象設備</th> <th>③ 機能喪失高さ (床+ [m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>4A, 4B 燃料取替用水ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>①<③</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10.0</td> <td>4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.72</td> <td>①<③</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>（添付資料1.4.3-2）耐震B、Cクラス機器の耐震強度評価方法及び評価結果 （添付資料1.4.3-3）地震に起因する溢水影響評価結果及び溢水経路図</p> <p>2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 被水については溢水源から溢水量を特定せずに評価するため、地震による被水影響の検討は想定破損による被水影響評価と同じである。</p> <p>2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 「1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価」と同じである。</p> </div>	建屋	E.L. + ① 溢水水位 (床+ [m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床+ [m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	17.1	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<③	○		10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.71	①<③	○	建屋	E.L. + ① 溢水水位 (床+ [m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床+ [m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	17.1	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<③	○		10.0	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ	0.72	①<③	○			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>
建屋	E.L. + ① 溢水水位 (床+ [m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床+ [m])	影響評価	判定																																		
原子炉周辺建屋	17.1	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<③	○																																		
	10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.71	①<③	○																																		
建屋	E.L. + ① 溢水水位 (床+ [m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床+ [m])	影響評価	判定																																		
原子炉周辺建屋	17.1	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<③	○																																		
	10.0	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ	0.72	①<③	○																																		

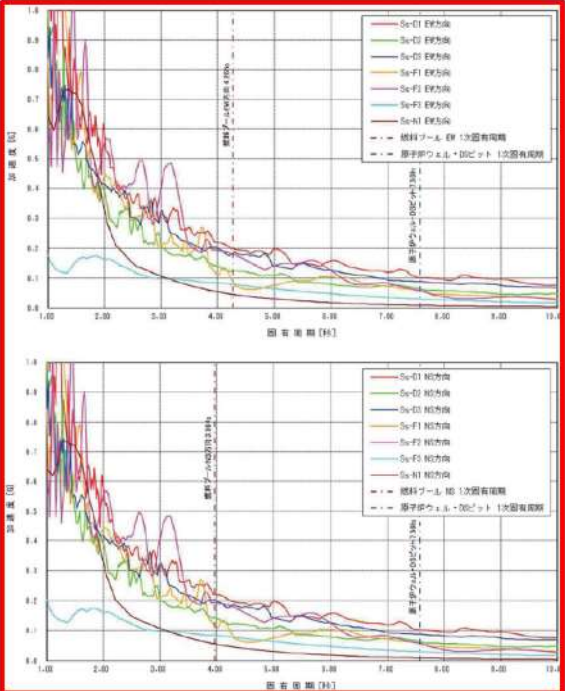
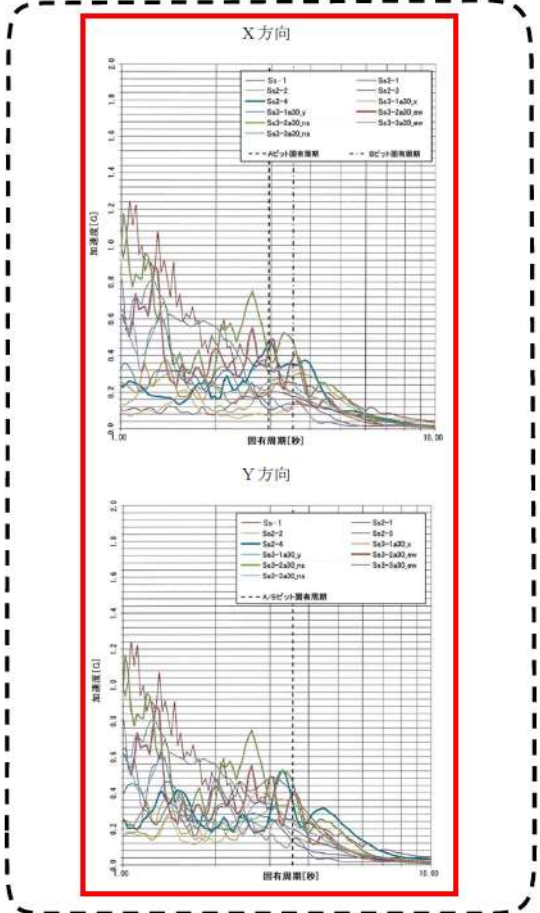
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価</p> <p>基準地震動Ssによって発生する使用済燃料ピットからのスロッシングによる溢水量と機器の破損による溢水量を合計したものに對し、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統の防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認する。また、溢水後の水位に對し、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃以下）及び遮蔽機能に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体をモデル化範囲とし、スロッシングによる溢水量を評価するために、使用済燃料ピットだけでなく、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態で、初期水位を使用済燃料ピット水位高警報設定値（H.W.L.）とした3次元流動解析により溢水量を算出し、さらにそれら溢水量が使用済燃料ピットのみから流出したものととして保守的な評価を行う。</p> <p>使用済燃料ピット周辺の概要を図2.4.4-1に示す。</p>  <p>図2.4.4-1 使用済燃料ピット周辺の概要図</p>	<p>8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>使用済燃料プールの冷却及び給水系統の防護対象設備については、これまでの溢水影響評価において、機能喪失しないことを確認している。</p> <p>ここでは、基準地震動Ssにおけるスロッシングによる使用済燃料プール等からの溢水量がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位を求め、プール冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）機能及び使用済燃料の遮蔽機能維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>なお、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>8.1 解析評価</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール、原子炉ウエル及び蒸気乾燥器気水分離器ピット（以下「DSピット」という。）のスロッシングによる溢水量を推定するため、3次元流動解析を実施した。</p> <p>使用済燃料プール、原子炉ウエル及びDSピットが設置される原子炉建屋3階の機器配置図を図8-1、使用済燃料プールの概要図を図8-2に示す。</p>  <p>図8-1 原子炉建屋3階の機器配置図</p>	<p>8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>使用済燃料ピットの冷却及び給水系の防護対象設備については、これまでの溢水影響評価において、機能喪失しないことを確認している。</p> <p>ここでは、基準地震動におけるスロッシングによる使用済燃料ピット等からの溢水量がピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位を求め、ピット冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）機能及び使用済燃料の遮蔽機能維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>なお、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>8.1 解析評価</p> <p>基準地震動に対する使用済燃料ピット、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピット（以下「使用済燃料ピット等」という）のスロッシングによる溢水量を推定するため、3次元流動解析を実施した。</p> <p>使用済燃料ピット等が設置される原子炉建屋（T.P.33.1m）の使用済燃料ピット周辺の機器配置図を図8-1、使用済燃料ピットの概要図を図8-2に示す。</p>  <p>図8-1 使用済燃料ピット周辺の機器配置図</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は「表8-1 解析条件」に解析方法を記載しているが、モデル化範囲、水張状態、初期水位の設定方法は泊と同様である。</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【大飯・女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p>

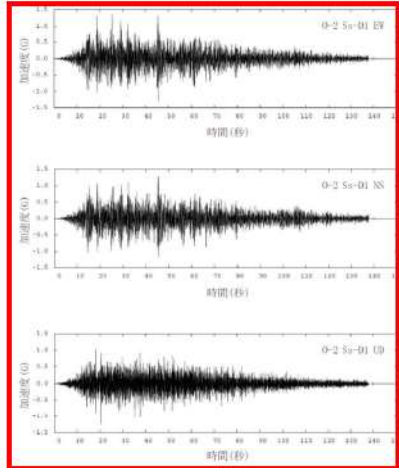
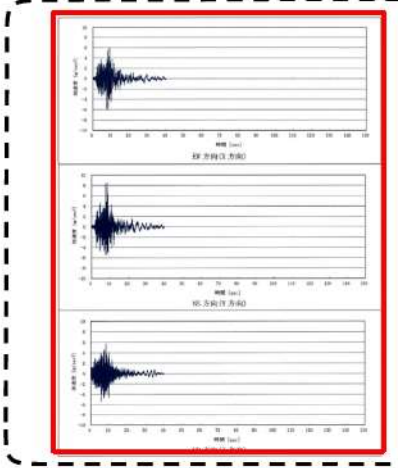
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>評価用地震動は、基準地震動Ssによる原子炉周辺建屋（E.L. +33.6m）の応答を用い、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として、溢水量が多くなる地震動を地震波の継続時間の観点からSs-1を、ピットの水の固有周期における応答加速度の観点から、Ss-1, Ss-10を評価対象として選定した上で、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量を評価する。なお、水平2方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向、NS方向及びUD方向）については、別途影響確認を行う。</p>	<div data-bbox="779 199 1182 518" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> </div> <p>図8-2 使用済燃料プールの概略図</p> <p>(1) 評価用地震動</p> <p>基準地震動のうち、使用済燃料プール及び原子炉ウエルDSピットの固有周期での応答が最も大きいSs-D1を用いて評価を実施した。</p> <p>使用済燃料プール及び原子炉ウエルDSピットが存在する標高近傍の水平方向床応答スペクトルを図8-3、評価用地震動として選定したSs-D1の時刻歴加速度波形を図8-4に示す。</p>	<div data-bbox="1294 199 1814 518" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> </div> <p>図8-2 使用済燃料ピット等の概要図</p> <div data-bbox="1294 590 1854 853" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピットのスロッシング評価については、現時点で確定している基準地震動のうち、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量が最大となるSs3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 以下の破線囲部分^①は、基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量がSs3-2によるスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 </div> <p>(1) 評価用地震動</p> <p>応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動（以下「応答スペクトルベース」という）、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動及び震源を特定せず策定する基準地震動（以下「断層モデルベース等」という）を用いて評価を実施した。</p> <p>使用済燃料ピット等が存在する標高近傍の水平方向床応答スペクトルを図8-3、時刻歴加速度波形の一例として^①基準地震動Ss3-2（金ヶ崎地震動）の時刻歴加速度波形を図8-4に示す。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 <u>設備名称の相違</u> <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川・大飯】 <u>設計方針の相違（評価用地震動について）</u> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずすべての地震動について解析を実施している。 ・女川は応答加速度の観点からSs-1の1波を評価用地震動としており、大飯は地震波継続時間の観点からSs-1、応答加速度の観点からSs-10をそれぞれ選定し、2波を評価用地震動としている。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は上記のとおり現時点で確定している基準地震動についてはすべての地震動について解析を実施しているため、評価に用いた時刻歴波形は一例としてSs3-2のものを記載している。</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="824 1236 1153 1260">図8-3 水平方向の床応答スペクトル</p>	<p data-bbox="1429 199 1713 223">追而【地震津波側審査の反映】</p> <p data-bbox="1361 236 1780 260">下図については基準地震動確定後に最新版を反映する。</p>  <p data-bbox="1411 1236 1736 1260">図8-3 水平方向の床応答スペクトル</p>	<p data-bbox="1877 180 1937 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2094 271">プラント設計の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

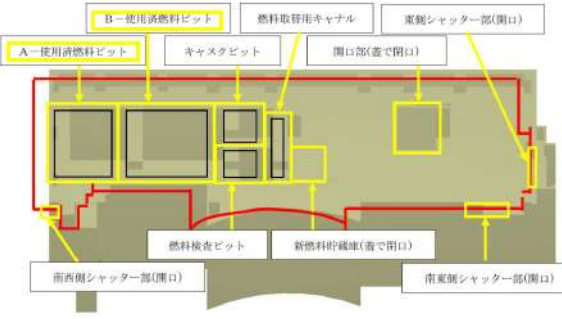
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図8-4 評価用地震動 (Ss-D1) の時刻歴加速度波形</p>	<p style="text-align: center;">追而【地震津波側審査の反映】</p> <p style="text-align: center;">下図については基準地震動確定後の評価結果により必要に応じて見直しを行う。</p>  <p>図8-4 基準地震動Ss3-2の時刻歴加速度波形</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>
<p>(添付資料2「使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」)</p> <p>2.2 解析条件 解析条件は表1 に示す通りである。なお、解析モデル諸元を表2、表3 に、解析モデル図を図2、図3 に示す。</p>	<p>(2) 解析条件 溢水量を算出するための解析条件を表8-1に示す。また、解析モデル諸元を表8-2～表8-4に、解析モデル図を図8-5～図8-8に示す。</p>	<p>(2) 解析条件 溢水量を算出するための解析条件を表8-1に示す。また、解析モデル諸元を表8-2及び表8-3に、解析モデル図を図8-5～図8-7に示す。</p>	<p>【大阪】 記載箇所の相違 大阪との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p style="text-align: center;">表1 モデル化範囲 解析条件 (1/2)</p> <table border="1"> <tr> <td>モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Ss及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等)による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6mの応答を使用する。 ・応答スペクトルベース(1波)、断層モデルベース等(18波)に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ(EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向)を基本として、時刻歴により評価する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)</p> <table border="1"> <tr> <td>解析コード</td> <td>・FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア 参考参照) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）	境界条件	・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。	初期水位	・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)	評価用地震動	・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Ss及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等)による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6mの応答を使用する。 ・応答スペクトルベース(1波)、断層モデルベース等(18波)に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ(EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向)を基本として、時刻歴により評価する。	解析コード	・FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア 参考参照) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)	その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。	<p style="text-align: center;">表8-1 解析条件</p> <table border="1"> <tr> <td>モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ(燃料取替床の床面高さ+0.1m)以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>・通常水位(N.W.L)、0.P.+32.895m(オーバーフロー水位)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・原子炉建屋0.P.+22.5mの応答を使用 ・基準地震動 Ss(Ss-D1：応答スペクトルに基づく地震動)に対し、NS方向とUD方向、EW方向とUD方向の時刻歴を用いる。</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>・Fluent Ver.14.5(汎用流体解析コード) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析などが挙げられる。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周りに設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット	境界条件	・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ(燃料取替床の床面高さ+0.1m)以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算	初期水位	・通常水位(N.W.L)、0.P.+32.895m(オーバーフロー水位)	評価用地震動	・原子炉建屋0.P.+22.5mの応答を使用 ・基準地震動 Ss(Ss-D1：応答スペクトルに基づく地震動)に対し、NS方向とUD方向、EW方向とUD方向の時刻歴を用いる。	解析コード	・Fluent Ver.14.5(汎用流体解析コード) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析などが挙げられる。	その他	・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周りに設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。	<p style="text-align: center;">表8-1 解析条件</p> <table border="1"> <tr> <td>モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建屋図からピット及び駆体寸法を読み取り、ピット形状を模擬した。</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・蓋で閉口している床面開口部(新燃料貯蔵庫、機器搬入口)からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>T.P.32.73m(使用済燃料ピット水位高警報設定値H.W.L)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・以下の基準地震動による燃料取扱機(T.P.33.1m)の応答時刻歴を使用する。 応答スペクトルベース：Ss-1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_x、Ss3-1a30_y(栗駒地山地震動) Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns(金ヶ崎地震動) Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns(一関東地震動) ・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向(NS+UD及びEW+UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向(NS及びEW)と鉛直方向(UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。 ・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・A=使用済燃料ピット、B=使用済燃料ピット、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建屋図からピット及び駆体寸法を読み取り、ピット形状を模擬した。	境界条件	・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・蓋で閉口している床面開口部(新燃料貯蔵庫、機器搬入口)からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。	初期水位	T.P.32.73m(使用済燃料ピット水位高警報設定値H.W.L)	評価用地震動	・以下の基準地震動による燃料取扱機(T.P.33.1m)の応答時刻歴を使用する。 応答スペクトルベース：Ss-1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_x、Ss3-1a30_y(栗駒地山地震動) Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns(金ヶ崎地震動) Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns(一関東地震動) ・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向(NS+UD及びEW+UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向(NS及びEW)と鉛直方向(UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。	解析コード	FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。 ・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・A=使用済燃料ピット、B=使用済燃料ピット、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。	その他		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 【モデル化範囲、境界条件及びその他】(大飯と同様) ・女川は使用済燃料プールのみをモデル化しているのに対し、泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲とし、エリアの外壁からの溢水の跳ね返りを考慮しているが、泊では初期条件として使用済燃料ピットに接続されるすべてのピットに水張りされた条件としており、さらに、溢水量は、ピットからの溢水量が最大到達時のピーク値を用いることにより保守的な評価としている。 【初期水位】(大飯と同様) ・プラント設計の相違により、設定値が異なる。 【評価用地震動】 ・9-別添1-79の「<u>設計方針の相違</u>(評価用地震動について)」と同様。 ・泊の断層モデルベース等の地震動による評価では、断層モデルベース波は特定の方向性を有する地震動であることから、水平2方向+鉛直方向の同時入力により解析を実施している。 ・なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動については、女川と同様の評価手法としている。 【解析コード】(大飯と同様) ・使用している解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた解析コードであり、同様の検証を行っている。</p>
モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）																																						
境界条件	・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。																																						
初期水位	・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)																																						
評価用地震動	・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Ss及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等)による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6mの応答を使用する。 ・応答スペクトルベース(1波)、断層モデルベース等(18波)に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ(EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向)を基本として、時刻歴により評価する。																																						
解析コード	・FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア 参考参照) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)																																						
その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。																																						
モデル化範囲	・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット																																						
境界条件	・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ(燃料取替床の床面高さ+0.1m)以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算																																						
初期水位	・通常水位(N.W.L)、0.P.+32.895m(オーバーフロー水位)																																						
評価用地震動	・原子炉建屋0.P.+22.5mの応答を使用 ・基準地震動 Ss(Ss-D1：応答スペクトルに基づく地震動)に対し、NS方向とUD方向、EW方向とUD方向の時刻歴を用いる。																																						
解析コード	・Fluent Ver.14.5(汎用流体解析コード) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析などが挙げられる。																																						
その他	・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周りに設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。																																						
モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建屋図からピット及び駆体寸法を読み取り、ピット形状を模擬した。																																						
境界条件	・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・蓋で閉口している床面開口部(新燃料貯蔵庫、機器搬入口)からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。																																						
初期水位	T.P.32.73m(使用済燃料ピット水位高警報設定値H.W.L)																																						
評価用地震動	・以下の基準地震動による燃料取扱機(T.P.33.1m)の応答時刻歴を使用する。 応答スペクトルベース：Ss-1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_x、Ss3-1a30_y(栗駒地山地震動) Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns(金ヶ崎地震動) Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns(一関東地震動) ・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向(NS+UD及びEW+UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向(NS及びEW)と鉛直方向(UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。																																						
解析コード	FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア) ・自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。 ・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・A=使用済燃料ピット、B=使用済燃料ピット、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。																																						
その他																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>表2 解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="143 252 658 368"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EW 方向 0.0~71.9 [m]</td> <td rowspan="3">240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000</td> </tr> <tr> <td>NS 方向 -23.3~ 0.0 [m]</td> </tr> <tr> <td>UD 方向 19.5~36.6 [m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 物性値</p> <table border="1" data-bbox="250 727 548 842"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI 単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001[Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000[kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	メッシュ数	EW 方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000	NS 方向 -23.3~ 0.0 [m]	UD 方向 19.5~36.6 [m]	水 (SI 単位系)		粘性係数	0.001[Pa・s]	密度	1,000[kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料プールの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="777 240 1196 341"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS 方向 0~92.4[m]</td> <td rowspan="3">5,730,000</td> </tr> <tr> <td>EW 方向 0~94.235[m]</td> </tr> <tr> <td>UD 方向 0~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表8-3 原子炉ウェル及びD5ピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="734 416 1243 517"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS 方向^{※1} -46.2~46.2[m]</td> <td rowspan="3">5,890,000</td> </tr> <tr> <td>EW 方向^{※1} -45.89~59.27[m]</td> </tr> <tr> <td>UD 方向^{※2} 4.2~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水平方向の原点は、原子炉ウェルの中心点を0[m]とした。 ※2 UD方向の原点は、使用済燃料プールの底面を0[m]とした。</p> <p>表8-4 物性値</p> <table border="1" data-bbox="813 770 1160 863"> <thead> <tr> <th colspan="2">水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.00067[Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>990[kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	総メッシュ数	NS 方向 0~92.4[m]	5,730,000	EW 方向 0~94.235[m]	UD 方向 0~26.92[m]	解析領域	総メッシュ数	NS 方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000	EW 方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]	UD 方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]	水		粘性係数	0.00067[Pa・s]	密度	990[kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料ピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="1294 245 1854 373"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X 方向 -0.5~58.9[m]</td> <td rowspan="3">[]</td> </tr> <tr> <td>Y 方向 -20.5~2.8[m]</td> </tr> <tr> <td>Z 方向 19.9~36.1[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>表8-3 物性値</p> <table border="1" data-bbox="1406 767 1742 874"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI 単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図8-5 使用済燃料ピット等の解析領域（赤線）</p>	解析領域	メッシュ数	X 方向 -0.5~58.9[m]	[]	Y 方向 -20.5~2.8[m]	Z 方向 19.9~36.1[m]	水 (SI 単位系)		粘性係数	0.001 [Pa・s]	密度	1,000 [kg/m ³]	<p>【大阪】 記載箇所の相違 大阪との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。</p> <p>【女川】 設備名称の相違 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪・女川】 記載方針の相違 泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲としていることから、解析領域を図で示している。</p>
解析領域	メッシュ数																																												
EW 方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000																																												
NS 方向 -23.3~ 0.0 [m]																																													
UD 方向 19.5~36.6 [m]																																													
水 (SI 単位系)																																													
粘性係数	0.001[Pa・s]																																												
密度	1,000[kg/m ³]																																												
解析領域	総メッシュ数																																												
NS 方向 0~92.4[m]	5,730,000																																												
EW 方向 0~94.235[m]																																													
UD 方向 0~26.92[m]																																													
解析領域	総メッシュ数																																												
NS 方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000																																												
EW 方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]																																													
UD 方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]																																													
水																																													
粘性係数	0.00067[Pa・s]																																												
密度	990[kg/m ³]																																												
解析領域	メッシュ数																																												
X 方向 -0.5~58.9[m]	[]																																												
Y 方向 -20.5~2.8[m]																																													
Z 方向 19.9~36.1[m]																																													
水 (SI 単位系)																																													
粘性係数	0.001 [Pa・s]																																												
密度	1,000 [kg/m ³]																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="152 196 654 547"> <p>シャッター部</p> </div> <div data-bbox="286 555 510 579"> <p>図2 解析モデルの概要図</p> </div> <div data-bbox="163 783 618 1270"> <p>X-Y断面 (x=33.39[m]) Y-Z断面 (x=23.86[m]) X-Z断面 (y=-5.747[m]) (青：流体、灰色：構造物)</p> </div> <div data-bbox="107 1302 672 1362"> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> </div> <div data-bbox="295 1406 501 1430"> <p>図3 2次元メッシュ図</p> </div>	<div data-bbox="757 209 1207 544"> <p>キャスクピット プール</p> </div> <div data-bbox="797 555 1169 579"> <p>図8-5 使用済燃料プールの解析モデル図</p> </div> <div data-bbox="750 616 1205 890"> <p>原子炉ウェル DSピット</p> </div> <div data-bbox="757 895 1207 919"> <p>図8-6 原子炉ウェル及びDSピットの解析モデル図</p> </div> <div data-bbox="763 975 1187 1485"> </div>	<div data-bbox="1323 196 1827 547"> <p>P, N</p> </div> <div data-bbox="1379 555 1756 579"> <p>図8-6 使用済燃料ピットの解析モデル図</p> </div> <div data-bbox="1312 879 1839 1238"> </div> <div data-bbox="1279 1270 1843 1331"> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> </div> <div data-bbox="1357 1374 1778 1398"> <p>図8-7 使用済燃料ピットの3次元メッシュ図</p> </div> <div data-bbox="1279 1445 1856 1477"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯・女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯・女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設備名称の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 女川は原子炉ウェル及びDSピットを使用済燃料プールとは別にモデル化し解析を実施しているのに対し、泊は使用済燃料ピット等を一体としてモデル化し解析を実施している。(大飯と同様)</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 大飯審査実績の反映</p> <p>【大飯】 <u>記載箇所の相違</u> 大飯との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載(青破線枠内)を貼り付けた。</p> <p><u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>

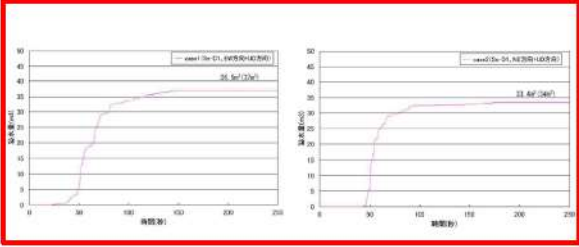
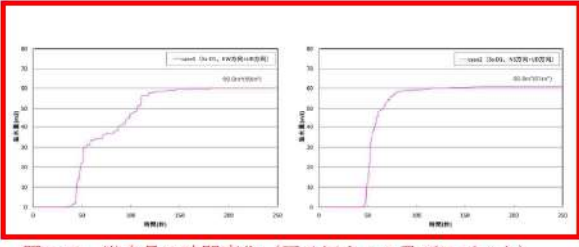

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<p>基準地震動Ssにおける使用済燃料ピットのスロッシングによる最大到達溢水時の溢水量を表2.4.4-1に、使用済燃料ピット水位を表2.4.4-2に示す。</p> <p>表2.4.4-1 スロッシングによる溢水量</p> <table border="1" data-bbox="123 933 676 1018"> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>EW 方向、UD 方向</td> <td>41.12m³</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>NS 方向、UD 方向</td> <td>5.48m³</td> </tr> </table>	基準地震動 Ss	EW 方向、UD 方向	41.12m ³	基準地震動 Ss	NS 方向、UD 方向	5.48m ³	<p>8.2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール及び原子炉ウェル・DSピットのスロッシングによる溢水量を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-9及び図8-10に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、使用済燃料プールの溢水量の多いEW+UD方向の解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、41m³とした。また、同様に、定検時に水が張られる原子炉ウェル・DSピットも含めたスロッシングによる溢水量は107m³とした。</p> <p>表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="705 933 1263 1061"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価ケース</th> <th colspan="2">解析結果[m³]</th> <th rowspan="2">評価に用いる溢水量[m³]</th> </tr> <tr> <th>使用済燃料プール</th> <th>原子炉ウェル及びDSピット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">Ss-D1</td> <td>Case1：EW+UD 方向</td> <td>37</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>Case2：NS+UD 方向</td> <td>34</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 原子炉ウェル・DSピットも含めた溢水量</p>	評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット	Ss-D1	Case1：EW+UD 方向	37	60	Case2：NS+UD 方向	34	61	<p>8.2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロッシングによる溢水量（解析結果）については、現時点で確定している基準地震動のうち、溢水量が最大となる Ss3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 ・以下の破線部分は、基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量が Ss3-2 のスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 </div> <p>基準地震動のうち、使用済燃料ピット等のスロッシングによる溢水量が最大となった【基準地震動Ss3-2】における溢水量（ピーク値）を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-8に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、水平2方向（EW及びNS）及び鉛直方向（UD）の組合せによる解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、35m³とした。</p> <p>表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="1288 933 1854 1045"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>解析結果 [m³]</th> <th>評価に用いる溢水量 [m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ss3-2</td> <td>EW+NS+UD 方向</td> <td>31.30</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]	Ss3-2	EW+NS+UD 方向	31.30	35	<p>【大飯・女川】 記載表現・設備名称の相違 【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずにすべての地震動について解析を実施している。 ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違による。 ・プラント設計の相違による。 ・評価に用いる地震動は、女川は特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）、泊は特定の方向性を有する断層モデルベース等の地震動（Ss3-2）という相違がある。泊で用いるSs3-2は、EW方向及びNS方向それぞれに観測された地震波があるため、これらと鉛直方向との組合せにより、3方向同時入力により解析を実施している。なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）については、女川と同様の評価手法にて評価を実施しており、Ss3-2による溢水量を超えないことを確認している。（補足説明資料32で説明）
基準地震動 Ss	EW 方向、UD 方向	41.12m ³																											
基準地震動 Ss	NS 方向、UD 方向	5.48m ³																											
評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]																										
	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット																											
Ss-D1	Case1：EW+UD 方向	37	60																										
	Case2：NS+UD 方向	34	61																										
評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]																											
Ss3-2	EW+NS+UD 方向	31.30	35																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	 <p>図8-9 溢水量の時間変化（使用済燃料プール）</p>  <p>図8-10 溢水量の時間変化（原子炉ウエル及びDSピット）</p>	 <p>図8-8 溢水量の時間変化（使用済燃料ピット）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） ・評価結果の相違による。</p> <p>【女川】 <u>設備名称の相違</u></p> <p>【大飯】 <u>記載箇所の相違</u> 女川審査実績の反映 ・泊は後述の8. 3にて使用済燃料ピットの水位を記載している。</p>								
<p>表2. 4. 4-2 溢水時の使用済燃料ピット水位</p> <table border="1" data-bbox="174 1029 672 1228"> <tr> <td>初期ピット水位</td> <td>11.91m</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L. W. L)</td> <td>(E. L. + 33.06m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のピット水位 基準地震動 Ss EW方向、UD方向</td> <td>11.76m (E. L. + 32.91m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のピット水位 基準地震動 Ss NS方向、UD方向</td> <td>11.89m (E. L. + 33.04m)</td> </tr> </table> <p>※1 ピット水位(EW方向、UD方向)=11.76m =11.91m(初期ピット水位)- 41.12m³(溢水量) / 290.08m²(ピットの面積)</p> <p>※2 ピット水位(EW方向、UD方向)=11.89m =11.91m(初期ピット水位)- 5.48m³(溢水量) / 290.08m²(ピットの面積)</p>	初期ピット水位	11.91m	使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L. W. L)	(E. L. + 33.06m)	地震後のピット水位 基準地震動 Ss EW方向、UD方向	11.76m (E. L. + 32.91m)	地震後のピット水位 基準地震動 Ss NS方向、UD方向	11.89m (E. L. + 33.04m)			
初期ピット水位	11.91m										
使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L. W. L)	(E. L. + 33.06m)										
地震後のピット水位 基準地震動 Ss EW方向、UD方向	11.76m (E. L. + 32.91m)										
地震後のピット水位 基準地震動 Ss NS方向、UD方向	11.89m (E. L. + 33.04m)										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p>2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認</p> <p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃）の維持に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-1に示す。</p> <p>また、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認した結果を表2.4.5-2に示す。</p> <p>表 2.4.5-1 溢水時における使用済燃料ピットの冷却機能の維持の確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>冷却機能の維持に必要な水位^{※1} [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>11.76^{※2}</td> <td>10.99</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>EW 方向、UD 方向 (E.L.+32.91)</td> <td>(E.L.+32.14)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位を、使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベルとした。</p> <p>※2 ピット水位 (EW 方向、UD 方向) = 11.76m = 11.91m(初期ピット水位) - 41.12m3(溢水量) / 290.08m2(ピットの面積)</p> <p>表 2.4.5-2 溢水時における使用済燃料ピットへの冷却機能及び給水機能維持の確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象機器</th> <th>設置場所</th> <th>溢水水位 [m]</th> <th>機能喪失高さ [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 0.71</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 0.72</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ現場操作盤</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 0.47</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 0.47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ現場操作盤</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「表 2.4.3.2.1-1 大飯3号炉 地震による没水影響評価」及び「表 2.4.3.2.1-2 大飯4号炉 地震による没水影響評価」より。</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 Ss	11.76 ^{※2}	10.99	○	EW 方向、UD 方向 (E.L.+32.91)	(E.L.+32.14)		対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果	使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○	4号炉 0.170	4号炉 0.72	使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○	4号炉 0.170	4号炉 1.20	燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○	4号炉 0.095	4号炉 0.47	燃料取替用水ポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○	4号炉 0.095	4号炉 1.20	<p>8. 3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料プール水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料プール等からのスロッシングによる溢水がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位及びプール冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料プール単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料プール水位がより低下するため、以下では使用済燃料プール単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料プール水位及び必要水位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期プール水位 (m)</td> <td>11.515 (O.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※1} (m)</td> <td>11.245 (O.P.+32.625)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※2} (m)</td> <td>11.255 (O.P.+32.635)</td> </tr> <tr> <td>プール冷却に必要な水位^{※3} (m)</td> <td>11.515 (O.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※4} (m)</td> <td>7.958 (O.P.+29.338)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 初期プール水位からの水位低下量 (0.27m) は、溢水量 (41m³) を使用済燃料プールの面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※2 初期プール水位からの水位低下量 (0.26m) は、溢水量 (107m³) を使用済燃料プール・原子炉ウエル・DSピットの合計面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※3 保安規定で定められている、水温 (65℃以下) が保たれるために必要な水位として、保守的にオーバーフロー水位を設定した。</p> <p>※4 使用済燃料を考慮した、使用済燃料プール水面の設計基準線量率 (≦0.05 mSv/h) を満足する水位。</p>	初期プール水位 (m)	11.515 (O.P.+32.895)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m)	11.245 (O.P.+32.625)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※2} (m)	11.255 (O.P.+32.635)	プール冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	11.515 (O.P.+32.895)	遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	7.958 (O.P.+29.338)	<p>8. 3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料ピット水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料ピット等からのスロッシングによる溢水量（ピーク値）が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位及びピット冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料ピット単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料ピット水位がより低下するため、以下では使用済燃料ピット単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>下表の「破線部分」については基準地震動確定後の評価結果により必要に応じて見直しを行う。</p> </div> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料ピット水位及び必要水位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}</td> <td>32.58</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]</td> <td>32.36</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却に必要な水位^{※2} T.P. [m]</td> <td>31.62</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※3} T.P. [m]</td> <td>29.74</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピット低水位警報設定値 (L.W.L)</p> <p>※2 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位（使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベル）</p> <p>※3 使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率≦0.01mSv/h）に必要な水位</p>	初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}	32.58	スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36	ピット冷却に必要な水位 ^{※2} T.P. [m]	31.62	遮蔽に必要な水位 ^{※3} T.P. [m]	29.74	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） ・また、解析の初期条件としては使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価を行っているが、スロッシング発生後のピット水位の評価では、保守的に低水位警報レベルから水位低下するものとして評価を実施している。（大飯と同様） <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違による。 ・プラント設計の相違による。 <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことの確認結果を添付資料24「地震起因による没水影響評価結果」に記載している。
方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果																																																														
基準地震動 Ss	11.76 ^{※2}	10.99	○																																																														
EW 方向、UD 方向 (E.L.+32.91)	(E.L.+32.14)																																																																
対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果																																																													
使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○																																																													
	4号炉 0.170	4号炉 0.72																																																															
使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○																																																													
	4号炉 0.170	4号炉 1.20																																																															
燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○																																																													
	4号炉 0.095	4号炉 0.47																																																															
燃料取替用水ポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○																																																													
	4号炉 0.095	4号炉 1.20																																																															
初期プール水位 (m)	11.515 (O.P.+32.895)																																																																
スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m)	11.245 (O.P.+32.625)																																																																
スロッシング発生後のプール水位 ^{※2} (m)	11.255 (O.P.+32.635)																																																																
プール冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	11.515 (O.P.+32.895)																																																																
遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	7.958 (O.P.+29.338)																																																																
初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}	32.58																																																																
スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36																																																																
ピット冷却に必要な水位 ^{※2} T.P. [m]	31.62																																																																
遮蔽に必要な水位 ^{※3} T.P. [m]	29.74																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>(2) ブルー冷却に必要な水位の確保について</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、残留熱除去系による使用済燃料プールへの冷却機能・給水機能が維持されることを確認しているが、表8-6より、地震後の使用済燃料プール水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕と、系統切替操作にかかる時間を評価し、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回らないことを、以下のとおり確認した。</p> <p>使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕については、有効性評価で想定している、原子炉停止後に最短時間(原子炉停止後10日)で取り出された全炉心分の燃料と、過去に取り出された貯蔵燃料が、使用済燃料貯蔵ラックに最大数保管されていることを想定し、また地震に伴うスロッシングによる溢水量41(m³)を使用済燃料プールの初期保有水量から差し引いた状態にて算出した。使用済燃料プール水温度が65℃に到達するまでの時間余裕を表8-7にまとめる。なお、初期水温は40℃と想定した。また、残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間を表8-8示す。</p> <p>以上により、使用済燃料プール水温度上昇に対する時間余裕の中で、残留熱除去系によるプールへの給水が完了し、またプール冷却機能も維持されていることから、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回ることはない。</p> <p style="text-align: center;">表8-7 使用済燃料プール水温度と時間余裕</p> <table border="1" data-bbox="725 1002 1249 1056"> <tr> <td>使用済燃料プール水</td> <td>65℃到達時間(h)</td> <td>100℃到達時間(h) (参考)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表8-8 残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間</p> <table border="1" data-bbox="725 1171 1232 1311"> <tr> <td>現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)</td> <td>50(分)^{#1}</td> </tr> <tr> <td>給水流量</td> <td>300 (m³/h) ^{#2}</td> </tr> <tr> <td>給水完了時間</td> <td>2時間^{#3}</td> </tr> </table> <p><small>※1 残留熱除去系への系統切替手順は運転手順書にて定められている。また現場所要時間(漏えい箇所の特定、系統切替操作)が50分程度であること及び系統切替操作時の運転員によるアクセス性について問題ないことを確認している(補足説明資料10参照)。 ※2 運転手順書にて定める、残留熱除去系ポンプ1台の運転時流量 ※3 現場所要時間(漏えい箇所の特定、系統切替操作)及び給水時間に余裕を考慮し設定</small></p>	使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)		5	13	現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{#1}	給水流量	300 (m ³ /h) ^{#2}	給水完了時間	2時間 ^{#3}	<p>(2) ピット冷却に必要な水位の確保について</p> <p>表8-6より、使用済燃料ピットの冷却に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 <u>設備名称の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。
使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)													
	5	13													
現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{#1}														
給水流量	300 (m ³ /h) ^{#2}														
給水完了時間	2時間 ^{#3}														

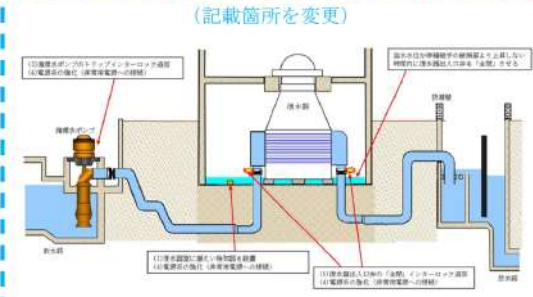
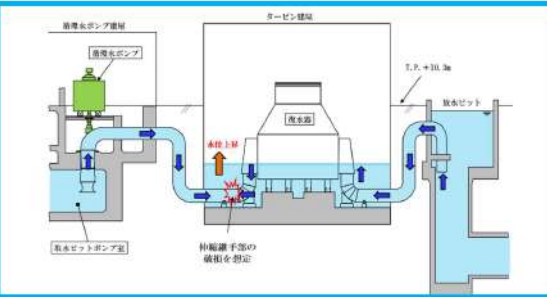
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-3に示す。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>表 2.4.5-3 溢水時における使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の確認結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">方向</th> <th style="width: 25%;">地震後のピット水位 [m]</th> <th style="width: 25%;">遮蔽に必要な水位^{※1} [m]</th> <th style="width: 25%;">評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 S₀ EW 方向、UD 方向</td> <td>11.76^{※2} (E.L. + 32.91)</td> <td>9.24 (E.L. + 30.39)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの水面の設計基準値（≦0.02mSv/h）を満足するために必要な水位</p> <p>※2 ピット水位（EW 方向、UD 方向）= 11.76m = 11.91m（初期ピット水位）- 41.12m³（溢水量）/ 290.08m²（ピットの面積）</p> <p>（添付資料2）使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p> </div> <p>5. 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク及び湧水（原子炉周辺建屋）からの溢水が、防護対象設備の設置されている建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）に及ぼす影響を確認した。</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 S ₀ EW 方向、UD 方向	11.76 ^{※2} (E.L. + 32.91)	9.24 (E.L. + 30.39)	○	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料プールの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料ピットの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載箇所の相違 女川審査実績の反映 ・泊では表8-6で遮蔽に必要な水位の確認結果を記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果								
基準地震動 S ₀ EW 方向、UD 方向	11.76 ^{※2} (E.L. + 32.91)	9.24 (E.L. + 30.39)	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>5.1 タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>5.1.1 タービン建屋の溢水源と溢水量</p> <p>循環水管の伸縮継手部及び2次系機器を溢水源とする。</p> <p>循環水管の伸縮継手部からの溢水については、伸縮継手部の全円周状の破損を考慮する。算出した溢水流量は以下のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表5.1.1-1 循環水管の伸縮継手部の溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="114 443 683 523"> <tr> <th>内径(mm)D</th> <th>継手幅(mm)w</th> <th>溢水流量(m³/h)Q/ユニット</th> </tr> <tr> <td>4,200</td> <td>150</td> <td>102,112</td> </tr> </table> <p>循環水ポンプ停止までの時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮する。想定した時間は以下のとおり。なお、中央制御室における遠隔停止機能が喪失した場合も考慮し、現地停止操作等の時間を②、③に含めている。</p> <p style="text-align: center;">表5.1.1-2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="163 762 633 927"> <tr> <td>①地震発生事象確認</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>②地震発生による異常の認知時間</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>③循環水ポンプ停止</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26分</td> </tr> </table> <p>算出した溢水流量及び想定したポンプ停止までの時間から溢水量を算出した結果は以下のとおり。</p> <p>(溢水流量) × (隔離までの時間) = (溢水量) $102,112(\text{m}^3/\text{h}) \times 26/60(\text{h}) = \text{約}44,300(\text{m}^3)$</p> <p style="text-align: center;">表5.1.1-3 循環水管の伸縮継手部の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="114 1166 683 1246"> <tr> <th></th> <th>溢水量(m³)</th> </tr> <tr> <td>地震による破損</td> <td>約44,300×2ユニット=約88,600</td> </tr> </table> <p>2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器、脱気器タンク、タービン建屋周辺タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p>	内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット	4,200	150	102,112	①地震発生事象確認	10分	②地震発生による異常の認知時間	10分	③循環水ポンプ停止	6分	合計	26分		溢水量(m ³)	地震による破損	約44,300×2ユニット=約88,600	<p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9.1 評価条件</p> <p>溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋管理区域内に循環水系配管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展を以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水系配管の伸縮継手部及び耐震B、Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。</p> <p>(2) 耐震B、Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水系配管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。</p> <p>(3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">(記載箇所を変更)</p>  <p style="text-align: center;">図9-1 循環水系における対策内容</p> </div>	<p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9.1 評価条件</p> <p>溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋内に循環水管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展は以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水管の伸縮継手部及び耐震Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。</p> <p>(2) 耐震Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。</p> <p>(3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p> <p style="text-align: center;">タービン建屋の溢水概念図を図9-1に示す。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 20px;">  <p style="text-align: center;">図9-1 タービン建屋の溢水概念図</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大飯と同様であり、大飯が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 設備名称の相違 【女川】 設計方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 設計方針の相違 泊のタービン建屋内にある機器・配管はすべてCクラス機器である。</p> <p>【女川】 記載箇所・記載方針の相違 女川は後段の「(2)循環水系における対策内容」に循環水系を自動隔離するためのインターロックの説明として本図を掲載しているが、泊は同様の対策は無いため、タービン建屋における循環水管からの溢水概念図として本図を掲載している。</p>
内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット																			
4,200	150	102,112																			
①地震発生事象確認	10分																				
②地震発生による異常の認知時間	10分																				
③循環水ポンプ停止	6分																				
合計	26分																				
	溢水量(m ³)																				
地震による破損	約44,300×2ユニット=約88,600																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>表5.1.1-4 2次系機器の保有水量</p> <table border="1" data-bbox="114 209 683 331"> <tr> <th colspan="2">保有水量</th> <th rowspan="2">保有水量合計 (m³) ※3</th> </tr> <tr> <th>配管 (m³) ※1</th> <th>容器 (m³) ※2</th> </tr> <tr> <td>約 3,260</td> <td>約 8,380</td> <td>約 11,700m³</td> </tr> </table> <p>※1 配管：約1,630m³×2ユニット=3,260m³</p> <p>※2 容器：タービン建屋内機器+タービン建屋周辺タンク =タービン建屋内機器 (約2,940m³×2ユニット) +タービン建屋周辺タンク (約2,500m³) =約5,880m³+約2,500m³=約8,380m³</p> <p>※3 保有水量合計：3,260m³+8,380m³<11,700m³</p> <p>次に循環水ポンプ停止から津波襲来前までの溢水量を考慮する。朔望平均満潮位及び潮位のばらつきを考慮した水位 (E.L.+0.49m) とタービン建屋内の溢水水位 (E.L.+8.4m) を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p>	保有水量		保有水量合計 (m ³) ※3	配管 (m ³) ※1	容器 (m ³) ※2	約 3,260	約 8,380	約 11,700m ³	<p>9. 2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9. 2. 1 タービン建屋における溢水源 配管計装線図 (P&ID) を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>9. 2. 2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、管理区域エリア、非管理区域エリア各々について地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料17に示す。</p> <p>(i) 管理区域エリア 管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、6,843m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. 給水系の溢水量算出は、①配管破断⇒②原子炉水位低 (L2) ⇒③主蒸気 隔離弁「閉」⇒④復水器ホットウェル水位低下⇒⑤低圧復水ポンプトリップ⇒⑥高圧復水ポンプトリップ⇒⑦原子炉給水ポンプトリップとし、③から⑦までの漏えい量は復水器ホットウェル水位の変化量 (NWL~LLWL) とした。また、①から③までの漏えい時間は60秒と想定した。</p> <p>d. ヒータードレン系については地震スクラム⇒主蒸気隔離弁「閉」⇒タービントリップ⇒ドレン発生停止とした。</p> <p>e. 循環水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、復水器入口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏えい開始20秒後に復水器室にて漏えいを検知し、循環水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。</p>	<p>9. 2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9. 2. 1 タービン建屋における溢水源 系統図及び機器配置図を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>9. 2. 2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、タービン建屋における地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料16に示す。</p> <p>地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、28,370m³となった。</p> <p>a. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>b. 循環水管については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮し、循環水ポンプ出口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏えい開始から46分後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大阪と同様であり、大阪が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・評価結果の相違による。 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 ・泊ではタービン建屋における循環水管からの漏えいに対して運転員による手動隔離操作に期待している。 ・泊のタービン建屋内の耐震Cクラス機器のうち、隔離による漏えい停止に期待している系統は循環水系のみであることから、女川の給水系及びヒータードレン系に対応する系統はない。 ・女川は循環水系からの溢水に対して、インターロックによる自動隔離を考慮して溢水量を算出している。 ・一方泊では、運転員による手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定している。(大阪と同様、大阪との比較結果は補足説明資料35にて説明する)</p>
保有水量		保有水量合計 (m ³) ※3									
配管 (m ³) ※1	容器 (m ³) ※2										
約 3,260	約 8,380	約 11,700m ³									

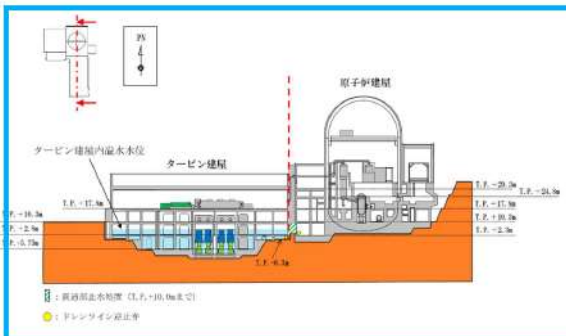
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>さらに津波襲来時の溢水量を考慮する。</p> <p>津波襲来時の取水側水位（E.L. +6.9m：「津波に対する施設評価」による）及び放水ビット水位（E.L. +8.3m：「津波に対する施設評価」による）とタービン建屋内の溢水水位（E.L. +8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p> <p>なお、敷地高さはE.L. +9.7mであり、津波襲来による敷地への流入はない。</p> <p>5.1.2 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>5.1.2.1 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>想定破損は単一機器の破損を想定するが、地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p>	<p>なお、津波による影響に関しては、津波来襲前に復水器水室出入口弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、824m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. タービン補機冷却海水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、配管破損に伴う漏えい開始30秒後にタービン 補機冷却水系熱交換器・ポンプ室にて漏えいを検知し、タービン補機冷却海水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後にタービン補機冷却海水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。なお、津波による影響に関しては、津波来襲前にタービン補機冷却海水ポンプ吐出弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>9. 2. 3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路図を添付資料30に示す。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>タービン建屋からの溢水評価については、循環水管の伸縮継手破損部からの津波流入を考慮していることから、以下の【破線囲部分】は基準津波確定後の評価結果を反映する。</p> </div> <p>さらに津波来襲時の溢水量を考慮する。</p> <p>津波来襲時の取水側水位（T.P. []m）及び放水ビット水位（T.P. []m）とタービン建屋内の溢水水位（T.P. 5.7m）を比較した結果、タービン建屋内への津波流入量は [11,870] m³となった。</p> <p>9. 2. 3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、グレーチングが設置された開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路を添付資料 26 に示す。</p>	<p>【女川・大飯】 <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は津波来襲前に復水器水室出入口弁を全閉するため津波は流入しない。</p> <p>・大飯はタービン建屋内溢水水位が取水・放水ビット水位よりも高いため、津波は流入しない。</p> <p>・一方泊は、取水・放水ビット水位がタービン建屋内の溢水水位よりも高いことから、津波の流入を考慮している。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <p>泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <p>タービン建屋の床面はグレーチング構造となっている箇所が多数あり、溢水はグレーチング開口を経由し最地下階に滞留するため、当該記載をしている。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
<p>5.1.3 タービン建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>5.1.3.1 タービン建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p> <p>5.1.4 タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>5.1.4.1 タービン建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水を保有するためのタービン建屋の空間容積は、E.L.+9.7m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構築物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出した。</p> <p>欠損部体積を算出した主な設備は以下のとおり。</p> <p>建屋構築物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等</p> <p>機器：ポンプ、タンク、盤等</p> <p>配管：循環水管、復水管等</p> <p>表5.1.1.4-1 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1" data-bbox="116 922 680 1027"> <thead> <tr> <th>ユニット</th> <th>地下体積(m³)</th> <th>欠損部体積(m³)</th> <th>空間容積(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>約 109,200</td> <td>約 43,000</td> <td>約 66,200</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>約 76,800</td> <td>約 25,500</td> <td>約 51,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計約117,500m³</p> <p>2次系機器の破損による溢水量と循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能であり、建屋外へ流出することがないことを確認した。</p> <p>100,300m³ < 117,500m³ (溢水量) (タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積)</p> <p>(添付資料5.1) タービン建屋からの溢水影響評価</p>	ユニット	地下体積(m ³)	欠損部体積(m ³)	空間容積(m ³)	3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200	4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300	<p>9.3 評価結果</p> <p>9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>(1) 管理区域エリア</p> <p>管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（復水器室、共通エリア）で2.2mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋付属棟及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、タービン建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1に管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-1 管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="705 614 1263 762"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画 名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水器室</td> <td>0.P. +0.8m</td> <td>6,003^{※1}</td> <td>2,761.9</td> <td>2.2^{※2}</td> </tr> <tr> <td>共通エリア</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 復水器廻りの欄干部の容積、840m³を考慮した値 ※2 床面のコンクリート増し打ち分の最大値、55mmを考慮した値</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（タービン補機冷却水系熱交換器室・ポンプ室）で2.1mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、非管理区域エリアにおける没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、非管理区域からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-2に非管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-2 非管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="705 1337 1263 1476"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画 名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室</td> <td>0.P. -0.2m</td> <td>824</td> <td>410.9</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table>	区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	①	②	①/②	復水器室	0.P. +0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}	共通エリア					区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	①	②	①/②	タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室	0.P. -0.2m	824	410.9	2.1	<p>9.3 評価結果</p> <p>9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>タービン建屋における没水水位は、T.P. 8.3mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋との境界（貫通部等）に対しては溢水防護措置（ドレンライン逆止弁の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1にタービン建屋における評価結果を示す。また、タービン建屋断面図を図9-2に示す。</p> <p>表9-1 タービン建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1288 646 1852 758"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B1F (T.P. 2.8m)</td> <td>52,860</td> <td>61,500</td> <td>T.P. 8.3m</td> </tr> <tr> <td>B2F (T.P. -1.7m)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>図9-2 タービン建屋断面図</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映により、泊はタービン建屋の溢水影響評価結果を補足説明資料35に記載している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 ・評価結果の相違による。 ・対策設備の相違による。</p> <p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。 ・泊は防護対象設備が設置される原子炉建屋との境界を明示するため、タービン建屋の断面図を図9-2示している。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p>	フロア	溢水量 (m ³)	空間容積 (m ³)	没水水位 (m)	B1F (T.P. 2.8m)	52,860	61,500	T.P. 8.3m	B2F (T.P. -1.7m)			
ユニット	地下体積(m ³)	欠損部体積(m ³)	空間容積(m ³)																																																						
3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200																																																						
4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300																																																						
区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																																																					
		①	②	①/②																																																					
復水器室	0.P. +0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}																																																					
共通エリア																																																									
区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																																																					
		①	②	①/②																																																					
タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室	0.P. -0.2m	824	410.9	2.1																																																					
フロア	溢水量 (m ³)	空間容積 (m ³)	没水水位 (m)																																																						
B1F (T.P. 2.8m)	52,860	61,500	T.P. 8.3m																																																						
B2F (T.P. -1.7m)																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
	<p>9. 3. 2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-3に整理する。</p> <p>表9-3 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="703 443 1265 783"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>T/B 連絡通路層(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路層(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">制御建屋</td> <td>1F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">タービン建屋</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B B1F エリア</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B B2F エリア</td> <td>止水壁</td> <td>既設(改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 循環水系における対策内容</p> <p>循環水系における対策内容を図9-1 に示す。なお、今回追加するインターロックは、誤動作を防止するために、地震スクラム信号と復水器室漏えい検知信号のand 条件を設定することから、本インターロック動作時には、既にスクラムしており、安全解析への影響はないが、仮に誤動作した場合を想定し、以下のとおり検討を行った。</p> <p>本インターロックが誤動作した場合には、復水器の真空度が低下して、タービントリップのインターロックが作動し、一時的にタービンバイパス弁は作動するものの短時間で閉止する。この状況は「負荷の喪失（発電機負荷遮断、タービンバイパス弁不作動）」の解析結果に包絡する（原子炉圧力の上昇が緩慢であることから厳しい結果にはならない）ことから、安全解析への影響はない。</p> <p style="text-align: center;">(記載箇所を変更)</p> <p style="text-align: center;">図9-1 循環水系における対策内容</p>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路層(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路層(西側)	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	B1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	B2F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1	B1F	T/B B1F エリア	堰	新設	1	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1	<p>9. 3. 2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-2に整理する。</p> <p>表9-2 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1285 443 1854 534"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>T. P. 2. 3m</td> <td>ドレンライン逆止弁</td> <td>逆止弁</td> <td>新設</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	T. P. 2. 3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊では、循環水管からの溢水に対しては、運転員による手動操作により漏えい停止を実施することから、女川のような循環水系における対策内容の記載はしていない。 (大飯と同様)</p> <p>【女川】 記載箇所・記載方針の相違 ・女川は「(2) 循環水系における対策内容」に循環水系を自動隔離するためのインターロックの説明として本図を掲載しているが、泊は同様の対策は無いため、前段の「9.1 評価条件」タービン建屋における循環水管からの溢水概念図として本図を掲載している。 ・女川の図9-1は泊との横並びのため移動した。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																		
原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路層(東側)	水密扉	新設	1																																																																		
		T/B 連絡通路層(西側)	水密扉	新設	1																																																																		
制御建屋	1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																		
	B1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																		
	B2F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																		
タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1																																																																		
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																		
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																		
	B1F	T/B B1F エリア	堰	新設	1																																																																		
	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1																																																																		
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																		
原子炉建屋	T. P. 2. 3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p> <p>3.1 評価目的</p> <p>廃棄物処理建屋内には防護対象設備はないが、想定破損による溢水、放水による溢水及び地震起因による溢水が隣接する原子炉周辺建屋へ影響しないことを確認する。</p> <p>3.2 廃棄物処理建屋の溢水源</p> <p>系統図を用いて廃棄物処理建屋内に存在する溢水源となる機器及び配管を抽出した。</p> <p>3.3 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>3.3.1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>廃棄物処理建屋にある高エネルギー配管及び低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。</p> <p>配管破損形状は、高エネルギー配管については完全全周破断とし、低エネルギー配管については貫通クラックとして、1 系統における単一の破損を想定した。</p> <p>また、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定し溢水流量を算出するとともに、事象を検知し漏えい停止までの漏えい量を考慮して溢水量を算出した結果、消火水系の溢水量が最大であることから、貫通クラックが発生した場合について、溢水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L. +26.0mで117.7m³、E.L. +17.5mで164.3m³として評価を実施するため、想定破損による没水影響評価は、地震による没水影響評価に包絡されることを確認した。</p>	<p>10 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p> <p>(2) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水源</p> <p>配管計装線図（P&ID）を用いて、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水量</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は3,557m³となった。</p> <p>(a) 手動隔離は期待しない。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>10 電気建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する電気建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、電気建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p> <p>(2) 電気建屋における溢水源</p> <p>系統図及び機器配置図を用いて、電気建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 電気建屋における溢水量</p> <p>電気建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は730m³となった。</p> <p>(a) 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【大飯・女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の想定破損による溢水量は添付資料16「系統別溢水量算出結果」に記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・評価結果の相違による。</p> <p>・泊は地震起因の溢水評価にて運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。（補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>系統ごとの溢水量を表3.3.1-1に記載する。</p> <table border="1" data-bbox="136 204 674 555"> <caption>表 3.3.1-1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水量</caption> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火水系</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理系</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>47.6</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>1次系温水、飲料水系</td> <td>32.2</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>51.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.4 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>3.4.1 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・260/min×3.0時間=46.8m³ <p>また、スプリンクラーからの放水による溢水量を以下のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・720[*]/min×30min=21,600=21.6m³ <p>※ 今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>放水による没水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L.+26.0mで117.7m³、E.L.+17.5mで164.3m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p> <p>3.5 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>3.5.1 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の対象とした。</p> <p>廃棄物処理建屋E.L.+26.0m、E.L.+17.5m、E.L.+10.0m、E.L.+4.9mの各フロアにおいて、地震時の溢水量低減対策を考慮し、機器（配管及び容器）からの漏えい量を溢水量として算出した。（表3.5.1-1）</p>	系統	溢水量 (m ³)	消火水系	97.5	化学体積制御系	47.3	廃棄物処理系	43.7	1次系補給水系	47.6	1次系洗浄水系	31.3	1次系温水、飲料水系	32.2	補助蒸気系	51.5			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の消火水の放水における放水量は添付資料21「消火水の放水における放水量」に記載している。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載箇所の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の地震時の溢水量は前頁の「(3) 電気建屋における溢水量」に記載している。</p>
系統	溢水量 (m ³)																		
消火水系	97.5																		
化学体積制御系	47.3																		
廃棄物処理系	43.7																		
1次系補給水系	47.6																		
1次系洗浄水系	31.3																		
1次系温水、飲料水系	32.2																		
補助蒸気系	51.5																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p>表 3.5.1-1 廃棄物処理建屋の地震による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="206 210 568 368"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>117.7</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>164.3</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>1,841.0</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>1,875.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>溢水は、上層階から機器ハッチや階段を經由し、廃棄物処理建屋のE.L. +4.9m及び防護対象設備が設置されていない制御建屋のE.L. +7.0mに滞留する。</p>	E.L. + (m)	溢水量 (m ³)	26.0	117.7	17.5	164.3	10.0	1,841.0	4.9	1,875.3	<p>(4) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を經由し、最終的には最地下階である地下3階及び地下中3階に貯留される。原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図を添付資料31に示す。</p>	<p>(4) 電気建屋における溢水経路</p> <p>電気建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、開口部等を經由し、最終的には最地下階であるT.P. 2.3mに貯留される。電気建屋における溢水経路図を添付資料27に示す。</p> <p>(5) 原子炉補機冷却海水放水路</p> <p>電気建屋における没水水位の評価において、原子炉補機冷却海水系等の排水経路である原子炉補機冷却海水放水路は、基準地震動による地震力に対して通水機能を確保する設計とすることを考慮する。また、原子炉補機冷却海水放水路及び一次系放水ビットには津波を遡上させない方針とすることから、電気建屋内への津波流入は考慮しない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の電気建屋には床ハッチは設置されていないことから記載していない。 ・プラント設計の相違による。 <p>【大阪・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の電気建屋には、図10-1に示す通り地下部に一次系放水ビットを設置している。 ・一次系放水ビットへ流入した系統水は、通常時に補機放水路に排水する設計としており、地震時及び津波時において、補機放水路を溢水評価でどのように考慮するか記載している。
E.L. + (m)	溢水量 (m ³)												
26.0	117.7												
17.5	164.3												
10.0	1,841.0												
4.9	1,875.3												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p>機器（配管及び容器）から漏えいした溢水量がすべて流出したと仮定し、廃棄物処理建屋の各フロアの機器ハッチ及び階段堰から下層階へ流出することなく各フロアに滞留すると想定した場合の溢水水位を算出した結果、防護対象設備を設置している原子炉周辺建屋に溢水が伝播しないことを確認した。（表3.5.1-2）</p>	<p>(5) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価結果</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位は、地下3階エリアでは3.7m（満水）、地下中3階エリアでは1.6m となり、溢水経路上にある、原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表10-1に原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果を示す。</p>	<p>(6) 電気建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>電気建屋における没水水位は、最地下階であるT.P. 2.3mで5.5m となるが、電気建屋地下部に設置された一次系放水ビット隔壁にひび割れが生じ、ビット内包水が電気建屋内に漏水する可能性を考慮し、没水水位は保守的に原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端のT.P. 8.7mとする。溢水経路上にある、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、電気建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、電気建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表10-1に電気建屋における評価結果を示す。また、電気建屋の溢水概念図を図10-1に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊の電気建屋には、図10-1に示す通り地下部に一次系放水ビットが設置されているため、電気建屋との隔壁にひび割れが生じ、ビット内包水が電気建屋内に漏水する可能性を考慮している。没水水位は保守的に一次系放水ビット開口部の上端（図10-1参照）のT.P. 11.9mとし、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界にはT.P. 11.9mまで浸水防護措置を施している。</p>																																																								
<p>表 3.5.1-2 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>フロア滞留面積 (m²)</th> <th>溢水量 (m³) / 水位 (m)</th> <th>貯水可能量* (m³) / 堰高さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>1,115.4</td> <td>117.7 / 0.106</td> <td>278.8 / 0.25</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>930.5</td> <td>164.3 / 0.177</td> <td>279.1 / 0.30</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>-</td> <td>1,841.0 / -</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>-</td> <td>1,875.3 / -</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。 伝播経路なし。</p> <p>※ E.L. +26.0m、E.L. +17.5m までの貯水可能量は、原子炉周辺建屋との通路部に設置した堰高さにより算出</p>	E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)	26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25	17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30	10.0	-	1,841.0 / -	-	4.9	-	1,875.3 / -	-	<p>表10-1 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th colspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下3階エリア</td> <td></td> <td>0.P. -8.1m</td> <td>2,701</td> <td>730</td> <td>3.7(満水)</td> </tr> <tr> <td>地下中3階エリア</td> <td></td> <td>0.P. -3.3m</td> <td>856</td> <td>556</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>	区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)	①	②	地下3階エリア		0.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)	地下中3階エリア		0.P. -3.3m	856	556	1.6	<p>表10-1 電気建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">フロア</th> <th colspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">T.P. 2.3m</td> <td>307</td> <td>64 (T.P. 2.3m~T.P. 7.1m)</td> <td>4.8 (満水)</td> </tr> <tr> <td>423</td> <td>685 (T.P. 7.1m~T.P. 10.0m)</td> <td>5.5 (4.8+0.7)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.4^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 電気建屋地下部に設置された一次系放水ビットから電気建屋内へ漏水した場合を想定し、電気建屋内の溢水水位が一次系放水ビットと同じレベルまで上昇することを考慮。溢水水位は保守的に原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端のT.P. 8.7mとした。</p>	フロア	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)	①	②	T.P. 2.3m	307	64 (T.P. 2.3m~T.P. 7.1m)	4.8 (満水)	423	685 (T.P. 7.1m~T.P. 10.0m)	5.5 (4.8+0.7)	-	-	6.4 ^{※1}	<p>【大飯・女川】 設計方針の相違 ・評価結果の相違による。</p>
E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)																																																								
26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25																																																								
17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30																																																								
10.0	-	1,841.0 / -	-																																																								
4.9	-	1,875.3 / -	-																																																								
区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)																																																						
			①	②																																																							
地下3階エリア		0.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)																																																						
地下中3階エリア		0.P. -3.3m	856	556	1.6																																																						
フロア	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)																																																								
	①	②																																																									
T.P. 2.3m	307	64 (T.P. 2.3m~T.P. 7.1m)	4.8 (満水)																																																								
	423	685 (T.P. 7.1m~T.P. 10.0m)	5.5 (4.8+0.7)																																																								
	-	-	6.4 ^{※1}																																																								
		<p>図10-1 電気建屋の溢水概念図</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水水源の配置を明示するため、電気建屋の溢水概念図を示している。</p>																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
<p>3.6 廃棄物処理建屋の溢水影響評価のまとめ</p> <p>想定破損、地震及び放水による溢水量をフロアごとに評価し、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への溢水の流出がないことを確認した。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあっては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>（添付資料3） 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p>	<p>(6) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="707 1066 1243 1337"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))</td> <td>B3F</td> <td>2T-1 トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1F</td> <td>BW 制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア(大物搬入用)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH 熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))	B3F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1	1F	BW 制御室扉	水密扉	新設	1	1F 共通エリア	水密扉	新設	1	1F 共通エリア(大物搬入用)	水密扉	新設	1	HWH 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1	<p>※ 一次系放水ビット隔壁にひび割れが生じ、建屋内に漏えいする可能性を考慮し、電気建屋内の溢水水位は原子炉補機冷却海水放水路の流路開口上端の T.P. 8.7m とした。ここで、下記に示す各系の合計通水流量（合計：7,263 m³/h）を原子炉補機冷却海水放水路で排水した場合においても、水理計算によって求めた一次系放水ビット水位は T.P. 8.2m であり、原子炉補機冷却海水放水路が満水になることはないため、電気建屋の没水水位である T.P. 8.7m は保守的な設定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却海水系：6,800 m³/h（原子炉補機冷却海水ポンプの4台起動時） ・液体廃棄物処理系：30 m³/h（ポンプ定格流量） ・地下水排水系：25 m³/h（〃） ・飲料水系：18 m³/h（〃） ・水消火系：390 m³/h（〃） <p>図10-1 電気建屋の溢水概念図</p> <p>(7) 電気建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>電気建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 電気建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1290 1031 1850 1430"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 2.3m</td> <td>水密扉 No. 68 (A-G階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 85 (常用系インバーター室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 87 (A-F階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">TF. 17.8m</td> <td>水密扉 No. 142 (A-G階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>T.P. 4.35m</td> <td>水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17.8m</td> <td>水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No. 68 (A-G階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 85 (常用系インバーター室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 87 (A-F階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	TF. 17.8m	水密扉 No. 142 (A-G階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	原子炉建屋	T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 17.8m	水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	<p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水源の配置を明示するため、電気建屋の溢水概念図を示しており、その注釈を記載している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・泊の運転員のアクセス性については、補足説明資料11「運転員のアクセス性」に記載している。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																													
原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))	B3F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1																																																																													
	1F	BW 制御室扉	水密扉	新設	1																																																																													
		1F 共通エリア	水密扉	新設	1																																																																													
		1F 共通エリア(大物搬入用)	水密扉	新設	1																																																																													
		HWH 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																													
		T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1																																																																													
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																													
原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No. 68 (A-G階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	T.P. 10.3m	水密扉 No. 85 (常用系インバーター室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
		水密扉 No. 87 (A-F階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	TF. 17.8m	水密扉 No. 142 (A-G階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
		水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	原子炉建屋	T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																												
T.P. 10.3m		水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
T.P. 17.8m		水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する補助ボイラー建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、補助ボイラー建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 補助ボイラー建屋における溢水源 配管計装線図 (P&ID) を用いて、補助ボイラー建屋に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 補助ボイラー建屋における溢水量 補助ボイラー建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は、319m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 補助ボイラー建屋における溢水経路 補助ボイラー建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段を経由し、最終的には最地下階である地下1階及び地上1階に貯留される。補助ボイラー建屋における溢水経路図を添付資料32に示す。</p>	<p>11 出入管理建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する出入管理建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、出入管理建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 出入管理建屋における溢水源 系統図及び機器配置図を用いて、出入管理建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 出入管理建屋における溢水量 出入管理建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は1,070m³となった。</p> <p>a. 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 出入管理建屋における溢水経路 出入管理建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室を経由し、最終的には最地下階であるT.P. 6.3mに貯留される。出入管理建屋における溢水経路図を添付資料28に示す。</p>	<p>【女川】 建屋名称の相違 女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 評価結果の相違による。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 設計方針の相違 泊は運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。(補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明)</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
	<p>(5) 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>補助ボイラー建屋における没水水位は、地上1階エリアで0.3mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、補助ボイラー建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、補助ボイラー建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表11-1 に補助ボイラー建屋における評価結果を示す。</p> <p>表11-1 補助ボイラー建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="703 549 1265 708"> <thead> <tr> <th colspan="2">区画</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>基準床レベル</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地上1階エリア</td> <td>O.P. +15.0m</td> <td>57^{※1}</td> <td>237</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 地震に起因する機器の破損に伴う溢水量319m³から地下1階の貯留量262m³を除いた値</p>	区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	名称	基準床レベル	①	②	①/②	地上1階エリア	O.P. +15.0m	57 ^{※1}	237	0.3	<p>(5) 出入管理建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>出入管理建屋における没水水位は、T.P.6.3mで2.9m（満水）、T.P.10.3mで0.9mとなり、溢水経路上にある、原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、出入管理建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、出入管理建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表11-1 に出入管理建屋における評価結果を示す。また、出入管理建屋の溢水概念図を図11-1に示す。</p> <p>表11-1 出入管理建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1285 549 1848 683"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>溢水水位 (m)</th> </tr> <tr> <td></td> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>1070</td> <td>128</td> <td>2.9（満水）</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>690</td> <td>863</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図11-1 出入管理建屋の溢水概念図</p>	フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)		①	②	①/②	T.P.6.3m	1070	128	2.9（満水）	T.P.10.3m	690	863	0.9	<p>【女川】 建屋名称の相違 【女川】 設計方針の相違 評価結果の相違による。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水源の配置を明示するため、出入管理建屋の溢水伝搬概念図を示している。</p>
区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																														
名称	基準床レベル	①	②	①/②																														
地上1階エリア	O.P. +15.0m	57 ^{※1}	237	0.3																														
フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)																															
	①	②	①/②																															
T.P.6.3m	1070	128	2.9（満水）																															
T.P.10.3m	690	863	0.9																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
	<p>(6) 補助ボイラー建屋からの溢水影響を防止する対策内容 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2 に整理する。</p> <p>表11-2 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="696 384 1279 491"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対 象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御建屋</td> <td>1F</td> <td>補助ボイラー建屋連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対 象	種別	区分	箇所数	制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1	<p>(6) 出入管理建屋からの溢水影響を防止する対策内容 出入管理建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2に整理する。</p> <p>表11-2 出入管理建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1283 373 1865 644"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対 象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉補助建屋</td> <td>T. P. 6. 3m</td> <td>水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T. P. 10. 3m</td> <td>水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T. P. 10. 3m</td> <td>水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T. P. 17. 8m</td> <td>水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T. P. 21. 2m</td> <td>水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対 象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T. P. 6. 3m	水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T. P. 10. 3m	水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T. P. 10. 3m	水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T. P. 17. 8m	水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T. P. 21. 2m	水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	<p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p>
設置建屋	設置レベル	対 象	種別	区分	箇所数																																										
制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1																																										
設置建屋	設置レベル	対 象	種別	区分	箇所数																																										
原子炉補助建屋	T. P. 6. 3m	水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T. P. 10. 3m	水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T. P. 10. 3m	水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T. P. 17. 8m	水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T. P. 21. 2m	水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する1号炉制御建屋において溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している2号炉制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>(2) 評価の前提条件 a. 1号炉制御建屋における溢水量の評価、溢水経路の評価は実施せず、地下階はすべて水没することを想定した。 b. 地上部（グラントレベルより上）の各階における溢水量については、4mの水没を想定した。</p> <p>(3) 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 2号炉制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、1号炉制御建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずること、1号炉制御建屋からの溢水による影響がないことを確認した。 表12-1 に想定した各階における没水水位を示す。</p> <p>表12-1 1号炉制御建屋における没水水位の想定</p> <table border="1" data-bbox="741 917 1218 1106"> <thead> <tr> <th>階層</th> <th>設置床レベル (m)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3階</td> <td>0.P. +23.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>0.P. +19.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>0.P. +15.0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地下1階</td> <td>0.P. +10.5</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>地下2階</td> <td>0.P. +5.0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>地下3階</td> <td>0.P. +1.5</td> <td>17.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 1号炉制御建屋からの溢水影響を防止する対策内容 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表12-2に整理する。</p> <p>表12-2 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="719 1337 1261 1485"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2号炉制御建屋</td> <td>3F</td> <td>1号MCR 境界</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>1号C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>1号C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>1号C/B 連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)	3階	0.P. +23.5	4	2階	0.P. +19.5	4	1階	0.P. +15.0	4	地下1階	0.P. +10.5	8.5	地下2階	0.P. +5.0	14	地下3階	0.P. +1.5	17.5	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	2号炉制御建屋	3F	1号MCR 境界	水密扉	新設	1	2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1	1F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	2	B2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1		<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 泊には該当する建屋がない。</p>
階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)																																																	
3階	0.P. +23.5	4																																																	
2階	0.P. +19.5	4																																																	
1階	0.P. +15.0	4																																																	
地下1階	0.P. +10.5	8.5																																																	
地下2階	0.P. +5.0	14																																																	
地下3階	0.P. +1.5	17.5																																																	
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																														
2号炉制御建屋	3F	1号MCR 境界	水密扉	新設	1																																														
	2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1																																														
	1F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	2																																														
	B2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設	1																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.2 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>屋外タンク自体は防護対象設備ではないが、地震に起因する破損によって溢水源となりうる屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に流入しないことを確認する。</p> <p>なお、想定破損による溢水、放水による溢水については、地震起因による溢水に包絡される。</p> <p>5.2.1 溢水源の抽出</p> <p>発電所敷地内の溢水源となりうるすべての屋外タンクを、図5.2.1-1に示す。このうち、溢水影響のある溢水源について抽出する。地震起因による溢水源としたタンクの抽出フローを図5.2.1-2に示す。</p> <p>図5.2.1-1 溢水源となりうる屋外タンク</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>13 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋（廃棄物処理エリア（管理区域）を除く）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア及び軽油タンク（LOT）エリアに及ぼす影響を確認する。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>女川原子力発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図13-1に、タンク容量を表13-1に示す。</p> <p>なお、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるタンク（軽油タンク及び復水貯蔵タンク）は抽出対象から除外する。</p> <p>図13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>12 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に及ぼす影響を確認する。</p> <p>なお、原子炉補機冷却海水等の系統排水については、敷地に流出させない方針とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>泊発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図12-1に、タンク容量を表12-1に示す。</p> <p>図12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 記載方針の相違 泊では屋外タンク以外の溢水源を敷地に流出させない方針を明記している。（記載内容は要検討）</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では、A, B-2次系純水タンク、A, B-ろ過水タンク及び3A, 3B-ろ過水タンクの本体は耐震性が確保されているが、接続配管は耐震性が確保されていないことから、完全全周破断を想定したタンク保有水量の全量を溢水量として考慮している。</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉				相違理由		
表5.2.2-1 溢水の影響のあるタンク（区分D、区分E）							表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量（1/2）					表12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量				<p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違による。</p>		
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	No.	タンク名称	基数		容量 (m ³)	評価に用いる容量 (m ³)
2	1次系純水タンク	2号炉	1基	424	E	424	1	No.1 純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	1,000	1	A-2次系純水タンク	1		1,500	1,600
7	主復水タンク	2号炉	1基	1,150	E	1,150	2	No.2 純水タンク	1	0.P. +15.4	2,000	2,000	2	B-2次系純水タンク	1	1,500	1,600	
12	ヒドラジン原液タンク	2号炉	1基	12	E	12	3	1.2号ろ過水タンク	1	0.P. +15.1	2,000	2,000	3	3A-ろ過水タンク	1	1,500	1,600	
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100	4	再生純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	0 ※1	4	3B-ろ過水タンク	1	1,500	1,600	
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30	5	No.1 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.P. +15.3	2,000	0 ※1	5	A-ろ過水タンク	1	1,500	1,600	
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4	6	No.2 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.P. +15.3	1,000	0 ※1	6	B-ろ過水タンク	1	1,500	1,600	
28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	48	E	48	7	3号純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	1,000	7	1号及び2号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	600	450※	
29	構内排水B 次亜塩素酸 ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	36	E	36	8	3号ろ過水タンク	1	0.P. +15.1	2,000	2,000	8	3号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	735	410※	
30	構内排水B 塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	9,10	原水タンク	2	0.P. +70.04	4,000	8,000	9	1号炉 タービン油計量タンク	1	70	70	
31	構内排水B 苛性ソーダ 貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	11-1	1号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.P. +16.1	5.4	5.4	10	3号炉 タービン油計量タンク	1	110	0※	
32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	8.9	E	8.9	11-2	1号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.2	20	20	合計			10,530		
33	純水装置苛性ソーダ貯 槽	3号炉 4号炉	1基	41	E	41	12	1号第1圧調合槽	1	0.P. +15.0	2.2	2.2	※評価に用いる容量は、発電所の所則類に反映し、運用容量を超過しないように管理する なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である（別添2参照）。					
39	タービン建屋海水電解 装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5	13-1	2号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.0	32	0 ※1						
40	1、2 アニオン排水タン ク	1号炉 2号炉	1基	121	E	121	13-2	2号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.P. +16.6	7.5	0 ※1						
41	1、2 カチオン排水タン ク	1号炉 2号炉	2基	105	E	210	13-3	2号硫酸計量槽	1	0.P. +15.8	0.3	0 ※1						
溢水量合計							約 2,480	14	2号バック入り超圧調 合装置	1	0.P. +15.4	1	1					
								15	3号各種薬液貯蔵及び 移送系硫酸貯槽	1	0.P. +16.0	2.2	0 ※1					
								16	3号各種薬液貯蔵及び 移送系苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.0	10.5	0 ※1					
								17	3号超圧調合槽	1	0.P. +15.3	0.1	0.1					
								18-1	PAC貯槽	1	0.P. +15.3	2	2					
								18-2	硫酸貯槽	1	0.P. +17.3	3.9	3.9					
								18-3	苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +15.7	7	7					
								18-4	H槽再生用硫酸貯槽	1	0.P. +16.8	0.3	0.3					
								19	1,2号給排水建屋	1	0.P. +14.8	375.21	375.21					
								20	3号給排水建屋	1	0.P. +14.8	404.88	404.88					
								21-1	高濃水槽（給湯系統）	1	0.P. +33.3	6	6					
								21-2	高濃水槽（給水系統）	1	0.P. +33.3	8	8					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																							
<p>【区分の考え方】</p> <p>(1) 溢水影響がないもの</p> <p>①地震による溢水源としないタンク(区分A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保するもの又は耐震対策工事により、耐震性を確保するもの。 <p>②地震により破損するが、評価対象外とするタンク(区分B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏えいの際に気化又は固化する物質を内包しているタンク ・地形等を踏まえ防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播しないタンク <p>③空運用を行うタンク(区分C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの運用にて空としているタンク ・溢水影響を防止するために、空運用を行うタンク <p>(2) 溢水影響を評価するもの</p> <p>④4号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分D)</p> <p>⑤3号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分E)</p> <p>⑥タービン建屋に溢水が伝播するタンク(区分D及び区分E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水は、タービン建屋に流入する。タービン建屋に流入するタンクは、④⑤項の区分D及び区分Eである。 	<p>表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク容量(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>設置高さ(m)</th> <th>容量(m³)</th> <th>評価に用いる容量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>22-1</td><td>No.1 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>22-2</td><td>No.2 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>23-1</td><td>上水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>9.2</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>23-2</td><td>雑用水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>13.7</td><td>13.7</td></tr> <tr><td>24-1</td><td>高架水槽(飲料用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>1.2</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>24-2</td><td>高架水槽(雑用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>24-3</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.01</td><td>1.01</td></tr> <tr><td>24-4</td><td>氷蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-5</td><td>氷蓄熱槽(PAI-4)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-6</td><td>高架水槽(飲料水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>24-7</td><td>高架水槽(雑用水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>2.2</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>24-8</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-9</td><td>氷蓄熱槽(PAI-2)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-10</td><td>氷蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>25</td><td>主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽</td><td>2</td><td>O.P. +15.613</td><td>3.4</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>26</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +14.95</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>27</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +15.3</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>28-1</td><td>上水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>37</td><td>37</td></tr> <tr><td>28-2</td><td>雑用水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>55</td><td>55</td></tr> <tr><td>28-3</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>29</td><td>燃料小出槽</td><td>1</td><td>O.P. +58.592</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>30</td><td>給水タンク</td><td>1</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>31</td><td>配水池</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>300</td><td>300</td></tr> <tr><td>32-1</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>32-2</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>33</td><td>消火水タンク</td><td>1</td><td>O.P. +14.8</td><td>230</td><td>230</td></tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計容量(m³)</td> <td>17,540</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 評価に用いる容量は、発電所の所別値に反映し、運用容量を超過しないように管理する。なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p>	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2	23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7	24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2	24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0	24-3	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01	24-4	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-5	氷蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5	24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2	24-8	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-9	氷蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-10	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8	26	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49	27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6	28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37	28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55	28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5	29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95	30	給水タンク	1	-	2	2	31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300	32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6	32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4	33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230	合計容量(m ³)				17,540		<p>【大阪・女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大阪は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。
	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)																																																																																																																																																																				
22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																					
22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																					
23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2																																																																																																																																																																					
23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7																																																																																																																																																																					
24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2																																																																																																																																																																					
24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0																																																																																																																																																																					
24-3	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01																																																																																																																																																																					
24-4	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-5	氷蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5																																																																																																																																																																					
24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2																																																																																																																																																																					
24-8	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-9	氷蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-10	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8																																																																																																																																																																					
26	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6																																																																																																																																																																					
28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37																																																																																																																																																																					
28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55																																																																																																																																																																					
28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5																																																																																																																																																																					
29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95																																																																																																																																																																					
30	給水タンク	1	-	2	2																																																																																																																																																																					
31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300																																																																																																																																																																					
32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6																																																																																																																																																																					
32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4																																																																																																																																																																					
33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230																																																																																																																																																																					
合計容量(m ³)				17,540																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 5.2.1-2 屋外タンクの抽出フロー</p>			<p>【大飯】 設計方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。</p>
		<p>(3) 評価の前提条件</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
<p>5.2.2 溢水影響評価</p> <p>溢水の影響のあるタンクとして抽出した区分D、区分Eのタンクから地震起因により発生した溢水は、屋外トレンチを経由してタービン建屋に流入するもの又は直接タービン建屋に流入するものである。そのタンクの容量を表5.2.2-1に示す。</p> <p>なお、区分Dのタンクはすべて3号側へ伝播することから、区分Eにも分類される。よって、区分Eの合計がタービン建屋に伝播する溢水量(2,480m³)である。</p> <p>タービン建屋に伝播する溢水は、「5.1タービン建屋からの溢水影響評価」において評価を実施している。</p> <p>さらに、タービン建屋に流入しない想定とした評価の場合、3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水の評価する。</p> <p>敷地は、中央道路から海へ向かって勾配があり排水される設計であるが、保守的に一時的に滞留するものとする。3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水量は、区分Eより溢水量合計2,480m³であり表5.2.2-2に示すとおり、溢水水位はE.L. + 10.5mとなるが、防護対象設備が設置されている建屋は、E.L. + 11.4mまでの流入防止対策(水密扉の設置)を実施しており、溢水は流入しない。</p>	<p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p> <p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源(1000m³以上の大型タンク)については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、制御建屋、海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリアに影響を及ぼさないことを確認した。</p> <p>なお、軽油タンクエリアについては、軽油タンクの地下化工事に伴い、水密構造とすることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表13-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p>	<p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p> <p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源(1,000m³以上の大型タンク)については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に影響を及ぼさないことを確認した。なお、原子炉建屋及び原子炉補助建屋には、屋外に接する開口は無いことから、それぞれ隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口高さが最大浸水深を上回ることを確認した。</p> <p>A1、A2-燃料油貯油槽タンク室及びB1、B2-燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されているディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表12-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は屋外タンクの保有水がタービン建屋に流入するようke円として評価していることを補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・泊の原子炉建屋、原子炉補助建屋には、屋外から直接出入するための出入口は無いため、隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口を水位測定箇所として評価を実施している。 ・泊の燃料油貯油槽タンク室は、女川の軽油タンクエリアのような水密構造では無いが、仮に室内に溢水が流出した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p> <p>【女川・大飯】 設計方針の相違 評価結果の相違による。</p>																																														
<p>表 5.2.2-2 3号原子炉周辺建屋周りの溢水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積</th> <th>溢水量合計</th> <th>溢水水位</th> <th>防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,300m²</td> <td>2,480m³</td> <td>E.L. + 10.5m[※]</td> <td>E.L. + 11.4m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水水位 E.L. + 10.5m = E.L. + 9.7m + 約 0.8m (= 2,480m³ / 3,300 m²)</p>	3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価	3,300m ²	2,480m ³	E.L. + 10.5m [※]	E.L. + 11.4m	○	<p>表13-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>敷地面積 (m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1} (m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> <td rowspan="4">17,540</td> <td rowspan="4">115,000</td> <td rowspan="4">0.16</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>0.20^{※2} (0.60^{※3})</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>0.20^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋外壁扉の下端レベルから敷地レベル0.P. +14.8mを引いた値 ※2 海水ポンプ室ピット上端から敷地レベル0.P. +14.8mを引いた値 ※3 海水ポンプ室浸水防止壁上端から敷地レベル0.P. +14.8mを引いた値 ※4 敷地レベル0.P. +14.8mからの浸水深</p>		カーブ高さ (m)	溢水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○	制御建屋	0.33 ^{※1}	海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})	復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}	<p>表12-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>敷地面積 (m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1} (m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋 (タービン建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td rowspan="4">10,530</td> <td rowspan="4">116,900</td> <td rowspan="4">0.10</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベルT.P. 10.0mを引いた値 ※2 敷地レベルT.P. 10.0mからの浸水深</p>	建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,900	0.10	○	ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}	原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}	循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}	
3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価																																													
3,300m ²	2,480m ³	E.L. + 10.5m [※]	E.L. + 11.4m	○																																													
	カーブ高さ (m)	溢水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																												
原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○																																												
制御建屋	0.33 ^{※1}																																																
海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})																																																
復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}																																																
建屋	建屋開口高さ (m)	溢水量 (m ³)	敷地面積 (m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																												
原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,900	0.10	○																																												
ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}																																																
原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}																																																
循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>5.2.3 鯨谷タンクエリアについて</p> <p>原子炉施設西方の鯨谷タンクエリア（約E.L.+80.0m）に設置されているタンク群については、各タンクの水位を下げて運用する。その諸元を表1に示す。</p> <p>また地震時については、淡水タンク下部及び飲料水タンク下部に接続されている配管すべてが地震により破損すると仮定し、評価した。</p> <p>淡水タンクから生じた溢水は、鯨谷タンクエリア内に設置する立坑及び排水トンネルを通じて構外へ排水することから原子炉施設側へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表 5.2.3-1 鯨谷タンクエリアに設置されている屋外タンク</p> <table border="1" data-bbox="152 582 672 774"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>No.1淡水タンク</th> <th>No.2,3淡水タンク</th> <th>2次系純水タンク</th> <th>C-2次系純水タンク</th> <th>飲料水タンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユニット</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>3、4号炉</td> <td>1、2号炉</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>1基</td> <td>2基</td> <td>2基</td> <td>1基</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>設置高さ(m)</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> </tr> <tr> <td>容量(m³)</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>3,000</td> <td>7,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>内径(mm)</td> <td>34,870</td> <td>34,870</td> <td>19,380</td> <td>29,050</td> <td>9,670</td> </tr> <tr> <td>高さ(mm) (鋼板高さ)</td> <td>12,180</td> <td>12,180</td> <td>10,660</td> <td>12,180</td> <td>7,620</td> </tr> <tr> <td>運用水位[※] (mm) [容量]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>8,380 [8,000m³]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>680 [50m³]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※運用水位については、発電所の所則類に反映し、運用水位を超過しないように管理する。</p> <p>5.2.4 まとめ</p> <p>屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に溢水が流入しないことを確認した。</p> <p>なお、万一これらタンクの溢水が防護対象設備が設置されている建屋に到達したとしても流入防止対策（水密性を有する貫通部のシール充てん、水密扉の設置）を実施しており、溢水は流入しない。</p> <p>（添付資料5.2）屋外タンクからの溢水影響評価</p>	タンク名称	No.1淡水タンク	No.2,3淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク	ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉	基数	1基	2基	2基	1基	1基	設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5	容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500	内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670	高さ(mm) (鋼板高さ)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620	運用水位 [※] (mm) [容量]	0 [0m ³]	8,380 [8,000m ³]	0 [0m ³]	0 [0m ³]	680 [50m ³]			<p>【大飯】 設計方針の相違 鯨谷タンクエリアは大飯固有の評価エリアである。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
タンク名称	No.1淡水タンク	No.2,3淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク																																														
ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉																																														
基数	1基	2基	2基	1基	1基																																														
設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5																																														
容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500																																														
内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670																																														
高さ(mm) (鋼板高さ)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620																																														
運用水位 [※] (mm) [容量]	0 [0m ³]	8,380 [8,000m ³]	0 [0m ³]	0 [0m ³]	680 [50m ³]																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.3 湧水サンプからの溢水影響評価</p> <p>原子炉周辺建屋周辺の地下水は、導水管により原子炉周辺建屋内の湧水サンプに集められる。湧水サンプには、耐震性を有する2台のポンプを設置しており、海水管を経由して海へ排水することが可能である。</p> <p>なお、湧水サンプ室は非常に剛性の高い基礎盤の一部であり、基準地震動Ssに対しても湧水サンプ室を構成する壁は弾性範囲にある。</p> <p>また、安全上重要な機器が設置されている原子炉周辺建屋壁においても、グラウンドレベル以下についても湧水サンプと同様に弾性範囲にあることから、湧水が浸水することはない。</p> <p>（添付資料5.3）湧水サンプからの溢水影響評価</p>	<p>14 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される。（図14-1参照）</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下のサブドレンにより建屋周辺の集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプ（揚水井戸1箇所）により縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプにより縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <div data-bbox="719 743 1263 986" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水位低下設備の概要を示しています。建屋の基礎底面にはサブドレンが設置されており、そこから集水管へと水が流れます。集水管の末端には揚水井戸があり、そこから揚水ポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、揚水井戸から排水されます。</p> </div> <p>図14-1 地下水位低下設備の概要</p>	<p>13 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される（図13-1、図13-2参照）。</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管及びサブドレンに集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプ（湧水ビット1箇所）により排水配管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管のうち、外郭に設置された集水管に集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水配管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <div data-bbox="1294 746 1839 991" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水排水設備の概要を示しています。建屋の基礎底面には集水管とサブドレンが設置されており、そこから湧水ビットへと水が流れます。湧水ビットには湧水ビットポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、外郭に設置された集水管に集水し、湧水ビットから排水されます。</p> </div> <div data-bbox="1301 1066 1854 1358" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水排水設備の配置を示しています。建屋の基礎底面には集水管、サブドレン、湧水ビット、湧水ビットポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、外郭に設置された集水管に集水し、湧水ビットから排水されます。</p> </div> <p>図13-1 地下水排水設備の概要</p> <p>図13-2 地下水排水設備の配置</p>	<p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>・泊は地下水排水設備の配置図も示す。</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>泊の地下水排水設備と女川の地下水位低下設備は、共に基礎底面から集水した地下水をポンプにより排水する設計である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 揚水ポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>以下に示す理由により、揚水ポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、更に防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、制御建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p>	<p>(2) 湧水ビットポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>地下水排水設備については、想定される事象等を考慮し、信頼性向上対策を施すことで、供用期間のすべての状態において機能喪失しない設計とするものの、仮に湧水ビットポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、以下に示す理由により、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、さらに防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p> <p>c. 原子炉補助建屋と湧水ビットの境界（湧水ビットポンプ設置床）に対しては、溢水防護措置（ドレンライン逆止弁の設置等）を講ずることにより、湧水ビットから原子炉補助建屋内に地下水が伝播しないよう配慮している。</p> <p>d. A1、A2—燃料油貯油槽タンク室及びB1、B2—燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されているディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、地下水の流入による溢水影響がないと評価した。</p> <p>e. 安全上重要な機器が設置されている循環水ポンプ建屋のうち取水ビットポンプ室の側壁については、止水機能が要求される構造部材として、「水道施設耐震工法指針・解説2009」に規定されている照査基準のとおり、漏水が生じるような顕著な（部材を貫通するような）ひび割れが発生しないよう、目標性能としては鉄筋が降伏しないこと及び発生せん断力がせん断耐力以下になることを確認している。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設備名称の相違</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は地下水排水設備を供用期間のすべての状態において機能喪失しない設計とすることを記載している。（女川の地下水位低下設備も機能喪失しない設計であることは泊と同様）</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>建屋名称の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は溢水防護対象設備を内包する原子炉補助建屋の最下階に湧水ビットが設置されており、湧水ビット上部の湧水ビットポンプ設置床を介した建屋内への地下水の流入を防止する設計としている。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊の燃料油貯油槽タンク室は静的機器である防護対象設備のみを内包しており、仮に室内に地下水が流入した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊の原子炉補助機冷却海水ポンプが設置される取水ビットポンプ室は、日本コンクリート学会の指針に則り、残留ひび割れの評価を行い、評価基準値を満足することを確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>なお、地下水位低下設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止</p> <p>管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表15-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料33に示す。</p> <p>なお、使用済燃料プール、原子炉ウエル及びFDSピットのスロッシングによる溢水を考慮しても、発生する溢水量は区画番号：R-3F-1において考慮している最大溢水量（原子炉補機冷却水系の想定破損による溢水量：265m³）以下であり、想定破損による溢水影響評価に基づき、原子炉建屋原子炉棟の溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p>	<p>14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止</p> <p>管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表14-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料29に示す。</p> <p>なお、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水も考慮し、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体の最大溢水量（地震起因による溢水量：56m³）を想定し、原子炉建屋及び原子炉補助建屋の溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は地下水排水設備を供用期間の全ての状態において機能喪失しない設計とすることを(2)項の冒頭で記載している。(女川の地下水位低下設備も機能喪失しない設計であることは泊と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>対策設備の相違による。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備名称の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>評価結果の相違により、溢水量が最大となる事象が女川は想定破損、泊は地震起因による溢水となっている。</p> <p>建屋名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																											
<p>6 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p> <p>（添付資料6）経年劣化事象の検討</p> <p>7 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	<p>表15-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="719 245 1254 571"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>1F</td> <td>R/B大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉棟</td> <td></td> <td>R/B大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟</td> <td>1F</td> <td>HWH熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））</td> <td>1F</td> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1F共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1F共通エリア大物搬入用</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>RW制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>1F</td> <td>入退城エリア【管理区域ヘルメット置場】</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補助ボイラー建屋連絡階段</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1	原子炉棟		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	原子炉建屋付属棟	1F	HWH熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	1F	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1			1F共通エリア	水密扉	新設	1			1F共通エリア大物搬入用	水密扉	新設	1			RW制御室扉	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	入退城エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1			補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1	<p>表14-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1292 245 1850 639"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.1m（区画境界②）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.1m（区画境界③）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.1m（区画境界④）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">原子炉補助建屋</td> <td>T.P.2.8m</td> <td>止水板2.8-A</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>止水板6.3-A</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>止水板6.3-B</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>管理区域出入り口堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>10.3m（A-D階段前機器ハッチ廻り）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m（区画境界）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m（区画境界⑦）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m（区画境界⑧）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>15 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p> <p>16 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	T.P.33.1m	33.1m（区画境界②）堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.1m（区画境界③）堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.1m（区画境界④）堰	堰	既設	1	原子炉補助建屋	T.P.2.8m	止水板2.8-A	止水板	新設	1	T.P.6.3m	止水板6.3-A	止水板	新設	1	T.P.6.3m	止水板6.3-B	止水板	新設	1	T.P.10.3m	管理区域出入り口堰	堰	既設	1	T.P.10.3m	10.3m（A-D階段前機器ハッチ廻り）堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m（区画境界）堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m（区画境界⑦）堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m（区画境界⑧）堰	堰	既設	1	<p>設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大飯と同様に経年劣化事象について記載している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大飯と同様に評価の判定について記載している。</p>
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																																																									
原子炉建屋	1F	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																									
原子炉棟		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟	1F	HWH熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	1F	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																									
		1F共通エリア	水密扉	新設	1																																																																																																																									
		1F共通エリア大物搬入用	水密扉	新設	1																																																																																																																									
		RW制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																																																									
制御建屋	1F	入退城エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1																																																																																																																									
		補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1																																																																																																																									
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																																																									
原子炉建屋	T.P.33.1m	33.1m（区画境界②）堰	堰	既設	1																																																																																																																									
	T.P.33.1m	33.1m（区画境界③）堰	堰	既設	1																																																																																																																									
	T.P.33.1m	33.1m（区画境界④）堰	堰	既設	1																																																																																																																									
原子炉補助建屋	T.P.2.8m	止水板2.8-A	止水板	新設	1																																																																																																																									
	T.P.6.3m	止水板6.3-A	止水板	新設	1																																																																																																																									
	T.P.6.3m	止水板6.3-B	止水板	新設	1																																																																																																																									
	T.P.10.3m	管理区域出入り口堰	堰	既設	1																																																																																																																									
	T.P.10.3m	10.3m（A-D階段前機器ハッチ廻り）堰	堰	既設	1																																																																																																																									
	T.P.33.1m	33.5m（区画境界）堰	堰	既設	1																																																																																																																									
	T.P.33.1m	33.5m（区画境界⑦）堰	堰	既設	1																																																																																																																									
	T.P.33.1m	33.5m（区画境界⑧）堰	堰	既設	1																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料1	泊発電所3号炉 添付資料1	相違理由																																
	<p>表1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源</p> <table border="1" data-bbox="770 256 1178 1449"> <thead> <tr> <th data-bbox="770 1321 943 1449"></th> <th data-bbox="770 963 943 1316">想定破損</th> <th data-bbox="770 606 943 959">消火水の放水</th> <th data-bbox="770 256 943 601">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="949 1321 1077 1449">没水</td> <td data-bbox="949 963 1077 1316">▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td data-bbox="949 606 1077 959">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="949 256 1077 601">▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1084 1321 1178 1449">被水</td> <td data-bbox="1084 963 1178 1316">▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td data-bbox="1084 606 1178 959">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1084 256 1178 601">▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1184 1321 1279 1449">蒸気</td> <td data-bbox="1184 963 1279 1316">▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統</td> <td data-bbox="1184 606 1279 959">/</td> <td data-bbox="1184 256 1279 601">▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 油系統も考慮する。</p>		想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング	被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング	蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統	/	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統	<p>表1 発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源</p> <table border="1" data-bbox="1301 256 1722 1422"> <thead> <tr> <th data-bbox="1301 1321 1473 1422"></th> <th data-bbox="1301 948 1473 1316">想定破損</th> <th data-bbox="1301 628 1473 943">消火水の放水</th> <th data-bbox="1301 256 1473 624">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1480 1321 1525 1422">没水</td> <td data-bbox="1480 948 1525 1316">▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1</td> <td data-bbox="1480 628 1525 943">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1480 256 1525 624">▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1532 1321 1615 1422">被水</td> <td data-bbox="1532 948 1615 1316">▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1</td> <td data-bbox="1532 628 1615 943">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1532 256 1615 624">▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 1321 1722 1422">蒸気</td> <td data-bbox="1621 948 1722 1316">▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※3</td> <td data-bbox="1621 628 1722 943">/</td> <td data-bbox="1621 256 1722 624">▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 油系統も考慮する。 ※2 呼び径25A (1B) を超える配管であって、運転温度が95℃を超えるか、又は、運転圧力が1.9MPaを超える配管 ただし、蒸気の影響については配管後に関係なく評価する ※3 蒸気評価の対象となる溢水源の考え方は没水・被水評価と同じであるが、蒸気を内包する配管として高エネルギー配管を対象とする</p>		想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング	被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング	蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※3	/	▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※3	<p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違 【女川】 記載方針の相違 泊は、溢水影響評価ガイドの記載を踏まえた蒸気影響評価における高エネルギー配管の取扱いについて、注記に記載している。 【大飯】 記載方針の相違 女川審査表稿の反映</p>
	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																																
没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング																																
被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング																																
蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統	/	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統																																
	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																																
没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング																																
被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング																																
蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※3	/	▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※3																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>添付資料 1.1</p> <p>溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>原子炉周辺建屋、制御建屋における溢水源となりうる機器は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="156 502 645 1204"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>機器名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">3号炉 原子炉 周辺建屋</td><td rowspan="2">E.L. +42.0m</td><td>3号原子炉機械冷却水サージタンク</td></tr> <tr><td>配管</td></tr> <tr><td rowspan="2">E.L. +39.0m</td><td>3号樹脂タンク</td></tr> <tr><td>配管</td></tr> <tr><td rowspan="2">E.L. +33.6m</td><td>3号使用済燃料ピット</td></tr> <tr><td>配管</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L. +26.0m</td><td>3号冷却材循環式脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材隔イオン脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材脱塩塔入口フィルタ</td></tr> <tr><td>3号冷却材フィルタ</td></tr> <tr><td>3号封水注入フィルタ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピット脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットフィルタ</td></tr> <tr><td>3号ブローダウンタンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号復水ピット</td></tr> <tr><td rowspan="2">E.L. +18.5m</td><td>3号燃料取替用水ピット</td></tr> <tr><td>配管</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L. +17.1m</td><td>3号封水冷却器</td></tr> <tr><td>3号体積制御タンク</td></tr> <tr><td>3号1次系薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号ほう酸補給タンク</td></tr> <tr><td>3号非再生冷却器</td></tr> <tr><td>3号試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号ブローダウン試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号安全補機室冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号ほう酸除去薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号pH調整剤タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料取替用水ポンプ</td></tr> <tr><td rowspan="15">E.L. +10.0m</td><td>配管</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピット冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸タンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器スプレイ冷却器</td></tr> <tr><td>3号全熱除去冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸フィルタ</td></tr> <tr><td>3号シリンダ冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水冷却器</td></tr> <tr><td>3号清水加熱器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットポンプ</td></tr> <tr><td>3号電動補助給水ポンプ</td></tr> <tr><td>3号復水循環ポンプ</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水ポンプ</td></tr> <tr><td>配管</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	機器名称	3号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +42.0m	3号原子炉機械冷却水サージタンク	配管	E.L. +39.0m	3号樹脂タンク	配管	E.L. +33.6m	3号使用済燃料ピット	配管	E.L. +26.0m	3号冷却材循環式脱塩塔	3号冷却材隔イオン脱塩塔	3号冷却材脱塩塔入口フィルタ	3号冷却材フィルタ	3号封水注入フィルタ	3号使用済燃料ピット脱塩塔	3号使用済燃料ピットフィルタ	3号ブローダウンタンク	3号格納容器冷却ユニット	3号復水ピット	E.L. +18.5m	3号燃料取替用水ピット	配管	E.L. +17.1m	3号封水冷却器	3号体積制御タンク	3号1次系薬品タンク	3号ほう酸補給タンク	3号非再生冷却器	3号試料冷却器	3号ブローダウン試料冷却器	3号安全補機室冷却ユニット	3号ほう酸除去薬品タンク	3号pH調整剤タンク	3号燃料取替用水ポンプ	E.L. +10.0m	配管	3号使用済燃料ピット冷却器	3号ほう酸タンク	3号格納容器スプレイ冷却器	3号全熱除去冷却器	3号ほう酸フィルタ	3号シリンダ冷却水タンク	3号燃料非冷却水タンク	3号燃料非冷却水冷却器	3号清水加熱器	3号ほう酸ポンプ	3号ほう酸ポンプ	3号使用済燃料ピットポンプ	3号電動補助給水ポンプ	3号復水循環ポンプ	3号燃料非冷却水ポンプ	配管	<p>添付資料 2</p> <p>溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア、軽油タンクエリア、タービン建屋及び補助ボイラー建屋に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1~5に示す。</p> <p>表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋) (1/5)</p> <table border="1" data-bbox="698 518 1270 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="25">原子炉棟</td><td rowspan="25">B3F</td><td>内</td><td>RCICバロオトリップコンデンサ</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>RCIC真空タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>RCIC潤滑油冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>循環ポンプモータ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>循環ポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWポンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/A LCW サンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>F100Wポンプ軸受冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>BBR(A)室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>RCICポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>F100Wポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW非再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>HPCSポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CRDサクションフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>CRDポンプ室空調機</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>PLRポンプシールバージ系ろ過器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">B1F</td><td>内</td><td>CRDスクラム排出容器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>DC-MEC 2A 室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWブリーコートタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>MB1F</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">1F</td><td>内</td><td>残留熱除去系熱交換器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWろ過脱塩器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉棟	B3F	内	RCICバロオトリップコンデンサ	S	内	RCIC真空タンク	S	内	RCIC潤滑油冷却器	S	内	循環ポンプモータ軸受冷却器	S	内	循環ポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCSポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCSポンプ軸受冷却器	S	内	CUWポンプ冷却器	B	内	R/A LCW サンプ冷却器	B	内	F100Wポンプ軸受冷却器	B	内	BBR(A)室空調機	S	内	RCICポンプ室空調機	S	内	F100Wポンプ室空調機	S	内	配管	-	内	CUW再生熱交換器	B	内	CUW非再生熱交換器	B	内	LPCSポンプ室空調機	S	内	HPCSポンプ室空調機	S	内	CRDサクションフィルタ	B	内	制御棟駆動水フィルタ	B	内	CRDポンプ室空調機	B	内	制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー	B	内	PLRポンプシールバージ系ろ過器	B	内	配管	-	B1F	内	CRDスクラム排出容器	B	内	DC-MEC 2A 室空調機	S	内	CUWブリーコートタンク	B	内	配管	-	MB1F	内	配管	-	1F	内	残留熱除去系熱交換器	S	内	CUWろ過脱塩器	B	<p>添付資料 2</p> <p>溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋、タービン建屋、出入管理建屋及び電気建屋に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1~5に示す。</p> <p>表1 溢水源となりうる機器リスト (原子炉建屋)</p> <table border="1" data-bbox="1288 518 1859 1157"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P. 2. 3m</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>薬液混合タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="5">T.P. 10. 3m</td><td>内</td><td>ガス圧箱装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃ガス除塵装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピット冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピットポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系補給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">T.P. 17. 6m</td><td>外</td><td>燃料油サービスタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>非再生冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>サンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブローダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系純水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P. 24. 6m</td><td>内</td><td>格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>燃料取替用水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブローダウンサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 33. 1m</td><td>外</td><td>飲料水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P. 43. 6m</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却水サージタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水膨張タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉建屋	T.P. 2. 3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S	外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S	外	薬液混合タンク	C	外	空調用冷凍機	C	外	空調用冷水ポンプ	C	外	配管	-	T.P. 10. 3m	内	ガス圧箱装置	B	内	廃ガス除塵装置	B	内	使用済燃料ピット冷却器	B	内	使用済燃料ピットポンプ	B	内	1次系補給水ポンプ	C	内	配管	-	T.P. 17. 6m	外	燃料油サービスタンク	S	内	非再生冷却器	B	内	サンプル冷却器	C	内	ブローダウンタンク	C	内	1次系純水タンク	C	内・外	配管	-	T.P. 24. 6m	内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C	内	燃料取替用水加熱器	B	内	ブローダウンサンプル冷却器	C	内	配管	-	T.P. 33. 1m	外	飲料水タンク	C	外	配管	-	T.P. 43. 6m	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S	外	空調用冷水膨張タンク	C	外	配管	-	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 流体を内包する設備及びそれを内包する建屋の違いによる</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内容する設備の違いによる</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
建屋	フロア	機器名称																																																																																																																																																																																																																																																																								
3号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +42.0m	3号原子炉機械冷却水サージタンク																																																																																																																																																																																																																																																																								
		配管																																																																																																																																																																																																																																																																								
	E.L. +39.0m	3号樹脂タンク																																																																																																																																																																																																																																																																								
		配管																																																																																																																																																																																																																																																																								
	E.L. +33.6m	3号使用済燃料ピット																																																																																																																																																																																																																																																																								
		配管																																																																																																																																																																																																																																																																								
	E.L. +26.0m	3号冷却材循環式脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号冷却材隔イオン脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号冷却材脱塩塔入口フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号冷却材フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号封水注入フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号使用済燃料ピット脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号使用済燃料ピットフィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号ブローダウンタンク																																																																																																																																																																																																																																																																								
		3号格納容器冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																								
3号復水ピット																																																																																																																																																																																																																																																																										
E.L. +18.5m	3号燃料取替用水ピット																																																																																																																																																																																																																																																																									
	配管																																																																																																																																																																																																																																																																									
E.L. +17.1m	3号封水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号体積制御タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号1次系薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ほう酸補給タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号非再生冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ブローダウン試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号安全補機室冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ほう酸除去薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号pH調整剤タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
3号燃料取替用水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																										
E.L. +10.0m	配管																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号使用済燃料ピット冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ほう酸タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号格納容器スプレイ冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号全熱除去冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ほう酸フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号シリンダ冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号燃料非冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号燃料非冷却水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号清水加熱器																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号使用済燃料ピットポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号電動補助給水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3号復水循環ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																									
3号燃料非冷却水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																										
配管																																																																																																																																																																																																																																																																										
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																																						
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																																								
原子炉棟	B3F	内	RCICバロオトリップコンデンサ	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	RCIC真空タンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	RCIC潤滑油冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	循環ポンプモータ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	循環ポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	LPCSポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	LPCSポンプ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	CUWポンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	R/A LCW サンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	F100Wポンプ軸受冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	BBR(A)室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	RCICポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	F100Wポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	CUW再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	CUW非再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	LPCSポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	HPCSポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	CRDサクションフィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	制御棟駆動水フィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	CRDポンプ室空調機	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	PLRポンプシールバージ系ろ過器	B																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																						
		B1F	内	CRDスクラム排出容器	B																																																																																																																																																																																																																																																																					
内	DC-MEC 2A 室空調機		S																																																																																																																																																																																																																																																																							
内	CUWブリーコートタンク	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								
MB1F	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																							
1F	内	残留熱除去系熱交換器	S																																																																																																																																																																																																																																																																							
	内	CUWろ過脱塩器	B																																																																																																																																																																																																																																																																							
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																																						
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																																								
原子炉建屋	T.P. 2. 3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外	薬液混合タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外	空調用冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外	空調用冷水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																						
		T.P. 10. 3m	内	ガス圧箱装置	B																																																																																																																																																																																																																																																																					
			内	廃ガス除塵装置	B																																																																																																																																																																																																																																																																					
			内	使用済燃料ピット冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																					
			内	使用済燃料ピットポンプ	B																																																																																																																																																																																																																																																																					
内	1次系補給水ポンプ		C																																																																																																																																																																																																																																																																							
内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.P. 17. 6m	外	燃料油サービスタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																							
	内	非再生冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																							
	内	サンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																							
	内	ブローダウンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																							
内	1次系純水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
内・外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.P. 24. 6m	内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																							
	内	燃料取替用水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																							
	内	ブローダウンサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																							
内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.P. 33. 1m	外	飲料水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																							
	外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																							
T.P. 43. 6m	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																							
	外	空調用冷水膨張タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																							
	外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由					
			表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(2/5)												
建屋	フロア	機器名称	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス			【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる					
			建屋	フロア							【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映				
3号炉 原子炉 周辺建屋	E. L. +3.5m	3号清水冷却器	原子炉棟	1F	内	燃料プール冷却浄化系熱交換器	B								
		3号潤滑油冷却器				R/A MS トンネル室空調機	B								
		3号全熱除去ポンプ				CRD 自動交換機制御室ファンコイルユニット	B								
		3号高圧注入ポンプ				ISI 及びPCV L/T 室ファンコイルユニット	B								
		3号格納容器スプレイポンプ				FPC ボンプ室空調機	S								
		3号タービン動補給水ポンプ				FPC フリコートタンク	B								
	4号炉 原子炉 周辺建屋	E. L. +42.0m				4号原子炉補機冷却水サージタンク	MEF	内	配管	-					
						4号樹脂タンク			配管	-					
		E. L. +39.0m				4号使用済燃料ピット			2F	内	ほう酸水注入系貯蔵タンク	S			
						4号配管					ほう酸水注入系テストタンク	C			
		E. L. +33.6m				4号冷却材置床式脱塩塔					内	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器	B		
						4号冷却材陽イオン脱塩塔						CAMS サンプリングラック除湿機・冷却器	S		
						4号冷却材脱塩塔入口フィルタ						CAMS 室空調機	S		
						4号冷却材フィルタ						SGTS 室空調機	S		
4号封水注入フィルタ			FCS 室空調機	S											
4号使用済燃料ピット脱塩塔			HPCW サージタンク	S											
4号使用済燃料ピットフィルタ			配管	-											
4号ブローダウンタンク			配管	-											
4号格納容器冷却ユニット			配管	-											
4号復水ピット			配管	-											
E. L. +18.5m	4号燃料取替用水ピット	3F	内	燃料交換機制御室空調機	C										
	4号配管			燃料交換機制御室給気加熱コイル	C										
E. L. +17.1m	4号封水冷却器			内	所内温水系サージタンク	C									
	4号体積制御タンク				RCW サージタンク	S									
	4号1次系薬品タンク				配管	-									
	4号ほう酸補給タンク				HPCW サージタンク	B									
	4号非再生冷却器				配管	-									
	4号試料冷却器				配管	-									
付属棟	B3F			4号ブローダウン試料冷却器	外	RCW 熱交換器	S								
				4号安全補機室冷却ユニット		RCW 防食剤添加タンク(A)	C								
				4号よう薬除去薬品タンク		RCW 防食剤添加タンク(B)	C								
				4号pH調整剤タンク		RCW ボンプ(A) 室空調機	S								
				4号燃料取替用水ポンプ		RCW ボンプ(B) 室空調機	S								
				配管		RSW ストレーナ	S								
			HPCW 防食剤添加タンク	C											
			HPCW 熱交換器	S											
			配管	-											
			外	PLR 電源装置室空調機		C									
			外	PLR-VVVF 冷却器		C									
			外	IA・SA 圧縮機室空調機		C									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由	
建屋	フロア	機器名称	表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(3/5)					設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス
			建屋	フロア	区分						
4号炉 原子炉 周辺建屋	E.L.+10.0m	4号使用済燃料ピット冷却器	付属棟	B2F	外	IA中間冷却器	C				
		4号ほう酸タンク				IA空気圧縮機		C			
4号格納容器スプレイ冷却器		IA後部冷却器				C					
4号全熱除去冷却器		SA空気圧縮機				C					
4号ほう酸フィルター		SA中間冷却器				C					
4号シリンダ冷却水タンク		SA後部冷却器				C					
4号燃料弁冷却水タンク		配管				-					
4号燃料弁冷却水冷却器		外				DG潤滑油冷却器		S			
4号清水加熱器		外				DG潤滑油加熱器		S			
4号ほう酸ポンプ		外				DG清水冷却器		S			
4号ろてんポンプ		外				DG清水加熱器		S			
4号使用済燃料ピットポンプ		外				配管		-			
4号電動補助給水ポンプ		外				DG機関付空気冷却器(R側)		S			
4号温水循環ポンプ		外				DG機関付空気冷却器(L側)		S			
4号燃料弁冷却水ポンプ	外	HPCSDG 機関付空気冷却器	S								
配管	外	DG清水膨張タンク	S								
E.L.+3.5m	4号清水冷却器	外	DG潤滑油サンプタンク	S							
	4号潤滑油冷却器	外	DG燃料油ドレンタンク	C							
	4号全熱除去ポンプ	外	DG機関付動弁注油タンク	S							
	4号高圧注入ポンプ	外	HPCSDG 潤滑油冷却器	S							
	4号格納容器スプレイポンプ	外	HPCSDG 潤滑油加熱器	S							
	4号タービン動補助給水ポンプ	外	HPCSDG 発電機軸受潤滑油冷却器	S							
	配管	外	HPCSDG 清水冷却器	S							
	4号空調用冷水膨張タンク	外	HPCSDG 清水加熱器	S							
	配管	外	HPCSDG 清水膨張タンク	S							
	4号空調用冷水膨張タンク	外	HPCSDG 潤滑油補給タンク	C							
	配管	外	HPCSDG 燃料油ドレンタンク	C							
	安全補機開閉器室空調ユニット	外	所内温水系防食剤添加タンク	C							
	3号中央制御室空調ユニット	外	所内温水系温水熱交換器	C							
	4号中央制御室空調ユニット	外	所内温水系バックアップ熱交換器	C							
放射線管理室冷却ユニット	外	配管	-								
出入管理室温水タンク	外	T/B 給気冷却加熱コイル	C								
出入管理室温水ポンプ	外	送風機室空調機	C								
配管	外	R/A 給気冷却加熱コイル	C								
3号空調用冷凍機	外	R/A 給気冷却加熱コイル	C								
4号空調用冷凍機	外	HECW 冷凍機	S								
3号空調用冷水ポンプ	外	HECW 防食剤添加タンク	S								
4号空調用冷水ポンプ	外	HECW サージタンク	S								
配管	外										
E.L.+40.5m	E.L.+38.6m	E.L.+26.1m	E.L.+10.0m	E.L.+7.0m	3号原子炉補機冷却水冷却器	外					
					4号原子炉補機冷却水冷却器	外					
					3号原子炉補機冷却水ポンプ	外					
					4号原子炉補機冷却水ポンプ	外					
					配管	外					
					配管	外					

【女川】
 記載表現の相違
 設計方針の相違
 流体を内包する設備の違いによる

【大飯】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(4/5)																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>区分</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">付属棟</td> <td rowspan="10">フロア</td> <td rowspan="10">外</td> <td>原子炉補機(A)室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A)室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>DG燃料デイトンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>HPCSDG燃料デイトンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="30">付属棟 (廃棄物 処理エリア)</td> <td rowspan="10">10F</td> <td rowspan="10">内</td> <td>HCW収集タンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW収集タンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW収集タンク(C)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(C)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>CONWシール水タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">103F</td> <td rowspan="10">内</td> <td>HCW調整タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCWサンプルタンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCWサンプルタンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>SD収集タンク(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>SD収集タンク(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>復水回収装置コンデンサ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>復水回収装置フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">102F</td> <td rowspan="10">内</td> <td>LCW収集槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCW収集槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCWサンプル槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCWサンプル槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>HCW蒸発濃縮装置加熱器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW蒸発濃縮装置加熱器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>								設置場所	管理区域	区分	機器名称	耐震クラス	付属棟	フロア	外	原子炉補機(A)室給気冷却コイル	S	原子炉補機(B)室給気冷却コイル	S	原子炉補機(A)室給気加熱コイル	C	原子炉補機(B)室給気加熱コイル	C	原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル	C	DG燃料デイトンク	S	HPCSDG燃料デイトンク	S	配管	-	配管	-	付属棟 (廃棄物 処理エリア)	10F	内	HCW収集タンク(A)	B	HCW収集タンク(B)	B	HCW収集タンク(C)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(A)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(B)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(C)	B	CONWシール水タンク	B	配管	-	103F	内	HCW調整タンク	B	HCWサンプルタンク(A)	B	HCWサンプルタンク(B)	B	SD収集タンク(A)	C	SD収集タンク(B)	C	浄化系沈降分離槽(A)	B	浄化系沈降分離槽(B)	B	使用済樹脂貯蔵槽(A)	B	使用済樹脂貯蔵槽(B)	B	復水回収装置コンデンサ	C	復水回収装置フラッシュタンク	C	102F	内	LCW収集槽(A)	B	LCW収集槽(B)	B	LCWサンプル槽(A)	B	LCWサンプル槽(B)	B	配管	-	HCW蒸発濃縮装置加熱器(A)	B	HCW蒸発濃縮装置加熱器(B)	B	配管	-
設置場所	管理区域	区分	機器名称	耐震クラス																																																																																										
付属棟	フロア	外	原子炉補機(A)室給気冷却コイル	S																																																																																										
			原子炉補機(B)室給気冷却コイル	S																																																																																										
			原子炉補機(A)室給気加熱コイル	C																																																																																										
			原子炉補機(B)室給気加熱コイル	C																																																																																										
			原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル	C																																																																																										
			DG燃料デイトンク	S																																																																																										
			HPCSDG燃料デイトンク	S																																																																																										
			配管	-																																																																																										
			配管	-																																																																																										
			付属棟 (廃棄物 処理エリア)	10F	内	HCW収集タンク(A)	B																																																																																							
HCW収集タンク(B)	B																																																																																													
HCW収集タンク(C)	B																																																																																													
濃縮廃液貯蔵タンク(A)	B																																																																																													
濃縮廃液貯蔵タンク(B)	B																																																																																													
濃縮廃液貯蔵タンク(C)	B																																																																																													
CONWシール水タンク	B																																																																																													
配管	-																																																																																													
103F	内	HCW調整タンク				B																																																																																								
		HCWサンプルタンク(A)				B																																																																																								
		HCWサンプルタンク(B)		B																																																																																										
		SD収集タンク(A)		C																																																																																										
		SD収集タンク(B)		C																																																																																										
		浄化系沈降分離槽(A)		B																																																																																										
		浄化系沈降分離槽(B)		B																																																																																										
		使用済樹脂貯蔵槽(A)		B																																																																																										
		使用済樹脂貯蔵槽(B)		B																																																																																										
		復水回収装置コンデンサ		C																																																																																										
復水回収装置フラッシュタンク	C																																																																																													
102F	内	LCW収集槽(A)		B																																																																																										
		LCW収集槽(B)		B																																																																																										
		LCWサンプル槽(A)		B																																																																																										
		LCWサンプル槽(B)		B																																																																																										
		配管		-																																																																																										
		HCW蒸発濃縮装置加熱器(A)		B																																																																																										
		HCW蒸発濃縮装置加熱器(B)		B																																																																																										
		配管		-																																																																																										
		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内包する設備の違いによる</p>																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋) (5/5)																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)</td> <td rowspan="10">B1F</td> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>中和苛性タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>中和硫酸タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1F</td> <td>内</td> <td>LCW ろ過器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW ろ過器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW 脱塩器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW 脱塩器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 脱塩器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>RW 制御室給気冷却コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>混合槽室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>RW 制御室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>内</td> <td>排風機室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)	B	内	中和苛性タンク	C	内	中和硫酸タンク	C	内	配管	-	1F	内	LCW ろ過器(A)	B	内	LCW ろ過器(B)	B	内	LCW 脱塩器(A)	B	内	LCW 脱塩器(B)	B	内	HCW 脱塩器	B	外	RW 制御室給気冷却コイル	C	内	混合槽室空調機	C	外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C	外	RW 制御室給気加熱コイル	C	内・外	配管	-	2F	内	排風機室空調機	C	内	配管	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																															
建屋	フロア	区分																																																																																	
付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)	B																																																																															
		内	中和苛性タンク	C																																																																															
		内	中和硫酸タンク	C																																																																															
		内	配管	-																																																																															
		1F	内	LCW ろ過器(A)	B																																																																														
	内		LCW ろ過器(B)	B																																																																															
	内		LCW 脱塩器(A)	B																																																																															
	内		LCW 脱塩器(B)	B																																																																															
	内		HCW 脱塩器	B																																																																															
	外		RW 制御室給気冷却コイル	C																																																																															
	内		混合槽室空調機	C																																																																															
	外		廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C																																																																															
	外		RW 制御室給気加熱コイル	C																																																																															
	内・外		配管	-																																																																															
	2F	内	排風機室空調機	C																																																																															
内		配管	-																																																																																

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
				表2 溢水源となりうる機器リスト（制御建屋）				表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(1/2)				【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる
設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	
制御建屋	B2F	外	常用電気品室給気冷却加熱コイル	原子炉補助建屋		内	洗浄排水タンク					C
		外	中央制御室給気冷却コイル			内	洗浄排水ポンプ					C
		外	計測制御(A)室給気冷却コイル			内	洗浄排水フィルタ					C
		外	計測制御(B)室給気冷却コイル			内	補助蒸気復水モータ冷却器					C
		外	中央制御室給気加熱コイル			内	補助蒸気ドレンタンク					C
		外	計測制御電源室給気加熱コイル			内	補助蒸気ドレンポンプ					C
		外	配管			内	配管					-
	MEDF	外	配管			内	冷却材貯蔵タンク					B
	B1F	外	配管			内	廃液蒸留水タンク					C
	1F	外	入退域エリア(クリーン)空調機			内	廃液蒸留水ポンプ					C
		内	脱衣エリアファンコイルユニット			内	洗浄排水蒸留水タンク					C
		内	下足エリアファンコイルユニット			内	洗浄排水蒸留水ポンプ					C
		内・外	配管			内	酸液ドレンタンク					B
	2F	外	女性用更衣室エリアファンコイルユニット			内	酸液ドレンポンプ					B
		内	女性用更衣室手洗いエリアファンコイルユニット			内	使用済樹脂貯蔵タンク					B
		内・外	配管			内	ほう酸回収装置給水ポンプ					B
						内	廃液給水ポンプ					B
						内	酸液ドレンタンクから中性ゾーダ計量タンク					C
						内	安全補機室冷却ユニット					C
						内	配管					-
						内	よう素除去薬品タンク					S
						内	封水冷却器					B
						内	ほう酸回収装置					B
						内	重鉛注入装置					B
						内	余熱除去冷却器					S
						内	格納容器スプレイ冷却器					S
						内	pH調整剤貯蔵タンク					S
						内	配管					-
						内	ほう酸注入タンク					S
						内	ほう酸タンク					S
						内	ほう酸フィルタ					S
						内	冷却材混床式脱塩塔					B

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
		<p>表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="28">原子炉補助建屋</td><td rowspan="17">T.P. 17.8m</td><td>内 冷却材陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 冷却材脱塩塔入口フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 冷却材フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 体積制御タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 ほう酸回収装置泥床式脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 1次系薬品タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水濃縮廃液タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水濃縮廃液ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 濃縮廃液タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 濃縮廃液ポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 廃液フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 廃液蒸留水脱塩塔</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 使用済燃料ピット脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 使用済燃料ピットフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="7">T.P. 24.8m</td><td>内 廃液貯蔵ピットか性ソーダ計量タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 廃液蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 安全補機閉閉器室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 中央制御室給気ユニット</td><td>S</td></tr> <tr><td>外 試料採取室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P. 33.1m</td><td>外 出入管理室冷却ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 ほう酸補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 2.8m ~ 24.8m</td><td>内 樹脂タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>外 1次系か性ソーダタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td></td><td>T.P. 2.8m ~ 24.8m</td><td>内 セメント固化装置</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	原子炉補助建屋	T.P. 17.8m	内 冷却材陽イオン脱塩塔	B	内 冷却材脱塩塔入口フィルタ	B	内 冷却材フィルタ	B	内 体積制御タンク	B	内 ほう酸回収装置泥床式脱塩塔	B	内 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B	内 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B	内 1次系薬品タンク	B	内 洗浄排水濃縮廃液タンク	C	内 洗浄排水濃縮廃液ポンプ	C	内 濃縮廃液タンク	B	内 濃縮廃液ポンプ	B	内 廃液フィルタ	B	内 廃液蒸留水脱塩塔	C	内 使用済燃料ピット脱塩塔	B	内 使用済燃料ピットフィルタ	B	内 配管	-	T.P. 24.8m	内 廃液貯蔵ピットか性ソーダ計量タンク	C	内 廃液蒸発装置	C	内 洗浄排水蒸発装置	C	内 洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C	外 安全補機閉閉器室給気ユニット	C	外 中央制御室給気ユニット	S	外 試料採取室給気ユニット	C	T.P. 33.1m	外 出入管理室冷却ユニット	C	内 ほう酸補給タンク	C	内・外 配管	-	T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 樹脂タンク	B	外 1次系か性ソーダタンク	C		内・外 配管	-		T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 セメント固化装置	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																														
建屋	フロア	区分	クラス																																																																														
原子炉補助建屋	T.P. 17.8m	内 冷却材陽イオン脱塩塔	B																																																																														
		内 冷却材脱塩塔入口フィルタ	B																																																																														
		内 冷却材フィルタ	B																																																																														
		内 体積制御タンク	B																																																																														
		内 ほう酸回収装置泥床式脱塩塔	B																																																																														
		内 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B																																																																														
		内 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B																																																																														
		内 1次系薬品タンク	B																																																																														
		内 洗浄排水濃縮廃液タンク	C																																																																														
		内 洗浄排水濃縮廃液ポンプ	C																																																																														
		内 濃縮廃液タンク	B																																																																														
		内 濃縮廃液ポンプ	B																																																																														
		内 廃液フィルタ	B																																																																														
		内 廃液蒸留水脱塩塔	C																																																																														
		内 使用済燃料ピット脱塩塔	B																																																																														
		内 使用済燃料ピットフィルタ	B																																																																														
		内 配管	-																																																																														
	T.P. 24.8m	内 廃液貯蔵ピットか性ソーダ計量タンク	C																																																																														
		内 廃液蒸発装置	C																																																																														
		内 洗浄排水蒸発装置	C																																																																														
		内 洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C																																																																														
		外 安全補機閉閉器室給気ユニット	C																																																																														
		外 中央制御室給気ユニット	S																																																																														
		外 試料採取室給気ユニット	C																																																																														
	T.P. 33.1m	外 出入管理室冷却ユニット	C																																																																														
		内 ほう酸補給タンク	C																																																																														
		内・外 配管	-																																																																														
	T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 樹脂タンク	B																																																																														
外 1次系か性ソーダタンク		C																																																																															
	内・外 配管	-																																																																															
	T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 セメント固化装置	-																																																																														
	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト(海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア及び軽油タンクエリア)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>海水ポンプ室</td><td>-</td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>復水貯蔵タンクエリア</td><td>-</td><td>内 復水貯蔵タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>内 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外 軽油タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外 配管</td><td>S</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	海水ポンプ室	-	外 配管	-	復水貯蔵タンクエリア	-	内 復水貯蔵タンク	B	軽油タンクエリア	-	内 配管	-	軽油タンクエリア	-	外 軽油タンク	S	軽油タンクエリア	-	外 配管	S	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト（ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>-</td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">循環水ポンプ建屋</td><td rowspan="2">T.P. 10.3m 以下</td><td>外 原子炉補助機冷却海水ポンプ出口ストレーナー</td><td>S</td></tr> <tr><td>外 海水電解装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>-</td><td>外 海水淡水化設備</td><td>C</td></tr> <tr><td>-</td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	ディーゼル発電機建屋	-	外 配管	-	循環水ポンプ建屋	T.P. 10.3m 以下	外 原子炉補助機冷却海水ポンプ出口ストレーナー	S	外 海水電解装置	C	-	外 海水淡水化設備	C	-	外 配管	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>																										
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																														
建屋	フロア	区分	クラス																																																																														
海水ポンプ室	-	外 配管	-																																																																														
復水貯蔵タンクエリア	-	内 復水貯蔵タンク	B																																																																														
軽油タンクエリア	-	内 配管	-																																																																														
軽油タンクエリア	-	外 軽油タンク	S																																																																														
軽油タンクエリア	-	外 配管	S																																																																														
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																														
建屋	フロア	区分	クラス																																																																														
ディーゼル発電機建屋	-	外 配管	-																																																																														
循環水ポンプ建屋	T.P. 10.3m 以下	外 原子炉補助機冷却海水ポンプ出口ストレーナー	S																																																																														
		外 海水電解装置	C																																																																														
	-	外 海水淡水化設備	C																																																																														
	-	外 配管	-																																																																														

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																		
	表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/2)	表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/3)	【女川】																																																																																																																																																																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="33">タービン 建屋</td><td rowspan="21">B2F</td><td>内</td><td>CF 逆流受タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>主復水器(ホットウェル側)</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>凝結第1給水加熱器ドレン冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧第1給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>起動用真空ポンプウォーターセパレータ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>起動用真空ポンプシール水冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>主復水器(本室)</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>復水回収タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>OG系排ガス循環水クーラ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-T油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-T油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-T補助油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧油圧ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>TCW防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>TCW熱交換器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="12">B1F</td><td>内</td><td>グラント蒸気復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>排ガス復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>排ガス予熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧第2給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>湿分分離ドレンタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>復水器過器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>主タービン油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>MF-BF油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-CF油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>油補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>HCW防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>換気空調補機常用冷却水系冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>冷凍機室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">1F</td><td>内</td><td>蒸気式空気抽油器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>凝結第3給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>凝結第4給水加熱器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	タービン 建屋	B2F	内	CF 逆流受タンク	B	内	主復水器(ホットウェル側)	B	内	凝結第1給水加熱器ドレン冷却器	B	内	高圧第1給水加熱器	B	内	起動用真空ポンプウォーターセパレータ	B	内	起動用真空ポンプシール水冷却器	B	内	主復水器(本室)	B	内	復水回収タンク	B	内	OG系排ガス循環水クーラ	B	内	活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C	内	BF-T油冷却器	C	内	高圧油冷却器	C	内	油清浄機	C	内	BF-T油タンク	C	内	BF-T補助油タンク	C	内	高圧油圧ユニット	C	外	TCW防食剤添加タンク	C	外	TCW熱交換器	C	内・外	配管	-	B1F	内	グラント蒸気復水器	B	内	排ガス復水器	B	内	排ガス予熱器	B	内	高圧第2給水加熱器	B	内	湿分分離ドレンタンク	B	内	復水器過器	B	内	主タービン油冷却器	C	内	MF-BF油冷却器	C	内	BF-CF油冷却器	C	内	主油タンク	C	内	油補給タンク	C	外	HCW防食剤添加タンク	C	外	換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機	C	外	換気空調補機常用冷却水系冷凍機	C	外	冷凍機室空調機	C	内・外	配管	-	1F	内	蒸気式空気抽油器	B	内	凝結第3給水加熱器	B	内	凝結第4給水加熱器	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="33">タービン建屋</td><td rowspan="21">B2F</td><td>外</td><td>復水回収タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>復水器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>海水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>復水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービンローダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>温水排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>海水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>定常淡水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="12">B1F</td><td>外</td><td>復水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービン動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービン動主給水ポンプ油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービン動主給水ポンプ油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>電動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>給水ブースタポンプ(タービン動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>給水ブースタポンプ(電動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>油清浄機ドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータ給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータ給水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータドレンクーラ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>所内用空気圧縮機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>所内用空気除湿装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>所内用空気冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>SGブロー復水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>湿分分離器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>復水器真空ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>低圧給水加熱器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>軸受冷却水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>軸受冷却水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>アンモニア原液タンク</td><td>C</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	タービン建屋	B2F	外	復水回収タンク	C	外	復水器	C	外	海水ブースタポンプ	C	外	復水ポンプ	C	外	タービンローダウンタンク	C	外	温水排水ポンプ	C	外	海水ビット排水ポンプ	C	外	定常淡水ビット排水ポンプ	C	外	配管	-	B1F	外	復水ブースタポンプ	C	外	タービン動主給水ポンプ	C	外	タービン動主給水ポンプ油タンク	C	外	タービン動主給水ポンプ油冷却器	C	外	電動主給水ポンプ	C	外	給水ブースタポンプ(タービン動用)	C	外	給水ブースタポンプ(電動用)	C	外	主油タンク	C	外	油清浄機	C	外	油清浄機ドレンタンク	C	外	油冷却器	C	外	スチームコンバータ給水ポンプ	C	外	スチームコンバータ給水タンク	C	外	スチームコンバータドレンクーラ	C	外	スチームコンバータドレンタンク	C	外	スチームコンバータ	C	外	所内用空気圧縮機	C	外	所内用空気除湿装置	C	外	所内用空気冷却器	C	外	SGブロー復水冷却器	C	外	湿分分離器ドレンポンプ	C	外	復水器真空ポンプ	C	外	低圧給水加熱器ドレンポンプ	C	外	軸受冷却水冷却器	C	外	軸受冷却水ポンプ	C	外	アンモニア原液タンク	C	<p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所		管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																			
タービン 建屋	B2F	内	CF 逆流受タンク	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	主復水器(ホットウェル側)	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	凝結第1給水加熱器ドレン冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	高圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	起動用真空ポンプウォーターセパレータ	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	起動用真空ポンプシール水冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	主復水器(本室)	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	復水回収タンク	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	OG系排ガス循環水クーラ	B																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	BF-T油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	高圧油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	油清浄機	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	BF-T油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	BF-T補助油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	高圧油圧ユニット	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	TCW防食剤添加タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	TCW熱交換器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		内・外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																	
		B1F	内	グラント蒸気復水器	B																																																																																																																																																																																																																																																
			内	排ガス復水器	B																																																																																																																																																																																																																																																
	内		排ガス予熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		高圧第2給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		湿分分離ドレンタンク	B																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		復水器過器	B																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		主タービン油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		MF-BF油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		BF-CF油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		主油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
	内		油補給タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
	外		HCW防食剤添加タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
	外	換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	換気空調補機常用冷却水系冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																		
外	冷凍機室空調機	C																																																																																																																																																																																																																																																			
内・外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																			
1F	内	蒸気式空気抽油器	B																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	凝結第3給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	凝結第4給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																		
設置場所		管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																			
タービン建屋	B2F	外	復水回収タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	復水器	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	海水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	復水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	タービンローダウンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	温水排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	海水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	定常淡水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																	
		B1F	外	復水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	タービン動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	タービン動主給水ポンプ油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	タービン動主給水ポンプ油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	電動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	給水ブースタポンプ(タービン動用)	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	給水ブースタポンプ(電動用)	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	主油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	油清浄機	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	油清浄機ドレンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																
			外	スチームコンバータ給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																
	外	スチームコンバータ給水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	スチームコンバータドレンクーラ	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	スチームコンバータドレンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	スチームコンバータ	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	所内用空気圧縮機	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	所内用空気除湿装置	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	所内用空気冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	SGブロー復水冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	湿分分離器ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	復水器真空ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	低圧給水加熱器ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	軸受冷却水冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																		
外	軸受冷却水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																			
外	アンモニア原液タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																			

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																					
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">タービン建屋</td> <td rowspan="14">1F</td> <td>内 仮圧第1給水加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 凝分分離加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 復水脱塩塔</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 樹脂ストレーナ</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 固定子巻線冷却水装置貯水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 固定子巻線冷却水装置冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 復水器室空調機(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 空気抽出器室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 SCR 脱窒素空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 相分離母線冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 発電機水素ガス冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 仮圧第1給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 仮圧第2給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 復水器室空調機(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="2">2F</td> <td>内 グランド蒸気発生器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 TCW サージタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	1F	内 仮圧第1給水加熱器ドレンタンク	B	内 凝分分離加熱器	B	内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B	内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B	内 復水脱塩塔	B	内 樹脂ストレーナ	B	内 固定子巻線冷却水装置貯水槽	C	内 固定子巻線冷却水装置冷却器	C	内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C	内 復水器室空調機(B)	C	内 空気抽出器室空調機	C	内 SCR 脱窒素空調機	C	内 相分離母線冷却器	C	内 発電機水素ガス冷却器	C	内 仮圧第1給水加熱器	B	内 仮圧第2給水加熱器	B	内 復水器室空調機(A)	C	内 配管	-	2F	内 グランド蒸気発生器	B	内 TCW サージタンク	C	内 配管	-	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="40">タービン建屋</td> <td rowspan="20">B1F</td> <td>外 ヒドドラジン原液タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 ヒドドラジタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 アンモニオタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 2次系補給水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 カチオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 混合樹脂受入槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 樹脂補給ホッパ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 アニオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="20">1F</td> <td>外 第6高圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 高圧油供給装置</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 脱気器再循環ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 低圧給水加熱器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 SG ブロー熱回収フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 凝分分離器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 復水器水室空気抜きポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 復水脱塩塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 復水器過器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 レジンキャッチャ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 レジントラップ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 樹脂混合用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 初級用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 塩酸貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 塩酸計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 塩酸スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 苛性ソーダ計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 苛性ソーダ貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 ジャッキングオイルポンプユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="2">2F</td> <td>外 第3低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 第4低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	B1F	外 ヒドドラジン原液タンク	C	外 ヒドドラジタンク	C	外 アンモニオタンク	C	外 2次系補給水ポンプ	C	外 カチオン再生塔	C	外 混合樹脂受入槽	C	外 樹脂補給ホッパ	C	外 アニオン再生塔	C	外 スクラバ	C	外 配管	-	1F	外 第6高圧給水加熱器	C	外 高圧油供給装置	C	外 脱気器再循環ポンプ	C	外 低圧給水加熱器ドレンタンク	C	外 SG ブロー熱回収フラッシュタンク	C	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C	外 凝分分離器ドレンタンク	C	外 復水器水室空気抜きポンプ	C	外 復水脱塩塔	C	外 復水器過器	C	外 レジンキャッチャ	C	外 レジントラップ	C	外 樹脂混合用空気貯槽	C	外 初級用空気貯槽	C	外 塩酸貯槽	C	外 塩酸計量槽	C	外 塩酸スクラバ	C	外 苛性ソーダ計量槽	C	外 苛性ソーダ貯槽	C	外 ジャッキングオイルポンプユニット	C	外 配管	-	2F	外 第3低圧給水加熱器	C	外 第4低圧給水加熱器	C	<p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス																																																																																																																																					
建屋	フロア	区分																																																																																																																																						
タービン建屋	1F	内 仮圧第1給水加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																					
		内 凝分分離加熱器	B																																																																																																																																					
		内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																					
		内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																					
		内 復水脱塩塔	B																																																																																																																																					
		内 樹脂ストレーナ	B																																																																																																																																					
		内 固定子巻線冷却水装置貯水槽	C																																																																																																																																					
		内 固定子巻線冷却水装置冷却器	C																																																																																																																																					
		内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C																																																																																																																																					
		内 復水器室空調機(B)	C																																																																																																																																					
		内 空気抽出器室空調機	C																																																																																																																																					
		内 SCR 脱窒素空調機	C																																																																																																																																					
		内 相分離母線冷却器	C																																																																																																																																					
		内 発電機水素ガス冷却器	C																																																																																																																																					
	内 仮圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																						
	内 仮圧第2給水加熱器	B																																																																																																																																						
	内 復水器室空調機(A)	C																																																																																																																																						
	内 配管	-																																																																																																																																						
	2F	内 グランド蒸気発生器	B																																																																																																																																					
		内 TCW サージタンク	C																																																																																																																																					
内 配管	-																																																																																																																																							
設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス																																																																																																																																					
建屋	フロア	区分																																																																																																																																						
タービン建屋	B1F	外 ヒドドラジン原液タンク	C																																																																																																																																					
		外 ヒドドラジタンク	C																																																																																																																																					
		外 アンモニオタンク	C																																																																																																																																					
		外 2次系補給水ポンプ	C																																																																																																																																					
		外 カチオン再生塔	C																																																																																																																																					
		外 混合樹脂受入槽	C																																																																																																																																					
		外 樹脂補給ホッパ	C																																																																																																																																					
		外 アニオン再生塔	C																																																																																																																																					
		外 スクラバ	C																																																																																																																																					
		外 配管	-																																																																																																																																					
		1F	外 第6高圧給水加熱器	C																																																																																																																																				
			外 高圧油供給装置	C																																																																																																																																				
			外 脱気器再循環ポンプ	C																																																																																																																																				
			外 低圧給水加熱器ドレンタンク	C																																																																																																																																				
			外 SG ブロー熱回収フラッシュタンク	C																																																																																																																																				
			外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C																																																																																																																																				
			外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C																																																																																																																																				
			外 凝分分離器ドレンタンク	C																																																																																																																																				
			外 復水器水室空気抜きポンプ	C																																																																																																																																				
			外 復水脱塩塔	C																																																																																																																																				
	外 復水器過器		C																																																																																																																																					
	外 レジンキャッチャ		C																																																																																																																																					
	外 レジントラップ		C																																																																																																																																					
	外 樹脂混合用空気貯槽		C																																																																																																																																					
	外 初級用空気貯槽		C																																																																																																																																					
	外 塩酸貯槽		C																																																																																																																																					
	外 塩酸計量槽		C																																																																																																																																					
	外 塩酸スクラバ		C																																																																																																																																					
	外 苛性ソーダ計量槽		C																																																																																																																																					
	外 苛性ソーダ貯槽		C																																																																																																																																					
	外 ジャッキングオイルポンプユニット	C																																																																																																																																						
	外 配管	-																																																																																																																																						
	2F	外 第3低圧給水加熱器	C																																																																																																																																					
		外 第4低圧給水加熱器	C																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
		<p>表4 溢水源となりうる機器リスト（タービン建屋）(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="1290 207 1854 411"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">タービン建屋</td> <td rowspan="2">2F</td> <td>外</td> <td>程分分離加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3F</td> <td>外</td> <td>軸受冷却水スタンドパイプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>循環水管伸縮継手</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>外</td> <td>屋外タンク</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			タービン建屋	2F	外	程分分離加熱器	C	外	配管	-	3F	外	軸受冷却水スタンドパイプ	C	外	脱気器	C	外	配管	-	外	循環水管伸縮継手	C	-	外	屋外タンク	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>																																															
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																			
タービン建屋	2F	外	程分分離加熱器	C																																																																																	
		外	配管	-																																																																																	
	3F	外	軸受冷却水スタンドパイプ	C																																																																																	
		外	脱気器	C																																																																																	
		外	配管	-																																																																																	
		外	循環水管伸縮継手	C																																																																																	
	-	外	屋外タンク	-																																																																																	
		<p>表5 溢水源となりうる機器リスト(補助ボイラー建屋)</p> <table border="1" data-bbox="707 868 1263 1241"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">補助ボイラー建屋</td> <td rowspan="4">01F</td> <td>外</td> <td>加圧貯水槽兼呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>消火水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>排水ピット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1F</td> <td>外</td> <td>補助ボイラードレン冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気発生器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラーブロー水冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水サンプリングクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2F</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>グランド蒸気発生器ドレンクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気だめ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気ドラム</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー建屋給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			補助ボイラー建屋	01F	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C	外	消火水槽	C	外	呼水槽	C	外	排水ピット	C	1F	外	補助ボイラードレン冷却器	C	外	補助ボイラー蒸気発生器	C	外	補助ボイラーブロー水冷却器	C	外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C	2F	外	配管	-	外	グランド蒸気発生器ドレンクーラ	C	外	補助ボイラー蒸気だめ	C	外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C	外	補助ボイラー脱気器	C	外	補助ボイラー蒸気ドラム	C	外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C	外	配管	-	<p>表5 溢水源となりうる機器リスト（出入管理建屋，電気建屋）</p> <table border="1" data-bbox="1290 861 1854 938"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出入管理建屋</td> <td>-</td> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>電気建屋</td> <td>-</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			出入管理建屋	-	内・外	配管	-	電気建屋	-	外	配管	-
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																			
補助ボイラー建屋	01F	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C																																																																																	
		外	消火水槽	C																																																																																	
		外	呼水槽	C																																																																																	
		外	排水ピット	C																																																																																	
	1F	外	補助ボイラードレン冷却器	C																																																																																	
		外	補助ボイラー蒸気発生器	C																																																																																	
		外	補助ボイラーブロー水冷却器	C																																																																																	
		外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C																																																																																	
	2F	外	配管	-																																																																																	
		外	グランド蒸気発生器ドレンクーラ	C																																																																																	
		外	補助ボイラー蒸気だめ	C																																																																																	
		外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C																																																																																	
		外	補助ボイラー脱気器	C																																																																																	
		外	補助ボイラー蒸気ドラム	C																																																																																	
外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C																																																																																			
外	配管	-																																																																																			
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																			
出入管理建屋	-	内・外	配管	-																																																																																	
電気建屋	-	外	配管	-																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

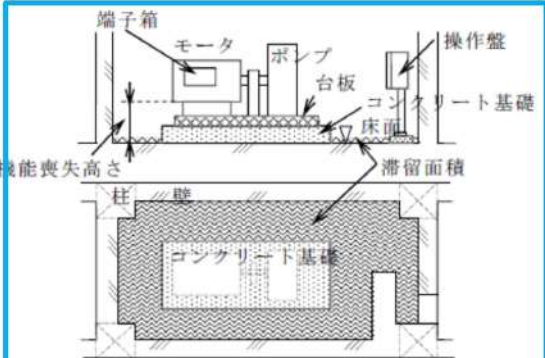
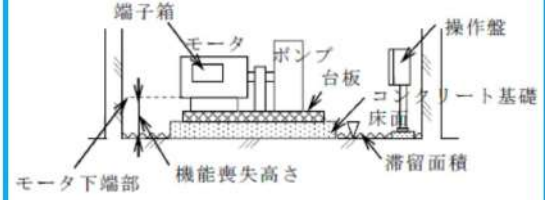
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【大飯3/4号炉】1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定（抜粋）p2-9-10</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水 消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p> <p>【島根2号炉】2.3.2 消火水の放水による溢水（抜粋）p9条-9 消火設備等のうち、消火栓からの放水量については、3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さい場合においては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を用いて溢水量を設定する。</p> <p>【伊方3号炉】1.7.2 溢水源及び溢水量を設定するための方針（抜粋）p9条-10 また、運転員による中央制御室及び補機制御室からの手動操作により漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの適切な隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。</p> <p>【大飯3/4号炉】まとめ資料p2-9-別1-52より抜粋 1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統は、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する。</p>	<p>添付資料3</p> <p>表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>想定破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価) </td> <td> 火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 ⇒ 実放水量の確認結果 264.92/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m³の放水を考慮 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) </td> <td> 複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価) </td> </tr> <tr> <td>没水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 ⇒ 実放水量の確認結果 264.92/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m ³ の放水を考慮 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	没水			被水			蒸気			<p>添付資料3</p> <p>表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>想定破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価) </td> <td> 消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定 ⇒ 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) </td> <td> 複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) </td> </tr> <tr> <td>没水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定 ⇒ 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	没水			被水			蒸気			<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。(先行PWR、島根2号炉と同様)</p> <p>設計方針の相違 泊発電所3号炉では、地震発生後に運転員によるパトロールを実施し、溢水源となりうる機器からの漏えいが確認された場合には手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定し、溢水量を算出している。(伊方3号炉と同様)</p> <p>設計方針の相違 泊では蒸気が発生する高エネルギー配管については、基準地震動に対して、耐震性を確保しているため、地震起因の破損により蒸気は発生しない。(大飯と同様)</p>
想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																															
機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 ⇒ 実放水量の確認結果 264.92/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m ³ の放水を考慮 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)																															
没水																																	
被水																																	
蒸気																																	
想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																															
機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定 ⇒ 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)																															
没水																																	
被水																																	
蒸気																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<p style="text-align: right;">添付資料 1.2-2</p> <p style="text-align: center;">防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>1. はじめに 溢水水位及び機能喪失高さの考え方を示し、全防護対象設備の機能喪失高さ一覧を記載する。</p> <p>2. 溢水水位 影響評価に用いる溢水水位の算定は、溢水経路上の溢水防護区画のすべてに対して行う。 溢水水位：H は、下式に基づき算出する。 $H=Q/A$ Q:溢水量(m3) A:滞留面積(m2) 滞留面積は、コンクリート基礎等の範囲を除く有効面積を滞留面積として評価する。(図1)</p> <p>3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1" data-bbox="114 1029 685 1422"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (操作盤含む)</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p style="text-align: right;">添付資料 4</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 4</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。
機器	機能喪失高さ																
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																
ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1 機能喪失高さと滞留面積の考え方</p>  <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（1/9）						表1 防護対象設備一覧（1/27）						表1 防護対象設備一覧（1/35）						<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大阪】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3A, 3B電動補助給水ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.60</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3タービン動補助給水ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5</td> <td>4.16</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>33.6</td> <td>34.74</td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.26</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.16</td> <td>1.06</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>26.0</td> <td>26.45</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3復水ピット</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3B充てんポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.64</td> <td>0.64</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3C充てんポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.31</td> <td>0.31</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.80</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3Bほう酸ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.57</td> <td>0.57</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.03</td> <td>1.03</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.24</td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.23</td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>21.64</td> <td>4.54</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>22.14</td> <td>5.04</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>20.98</td> <td>3.88</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3封水冷却器</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16		0.66	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88	化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3A電動補助給水ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.60</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3B電動補助給水ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.60</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3タービン動補助給水ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5</td> <td>4.16</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>33.6</td> <td>34.74</td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.26</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.16</td> <td>1.06</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>26.0</td> <td>26.45</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>3復水ピット</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3B充てんポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.64</td> <td>0.64</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3C充てんポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.31</td> <td>0.31</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.80</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3Bほう酸ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.57</td> <td>0.57</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.03</td> <td>1.03</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.24</td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.23</td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>21.64</td> <td>4.54</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>22.14</td> <td>5.04</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>20.98</td> <td>3.88</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>3封水冷却器</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	補助給水系	3A電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88	化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助給水系</td> <td>タービン動補助給水ポンプ (3FP1)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>0.05</td> <td>0.67</td> <td>個別</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>A-電動補助給水ポンプ (3FP2A)</td> <td>3B-B-N6</td> <td>0.30</td> <td>0.66</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>B-電動補助給水ポンプ (3FP2B)</td> <td>3B-B-N7</td> <td>0.30</td> <td>0.67</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>A-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582A)</td> <td>3B-B-N6</td> <td>4.35</td> <td>4.66</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>B-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582B)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>4.35</td> <td>4.63</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>C-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582C)</td> <td>3B-B-N7</td> <td>4.39</td> <td>4.69</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁A (3V-MS-582A)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>4.50</td> <td>5.05</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁B (3V-MS-582B)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>4.50</td> <td>5.04</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>A-補助給水隔離弁 (3V-FW-589A)</td> <td>3B-D-N51</td> <td>0.50</td> <td>0.79</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>B-補助給水隔離弁 (3V-FW-589B)</td> <td>3B-D-N51</td> <td>0.50</td> <td>0.81</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>C-補助給水隔離弁 (3V-FW-589C)</td> <td>3B-D-N51</td> <td>0.50</td> <td>0.81</td> <td>基本</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>A-補助給水ライン流量 (Ⅱ) (3FT-3766)</td> <td>3B-B-N1</td> <td>1.03</td> <td>1.02</td> <td>個別</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ※3：安全上に重要な関連機能 ※4：緊急時停止機能 ※5：木炭昇降機機能 ※6：原子炉停止後の除熱機能 ※7：ピット冷却機能 ※8：放射性物質の閉じ込め機能</p>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	補助給水系	タービン動補助給水ポンプ (3FP1)	3B-B-N4	0.05	0.67	個別	補助給水系	A-電動補助給水ポンプ (3FP2A)	3B-B-N6	0.30	0.66	基本	補助給水系	B-電動補助給水ポンプ (3FP2B)	3B-B-N7	0.30	0.67	基本	補助給水系	A-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582A)	3B-B-N6	4.35	4.66	基本	補助給水系	B-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582B)	3B-B-N4	4.35	4.63	基本	補助給水系	C-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582C)	3B-B-N7	4.39	4.69	基本	主蒸気系	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁A (3V-MS-582A)	3B-B-N4	4.50	5.05	基本	主蒸気系	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁B (3V-MS-582B)	3B-B-N4	4.50	5.04	基本	補助給水系	A-補助給水隔離弁 (3V-FW-589A)	3B-D-N51	0.50	0.79	基本	補助給水系	B-補助給水隔離弁 (3V-FW-589B)	3B-D-N51	0.50	0.81	基本	補助給水系	C-補助給水隔離弁 (3V-FW-589C)	3B-D-N51	0.50	0.81	基本	補助給水系	A-補助給水ライン流量 (Ⅱ) (3FT-3766)	3B-B-N1	1.03	1.02
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3A電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	タービン動補助給水ポンプ (3FP1)	3B-B-N4	0.05	0.67	個別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	A-電動補助給水ポンプ (3FP2A)	3B-B-N6	0.30	0.66	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	B-電動補助給水ポンプ (3FP2B)	3B-B-N7	0.30	0.67	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	A-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582A)	3B-B-N6	4.35	4.66	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	B-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582B)	3B-B-N4	4.35	4.63	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	C-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582C)	3B-B-N7	4.39	4.69	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
主蒸気系	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁A (3V-MS-582A)	3B-B-N4	4.50	5.05	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
主蒸気系	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁B (3V-MS-582B)	3B-B-N4	4.50	5.04	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	A-補助給水隔離弁 (3V-FW-589A)	3B-D-N51	0.50	0.79	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	B-補助給水隔離弁 (3V-FW-589B)	3B-D-N51	0.50	0.81	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	C-補助給水隔離弁 (3V-FW-589C)	3B-D-N51	0.50	0.81	基本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系	A-補助給水ライン流量 (Ⅱ) (3FT-3766)	3B-B-N1	1.03	1.02	個別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-8より抜粋 表2-2 溢水防護対象設備リスト (1/11)						<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名称</th> <th>設備番号</th> <th>設備名称</th> <th>設置建物</th> <th>設置高さ [m]</th> <th>機能喪失 高さ [m]</th> <th>設定 箇所</th> <th>設置区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-12A</td> <td>A1-DG冷却水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 1300</td> <td>EL 6400</td> <td>基本</td> <td>R-82F-04N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-13A</td> <td>A2-DG冷却水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 1300</td> <td>EL 6400</td> <td>基本</td> <td>R-82F-04N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-12B</td> <td>B1-DG冷却水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 1300</td> <td>EL 6400</td> <td>基本</td> <td>R-82F-06N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-13B</td> <td>B2-DG冷却水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 1300</td> <td>EL 6400</td> <td>基本</td> <td>R-82F-06N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>P214-1A</td> <td>A-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 15300</td> <td>EL 16204</td> <td>個別</td> <td>R-1F-14N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>P214-1C</td> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 15300</td> <td>EL 16204</td> <td>個別</td> <td>R-1F-14N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>P214-1B</td> <td>B-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 15300</td> <td>EL 16200</td> <td>個別</td> <td>R-1F-15N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>P214-1D</td> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 15300</td> <td>EL 16200</td> <td>個別</td> <td>R-1F-15N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-7A</td> <td>A-88R 熱交換冷却水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 23800</td> <td>EL 29656</td> <td>個別</td> <td>R-2F-09N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-7B</td> <td>B-88R 熱交換冷却水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 23800</td> <td>EL 29884</td> <td>個別</td> <td>R-2F-10N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-3A</td> <td>A-8CW 常用補機冷却水出口切替弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 23800</td> <td>EL 28800</td> <td>個別</td> <td>R-2F-20N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-3B</td> <td>B-8CW 常用補機冷却水出口切替弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 23800</td> <td>EL 28800</td> <td>個別</td> <td>R-2F-20N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-1A</td> <td>A-8CW 常用補機冷却水入口切替弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 8800</td> <td>EL 11090</td> <td>個別</td> <td>R-81F-11N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>W214-1B</td> <td>B-8CW 常用補機冷却水入口切替弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 8800</td> <td>EL 11090</td> <td>個別</td> <td>R-81F-11N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機高水系</td> <td>W215-2A</td> <td>A-8CW 熱交換水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 15300</td> <td>EL 16240</td> <td>個別</td> <td>R-1F-14N</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機高水系</td> <td>W215-2B</td> <td>B-8CW 熱交換水出口弁</td> <td>原子炉建物</td> <td>EL 15300</td> <td>EL 16820</td> <td>個別</td> <td>R-1F-15N</td> </tr> </tbody> </table>						系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [m]	機能喪失 高さ [m]	設定 箇所	設置区画	原子炉補機冷却系	W214-12A	A1-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-04N	原子炉補機冷却系	W214-13A	A2-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-04N	原子炉補機冷却系	W214-12B	B1-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-06N	原子炉補機冷却系	W214-13B	B2-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-06N	原子炉補機冷却系	P214-1A	A-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N	原子炉補機冷却系	P214-1C	C-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N	原子炉補機冷却系	P214-1B	B-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N	原子炉補機冷却系	P214-1D	D-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N	原子炉補機冷却系	W214-7A	A-88R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29656	個別	R-2F-09N	原子炉補機冷却系	W214-7B	B-88R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29884	個別	R-2F-10N	原子炉補機冷却系	W214-3A	A-8CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28800	個別	R-2F-20N	原子炉補機冷却系	W214-3B	B-8CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28800	個別	R-2F-20N	原子炉補機冷却系	W214-1A	A-8CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-81F-11N	原子炉補機冷却系	W214-1B	B-8CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-81F-11N	原子炉補機高水系	W215-2A	A-8CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16240	個別	R-1F-14N	原子炉補機高水系	W215-2B	B-8CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16820	個別	R-1F-15N																																																																																																																																																																																																											
系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [m]	機能喪失 高さ [m]	設定 箇所	設置区画																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-12A	A1-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-04N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-13A	A2-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-04N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-12B	B1-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-06N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-13B	B2-DG冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-82F-06N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	P214-1A	A-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	P214-1C	C-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	P214-1B	B-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	P214-1D	D-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-7A	A-88R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29656	個別	R-2F-09N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-7B	B-88R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29884	個別	R-2F-10N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-3A	A-8CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28800	個別	R-2F-20N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-3B	B-8CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28800	個別	R-2F-20N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-1A	A-8CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-81F-11N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	W214-1B	B-8CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-81F-11N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機高水系	W215-2A	A-8CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16240	個別	R-1F-14N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機高水系	W215-2B	B-8CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16820	個別	R-1F-15N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(2/9)					表1 防護対象設備一覧 (2/27)					表1 防護対象設備一覧 (2/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m] 床上[m]	安全機能	
化学体積制御系	3A, 3B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	26.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	26.0	-	③	
化学体積制御系	3封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	③④	
化学体積制御系	3体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	③④	
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク水位 (3LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	18.21	1.11	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	18.21	1.11	④
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	-	④	
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	-	④	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	3.5	4.31	0.81	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	3.5	4.31	0.81	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱 (3IB-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	3.5	4.70	1.20	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	3.5	4.70	1.20	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量 (3FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.60	1.10	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	3.5	4.60	1.10	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	3.5	4.60	1.10	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁 (3FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.96	0.86	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.96	0.86	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.96	0.86	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	-	④	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機制御盤 (31AC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.54	0.44	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.54	0.44	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.70	0.60	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.70	0.60	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.70	0.60	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器 (31AH1, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	-	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気ため (31AT1A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	-	-	④
制御用空気系	3A-C, 3B-C制御用空気母管連絡弁 (3V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.80	0.70	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.80	0.70	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.80	0.70	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気主蒸気逃がし弁等供給ライン止め弁 (3V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.77	0.67	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.77	0.67	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.77	0.67	④
制御用空気系	3A, 3B 制御用空気格納容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.99	0.89	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.99	0.89	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	17.99	0.89	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気供給母管圧力 (3PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.05	0.95	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	18.05	0.95	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	17.1	18.05	0.95	④
原子炉補機冷却系	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.72	1.72	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	11.72	1.72	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	10.0	11.72	1.72	④
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージタンク水位Ⅲ, IV (3LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	40.09	1.09	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	39.0	40.09	1.09	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	39.0	40.09	1.09	④
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージタンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	42.0	-	-	原子炉設備 原子炉	原子炉設備 原子炉	42.0	-	-	④

【大飯】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映
 【女川・大飯】
 記載方針の相違
 設計方針の相違
 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである
 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。
 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）
 ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
 【女川】
 設計方針の相違
 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。

※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ
 ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ
 ①緊急時停止機能
 ②未臨界維持機能
 ③原子炉停止後の除熱機能
 ④炉心冷却機能
 ⑤放射性物質の閉じ込め機能
 ⑥安全上特に重要な関連機能
 ⑦事故時のプラント状態の把握機能
 ⑧制御室外からの安全停止機能
 ⑨ピット冷却機能
 ⑩ピット給水機能

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (3/27)					表1 防護対象設備一覧 (3/35)					<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	
原子炉補助冷却系	3A, 3B原子炉補助冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-2	原子炉建屋	1.375 [※]	④	化学体積制御系	体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.67	1.02	基本	②	
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補助冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-2	原子炉建屋	1.345 [※]	④	化学体積制御系	充てんポンプ入口燃料取扱替用水ピット側入口弁A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②	
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補助冷却水ポンプ現場操作箱 (3LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-2	原子炉建屋	1.375 [※]	④	化学体積制御系	充てんポンプ入口燃料取扱替用水ピット側入口弁B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②	
原子炉補助冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補助冷却水戻り母管連絡弁 (3V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.29	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	0.365	④	化学体積制御系	充てんラインC/V外側止め弁 (3V-CS-175)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②	
原子炉補助冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補助冷却水供給母管連絡弁 (3V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.28	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	1.160	④⑤	化学体積制御系	充てんラインC/V外側隔離弁 (3V-CS-177)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②⑤	
原子炉補助冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁 (3号機側) (34V-CC-600, 601)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	0.405	④⑤	化学体積制御系	A-ほう酸ポンプ (3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②	
原子炉補助冷却系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	1.165	④⑤	化学体積制御系	B-ほう酸ポンプ (3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②	
原子炉補助冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	1.160	④⑤	化学体積制御系	緊急ほう酸注入弁 (3V-CS-541)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.50	0.75	基本	②	
原子炉補助冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁 (3V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	1.135	④⑤	化学体積制御系	A-ほう酸タンク水位 (I) (SLT-206)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	②⑦	
原子炉補助冷却系	3-CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-1	原子炉建屋	0.325	④	化学体積制御系	B-ほう酸タンク水位 (II) (SLT-208)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	0.99	個別	②⑦	
原子炉補助冷却系	3 CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-2	原子炉建屋	0.355	④	化学体積制御系	1次冷却材ポンプ排水戻りラインC/V外側隔離弁 (3V-CS-255)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.86	0.89	基本	⑤	
原子炉補助冷却系	3A・D, 3B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	C-02F-1	制御建屋	0.900	④	化学体積制御系	A-余熱除去ポンプ (3RRP1A)	3AB-L-6	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④	
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁 (3V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-4	原子炉建屋	0.945	②④⑤⑥	化学体積制御系								
原子炉補助冷却系	3A, 3B原子炉補助冷却水冷却器海水止め弁 (3V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.70	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-4	原子炉建屋	0.415	②	化学体積制御系								
原子炉補助冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ (3S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-4	原子炉建屋	0.665	④⑦	化学体積制御系								
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT010)	B-02F-4	原子炉建屋	0.885	②④⑤⑥	化学体積制御系							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																					
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（4/27）						表1 防護対象設備一覧（4/35）						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補助冷却系</td> <td>3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (31B-26, 27, 28, 29)</td> <td>海水ポンプ建屋</td> <td>2.5</td> <td>6.50</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3主盤 (原子炉盤) (3MCB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.96</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3原子炉補助盤 (3RAB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.98</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPR-I, II, III, IV)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.96</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.95</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3安全保護シーケンス盤 (3SFS-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>22.00</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3所内盤 (3HS)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.90</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.87</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)</td> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.14</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4 ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.92</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B直流充電電盤 (3DMP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.92</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.28</td> <td>0.48</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B蓄電池</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.60</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.92</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.95</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.86</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントローラセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.01</td> <td>0.21</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1) ~ (3) (31BC-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.90</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (31PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	原子炉補助冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (31B-26, 27, 28, 29)	海水ポンプ建屋	2.5	6.50	4.00	電気盤	3主盤 (原子炉盤) (3MCB)	制御建屋	21.8	21.96		0.16	電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	電気盤	3安全保護シーケンス盤 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	電気盤	3所内盤 (3HS)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04	電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4 ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	電気盤	3A, 3B直流充電電盤 (3DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントローラセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1) ~ (3) (31BC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (31PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} [m]</th> <th>個別測定高さ^{※2} [m]</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>B-余熱除去ポンプ (3RBP1B)</td> <td>3AB-L-5</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.75</td> <td>0.83</td> <td>基本</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-601)</td> <td>3AB-K-21</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.95</td> <td>3.25</td> <td>基本</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-611)</td> <td>3AB-K-13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.95</td> <td>3.23</td> <td>基本</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.03</td> <td>1.01</td> <td>個別</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>A-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.03</td> <td>1.00</td> <td>個別</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>A-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051A)</td> <td>3AB-K-21</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>1.75</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051B)</td> <td>3AB-K-13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>1.78</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>A-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055A)</td> <td>3AB-K-21</td> <td>建屋</td> <td>0.70</td> <td>1.77</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>B-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055B)</td> <td>3AB-K-13</td> <td>建屋</td> <td>0.70</td> <td>1.78</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058A)</td> <td>3EB-J-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.90</td> <td>4.08</td> <td>基本</td> <td>④⑤</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058B)</td> <td>3EB-J-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.90</td> <td>3.85</td> <td>個別</td> <td>④⑤</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>A-制御用空気圧縮機 (3IAE1A)</td> <td>3BD-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.40</td> <td>0.44</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ (3RBP1B)	3AB-L-5	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-601)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	2.95	3.25	基本	③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-611)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	2.95	3.23	基本	③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.01	個別	③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.70	1.75	個別	④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.70	1.78	個別	④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	建屋	0.70	1.77	個別	④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	建屋	0.70	1.78	個別	④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058A)	3EB-J-2	原子炉建屋	2.90	4.08	基本	④⑤	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058B)	3EB-J-1	原子炉建屋	2.90	3.85	個別	④⑤	制御用空気系	A-制御用空気圧縮機 (3IAE1A)	3BD-H-N2	原子炉建屋	0.40	0.44	基本
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																		
原子炉補助冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (31B-26, 27, 28, 29)	海水ポンプ建屋	2.5	6.50	4.00																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3主盤 (原子炉盤) (3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3安全保護シーケンス盤 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3所内盤 (3HS)	制御建屋	21.8	21.90	0.10																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4 ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B直流充電電盤 (3DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントローラセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1) ~ (3) (31BC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (31PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																		
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	B-余熱除去ポンプ (3RBP1B)	3AB-L-5	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-601)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	2.95	3.25	基本	③④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-611)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	2.95	3.23	基本	③④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.01	個別	③④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	③④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.70	1.75	個別	④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.70	1.78	個別	④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	建屋	0.70	1.77	個別	④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	建屋	0.70	1.78	個別	④																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058A)	3EB-J-2	原子炉建屋	2.90	4.08	基本	④⑤																																																																																																																																																																																																																																
余熱除去系	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058B)	3EB-J-1	原子炉建屋	2.90	3.85	個別	④⑤																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	A-制御用空気圧縮機 (3IAE1A)	3BD-H-N2	原子炉建屋	0.40	0.44	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																					
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5/9）						表1 防護対象設備一覧（5/27）						表1 防護対象設備一覧（5/35）						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気盤</td> <td>3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電圧切替盤 (3ISP-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.13</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>3AC, 3BD計装用後備分電盤 (3IBD-AC, BD)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> <tr> <td>非常用電源系</td> <td>3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.24</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>非常用電源系</td> <td>3A, 3Bディーゼル機関</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5 (本体は10.0)</td> <td>3.91</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>非常用電源系</td> <td>3A, 3Bディーゼル発電機</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5 (本体は10.0)</td> <td>3.84</td> <td>0.34</td> </tr> <tr> <td>非常用電源系</td> <td>3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>10.10</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3B格納容器スプレイ冷却器</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3よう素除去薬品タンク</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>22.08</td> <td>4.98</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3B格納容器スプレイポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5</td> <td>4.31</td> <td>0.81</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5</td> <td>4.70</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.95</td> <td>1.95</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンブ側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>12.08</td> <td>2.08</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>18.97</td> <td>1.87</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.65</td> <td>0.55</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイス</td> <td>3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.65</td> <td>0.55</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>3A, 3B高圧注入ポンプ</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5</td> <td>4.00</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>3.5</td> <td>4.70</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.93</td> <td>1.93</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)</td> <td>原子炉 周辺建屋</td> <td>6.6</td> <td>7.38</td> <td>0.78</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電圧切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (3IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09		0.29	非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.24	0.24	非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.10	0.10	格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	格納容器スプレイス	3よう素除去薬品タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	格納容器スプレイス	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.08	4.98	格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.95	1.95	格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンブ側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	12.08	2.08	格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.97	1.87	格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55	格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55	安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.00	0.50	安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.93	1.93	安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (a)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (a)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>B-制御用空気圧縮機 (3IAE1B)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.40</td> <td>0.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>A-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-IA-501A)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.50</td> <td>0.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>B-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-IA-501B)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.50</td> <td>0.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>A-制御用空気主蒸気逃し弁供給弁 (3V-IA-505A)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.50</td> <td>0.78</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>B-制御用空気主蒸気逃し弁供給弁 (3V-IA-505B)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.50</td> <td>0.77</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>A-制御用空気ヘッダ圧力 (III) (3PT-1800)</td> <td>3RB-F-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.03</td> <td>1.02</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>B-制御用空気ヘッダ圧力 (IV) (3PT-1810)</td> <td>3RB-F-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.03</td> <td>1.01</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-制御用空気圧縮機 (3IAPA)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.30</td> <td>0.30</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-制御用空気圧縮機 (3IAPB)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.30</td> <td>0.30</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-制御用空気圧縮機容量調節盤 (3IAPFA)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.79</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-制御用空気圧縮機容量調節盤 (3IAPFB)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>制御用空気系</td> <td>A-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-IA-510A)</td> <td>3RB-F-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.75</td> <td>0.75</td> <td>基本</td> <td>⑤⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (a)	個別測定高さ ^{※2} (a)	設定箇所	安全機能	制御用空気系	B-制御用空気圧縮機 (3IAE1B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	⑥	制御用空気系	A-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-IA-501A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥	制御用空気系	B-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-IA-501B)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥	制御用空気系	A-制御用空気主蒸気逃し弁供給弁 (3V-IA-505A)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.78	基本	⑥	制御用空気系	B-制御用空気主蒸気逃し弁供給弁 (3V-IA-505B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	⑥	制御用空気系	A-制御用空気ヘッダ圧力 (III) (3PT-1800)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥	制御用空気系	B-制御用空気ヘッダ圧力 (IV) (3PT-1810)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.01	個別	⑥	関連設備	A-制御用空気圧縮機 (3IAPA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥	関連設備	B-制御用空気圧縮機 (3IAPB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥	関連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節盤 (3IAPFA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	⑥	関連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節盤 (3IAPFB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	⑥	制御用空気系	A-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-IA-510A)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電圧切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33																																																																																																																																																																																																																																		
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (3IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.24	0.24																																																																																																																																																																																																																																		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41																																																																																																																																																																																																																																		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34																																																																																																																																																																																																																																		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.10	0.10																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3よう素除去薬品タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.08	4.98																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.95	1.95																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンブ側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	12.08	2.08																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.97	1.87																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55																																																																																																																																																																																																																																		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.00	0.50																																																																																																																																																																																																																																		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20																																																																																																																																																																																																																																		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.93	1.93																																																																																																																																																																																																																																		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78																																																																																																																																																																																																																																		
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (a)	個別測定高さ ^{※2} (a)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	B-制御用空気圧縮機 (3IAE1B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	A-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-IA-501A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	B-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-IA-501B)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	A-制御用空気主蒸気逃し弁供給弁 (3V-IA-505A)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.78	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	B-制御用空気主蒸気逃し弁供給弁 (3V-IA-505B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	A-制御用空気ヘッダ圧力 (III) (3PT-1800)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	B-制御用空気ヘッダ圧力 (IV) (3PT-1810)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.01	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	A-制御用空気圧縮機 (3IAPA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	B-制御用空気圧縮機 (3IAPB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節盤 (3IAPFA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節盤 (3IAPFB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																
制御用空気系	A-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-IA-510A)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧 (6/27)						表1 防護対象設備一覧 (6/35)						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能*	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ* (m)	個別測定高さ* (m)	設定箇所	安全機能	<p>・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>	
安全注入系	3A, 3B 38kV 圧入ポンプミニマムフローライン第2止弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	原子炉本注入口	圧入ポンプ注入系(3)標準操作箱 (323-7000)	3-2P-3-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.065	①	制御用空気系	B-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-IA-510B)	38B-F-2	原子炉建屋	0.75	6.75	基本		⑤⑥
安全注入系	3A, 3B 38kV 圧入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.82	1.82	原子炉格納容器隔離弁	圧入ポンプ注入系(2)第二隔離弁 (321-4000)	3-40P-3-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.570	①	原子炉補機冷却水系	A-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIA)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本		⑥
安全注入系	3A, 3B 38kV 圧入ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁 (3V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	原子炉格納容器隔離弁	38kVライン第二隔離弁 (311-4000)	3-40P-10	原子炉建屋	原子炉建屋	11.216	①	原子炉補機冷却水系	B-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIB)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本		⑥
安全注入系	3A 38kV 圧入流量(T), 3B 38kV 圧入流量(II)	原子炉周辺建屋	10.0	11.10	1.10	原子炉格納容器隔離弁	38kVライン第二隔離弁 (311-4000)	3-40P-10	原子炉建屋	原子炉建屋	9.903	①	原子炉補機冷却水系	C-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIC)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.88	基本		⑥
安全注入系	3A 38kV 圧入流量(T), 3B 38kV 圧入流量(II)	原子炉周辺建屋	10.0	11.10	1.10	原子炉格納容器隔離弁	38kVライン第二隔離弁 (311-4000)	3-40P-10	原子炉建屋	原子炉建屋	9.903	①	原子炉補機冷却水系	D-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPID)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本		⑥
安全注入系	3燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(1) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.904	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁 (3V-CC-044A)	38B-K-N4	原子炉建屋	1.30	2.65	基本		⑥
安全注入系	燃料取替用水系	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(2) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.905	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水戻り母管B側連絡弁 (3V-CC-044B)	38B-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.66	基本		⑥
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(3) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.140	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本		⑥
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(4) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.145	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本		⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(5) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	9.135	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本		⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(6) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.230	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本		⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.71	0.71	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(7) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.230	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本		⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(8) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.230	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本		⑥
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気透かし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.37	11.37	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(9) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	2.420	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本		⑥
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(10) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.445	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本		⑥
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(11) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.445	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本		⑥
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D 付属バルブ)	原子炉周辺建屋	29.0	29.52	0.52	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(12) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.495	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本		⑥
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(13) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.475	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本		⑥
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(14) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.545	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	38B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本		⑥
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-102, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	燃料取替用水配管表	燃料取替用水配管表(15) (340-0000)	3-2P-1-1	原子炉建屋	原子炉建屋	1.200	①	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	38B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本	⑥	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧 (7/27)						表1 防護対象設備一覧 (7/35)						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水系</td> <td>3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)</td> <td>制御建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.21</td> <td>1.21</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.32</td> <td>1.22</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.58</td> <td>1.48</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3換気空調機 (3VB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.30</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>30.03</td> <td>3.93</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.42</td> <td>1.32</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>23.21</td> <td>1.41</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>26.34</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.30</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.53</td> <td>1.43</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.52</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.85</td> <td>1.75</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.88</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.88</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.33</td> <td>1.23</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>29.36</td> <td>3.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)</td> <td>制御建屋</td> <td>28.7</td> <td>30.96</td> <td>2.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>29.50</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>17.20</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン</td> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.40</td> <td>0.30</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21	冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32		1.22	冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48	換気空調系	3換気空調機 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75	換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26	換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26	換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40	換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L.^{※1} [m]</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>空気の乾燥装置 (A) 電気ヒータ入口扉 (14B-70001A)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.900</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>空気の乾燥装置 (B) 電気ヒータ入口扉 (14B-70001B)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.940</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001C)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.210</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001D)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.260</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001E)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.910</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001F)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.960</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001G)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.330</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001H)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.380</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001I)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.260</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001J)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.260</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001K)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.910</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>非常用ボタ機室</td> <td>フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001L)</td> <td>0-2F-1-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>1.960</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001A)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.100</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001B)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.100</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001C)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001D)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.110</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001E)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001F)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001G)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001H)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001I)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001J)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001K)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系 (A)</td> <td>FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001L)</td> <td>0-2F-2-1</td> <td>原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>0.140</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	非常用ボタ機室	空気の乾燥装置 (A) 電気ヒータ入口扉 (14B-70001A)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.900	①	非常用ボタ機室	空気の乾燥装置 (B) 電気ヒータ入口扉 (14B-70001B)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.940	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001C)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.210	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001D)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.260	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001E)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.910	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001F)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.960	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001G)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.330	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001H)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.380	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001I)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.260	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001J)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.260	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001K)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.910	①	非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001L)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.960	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001A)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001B)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001C)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001D)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.110	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001E)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001F)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001G)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001H)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001I)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001J)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001K)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001L)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.28</td> <td>基本</td> <td>①④</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.29</td> <td>基本</td> <td>①④</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.27</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.30</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)</td> <td>3AB-F-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.62</td> <td>1.02</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	原子炉補機冷却水系	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.28	基本	①④	原子炉補機冷却水系	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.29	基本	①④	原子炉補機冷却水系	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.27	基本	⑤	原子炉補機冷却水系	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.30	基本	⑤	原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.02	基本
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32	1.22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3換気空調機 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	空気の乾燥装置 (A) 電気ヒータ入口扉 (14B-70001A)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.900	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	空気の乾燥装置 (B) 電気ヒータ入口扉 (14B-70001B)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.940	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001C)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.210	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001D)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.260	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001E)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.910	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001F)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.960	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001G)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.330	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001H)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.380	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001I)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.260	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001J)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.260	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001K)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.910	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
非常用ボタ機室	フィルタ装置チャコール系エアフィルタ入口扉 (14B-70001L)	0-2F-1-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.960	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001A)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001B)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001C)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001D)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.110	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001E)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001F)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001G)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001H)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001I)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001J)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001K)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
可燃性ガス濃度制御系 (A)	FC15 可燃性ガス濃度制御系 (A) (燃焼炉) (15B-70001L)	0-2F-2-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.140	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.28	基本	①④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.29	基本	①④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.27	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.30	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3RB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.02	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)						表1 防護対象設備一覧 (8/27)						表1 防護対象設備一覧 (8/35)						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	<p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (3LB-90, 91)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	BA, WD及びD.E.エボパ補機冷却水戻りライン第2止め弁 (3V-CC-352)	3AB-F-1	原子炉補機建屋	0.62	1.01	基本	⑥	
換気空調系	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B (3D-VS-431A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.65	4.55	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (III) (3LT-1200)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥	
換気空調系	3制御用空気圧縮機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.50	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (3LB-86, 87)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	A, B-C/V再循環ユニット補機冷却水入口DC/V外側隔離弁 (3V-CC-203A)	3EB-D-2	原子炉建屋	1.00	1.18	基本	⑤	
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (3D-VS-411A, B)	原子炉周辺建屋	21.3	23.30	2.00	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	C, D-C/V再循環ユニット補機冷却水入口DC/V外側隔離弁 (3V-CC-203B)	3EB-D-3	原子炉建屋	1.20	1.39	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度 (1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.40	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼルの発電機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	B-C/V再循環ユニット補機冷却水出口DC/V外側隔離弁 (3V-CC-208B)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼルの発電機室給気ファン現場操作箱 (3LB-84, 85)	原子炉周辺建屋	33.6	34.82	1.22	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	D-C/V再循環ユニット補機冷却水出口DC/V外側隔離弁 (3V-CC-208D)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3ディーゼルの発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2 (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	13.59	3.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bディーゼルの発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.93	0.83	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱 (3LB-82, 83)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度 (1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.61	5.51	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVゾナ (A) 入口温度監視装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3／4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (9/9)							表1 防護対象設備一覧 (9/27)							表1 防護対象設備一覧 (9/35)							<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.[+][m]	機能喪失高さ [※] E.L.[+][m]	床高 [※] 床[m]		系統	設備	区分番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]		系統	設備	区分番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} 高さ[m]	個別測定高さ ^{※2} 高さ[m]	設定箇所	
換気空調系	3号酸化タンク室温度(1),(2),(3),(4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.29	1.29		可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室温度調節弁 (1号-RV-F90-6)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.105	㊼	<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②緊急時維持機能 ③緊急停止機能 ④原子炉格納容器排水機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能</p> <p>①安全上特に重要な関連機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④ピット冷却機能 ⑤ピット排水機能</p>								
	換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室流量調節弁 (1号-RV-F90-6)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.105	㊼									
	換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室流量調節弁 (1号-RV-F90-6)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.105	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36	可動性ガス濃度制御系(注)	PC2 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-1)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.145	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-2)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.145	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-1)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.145	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環流量調節ダンパ (3HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-2)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.145	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量調節ダンパ流量設定 (3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-1)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.145	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-2)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.105	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19	可動性ガス濃度制御系(注)	PC5 3号酸化タンク室入口温度監視電対 (1号-TS-0006-1)	E-02-2-3	原子炉建屋	8.145	㊼									
	換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環ダンパ流量設定 (3HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011A)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.800	㊼									
	換気空調系	3A, 3Bアナログ空気浄化ファン (3VSP9A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011B)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.815	㊼									
	換気空調系	3A, 3Bアナログ空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011A)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.900	㊼									
	換気空調系	3A, 3Bアナログ空気浄化ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011B)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.915	㊼									
	換気空調系	3A, 3Bアナログ空気浄化ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011A)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.915	㊼									
	換気空調系	3A, 3Bアナログ空気浄化ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011B)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.915	㊼									
	換気空調系	3A, 3Bアナログ空気浄化ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (1号-PI-011A)	E-02-0-4	原子炉建屋	8.915	㊼									
	※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。							<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②緊急時維持機能 ③緊急停止機能 ④原子炉格納容器排水機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能</p> <p>①安全上特に重要な関連機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④ピット冷却機能 ⑤ピット排水機能</p>													
								<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②緊急時維持機能 ③緊急停止機能 ④原子炉格納容器排水機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能</p> <p>①安全上特に重要な関連機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④ピット冷却機能 ⑤ピット排水機能</p>													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (1/9)						表1 防護対象設備一覧 (10/27)						表1 防護対象設備一覧 (10/35)						<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、相崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} 高さ ^{※2} (m)	個別測定高さ ^{※2} 高さ ^{※2} (m)		設定箇所	安全機能
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.60	0.60	緊急時監視計器(CM2)	原子炉水抜取(巻揚)器 (SC2-F002B)	E-01F-1	原子炉建屋	9.360	⑤	関連設備	B-共通要因故障対策操作盤 (SCMFB)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	6.37	0.33	個別	⑤	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.16	0.66	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(タンク)駆動器 (SC2-F004)	E-02-0-5	原子炉建屋	9.360	⑤	関連設備	A-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPA)					個別	⑤	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉周辺建屋	33.6	34.75	1.15	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(タンク)駆動器 (SC2-F004)	E-02-0-6	原子炉建屋	1.560	⑤	関連設備	B-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPB)					個別	⑤	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動盤A, B (4TDF-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(タンク)駆動器 (SC2-F004)	E-02-0-5	原子炉建屋	1.510	⑤	関連設備	A-換気空調系集中現場盤 (SLVPA)					個別	⑤	
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉周辺建屋	17.1	18.21	1.11	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(タンク)駆動器 (SC2-F004)	E-02-0-5	原子炉建屋	9.423	⑤	関連設備	B-換気空調系集中現場盤 (SLVPB)					個別	⑤	
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉周辺建屋	26.0	26.45	0.45	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(タンク)駆動器 (SC2-F004)	E-02-0-6	原子炉建屋	1.360	⑤	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (SEFA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	⑤	
補助給水系	4復水ビット	原子炉周辺建屋	26.0	-	-	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(タンク)駆動器 (SC2-F004)	E-02-0-6	原子炉建屋	1.360	⑤	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (SEFB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	⑤	
化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.65	0.65	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(FASS駆動)バイパス弁 (SC2-F011)	E-02-0-5	原子炉建屋	2.920	⑤	関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SR31A)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤	
化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.29	0.29	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(FASS駆動)入口止め弁 (SC2-F012)	E-02-0-5	原子炉建屋	2.360	⑤	関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SR31B)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤	
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSA)	原子炉周辺建屋	10.0	11.00	1.00	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(FASS駆動)戻り止め弁 (SC2-F013)	E-02-0-5	原子炉建屋	2.490	⑤	関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SR31C)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑤	
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)	原子炉周辺建屋	10.0	10.80	0.80	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(FASS駆動)戻り止め弁 (SC2-F013)	E-02-0-5	原子炉建屋	2.490	⑤	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (SRTI)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤	
化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系(FASS駆動)戻り止め弁 (SC2-F013)	E-02-0-5	原子炉建屋	2.490	⑤	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (SRTII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤	
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉周辺建屋	10.0	11.19	1.19	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(A) (SC2-041, B&C)	E-02-0-5	原子炉建屋	9.540	⑤	注1: 保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2: 没水により機能喪失する床面からの高さ								
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.62	0.62	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(A) (SC2-041, B&C)	E-02-0-5	原子炉建屋	9.540	⑤	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能								
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(A) (SC2-041, B&C)	E-02F-0-1	原子炉建屋	9.540	⑤	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能								
化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉周辺建屋	10.0	11.03	1.03	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(A) (SC2-041, B&C)	E-02F-0-5	原子炉建屋	9.540	⑤									
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-121B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.26	1.16	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(A) (SC2-041, B&C)	E-02F-0-10	原子炉建屋	7.960	⑤									
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-121C)	原子炉周辺建屋	17.1	18.27	1.17	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(B) (SC2-041, B&C)	E-02-0-6	原子炉建屋	9.440	⑤									
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補助 弁 (4V-CS-573)	原子炉周辺建屋	17.1	21.57	4.47	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(B) (SC2-041, B&C)	E-02-0-2	原子炉建屋	2.160	⑤									
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)	原子炉周辺建屋	17.1	22.14	5.04	緊急時監視計器(CM2)	KAM電機系モード(B) (SC2-041, B&C)	E-02-0-6	原子炉建屋	9.520	⑤									
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉周辺建屋	17.1	22.00	4.90															
化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-															

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）							表1 防護対象設備一覧（11/27）							表1 防護対象設備一覧（11/35）							【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]		系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能 [※]		系統	設備	設置建屋	設置高さ [※] 高さ ^① (a)	個別測定 高さ ^② (m)	設定 箇所	安全 機能		
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-6	原子炉建屋 原子炉棟	2.943	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルIII) (3RTIII)	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥	【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-6	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルIV) (3RTIV)	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥	・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-18	原子炉建屋 原子炉棟	7.693	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルI) (3PI)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.18	1.08		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-3	原子炉建屋 原子炉棟	1.795	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルII) (3PII)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	【女川】 設計方針の相違
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-24	原子炉建屋 原子炉棟	0.500	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルIII) (3PIII)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.440	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルIV) (3PIV)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.440	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFPMA)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱 (4IB-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	10.243	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFPMB)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量 (4FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.61	1.11		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	10.243	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFP0A)	原子炉補助 建屋	0.05	0.05	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ最小 ムフローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.98	0.88		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-8	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (SFP0B)	原子炉補助 建屋	0.05	0.05	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-8	原子炉建屋 原子炉棟	0.220	⑥	関連設備	安全系マルチプレクサ (トレンA) (3SWCA)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤 (4IAC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-2	原子炉建屋 原子炉棟	2.161	⑥	関連設備	安全系マルチプレクサ (トレンB) (3SWCB)	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.72	0.62		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (4IAHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
制御用空気系	4A, 4B制御用空気ため (4IATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連 給弁 (4V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.78	0.68		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-5	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
制御用空気系	4A, 4B制御用空気主蒸気蒸が し弁等供給ライン止め弁 (4V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.76	0.66		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-5	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気格納容器隔 離弁 (4V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.88	0.78		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-24	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧 力 (4PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.20	1.10		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-24	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水 止め弁 (4V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.69	1.69		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (4LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	39.99	0.99		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-24	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-		緊急時監視計器(CMS)	FAMC高圧セーブ(S)	原子炉建屋 原子炉棟	0-12-24	原子炉建屋 原子炉棟	0.000	⑥	関連設備							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (12/27)					表1 防護対象設備一覧 (12/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補機冷却系	冷却器	3D3-3000B	原子炉補助建屋	0.000	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ1）（3SLCA1）	3A3-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	原子炉補機冷却系	冷却器	3D3-3002D-1	原子炉補助建屋	0.000	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ2）（3SLCA2）	3A3-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱（4LB-20, 21, 22, 23）	制御建屋	7.0	9.90	原子炉補機冷却系	冷却器	3D3-3002D-2	原子炉補助建屋	0.000	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ3）（3SLCA3）	3A3-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁（4V-CC-043A, B）	制御建屋	7.0	9.33	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001A）	3D1-0001A	原子炉補助建屋	0.115	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ1）（3SLCB1）	3A3-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁（4V-CC-056A, B）	制御建屋	7.0	9.33	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001B）	3D1-0001B	原子炉補助建屋	0.115	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ2）（3SLCB2）	3A3-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁（4号機側）（4V-CC-605, 606）	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001C）	3D1-0001C	原子炉補助建屋	0.403	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ3）（3SLCB3）	3A3-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁（4V-CC-178A, B）	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001D）	3D1-0001D	原子炉補助建屋	0.400	⑤	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ3）（3SLCB3）	3A3-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁（4V-CC-403）	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001E）	3D1-0001E	原子炉補助建屋	0.575	⑤	関連設備	A-1計装用インバータ（31VA）	3A3-H-36	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁（4V-CC-429）	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001F）	3D1-0001F	原子炉補助建屋	0.565	⑤	関連設備	B-1計装用インバータ（31VB）	3A3-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁（4V-CC-365）	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001G）	3D1-0001G	原子炉補助建屋	1.140	⑤	関連設備	C-1計装用インバータ（31VC）	3A3-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁（4V-CC-342）	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001H）	3D1-0001H	原子炉補助建屋	0.575	⑤	関連設備	D-1計装用インバータ（31VD）	3A3-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁（4V-CC-189A, B）	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	燃料プールの補給系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001I）	3D1-0001I	原子炉補助建屋	0.105	⑤	関連設備	A 1-1計装用交流分電盤（31DPA1）	3A3-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.23	基本	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁（4V-CC-198A, B, C, D）	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	燃料プールの補給系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001J）	3D1-0001J	原子炉補助建屋	0.303 [※]	⑤	関連設備	A 2-1計装用交流分電盤（31DPA2）	3A3-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁（4V-SW-570A, B）	制御建屋	7.0	9.69	燃料プールの補給系	燃料プールの冷却浄化ポンプ（3D1-0001K）	3D1-0001K	原子炉補助建屋	1.037 [※]	⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未断界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能							
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ（4S-SW-01A, B, C, D）	海水ポンプエリア	1.0	-	電気空調系	3号機用緊急用発電機（3-1）	3-1	原子炉補助建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未断界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能							
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	電気空調系	3号機用緊急用発電機（3-2）	3-2	原子炉補助建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未断界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（13/27）						表1 防護対象設備一覧（13/35）						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">設置建屋</th> <th colspan="2">設置高さ</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ[※]</th> </tr> <tr> <th>E.L.+[m]</th> <th>床土[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補助冷却系</td> <td>4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)</td> <td>海水ポンプエリア</td> <td>2.5</td> <td>6.40</td> <td>3.90</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4主盤（原子炉盤）(4MCB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.96</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4原子炉補助盤 (4RAB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.98</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.98</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4所内盤 (4HSB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.90</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.86</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)</td> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.15</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ノレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.89</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.89</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B直流分電盤 (4DDF-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.28</td> <td>0.48</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B蓄電池</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.60</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.89</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルラッドスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.95</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.86</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.01</td> <td>0.21</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.90</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]	E.L.+[m]	床土[m]	原子炉補助冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.40	3.90	電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCB)	制御建屋		21.8	21.96	0.16	電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06	電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05	電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ノレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気盤	4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDF-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルラッドスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L.^{※1}[m]</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機(RPC)駆動用ケーシング(1)</td> <td>B-2F-1</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.900</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機(RPC)駆動用ケーシング(2)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.900</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給気ケーシング(1)</td> <td>C-1B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.900</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給気ケーシング(2)</td> <td>C-1B2-2</td> <td>制御建屋</td> <td>6.900</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給気ケーシング(3)</td> <td>C-1B2-3</td> <td>制御建屋</td> <td>6.900</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-001)</td> <td>B-1B2-1</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DFシステム用電源機(T10-002)</td> <td>B-1B2-2</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DFシステム用電源機(T10-003)</td> <td>B-1B2-3</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.900</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DFシステム用電源機(T10-004)</td> <td>B-1B2-4</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-005)</td> <td>B-1B2-5</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-006)</td> <td>B-1B2-6</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-007)</td> <td>B-1B2-7</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-008)</td> <td>B-1B2-8</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-009)</td> <td>B-1B2-9</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-010)</td> <td>B-1B2-10</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-011)</td> <td>B-1B2-11</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-012)</td> <td>B-1B2-12</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-013)</td> <td>B-1B2-13</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-014)</td> <td>B-1B2-14</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.900</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>3DCシステム用電源機(T10-015)</td> <td>B-1B2-15</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機(A)駆動用機(1)(11-001A)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機(A)駆動用機(2)(11-002A)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機(A)駆動用機(3)(11-003A)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉補機用建屋</td> <td>6.100</td> <td>②③④⑤⑥</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	電気空調	原子炉補機(RPC)駆動用ケーシング(1)	B-2F-1	原子炉補機用建屋	6.900	②③④⑤⑥	電気空調	原子炉補機(RPC)駆動用ケーシング(2)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.900	②③④⑤⑥	電気空調	中央制御室給気ケーシング(1)	C-1B2-1	制御建屋	6.900	③	電気空調	中央制御室給気ケーシング(2)	C-1B2-2	制御建屋	6.900	③	電気空調	中央制御室給気ケーシング(3)	C-1B2-3	制御建屋	6.900	③	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-001)	B-1B2-1	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DFシステム用電源機(T10-002)	B-1B2-2	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥	電気空調	3DFシステム用電源機(T10-003)	B-1B2-3	原子炉補機用建屋	6.900	②③④⑤⑥	電気空調	3DFシステム用電源機(T10-004)	B-1B2-4	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-005)	B-1B2-5	原子炉補機用建屋	6.100	②④	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-006)	B-1B2-6	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-007)	B-1B2-7	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-008)	B-1B2-8	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-009)	B-1B2-9	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-010)	B-1B2-10	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-011)	B-1B2-11	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-012)	B-1B2-12	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-013)	B-1B2-13	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-014)	B-1B2-14	原子炉補機用建屋	6.900	②	電気空調	3DCシステム用電源機(T10-015)	B-1B2-15	原子炉補機用建屋	6.100	②	電気空調	原子炉補機(A)駆動用機(1)(11-001A)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥	電気空調	原子炉補機(A)駆動用機(2)(11-002A)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥	電気空調	原子炉補機(A)駆動用機(3)(11-003A)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関連設備</td> <td>B1-計装用交流分電盤(31DFB1)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B2-計装用交流分電盤(31DFB2)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.21</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C1-計装用交流分電盤(31DFC1)</td> <td>3AB-B-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.22</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C2-計装用交流分電盤(31DFC2)</td> <td>3AB-B-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.22</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D1-計装用交流分電盤(31DFD1)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D2-2計装用交流分電盤(31DFD2)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-計装用交流電源切替器盤(31SPA)</td> <td>3AB-B-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-計装用交流電源切替器盤(31SPB)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-計装用交流電源切替器盤(31SPC)</td> <td>3AB-B-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-計装用交流電源切替器盤(31SPD)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-補助建屋直流分電盤(3BDF-A)</td> <td>3AB-B-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.22</td> <td>0.23</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-補助建屋直流分電盤(3BDF-B)</td> <td>3AB-B-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.22</td> <td>0.22</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤炉心冷却機能 ⑥放射物質量の閉じ込め機能</p> <p>⑦安全上特に重要な閉塞機能 ⑧事故時のプラント状態の把握機能 ⑨制御室外からの安全停止機能 ⑩ビット冷却機能 ⑪ビット排水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	関連設備	B1-計装用交流分電盤(31DFB1)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	関連設備	B2-計装用交流分電盤(31DFB2)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.21	基本	⑥	関連設備	C1-計装用交流分電盤(31DFC1)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥	関連設備	C2-計装用交流分電盤(31DFC2)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥	関連設備	D1-計装用交流分電盤(31DFD1)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	関連設備	D2-2計装用交流分電盤(31DFD2)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	関連設備	A-計装用交流電源切替器盤(31SPA)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥	関連設備	B-計装用交流電源切替器盤(31SPB)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥	関連設備	C-計装用交流電源切替器盤(31SPC)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥	関連設備	D-計装用交流電源切替器盤(31SPD)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥	関連設備	A-補助建屋直流分電盤(3BDF-A)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.22	0.23	基本	⑥	関連設備	B-補助建屋直流分電盤(3BDF-B)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本
系統				設備	設置建屋		設置高さ		機能喪失高さ [※]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E.L.+[m]	床土[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
原子炉補助冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.40	3.90																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ノレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDF-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルラッドスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	原子炉補機(RPC)駆動用ケーシング(1)	B-2F-1	原子炉補機用建屋	6.900	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	原子炉補機(RPC)駆動用ケーシング(2)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.900	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	中央制御室給気ケーシング(1)	C-1B2-1	制御建屋	6.900	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	中央制御室給気ケーシング(2)	C-1B2-2	制御建屋	6.900	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	中央制御室給気ケーシング(3)	C-1B2-3	制御建屋	6.900	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-001)	B-1B2-1	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DFシステム用電源機(T10-002)	B-1B2-2	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DFシステム用電源機(T10-003)	B-1B2-3	原子炉補機用建屋	6.900	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DFシステム用電源機(T10-004)	B-1B2-4	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-005)	B-1B2-5	原子炉補機用建屋	6.100	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-006)	B-1B2-6	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-007)	B-1B2-7	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-008)	B-1B2-8	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-009)	B-1B2-9	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-010)	B-1B2-10	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-011)	B-1B2-11	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-012)	B-1B2-12	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-013)	B-1B2-13	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-014)	B-1B2-14	原子炉補機用建屋	6.900	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	3DCシステム用電源機(T10-015)	B-1B2-15	原子炉補機用建屋	6.100	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	原子炉補機(A)駆動用機(1)(11-001A)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	原子炉補機(A)駆動用機(2)(11-002A)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気空調	原子炉補機(A)駆動用機(3)(11-003A)	B-2F-4	原子炉補機用建屋	6.100	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	B1-計装用交流分電盤(31DFB1)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	B2-計装用交流分電盤(31DFB2)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.21	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	C1-計装用交流分電盤(31DFC1)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	C2-計装用交流分電盤(31DFC2)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	D1-計装用交流分電盤(31DFD1)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	D2-2計装用交流分電盤(31DFD2)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	A-計装用交流電源切替器盤(31SPA)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	B-計装用交流電源切替器盤(31SPB)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	C-計装用交流電源切替器盤(31SPC)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	D-計装用交流電源切替器盤(31SPD)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	A-補助建屋直流分電盤(3BDF-A)	3AB-B-N6	原子炉補助建屋	0.22	0.23	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
関連設備	B-補助建屋直流分電盤(3BDF-B)	3AB-B-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧 (15/27)						表1 防護対象設備一覧 (15/35)						【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大阪】 記載方針の相違			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大阪】 記載方針の相違	
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (4V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(3)	C-02-1	原子炉補機 打風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	B1-原子炉コントロールセンタ (3RCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤	・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである	
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.83	1.83	電気空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(4)	C-02-14	原子炉補機 打風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	B2-原子炉コントロールセンタ (3RCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤	「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。	
安全注入系	4A, 4B余熱除去ポンプRWSビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.99	1.99	電気空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(5)	C-02-14	原子炉補機 打風機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	A1-パワーコントロールセンタ (3PCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	個別	⑤	上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）	
安全注入系	4A高圧注入流量(T), 4B高圧注入流量(II) (4PT-062, 963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.08	1.08	電気空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(6)	C-02-1	原子炉補機 打風機	5.025	③④⑤⑥	関連設備	A2-パワーコントロールセンタ (3PCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	個別	⑤	・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違	
安全注入系	4燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.10	1.00	電気空調系	中央制御室送風機(A)	C-02F-1	制御室	5.075	⑦	関連設備	B1-パワーコントロールセンタ (3PCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	個別	⑤	【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。	
安全注入系、燃料取替用水系	4燃料取替用水ビット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	電気空調系	中央制御室送風機(B)	C-02F-2	制御室	5.115	⑦	関連設備	B2-パワーコントロールセンタ (3PCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	個別	⑤		
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	電気空調系	中央制御室再循環送風機(A)	C-02F-3	制御室	5.125	⑦	関連設備	A-6.6kVメタラ (3MC-A)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	個別	⑤		
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	電気空調系	中央制御室再循環送風機(B)	C-02F-3	制御室	5.150	⑦	関連設備	B-6.6kVメタラ (3MC-B)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	個別	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	中央制御室再循環送風機(C)	C-02F-3	制御室	5.060	⑦	原子炉補機冷却海水系	A-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1A)	3CWPB-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビット	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	電気空調系	中央制御室再循環送風機(D)	C-02F-1	制御室	1.625	⑦	原子炉補機冷却海水系	B-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1B)	3CWPB-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.72	0.72	電気空調系	中央制御室再循環送風機(E)	C-02F-1	制御室	2.950	⑦	原子炉補機冷却海水系	C-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1C)	3CWPB-B-N02	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	電気空調系	中央制御室再循環送風機(F)	C-02F-1	制御室	2.900	⑦										
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気逃がし弁 (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.33	11.33	電気空調系	中央制御室再循環送風機(G)	C-02F-1	制御室	1.125	⑦										
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力(4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	電気空調系	中央制御室再循環送風機(H)出口ダンパ (130-0205)	C-02F-3	制御室	3.000	⑦										
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	電気空調系	中央制御室再循環送風機(I)出口ダンパ (130-0206)	C-02F-3	制御室	3.700	⑦										
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉周辺建屋	29.0	29.40	0.40	電気空調系	中央制御室再循環送風機(J)	C-02F-3	制御室	2.900	⑦										
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	電気空調系	中央制御室再循環送風機(K)	C-02F-3	制御室	2.900	⑦										
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55	電気空調系	中央制御室再循環送風機(L)	C-02F-3	制御室	2.900	⑦										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由					
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)					表1 防護対象設備一覧 (17/27)					表1 防護対象設備一覧 (17/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映					
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]	系統	設備	区分番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区分番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ [m]	個別測定高さ ^④ [m]	設定箇所	安全機能	【大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
			E.L. + [m]	床[^⑤ m]																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 防護対象設備一覧 (19/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^(a) (m)</th> <th>機能^(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧中心スプレィ補給内排水</td><td>高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ</td><td>3F47-12300</td><td>原子炉建屋</td><td>4.870</td><td>④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>高圧中心スプレィ補給内排水</td><td>高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ</td><td>3F47-12301</td><td>原子炉建屋</td><td>6.110^(*)</td><td>④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>高圧中心スプレィ補給内排水</td><td>高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ</td><td>3F47-12302</td><td>原子炉建屋</td><td>9.065</td><td>④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>高圧中心スプレィ補給内排水</td><td>高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ</td><td>3F47-12303</td><td>原子炉建屋</td><td>9.365</td><td>④⑤⑥⑦</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1</td><td>3D2-731A1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.000</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1</td><td>3D2-731C1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.000</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(A)</td><td>3D2-3001A</td><td>原子炉建屋</td><td>0.115</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(C)</td><td>3D2-3001C</td><td>原子炉建屋</td><td>0.115</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)</td><td>3D2-3001A</td><td>原子炉建屋</td><td>0.220</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)</td><td>3D2-3001C</td><td>原子炉建屋</td><td>0.205</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)</td><td>3D2-3001A</td><td>原子炉建屋</td><td>0.185</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)</td><td>3D2-3001C</td><td>原子炉建屋</td><td>0.395</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)</td><td>3D2-3001A</td><td>原子炉建屋</td><td>0.445</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)</td><td>3D2-3001C</td><td>原子炉建屋</td><td>0.450</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)</td><td>3D2-3001A</td><td>原子炉建屋</td><td>1.175</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1</td><td>3D2-731B1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.000</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1</td><td>3D2-731D1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.000</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(B)</td><td>3D2-3001B</td><td>原子炉建屋</td><td>0.125</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(D)</td><td>3D2-3001D</td><td>原子炉建屋</td><td>0.115</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(B)</td><td>3D2-3001B</td><td>原子炉建屋</td><td>0.220</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(D)</td><td>3D2-3001D</td><td>原子炉建屋</td><td>0.220</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(B)</td><td>3D2-3001B</td><td>原子炉建屋</td><td>0.185</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>燃料空調補給機非常用内排水</td><td>燃料空調補給機非常用内排水系高水機(D)</td><td>3D2-3001D</td><td>原子炉建屋</td><td>0.435</td><td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設備番号	設置棟屋	基本設定高さ ^(a) (m)	機能 ^(b)	高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12300	原子炉建屋	4.870	④⑤⑥⑦	高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12301	原子炉建屋	6.110 ^(*)	④⑤⑥⑦	高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12302	原子炉建屋	9.065	④⑤⑥⑦	高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12303	原子炉建屋	9.365	④⑤⑥⑦	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731A1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731C1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.115	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.115	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.220	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.205	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.185	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.395	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.445	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.450	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	1.175	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731B1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731D1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(B)	3D2-3001B	原子炉建屋	0.125	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(D)	3D2-3001D	原子炉建屋	0.115	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(B)	3D2-3001B	原子炉建屋	0.220	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(D)	3D2-3001D	原子炉建屋	0.220	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(B)	3D2-3001B	原子炉建屋	0.185	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(D)	3D2-3001D	原子炉建屋	0.435	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	<p>表1 防護対象設備一覧 (19/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^(a) (m)</th> <th>個別測定高さ^(b) (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉</td><td>格納容器</td><td>3B-F-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.85</td><td>1.12</td><td>基本</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピット</td><td>A-使用済燃料ピットポンプ (3SPFLA)</td><td>3B-B-7</td><td>原子炉建屋</td><td>0.69</td><td>0.75</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピット</td><td>B-使用済燃料ピットポンプ (3SPFLB)</td><td>3B-B-7</td><td>原子炉建屋</td><td>0.69</td><td>0.76</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入</td><td>A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)</td><td>3AB-L-8 (3AB-L-9)</td><td>原子炉補助棟屋</td><td>0.33</td><td>0.32</td><td>個別</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入</td><td>B-高圧注入ポンプ (3SIP1B)</td><td>3AB-L-2 (3AB-L-3)</td><td>原子炉補助棟屋</td><td>0.33</td><td>0.32</td><td>個別</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入</td><td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用</td><td>3AB-B-9</td><td>原子炉補助棟屋</td><td>0.80</td><td>1.84</td><td>個別</td><td>②④⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入</td><td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用</td><td>3AB-B-2</td><td>原子炉補助棟屋</td><td>0.80</td><td>1.84</td><td>個別</td><td>②④⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入</td><td>A-高圧注入ポンプ第1ミニローソ</td><td>3AB-K-22</td><td>原子炉補助棟屋</td><td>0.72</td><td>0.72</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：洪水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^(a) (m)	個別測定高さ ^(b) (m)	設定箇所	安全機能	原子炉	格納容器	3B-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	④⑤	使用済燃料ピット	A-使用済燃料ピットポンプ (3SPFLA)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑤	使用済燃料ピット	B-使用済燃料ピットポンプ (3SPFLB)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑤	高圧注入	A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)	3AB-L-8 (3AB-L-9)	原子炉補助棟屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入	B-高圧注入ポンプ (3SIP1B)	3AB-L-2 (3AB-L-3)	原子炉補助棟屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入	A-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-B-9	原子炉補助棟屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入	B-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-B-2	原子炉補助棟屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入	A-高圧注入ポンプ第1ミニローソ	3AB-K-22	原子炉補助棟屋	0.72	0.72	基本	②④	<p>【女川】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さが没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置棟屋	基本設定高さ ^(a) (m)	機能 ^(b)																																																																																																																																																																																																																						
高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12300	原子炉建屋	4.870	④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																						
高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12301	原子炉建屋	6.110 ^(*)	④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																						
高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12302	原子炉建屋	9.065	④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																						
高圧中心スプレィ補給内排水	高圧中心スプレィ補給内排水ポンプ	3F47-12303	原子炉建屋	9.365	④⑤⑥⑦																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731A1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731C1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.115	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.115	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.220	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.205	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.185	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.395	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	0.445	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C)	3D2-3001C	原子炉建屋	0.450	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(A)	3D2-3001A	原子炉建屋	1.175	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731B1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(C) 制御室10-1	3D2-731D1	原子炉建屋	0.000	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(B)	3D2-3001B	原子炉建屋	0.125	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水ポンプ(D)	3D2-3001D	原子炉建屋	0.115	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(B)	3D2-3001B	原子炉建屋	0.220	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(D)	3D2-3001D	原子炉建屋	0.220	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(B)	3D2-3001B	原子炉建屋	0.185	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
燃料空調補給機非常用内排水	燃料空調補給機非常用内排水系高水機(D)	3D2-3001D	原子炉建屋	0.435	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^(a) (m)	個別測定高さ ^(b) (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																				
原子炉	格納容器	3B-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	④⑤																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット	A-使用済燃料ピットポンプ (3SPFLA)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット	B-使用済燃料ピットポンプ (3SPFLB)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入	A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)	3AB-L-8 (3AB-L-9)	原子炉補助棟屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入	B-高圧注入ポンプ (3SIP1B)	3AB-L-2 (3AB-L-3)	原子炉補助棟屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入	A-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-B-9	原子炉補助棟屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入	B-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-B-2	原子炉補助棟屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入	A-高圧注入ポンプ第1ミニローソ	3AB-K-22	原子炉補助棟屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>表1 防護対象設備一覧（20/27）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>記号番号</th> <th>設置種類</th> <th>E.L⁽¹⁾(m)</th> <th>機能⁽²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機界空調機用実用内部排水</td> <td>機界空調機用(2)冷水出口高差 (222-F1202B)</td> <td>B-2P-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.600</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>機界空調機用実用内部排水</td> <td>機界空調機用(2)冷水出口高差 (222-F1202C)</td> <td>B-2P-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.600</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>機界空調機用実用内部排水</td> <td>機界空調機用(2)冷水温度(2) (222-F1202E)</td> <td>B-2P-4</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>1.175</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>中水制御室制御盤</td> <td>中水制御室制御盤 (321)</td> <td>C-2P-1</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>中水制御室電子盤</td> <td>中水制御室電子盤 (321)</td> <td>C-2P-1</td> <td>制御室</td> <td>0.200</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>中水制御室電子盤</td> <td>中水制御室電子盤 (321)</td> <td>C-2P-2</td> <td>制御室</td> <td>0.200</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>中水制御室電子盤</td> <td>中水制御室電子盤 (321)</td> <td>C-2P-2</td> <td>制御室</td> <td>0.200</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>中水制御室原子炉停止装置 箱</td> <td>中水制御室原子炉停止装置 箱(321)</td> <td>C-4P-6-1</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 エナテラ 4-2C (322-F151)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 4-2C (322-F151)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)</td> <td>B-4P-6</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(A)</td> <td>日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)</td> <td>C-4P-3</td> <td>制御室</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(B)</td> <td>日立 エナテラ 4-2D (322-F152)</td> <td>B-4P-10</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(B)</td> <td>日立 4-2D (322-F152)</td> <td>B-4P-10</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(B)</td> <td>日立 400V MFC 2D-1 (324-F152)</td> <td>B-4P-12</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>貯蓄機(B)</td> <td>日立 400V MFC 2D-2 (324-F152)</td> <td>B-4P-12</td> <td>原子炉建屋 付属機</td> <td>0.900</td> <td>②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：基本により機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.95mを考慮） ※2：①安全機能 ②緊急停止機能 ③一時停止機能 ④異常検出機能 ⑤異常停止機能 ⑥異常検出機能 ⑦自動停止機能 ⑧自動停止機能 ⑨停止機能 ⑩停止機能 ⑪停止機能 ⑫停止機能 ⑬停止機能 ⑭停止機能 ⑮停止機能 ⑯停止機能 ⑰停止機能 ⑱停止機能 ⑲停止機能 ⑳停止機能 ㉑停止機能 ㉒停止機能 ㉓停止機能 ㉔停止機能 ㉕停止機能 ㉖停止機能 ㉗停止機能 ㉘停止機能 ㉙停止機能 ㉚停止機能 ㉛停止機能 ㉜停止機能 ㉝停止機能 ㉞停止機能 ㉟停止機能 ㊱停止機能 ㊲停止機能 ㊳停止機能 ㊴停止機能 ㊵停止機能 ㊶停止機能 ㊷停止機能 ㊸停止機能 ㊹停止機能 ㊺停止機能 ㊻停止機能 ㊼停止機能 ㊽停止機能 ㊾停止機能 ㊿停止機能 ※3：基本に準じており機界空調機用 ※4：基本に準じており機界空調機用</p>	系統	設備	記号番号	設置種類	E.L ⁽¹⁾ (m)	機能 ⁽²⁾	機界空調機用実用内部排水	機界空調機用(2)冷水出口高差 (222-F1202B)	B-2P-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	機界空調機用実用内部排水	機界空調機用(2)冷水出口高差 (222-F1202C)	B-2P-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	機界空調機用実用内部排水	機界空調機用(2)冷水温度(2) (222-F1202E)	B-2P-4	原子炉建屋 付属機	1.175	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	中水制御室制御盤	中水制御室制御盤 (321)	C-2P-1	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	中水制御室電子盤	中水制御室電子盤 (321)	C-2P-1	制御室	0.200	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	中水制御室電子盤	中水制御室電子盤 (321)	C-2P-2	制御室	0.200	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	中水制御室電子盤	中水制御室電子盤 (321)	C-2P-2	制御室	0.200	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	中水制御室原子炉停止装置 箱	中水制御室原子炉停止装置 箱(321)	C-4P-6-1	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 エナテラ 4-2C (322-F151)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 4-2C (322-F151)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(B)	日立 エナテラ 4-2D (322-F152)	B-4P-10	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(B)	日立 4-2D (322-F152)	B-4P-10	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(B)	日立 400V MFC 2D-1 (324-F152)	B-4P-12	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	貯蓄機(B)	日立 400V MFC 2D-2 (324-F152)	B-4P-12	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩	<p>表1 防護対象設備一覧（20/35）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>基本設定高さ⁽¹⁾(m)</th> <th>個別測定高さ⁽²⁾(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015A)</td> <td>3AB-K-22</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.72</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ第1ミニンロー弁 (3V-SI-014B)</td> <td>3AB-K-12</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.73</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015B)</td> <td>3AB-K-12</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.73</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020A)</td> <td>3AB-K-21</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.93</td> <td>1.01</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020B)</td> <td>3AB-K-13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.93</td> <td>1.00</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)</td> <td>3AB-F-23</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.89</td> <td>0.98</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)</td> <td>3AB-F-23</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.89</td> <td>0.98</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)</td> <td>3BB-E-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)</td> <td>3BB-E-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.09</td> <td>基本</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)</td> <td>3BB-E-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)</td> <td>3BB-J-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.90</td> <td>3.86</td> <td>基本</td> <td>④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)</td> <td>3BB-J-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.90</td> <td>4.07</td> <td>個別</td> <td>④⑤</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>A-燃料取替用水ポンプ (SRFP1A)</td> <td>3BB-D-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.51</td> <td>0.53</td> <td>基本</td> <td>⑦</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種類	基本設定高さ ⁽¹⁾ (m)	個別測定高さ ⁽²⁾ (m)	設定箇所	安全機能	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第1ミニンロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.93	1.01	個別	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.93	1.00	個別	②④	高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④	高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④	高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④⑤	高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤	高圧注入系	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	④⑤	高圧注入系	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)	3BB-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	④⑤	高圧注入系	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)	3BB-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	④⑤	燃料取替用水系	A-燃料取替用水ポンプ (SRFP1A)	3BB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	⑦	<p>【女川】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	記号番号	設置種類	E.L ⁽¹⁾ (m)	機能 ⁽²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機界空調機用実用内部排水	機界空調機用(2)冷水出口高差 (222-F1202B)	B-2P-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機界空調機用実用内部排水	機界空調機用(2)冷水出口高差 (222-F1202C)	B-2P-4	原子炉建屋 付属機	0.600	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機界空調機用実用内部排水	機界空調機用(2)冷水温度(2) (222-F1202E)	B-2P-4	原子炉建屋 付属機	1.175	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中水制御室制御盤	中水制御室制御盤 (321)	C-2P-1	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中水制御室電子盤	中水制御室電子盤 (321)	C-2P-1	制御室	0.200	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中水制御室電子盤	中水制御室電子盤 (321)	C-2P-2	制御室	0.200	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中水制御室電子盤	中水制御室電子盤 (321)	C-2P-2	制御室	0.200	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中水制御室原子炉停止装置 箱	中水制御室原子炉停止装置 箱(321)	C-4P-6-1	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 エナテラ 4-2C (322-F151)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 4-2C (322-F151)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)	B-4P-6	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-1 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-2 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-3 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-4 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(A)	日立 400V MFC 2C-5 (324-F152)	C-4P-3	制御室	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(B)	日立 エナテラ 4-2D (322-F152)	B-4P-10	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(B)	日立 4-2D (322-F152)	B-4P-10	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(B)	日立 400V MFC 2D-1 (324-F152)	B-4P-12	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
貯蓄機(B)	日立 400V MFC 2D-2 (324-F152)	B-4P-12	原子炉建屋 付属機	0.900	②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
系統	設備	区画番号	設置種類	基本設定高さ ⁽¹⁾ (m)	個別測定高さ ⁽²⁾ (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第1ミニンロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.93	1.01	個別	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.93	1.00	個別	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)	3BB-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																
高圧注入系	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)	3BB-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取替用水系	A-燃料取替用水ポンプ (SRFP1A)	3BB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	⑦																																																																																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	表1 防護対象設備一覧 (21/27)	表1 防護対象設備一覧 (21/35)	【女川】 記載方針の相違 設計方針の相違																																																																																																																																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置階層</th> <th>寸法^{※1} (m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>圧力 400V MCC 2D-3 (324-F123)</td><td>B-B1F-12</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>圧力 400V MCC 2D-4 (324-F121)</td><td>B-B1F-12</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.000</td><td>①③</td></tr> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>圧力 400V MCC 2D-5 (324-F122)</td><td>D-1F-16-1</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>圧力 400V MCC 2D-1 (324-F252)</td><td>C-B1F-6</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>圧力 400V MCC 2D-2 (324-F340)</td><td>C-B1F-6</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>高圧配管 圧力調整器 (347-F396)</td><td>C-B1F-6</td><td>制御建屋</td><td>0.075</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用AC(1)</td><td>圧力 400V 交流電源用遮断器 (324-F75)</td><td>D4-F-2-2</td><td>緊急停止用(1F) (非常管理区域)</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非常用AC(BPC3)</td><td>圧力 400V ノートアラーム (322-F16)</td><td>B-B1F-4</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.000</td><td>①③⑤⑦⑧</td></tr> <tr><td>非常用AC(BPC3)</td><td>BPC 駆動力配管部120V (323-F13)</td><td>B-B1F-4</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.000</td><td>①③⑤⑦⑧</td></tr> <tr><td>非常用AC(BPC3)</td><td>圧力 400V MCC3 (323-F14)</td><td>D-1F-15-1</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.000</td><td>①③④⑥⑧</td></tr> <tr><td>非常用AC(BPC3)</td><td>高圧炉心マフレイド系120V交流分電盤 (347-P02)</td><td>B-B1F-6</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.545</td><td>①③④⑥⑧</td></tr> <tr><td>非常用AC(BPC3)</td><td>BPC3交流分電盤120V高圧調整器 (347-F09)</td><td>B-B1F-6</td><td>原子炉建屋 付属層</td><td>0.075</td><td>①③④⑥⑧</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>無停電交流電源用停止型無停電電源装置2A (346-P02)</td><td>C-B1F-3</td><td>制御建屋</td><td>0.100</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>無停電交流電源用停止型無停電電源装置2B (346-P03)</td><td>C-B1F-3</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>中央制御室用交流分電盤120V (346-P04)</td><td>C-B1F-3</td><td>制御建屋</td><td>0.145</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>中央制御室用交流分電盤120V (346-P05)</td><td>C-B1F-3</td><td>制御建屋</td><td>0.145</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>中央制御室用交流分電盤2A (347-P00A)</td><td>C-B1F-3</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>中央制御室用交流分電盤2B (347-P00B)</td><td>C-B1F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>中央制御室120V交流分電盤2A (347-P01)</td><td>C-B1F-3</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>防炎保護系(電源)</td><td>中央制御室120V交流分電盤2B (347-P02)</td><td>C-B1F-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 2線電圧 2-F</td><td>C-B1F-1</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 2線電圧 1-F</td><td>C-B1F-1</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 2線電圧 1-F</td><td>C-B1F-1</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：圧力により機能喪失する床面からの高さ (本表および図面を参照) ※2：①安全機能 ②緊急停止機能 ③承認待ち機能 ④承認待ち中機能 ⑤停止待ち機能 ⑥停止待ち中機能 ⑦停止待ち解除機能 ⑧燃料ポンプ機能 ⑨燃料ポンプ停止機能 ⑩燃料ポンプ停止待ち機能</p>	系統	設備	設備番号	設置階層	寸法 ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-3 (324-F123)	B-B1F-12	原子炉建屋 付属層	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-4 (324-F121)	B-B1F-12	原子炉建屋 付属層	0.000	①③	非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-5 (324-F122)	D-1F-16-1	原子炉建屋 付属層	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-1 (324-F252)	C-B1F-6	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-2 (324-F340)	C-B1F-6	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用AC(1)	高圧配管 圧力調整器 (347-F396)	C-B1F-6	制御建屋	0.075	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用AC(1)	圧力 400V 交流電源用遮断器 (324-F75)	D4-F-2-2	緊急停止用(1F) (非常管理区域)	0.000	①②③④⑤⑥	非常用AC(BPC3)	圧力 400V ノートアラーム (322-F16)	B-B1F-4	原子炉建屋 付属層	0.000	①③⑤⑦⑧	非常用AC(BPC3)	BPC 駆動力配管部120V (323-F13)	B-B1F-4	原子炉建屋 付属層	0.000	①③⑤⑦⑧	非常用AC(BPC3)	圧力 400V MCC3 (323-F14)	D-1F-15-1	原子炉建屋 付属層	0.000	①③④⑥⑧	非常用AC(BPC3)	高圧炉心マフレイド系120V交流分電盤 (347-P02)	B-B1F-6	原子炉建屋 付属層	0.545	①③④⑥⑧	非常用AC(BPC3)	BPC3交流分電盤120V高圧調整器 (347-F09)	B-B1F-6	原子炉建屋 付属層	0.075	①③④⑥⑧	防炎保護系(電源)	無停電交流電源用停止型無停電電源装置2A (346-P02)	C-B1F-3	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	無停電交流電源用停止型無停電電源装置2B (346-P03)	C-B1F-3	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤120V (346-P04)	C-B1F-3	制御建屋	0.145	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤120V (346-P05)	C-B1F-3	制御建屋	0.145	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤2A (347-P00A)	C-B1F-3	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤2B (347-P00B)	C-B1F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2A (347-P01)	C-B1F-3	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	防炎保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2B (347-P02)	C-B1F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用DC(A)	120V 2線電圧 2-F	C-B1F-1	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用DC(A)	120V 2線電圧 1-F	C-B1F-1	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用DC(A)	120V 2線電圧 1-F	C-B1F-1	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>燃料取替用水系</td><td>B-燃料取替用水ポンプ (3RFP1B)</td><td>3RB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>基本</td><td>①</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系</td><td>燃料取替用水ピット水位 (I) (3LT-1400)</td><td>3RB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>1.04</td><td>基本</td><td>②③④⑦</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系</td><td>燃料取替用水ピット水位 (II) (3LT-1401)</td><td>3RB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>1.04</td><td>基本</td><td>②③④⑦</td></tr> <tr><td>主給水系</td><td>A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.39</td><td>基本</td><td>①⑤⑥</td></tr> <tr><td>主給水系</td><td>B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.40</td><td>基本</td><td>①⑤⑥</td></tr> <tr><td>主給水系</td><td>C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.40</td><td>基本</td><td>①⑤⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>A-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3610)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.25</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>B-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3620)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.24</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>C-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3630)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.27</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>A-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>9.00</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>B-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>9.00</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>C-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>8.65</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.60</td><td>基本</td><td>①③⑥</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①安全上特に重要な関連機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧原子炉停止後の除熱機能 ⑨炉心冷却機能 ⑩放射性物質の閉じ込め機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	燃料取替用水系	B-燃料取替用水ポンプ (3RFP1B)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	①	燃料取替用水系	燃料取替用水ピット水位 (I) (3LT-1400)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②③④⑦	燃料取替用水系	燃料取替用水ピット水位 (II) (3LT-1401)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②③④⑦	主給水系	A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.39	基本	①⑤⑥	主給水系	B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	①⑤⑥	主給水系	C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	①⑤⑥	主蒸気系	A-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3610)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.25	基本	①③⑥	主蒸気系	B-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3620)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.24	基本	①③⑥	主蒸気系	C-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3630)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.27	基本	①③⑥	主蒸気系	A-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	①③⑥	主蒸気系	B-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	①③⑥	主蒸気系	C-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	8.65	基本	①③⑥	主蒸気系	A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.60	基本	①③⑥	<p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ(基本設定箇所)」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ(個別測定箇所)」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。(島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様)</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置階層	寸法 ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-3 (324-F123)	B-B1F-12	原子炉建屋 付属層	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-4 (324-F121)	B-B1F-12	原子炉建屋 付属層	0.000	①③																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-5 (324-F122)	D-1F-16-1	原子炉建屋 付属層	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-1 (324-F252)	C-B1F-6	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	圧力 400V MCC 2D-2 (324-F340)	C-B1F-6	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	高圧配管 圧力調整器 (347-F396)	C-B1F-6	制御建屋	0.075	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(1)	圧力 400V 交流電源用遮断器 (324-F75)	D4-F-2-2	緊急停止用(1F) (非常管理区域)	0.000	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(BPC3)	圧力 400V ノートアラーム (322-F16)	B-B1F-4	原子炉建屋 付属層	0.000	①③⑤⑦⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(BPC3)	BPC 駆動力配管部120V (323-F13)	B-B1F-4	原子炉建屋 付属層	0.000	①③⑤⑦⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(BPC3)	圧力 400V MCC3 (323-F14)	D-1F-15-1	原子炉建屋 付属層	0.000	①③④⑥⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(BPC3)	高圧炉心マフレイド系120V交流分電盤 (347-P02)	B-B1F-6	原子炉建屋 付属層	0.545	①③④⑥⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(BPC3)	BPC3交流分電盤120V高圧調整器 (347-F09)	B-B1F-6	原子炉建屋 付属層	0.075	①③④⑥⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	無停電交流電源用停止型無停電電源装置2A (346-P02)	C-B1F-3	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	無停電交流電源用停止型無停電電源装置2B (346-P03)	C-B1F-3	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤120V (346-P04)	C-B1F-3	制御建屋	0.145	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤120V (346-P05)	C-B1F-3	制御建屋	0.145	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤2A (347-P00A)	C-B1F-3	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	中央制御室用交流分電盤2B (347-P00B)	C-B1F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2A (347-P01)	C-B1F-3	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
防炎保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2B (347-P02)	C-B1F-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用DC(A)	120V 2線電圧 2-F	C-B1F-1	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用DC(A)	120V 2線電圧 1-F	C-B1F-1	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用DC(A)	120V 2線電圧 1-F	C-B1F-1	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系	B-燃料取替用水ポンプ (3RFP1B)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	①																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系	燃料取替用水ピット水位 (I) (3LT-1400)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②③④⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系	燃料取替用水ピット水位 (II) (3LT-1401)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②③④⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系	A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.39	基本	①⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系	B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	①⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系	C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	①⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	A-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3610)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.25	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	B-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3620)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.24	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	C-主蒸気過熱し弁 (3PCV-3630)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.27	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	A-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	B-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	C-主蒸気過熱し弁 (付属パネル) (-)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.30	8.65	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系	A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.60	基本	①③⑥																																																																																																																																																																																																																																																												

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
表1 防護対象設備一覧 (22/27)		表1 防護対象設備一覧 (22/35)																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>E.L¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非蒸気DC(A)</td><td>120V 遮断装置(パワーセンタ2) (3&2-P053A)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(A)</td><td>120V 遮断装置2</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(A)</td><td>120V 遮断装置(主母線)A(F/C) (3&2-P060A)</td><td>C-02-F-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(A)</td><td>120V 遮断装置(主母線)A(S/C) (3&2-P060A)</td><td>C-02-F-3</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(A)</td><td>120V 遮断装置(分電盤)1 (3&2-P051)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(A)</td><td>120V 遮断装置(分電盤)A (3&2-F713A)</td><td>3B-F-2-3</td><td>遮断装置(付着) (非蒸気圧域)</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置 (1-1)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置(パワーセンタ2) (3&2-P063B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置2 (3&2-P063B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置(主母線)B(F/C) (3&2-P066B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置(主母線)B(S/C) (3&2-P066B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置(分電盤)2-1 (3&2-P052)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)</td><td>120V 遮断装置(分電盤)2 (3&2-F713A)</td><td>3B-F-2-3</td><td>遮断装置(付着) (非蒸気圧域)</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)(FC)</td><td>120V 遮断装置 (1-1)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)(FC)</td><td>120V 遮断装置2 (3&2-P053)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)(FC)</td><td>120V 遮断装置(主母線)B(F/C) (3&2-P053)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)(FC)</td><td>120V 遮断装置(主母線)B(S/C) (3&2-P054)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非蒸気DC(B)(FC)</td><td>120V 遮断装置(分電盤) (3&2-F706)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>非蒸気ディーゼルの発電設備 (JA)</td><td>非蒸気ディーゼルの発電機(インレットコン) 制御装置 (3E1-F225A)</td><td>B-1-F-13</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気ディーゼルの発電設備 (JB)</td><td>非蒸気ディーゼルの発電機(外周調整装置) (3E1-F223A)</td><td>B-1-F-13</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気ディーゼルの発電設備 (JC)</td><td>非蒸気ディーゼルの発電機(自動機調整装置) (3E1-F222A)</td><td>B-1-F-13</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気ディーゼルの発電設備 (LD)</td><td>非蒸気ディーゼルの発電機(機械調整装置) (3E1-F221A)</td><td>B-1-F-13</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> <tr><td>非蒸気ディーゼルの発電設備 (LE)</td><td>非蒸気ディーゼルの発電機(制御装置) (3E1-F220A)</td><td>B-1-F-13</td><td>原子炉建屋 行機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置種類	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(パワーセンタ2) (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(A)	120V 遮断装置2	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(主母線)A(F/C) (3&2-P060A)	C-02-F-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(主母線)A(S/C) (3&2-P060A)	C-02-F-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(分電盤)1 (3&2-P051)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(分電盤)A (3&2-F713A)	3B-F-2-3	遮断装置(付着) (非蒸気圧域)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置 (1-1)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(パワーセンタ2) (3&2-P063B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置2 (3&2-P063B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(主母線)B(F/C) (3&2-P066B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(主母線)B(S/C) (3&2-P066B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(分電盤)2-1 (3&2-P052)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(分電盤)2 (3&2-F713A)	3B-F-2-3	遮断装置(付着) (非蒸気圧域)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置 (1-1)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥	非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置2 (3&2-P053)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥	非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置(主母線)B(F/C) (3&2-P053)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥	非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置(主母線)B(S/C) (3&2-P054)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥	非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置(分電盤) (3&2-F706)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥	非蒸気ディーゼルの発電設備 (JA)	非蒸気ディーゼルの発電機(インレットコン) 制御装置 (3E1-F225A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気ディーゼルの発電設備 (JB)	非蒸気ディーゼルの発電機(外周調整装置) (3E1-F223A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気ディーゼルの発電設備 (JC)	非蒸気ディーゼルの発電機(自動機調整装置) (3E1-F222A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気ディーゼルの発電設備 (LD)	非蒸気ディーゼルの発電機(機械調整装置) (3E1-F221A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	非蒸気ディーゼルの発電設備 (LE)	非蒸気ディーゼルの発電機(制御装置) (3E1-F220A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ³⁾(m)</th> <th>個別測定高さ⁴⁾(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)</td><td>3B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.57</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628C)</td><td>3B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.58</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3B-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3B-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3B-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.80</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ※3：浸水により機能喪失する床面からの高さ ※4：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②本機異常検出機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④ピット冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ³⁾ (m)	個別測定高さ ⁴⁾ (m)	設定箇所	安全機能	主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3B-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	③⑤	主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628C)	3B-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	③⑤	主蒸気	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置種類	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(パワーセンタ2) (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(A)	120V 遮断装置2	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(主母線)A(F/C) (3&2-P060A)	C-02-F-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(主母線)A(S/C) (3&2-P060A)	C-02-F-3	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(分電盤)1 (3&2-P051)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(A)	120V 遮断装置(分電盤)A (3&2-F713A)	3B-F-2-3	遮断装置(付着) (非蒸気圧域)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置 (1-1)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(パワーセンタ2) (3&2-P063B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置2 (3&2-P063B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(主母線)B(F/C) (3&2-P066B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(主母線)B(S/C) (3&2-P066B)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(分電盤)2-1 (3&2-P052)	C-02-F-4	制御機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)	120V 遮断装置(分電盤)2 (3&2-F713A)	3B-F-2-3	遮断装置(付着) (非蒸気圧域)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置 (1-1)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置2 (3&2-P053)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置(主母線)B(F/C) (3&2-P053)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置(主母線)B(S/C) (3&2-P054)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気DC(B)(FC)	120V 遮断装置(分電盤) (3&2-F706)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気ディーゼルの発電設備 (JA)	非蒸気ディーゼルの発電機(インレットコン) 制御装置 (3E1-F225A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気ディーゼルの発電設備 (JB)	非蒸気ディーゼルの発電機(外周調整装置) (3E1-F223A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気ディーゼルの発電設備 (JC)	非蒸気ディーゼルの発電機(自動機調整装置) (3E1-F222A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気ディーゼルの発電設備 (LD)	非蒸気ディーゼルの発電機(機械調整装置) (3E1-F221A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
非蒸気ディーゼルの発電設備 (LE)	非蒸気ディーゼルの発電機(制御装置) (3E1-F220A)	B-1-F-13	原子炉建屋 行機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ³⁾ (m)	個別測定高さ ⁴⁾ (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3B-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628C)	3B-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/27)</p> <table border="1"><thead><tr><th>系統</th><th>設備</th><th>設備番号</th><th>設置場所</th><th>寸法^① (m)</th><th>機能^②</th></tr></thead><tbody><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関連動装置 (S) ボジションスイッチ (S) (3K3-F0208)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.820</td><td>②③④⑤⑥</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>燃料ハンドラ制御装置 (S) ボジションスイッチ (S) (3K3-F0209)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.820</td><td>②③④⑤⑥</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関付直巻ポンプ (S) 出力スイッチ (S) (3K3-F0210-1)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>1.602</td><td>②③④⑤⑥</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関付直巻ポンプ (S) 出力スイッチ (S) (3K3-F0210-2)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>1.602</td><td>②③④⑤⑥</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関 (S) 人口開閉装置出力スイッチ (S) (3K3-F10178-1)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>1.022</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関 (S) 人口開閉装置出力スイッチ (S) (3K3-F10178-2)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>1.022</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>発電機 (S) 二次巻線制御 (S) (3K3-F0202)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.810</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>36V (S) 第一励磁機 (S) (3K3-30-F3980)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.722</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>36V (S) 第二励磁機 (S) (3K3-30-F3981)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.722</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>36V (S) 第一停止機 (S) (3K3-30-F3910)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.722</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>36V (S) 第二停止機 (S) (3K3-30-F3911)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.722</td><td>②③④⑤⑥⑧⑨</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関 (S) (S) 12V ディーゼル冷却水温度スイッチ (S) (3K3-F0204)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>1.602</td><td>②③④⑤⑥</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>機関付ファン駆動ポンプ (S) 人口温度スイッチ (S) (3K3-F0110)</td><td>3-K3-18</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>1.602</td><td>②③④⑤⑥</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F204)</td><td>3-K3-15</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F201)</td><td>3-K3-15</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F202)</td><td>3-K3-15</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F203)</td><td>3-K3-15</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F204)</td><td>3-K3-15</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F205)</td><td>3-K3-F</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F206)</td><td>3-K3-F</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F207)</td><td>3-K3-F</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F208)</td><td>3-K3-F</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F209)</td><td>3-K3-F</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F210)</td><td>3-K3-F</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.900</td><td>②③④⑤</td></tr><tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (S)</td><td>排水加熱器 (S) (3K4-3001)</td><td>3-K3-15</td><td>原子炉建屋 行橋</td><td>0.902</td><td>②③④⑤</td></tr></tbody></table>	系統	設備	設備番号	設置場所	寸法 ^① (m)	機能 ^②	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関連動装置 (S) ボジションスイッチ (S) (3K3-F0208)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.820	②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (S)	燃料ハンドラ制御装置 (S) ボジションスイッチ (S) (3K3-F0209)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.820	②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関付直巻ポンプ (S) 出力スイッチ (S) (3K3-F0210-1)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関付直巻ポンプ (S) 出力スイッチ (S) (3K3-F0210-2)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関 (S) 人口開閉装置出力スイッチ (S) (3K3-F10178-1)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.022	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関 (S) 人口開閉装置出力スイッチ (S) (3K3-F10178-2)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.022	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	発電機 (S) 二次巻線制御 (S) (3K3-F0202)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.810	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第一励磁機 (S) (3K3-30-F3980)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第二励磁機 (S) (3K3-30-F3981)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第一停止機 (S) (3K3-30-F3910)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第二停止機 (S) (3K3-30-F3911)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関 (S) (S) 12V ディーゼル冷却水温度スイッチ (S) (3K3-F0204)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関付ファン駆動ポンプ (S) 人口温度スイッチ (S) (3K3-F0110)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F204)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F201)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F202)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F203)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F204)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F205)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F206)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F207)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F208)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F209)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F210)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤	発電用ディーゼル発電設備 (S)	排水加熱器 (S) (3K4-3001)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.902	②③④⑤	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/35)</p> <table border="1"><thead><tr><th>系統</th><th>設備</th><th>図面番号</th><th>設置場所</th><th>基本設定高さ^① (m)</th><th>個別測定高さ^② (m)</th><th>設定箇所</th><th>安全機能</th></tr></thead><tbody><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9A)</td><td>3KB-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9B)</td><td>3KB-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9C)</td><td>3KB-F-B8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9D)</td><td>3KB-F-B8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3KCD-2741)</td><td>3KB-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>5.07</td><td>4.11</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3KCD-2742)</td><td>3KB-F-B8</td><td>原子炉建屋</td><td>5.07</td><td>4.11</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)</td><td>3KB-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)</td><td>3KB-F-B8</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2747)</td><td>3DG-H-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.80</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (2) (3TS-2748)</td><td>3DG-H-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.79</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (3) (3TS-2751)</td><td>3DG-H-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.17</td><td>5.21</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (4) (3TS-2752)</td><td>3DG-H-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.17</td><td>5.21</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr><tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2749)</td><td>3DG-H-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr></tbody></table>	系統	設備	図面番号	設置場所	基本設定高さ ^① (m)	個別測定高さ ^② (m)	設定箇所	安全機能	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9A)	3KB-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9B)	3KB-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9C)	3KB-F-B8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9D)	3KB-F-B8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3KCD-2741)	3KB-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3KCD-2742)	3KB-F-B8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)	3KB-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)	3KB-F-B8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2747)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.80	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (2) (3TS-2748)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.79	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (3) (3TS-2751)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (4) (3TS-2752)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2749)	3DG-H-N1	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.16	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さが没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているが明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置場所	寸法 ^① (m)	機能 ^②																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関連動装置 (S) ボジションスイッチ (S) (3K3-F0208)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.820	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	燃料ハンドラ制御装置 (S) ボジションスイッチ (S) (3K3-F0209)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.820	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関付直巻ポンプ (S) 出力スイッチ (S) (3K3-F0210-1)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関付直巻ポンプ (S) 出力スイッチ (S) (3K3-F0210-2)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関 (S) 人口開閉装置出力スイッチ (S) (3K3-F10178-1)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.022	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関 (S) 人口開閉装置出力スイッチ (S) (3K3-F10178-2)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.022	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	発電機 (S) 二次巻線制御 (S) (3K3-F0202)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.810	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第一励磁機 (S) (3K3-30-F3980)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第二励磁機 (S) (3K3-30-F3981)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第一停止機 (S) (3K3-30-F3910)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	36V (S) 第二停止機 (S) (3K3-30-F3911)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	0.722	②③④⑤⑥⑧⑨																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関 (S) (S) 12V ディーゼル冷却水温度スイッチ (S) (3K3-F0204)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	機関付ファン駆動ポンプ (S) 人口温度スイッチ (S) (3K3-F0110)	3-K3-18	原子炉建屋 行橋	1.602	②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F204)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F201)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F202)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機エンジン制御装置 (S) (3K3-F203)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F204)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F205)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F206)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F207)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F208)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F209)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	3PCS 非非発電用ディーゼル発電機 冷却機 (S) (3K3-F210)	3-K3-F	原子炉建屋 行橋	0.900	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
発電用ディーゼル発電設備 (S)	排水加熱器 (S) (3K4-3001)	3-K3-15	原子炉建屋 行橋	0.902	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																										
系統	設備	図面番号	設置場所	基本設定高さ ^① (m)	個別測定高さ ^② (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9A)	3KB-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9B)	3KB-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9C)	3KB-F-B8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9D)	3KB-F-B8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3KCD-2741)	3KB-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3KCD-2742)	3KB-F-B8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)	3KB-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)	3KB-F-B8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2747)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.80	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (2) (3TS-2748)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.79	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (3) (3TS-2751)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (4) (3TS-2752)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2749)	3DG-H-N1	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>※1：技術により機能喪失する床面からの高さ（床上面高さの0.5%を考慮）</p> <ol style="list-style-type: none">① 緊急停止機能② 燃料ハンドラ機能③ 燃料停止機能④ 原子炉制御システム機能⑤ 手動停止機能⑥ 緊急停止機能⑦ 緊急停止機能⑧ 燃料ハンドラ機能⑨ 燃料停止機能⑩ 緊急停止機能⑪ 緊急停止機能⑫ 緊急停止機能⑬ 緊急停止機能⑭ 緊急停止機能⑮ 緊急停止機能⑯ 緊急停止機能⑰ 緊急停止機能⑱ 緊急停止機能⑲ 緊急停止機能⑳ 緊急停止機能	<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ</p> <p>※2：技術により機能喪失する床面からの高さ</p> <ul style="list-style-type: none">①緊急停止機能②燃料ハンドラ機能③燃料停止機能④原子炉制御システム機能⑤手動停止機能⑥緊急停止機能 <ul style="list-style-type: none">⑦安全上特に重要な関連機能⑧事故時のプラント状態の把握機能⑨制御室外からの安全停止機能⑩ピット冷却機能⑪ピット給水機能																																																																																																																																																																																																																																																																													

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1添付資料4)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>寸法^①(m)</th> <th>機能^②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油加熱器 (344-4033)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-5003)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.245</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-5003)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.965</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油冷却ポンプ (344-5003)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.905</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油冷却ポンプ (344-5103)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料供給ポンプ (344-5104)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.370</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料供給ポンプ (344-5204)</td><td>1307-2</td><td>機組ビル</td><td>0.445</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>オイルパン 潤滑オイル (344-5210)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.910</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油補助ポンプ 潤滑オイル (344-5212)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料デンプン 潤滑 (344-5220)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関油冷却ポンプ 潤滑オイル (344-5226)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.927</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料ポンプ停止位置検出装置 潤滑オイル (344-5231)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.910</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関冷却水ポンプ出口圧カミスイッチ (344-5503-2)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関冷却水ポンプ出口圧カミスイッチ (344-5503-2)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関入口潤滑油圧カミスイッチ (344-5514-1)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関入口潤滑油圧カミスイッチ (344-5514-2)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>非常用DRCS速度検出器 (344-5534)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS1号一級冷却弁 (344-50-030)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.745</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS2号二級冷却弁 (344-50-031)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.745</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS3号一級冷却弁 (344-50-032)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS3号二級冷却弁 (344-50-033)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関ビルディーゼル冷却水流量スイッチ (344-5503)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油冷却ポンプ入口流量スイッチ (344-5510)</td><td>8-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> </tbody> </table> <p>①：寸法により機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.95mを基準） ②：機能 ① 緊急停止機能 ② 未検出維持機能 ③ 異常停止機能 ④ 停止検出維持機能 ⑤ 自動停止機能 ⑥ 停止検出機能 ⑦ 緊急停止機能 ⑧ 異常停止機能 ⑨ 停止検出維持機能 ⑩ 緊急停止機能 ⑪ 未検出維持機能 ⑫ 異常停止機能 ⑬ 停止検出維持機能 ⑭ 緊急停止機能 ⑮ 未検出維持機能 ⑯ 異常停止機能 ⑰ 停止検出維持機能 ⑱ 緊急停止機能 ⑲ 未検出維持機能 ⑳ 異常停止機能 ㉑ 停止検出維持機能 ㉒ 緊急停止機能 ㉓ 未検出維持機能 ㉔ 異常停止機能 ㉕ 停止検出維持機能 ㉖ 緊急停止機能 ㉗ 未検出維持機能 ㉘ 異常停止機能 ㉙ 停止検出維持機能 ㉚ 緊急停止機能 ㉛ 未検出維持機能 ㉜ 異常停止機能 ㉝ 停止検出維持機能 ㉞ 緊急停止機能 ㉟ 未検出維持機能 ㊱ 異常停止機能 ㊲ 停止検出維持機能 ㊳ 緊急停止機能 ㊴ 未検出維持機能 ㊵ 異常停止機能 ㊶ 停止検出維持機能 ㊷ 緊急停止機能 ㊸ 未検出維持機能 ㊹ 異常停止機能 ㊺ 停止検出維持機能 ㊻ 緊急停止機能 ㊼ 未検出維持機能 ㊽ 異常停止機能 ㊾ 停止検出維持機能 ㊿ 緊急停止機能</p>	系統	設備	設備番号	設置棟屋	寸法 ^① (m)	機能 ^②	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-4033)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-5003)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.245	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-5003)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.965	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-5003)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.905	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-5103)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料供給ポンプ (344-5104)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.370	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料供給ポンプ (344-5204)	1307-2	機組ビル	0.445	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン 潤滑オイル (344-5210)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.910	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ 潤滑オイル (344-5212)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料デンプン 潤滑 (344-5220)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関油冷却ポンプ 潤滑オイル (344-5226)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.927	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ポンプ停止位置検出装置 潤滑オイル (344-5231)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.910	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧カミスイッチ (344-5503-2)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧カミスイッチ (344-5503-2)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧カミスイッチ (344-5514-1)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧カミスイッチ (344-5514-2)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	非常用DRCS速度検出器 (344-5534)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号一級冷却弁 (344-50-030)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS2号二級冷却弁 (344-50-031)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS3号一級冷却弁 (344-50-032)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS3号二級冷却弁 (344-50-033)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関ビルディーゼル冷却水流量スイッチ (344-5503)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ入口流量スイッチ (344-5510)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^①(m)</th> <th>個別測定高さ^②(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(2) (3TS-2750)</td><td>3DG-2-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(3) (3TS-2753)</td><td>3DG-2-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.41</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(4) (3TS-2754)</td><td>3DG-2-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.42</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)</td><td>3RB-2-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.55</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)</td><td>3RB-2-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.54</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHC-2670)</td><td>3RB-2-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.53</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHC-2680)</td><td>3RB-2-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.54</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2670)</td><td>3RB-2-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.44</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2680)</td><td>3RB-2-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.45</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2671)</td><td>3RB-2-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.39</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2672)</td><td>3RB-2-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2681)</td><td>3RB-2-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：放水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未検出維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^① (m)	個別測定高さ ^② (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2) (3TS-2750)	3DG-2-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3) (3TS-2753)	3DG-2-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4) (3TS-2754)	3DG-2-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)	3RB-2-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)	3RB-2-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHC-2670)	3RB-2-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHC-2680)	3RB-2-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2670)	3RB-2-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2680)	3RB-2-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2671)	3RB-2-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2672)	3RB-2-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2681)	3RB-2-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 ・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置棟屋	寸法 ^① (m)	機能 ^②																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-4033)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-5003)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.245	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイドディーゼル発電機 (344-5003)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.965	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-5003)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.905	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ (344-5103)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料供給ポンプ (344-5104)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.370	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料供給ポンプ (344-5204)	1307-2	機組ビル	0.445	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン 潤滑オイル (344-5210)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.910	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ 潤滑オイル (344-5212)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料デンプン 潤滑 (344-5220)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関油冷却ポンプ 潤滑オイル (344-5226)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.927	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ポンプ停止位置検出装置 潤滑オイル (344-5231)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.910	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧カミスイッチ (344-5503-2)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧カミスイッチ (344-5503-2)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧カミスイッチ (344-5514-1)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧カミスイッチ (344-5514-2)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	非常用DRCS速度検出器 (344-5534)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号一級冷却弁 (344-50-030)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS2号二級冷却弁 (344-50-031)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS3号一級冷却弁 (344-50-032)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS3号二級冷却弁 (344-50-033)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関ビルディーゼル冷却水流量スイッチ (344-5503)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油冷却ポンプ入口流量スイッチ (344-5510)	8-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^① (m)	個別測定高さ ^② (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2) (3TS-2750)	3DG-2-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3) (3TS-2753)	3DG-2-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4) (3TS-2754)	3DG-2-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)	3RB-2-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)	3RB-2-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHC-2670)	3RB-2-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHC-2680)	3RB-2-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2670)	3RB-2-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2680)	3RB-2-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2671)	3RB-2-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2672)	3RB-2-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2681)	3RB-2-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入口監視系(1)40-02-4733</td><td>0-12-0</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.284</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4734</td><td>0-12-0</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.050</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4735</td><td>0-12-0</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.230</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4736</td><td>0-12-0</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.494</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4741</td><td>0-02P-10</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.305</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4742</td><td>0-02P-10</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.305</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3) ドレン監視系</td><td>0-02P-10</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>6.439</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4747</td><td>0-02P-10</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.303</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4748</td><td>0-02P-10</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>3.304</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3) ドレン監視系</td><td>0-02P-10</td><td>原子炉建屋 原子炉棟</td><td>6.439</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：設水により機能喪失する床面からの高さ（床上面が0.90mを考慮） ※2：①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新炉室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入口監視系(1)40-02-4733	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.284	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4734	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.050	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4735	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.230	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4736	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.494	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4741	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.305	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4742	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.305	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3) ドレン監視系	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.439	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4747	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.303	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4748	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.304	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3) ドレン監視系	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.439	⑤	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2652)</td><td>30B-II-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.41</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室給気ファン (3VSF42A)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室給気ファン (3VSF42B)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2701)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.64</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2711)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.63</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3MC-2701)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.76</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3MC-2711)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.75</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1) (3TS-2702)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2) (3TS-2703)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1) (3TS-2712)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2) (3TS-2713)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.40</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27A)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27B)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新炉室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2652)	30B-II-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室給気ファン (3VSF42A)	30B-II-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室給気ファン (3VSF42B)	30B-II-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3MC-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3MC-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1) (3TS-2702)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2) (3TS-2703)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1) (3TS-2712)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2) (3TS-2713)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	A-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	換気空調系	B-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p style="color: green;">記載方針の相違</p> <p style="color: red;">設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入口監視系(1)40-02-4733	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.284	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4734	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.050	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4735	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.230	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4736	0-12-0	原子炉建屋 原子炉棟	3.494	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4741	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.305	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4742	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.305	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3) ドレン監視系	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.439	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4747	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.303	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプム入り監視系(1)40-02-4748	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	3.304	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3) ドレン監視系	0-02P-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.439	⑤																																																																																																																																																																																
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2652)	30B-II-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室給気ファン (3VSF42A)	30B-II-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室給気ファン (3VSF42B)	30B-II-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3MC-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3MC-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1) (3TS-2702)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2) (3TS-2703)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1) (3TS-2712)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2) (3TS-2713)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (28/35)</p> <table border="1" data-bbox="1283 252 1865 837"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.52</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.51</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室循環ファン (3VSP20A)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.17</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室循環ファン (3VSP20B)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.13</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.26</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3BFD-2834)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1283 869 1865 949"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸	換気空調系	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室循環ファン (3VSP20A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室循環ファン (3VSP20B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3BFD-2834)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																						
換気空調系	A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室循環ファン (3VSP20A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室循環ファン (3VSP20B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3BFD-2834)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (29/35)</p> <table border="1" data-bbox="1281 247 1863 997"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HCD-2837)</td> <td>3AB-D-N2C</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン (3VSF22A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン (3VSF22B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-692A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.38</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HCD-2837)	3AB-D-N2C	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥	換気空調系	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン (3VSF22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥	換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン (3VSF22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥	換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥	換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-692A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑥	換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HCD-2837)	3AB-D-N2C	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン (3VSF22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン (3VSF22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-692A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (30/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 245 1865 992"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>4.62</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>5.00</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.29</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.61</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.53</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット排水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	㊸	換気空調系	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	㊸	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸	換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	㊸	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	㊸																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	㊸																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																				
換気空調系	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	㊸																																																																																																				
換気空調系	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	㊸																																																																																																				
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸																																																																																																				
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸																																																																																																				
換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	㊸																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (31/35)</p> <table border="1" data-bbox="1288 247 1861 742"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.51</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)</td> <td>3RB-II-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)</td> <td>3RB-II-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.79</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1310 782 1769 853"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>④安全上時に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑤制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑧ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑨ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-II-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	①緊急時停止機能	④安全上時に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑤制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑧ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑨ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-II-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
①緊急時停止機能	④安全上時に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑤制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④炉心冷却機能	⑧ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑨ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
		<p>表1 防護対象設備一覧 (32/35)</p> <table border="1" data-bbox="1288 213 1865 810"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)</td> <td>3B2-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.58</td> <td>個別</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)</td> <td>3B2-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.57</td> <td>個別</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2954)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2955)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.53</td> <td>個別</td> <td>⑩</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑩	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑩	換気空調系	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩	換気空調系	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩	換気空調系	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑩	換気空調系	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩	換気空調系	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩	換気空調系	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩	換気空調系	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩	換気空調系	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑩	換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	⑩	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																												
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑩																																																																																												
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑩																																																																																												
換気空調系	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩																																																																																												
換気空調系	A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩																																																																																												
換気空調系	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑩																																																																																												
換気空調系	B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩																																																																																												
換気空調系	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩																																																																																												
換気空調系	C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩																																																																																												
換気空調系	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑩																																																																																												
換気空調系	D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑩																																																																																												
換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	⑩																																																																																												
		<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																							
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																		
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																		
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																		
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																		
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (33/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度 (2) (3TS-2937)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.65</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度 (2) (3TS-2953)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.48</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度 (2) (3TS-2957)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.64</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2910)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2911)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.39</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2920)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2921)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度 (2) (3TS-2913)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> ①緊急停止機能 ②未確認維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能 </td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度 (2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.65	個別	⑤	換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度 (2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.48	個別	⑤	換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度 (2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.64	個別	⑤	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2910)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2911)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑤	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2920)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2921)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度 (2) (3TS-2913)	3RB-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)	3RB-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤	空調用冷水系	A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	①緊急停止機能 ②未確認維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度 (2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.65	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度 (2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.48	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度 (2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.64	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2910)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2911)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (5) (3TS-2920)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度 (6) (3TS-2921)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度 (2) (3TS-2913)	3RB-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)	3RB-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑤																																																																																						
空調用冷水系	A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																						
①緊急停止機能 ②未確認維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (34/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 244 1865 710"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)</td> <td>3B-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-空調用冷凍機 (3CHE1A)</td> <td>3B-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-空調用冷凍機 (3CHE1B)</td> <td>3B-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>C-空調用冷凍機 (3CHE1C)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>D-空調用冷凍機 (3CHE1D)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.96</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1285 746 1865 821"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	㊸	空調用冷水系	B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
空調用冷水系	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	㊸																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (35/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.55</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.86</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.98</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.22</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑤安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②半臨界維持機能</td> <td>⑥事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑦制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑧ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑨放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑨ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸	空調用冷水系	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	㊸	関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	㊸	関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	①緊急時停止機能	⑤安全上特に重要な関連機能	②半臨界維持機能	⑥事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑦制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑧ピット冷却機能	⑨放射性物質の閉じ込め機能	⑨ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
空調用冷水系	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	㊸																																																																																														
関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	㊸																																																																																														
関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
①緊急時停止機能	⑤安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②半臨界維持機能	⑥事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑦制御室外からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑧ピット冷却機能																																																																																																				
⑨放射性物質の閉じ込め機能	⑨ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.2-2</p> <p>3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <p style="color: red; margin-top: 20px;">機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別測定箇所」に見直す。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 ・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである島根2号炉及び柏崎6、7号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。 <p>【島根】 <u>記載表現の相違</u> 泊は資料間で「個別測定箇所」と記載統一している。</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>

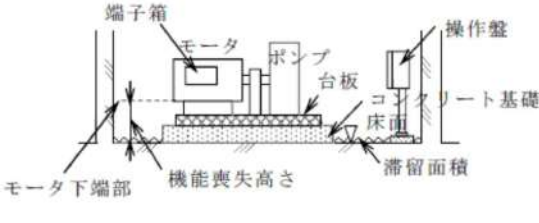
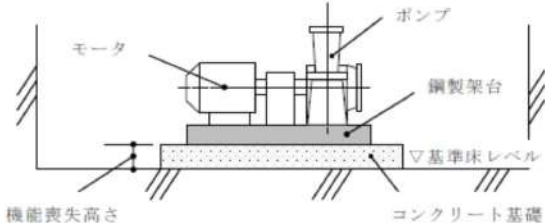
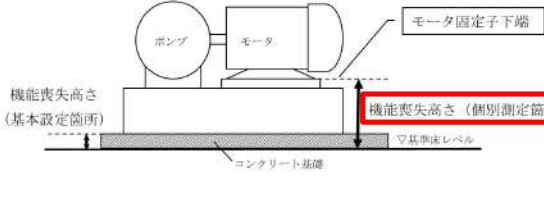

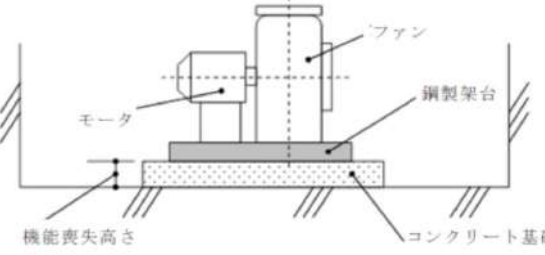
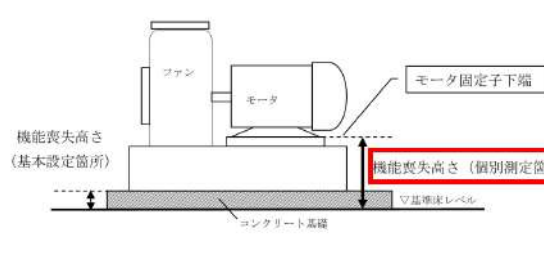
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）


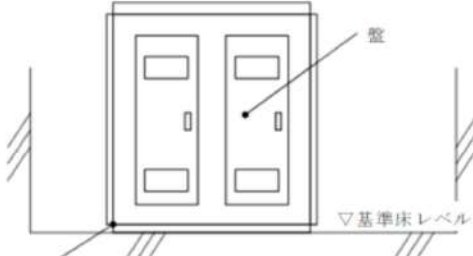
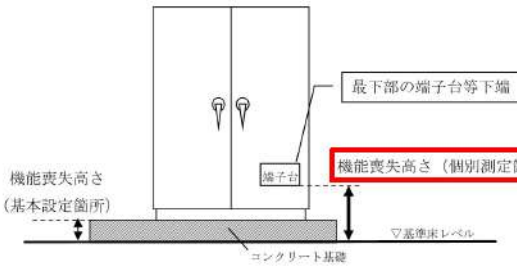

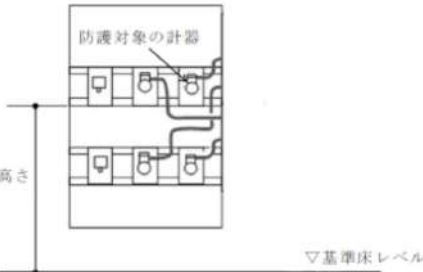
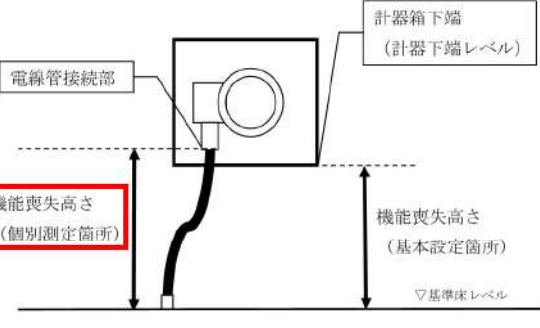
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別設定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ/電動機</td> <td>・ポンプベース高さ</td> <td>・電動機下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁/電動弁</td> <td>・取付け配管中心高さ</td> <td>・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>・盤ベース高さ</td> <td>・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>計器ラック</td> <td>・計器ドレン弁高さ</td> <td>・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	設備	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別設定箇所	ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部	空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部	盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部	計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																																																																	
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																																																																	
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																																	
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																																	
計器関係	計器下端レベル																																																																	
設備	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別設定箇所																																																																
ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部																																																																
機器	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																																																
電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																																																
計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																																																
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p> <p>図1-2 機能喪失高さ（電動弁の例）</p> <p>※ 本資料のうち、緑色の内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	<p>図1 弁における機能喪失高さ</p>	<p>図1 機能喪失高さ（電動弁の例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>端子箱 モータ ポンプ 台板 操作盤 コンクリート基礎 モータ下端部 機能喪失高さ 滞留面積</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>モータ ポンプ 鋼製架台 ▽基準床レベル コンクリート基礎 機能喪失高さ</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>ポンプ モータ モータ固定子下端 機能喪失高さ（基本設定箇所） 機能喪失高さ（個別測定箇所） ▽基準床レベル コンクリート基礎</p> <p>図2 機能喪失高さ（ポンプの例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 (島根2号炉と同様)</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 (島根2号炉と同様)</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-1 機能喪失高さ（ポンプの例）</p> <p>本資料のうち、詳細な内容は機密に係る事項のため公開できません。</p>	 <p>ファン モータ 鋼製架台 コンクリート基礎 機能喪失高さ</p> <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>ファン モータ モータ固定子下端 機能喪失高さ（基本設定箇所） 機能喪失高さ（個別測定箇所） ▽基準床レベル コンクリート基礎</p> <p>図3 機能喪失高さ（ファンの例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 (島根2号炉と同様)</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 (島根2号炉と同様)</p>

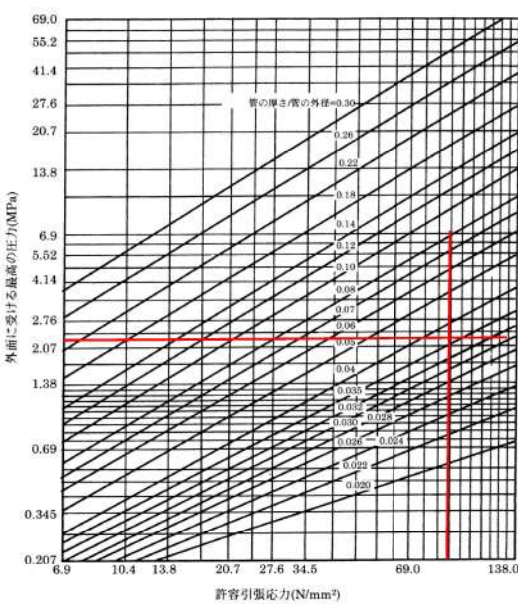
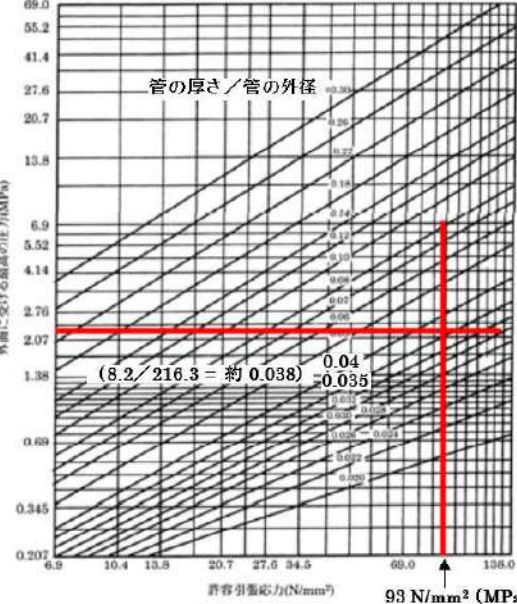
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-3より抜粋</p>  <p>図 1-3 機能喪失高さ（盤の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図 4 電気盤における機能喪失高さ</p>	 <p>図 4 機能喪失高さ（盤の例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-4より抜粋</p>  <p>図 1-5 機能喪失高さ（計器の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図 5 計器における機能喪失高さ</p>	 <p>図 5 機能喪失高さ（計器の例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は、配管の材質から許容引張応力（93MPa）が決まり、管の厚さ/管の外径（8.2/216.3 = 約 0.038）の直線と許容引張応力（93MPa）が交わる点のy軸の値が健全性を確保できる最高の外圧（2MPa以上）となることを読み取り易くするための情報を記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1227 1254"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-B1F-1</td> <td>CRD アキムレーター CRD 薬素容器</td> <td>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-13, R-1F-16</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td>清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td>○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さにより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRD アキムレーター CRD 薬素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さにより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1285 280 1854 1190"> <thead> <tr> <th>評価エリア番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34E-F-23</td> <td>ほう殿注入タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1</td> <td>よう殿除去薬品タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>原子炉補給冷却水サージタンク</td> <td>タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E2</td> <td>空調用冷水膨張タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E5</td> <td>A、B-原子炉補給冷却水冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>C、D-原子炉補給冷却水冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E3</td> <td>34E-F-24</td> <td>体積制御タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>ほう殿タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1E</td> <td>貯水冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>B-余熱除去冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-20</td> <td>A-余熱除去冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1E</td> <td>B-体積制御用スプレッド冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1	よう殿除去薬品タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E	原子炉補給冷却水サージタンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。	34E-F-4E2	空調用冷水膨張タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E5	A、B-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E	C、D-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E3	34E-F-24	体積制御タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-18	ほう殿タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1E	貯水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-18	B-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-20	A-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1E	B-体積制御用スプレッド冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																					
R-B1F-1	CRD アキムレーター CRD 薬素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																					
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																					
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さにより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																					
評価エリア番号	機器	評価																																																					
34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1	よう殿除去薬品タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E	原子炉補給冷却水サージタンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。																																																					
34E-F-4E2	空調用冷水膨張タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E5	A、B-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E	C、D-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E3	34E-F-24	体積制御タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																				
34E-F-18	ほう殿タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1E	貯水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-18	B-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-20	A-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1E	B-体積制御用スプレッド冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・設備はなく、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 261 853 767">防産区画番号</th> <th data-bbox="703 772 853 1177">機器</th> <th data-bbox="703 1182 853 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 261 853 368">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="703 373 853 767">燃料ダイオキサンク</td> <td data-bbox="703 772 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキサンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 373 853 448">-(軽油タンクピット内)</td> <td data-bbox="703 453 853 767">軽油タンク</td> <td data-bbox="703 772 853 1492">○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 453 853 528">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="703 533 853 767">FGS 再結合物 FGS 冷却器 FGS 気水分離器</td> <td data-bbox="703 772 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度測定系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 533 853 608">R-3F-1</td> <td data-bbox="703 612 853 767">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="703 772 853 1492">○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 612 853 687">R-1F-4</td> <td data-bbox="703 692 853 767">燃料ブール冷却浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="703 772 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防産区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイオキサンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキサンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合物 FGS 冷却器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度測定系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-4	燃料ブール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1285 261 1346 767">評価</th> <th data-bbox="1352 261 1413 767">タンク面計部 であるベント 管より溢水が 浸入しないこ とを確認した。</th> <th data-bbox="1420 261 1480 767">同一区画内に 溢水原因とな る機器・配管 はない、浸入防 止措置を講じ ていることか ら溢水による 影響を受けな い。</th> <th data-bbox="1487 261 1547 767">暫時蓄圧され ていることか ら、溢水はよ り生じるこ とはない。</th> <th data-bbox="1554 261 1615 767">コンクリート に埋め込まれ ているため、 溢水による機 械的損傷が 生じることが ない。</th> <th data-bbox="1621 261 1682 767">溢水により機 械的損傷が 生じることが ない。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1285 261 1346 368">評価エリア番号</td> <td data-bbox="1352 261 1413 368">溢水高さより 高い位置に設 置している。</td> <td data-bbox="1420 261 1480 368">-</td> <td data-bbox="1487 261 1547 368">-</td> <td data-bbox="1554 261 1615 368">-</td> <td data-bbox="1621 261 1682 368">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 373 1346 448">30B-F-22</td> <td data-bbox="1352 373 1413 448">A-1 集約容器スプレイ冷却器</td> <td data-bbox="1420 373 1480 448">-</td> <td data-bbox="1487 373 1547 448">○</td> <td data-bbox="1554 373 1615 448">-</td> <td data-bbox="1621 373 1682 448">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 453 1346 528">30B-F-6</td> <td data-bbox="1352 453 1413 528">A、B-1 使用済燃料ピット 冷却器</td> <td data-bbox="1420 453 1480 528">-</td> <td data-bbox="1487 453 1547 528">○</td> <td data-bbox="1554 453 1615 528">-</td> <td data-bbox="1621 453 1682 528">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 533 1346 608">30B-F-1</td> <td data-bbox="1352 533 1413 608">燃料配管用水加熱器</td> <td data-bbox="1420 533 1480 608">-</td> <td data-bbox="1487 533 1547 608">○</td> <td data-bbox="1554 533 1615 608">-</td> <td data-bbox="1621 533 1682 608">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 612 1346 687">30B-F-37</td> <td data-bbox="1352 612 1413 687">A、B-1 デイジーセル発電機</td> <td data-bbox="1420 612 1480 687">-</td> <td data-bbox="1487 612 1547 687">○</td> <td data-bbox="1554 612 1615 687">-</td> <td data-bbox="1621 612 1682 687">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 692 1346 767">30B-F-39</td> <td data-bbox="1352 692 1413 767">燃料冷却ピットタンク</td> <td data-bbox="1420 692 1480 767">-</td> <td data-bbox="1487 692 1547 767">○</td> <td data-bbox="1554 692 1615 767">-</td> <td data-bbox="1621 692 1682 767">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 772 1346 847">C/F 西</td> <td data-bbox="1352 772 1413 847">再生熱交換器</td> <td data-bbox="1420 772 1480 847">-</td> <td data-bbox="1487 772 1547 847">○</td> <td data-bbox="1554 772 1615 847">-</td> <td data-bbox="1621 772 1682 847">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 852 1346 927">C/F 内</td> <td data-bbox="1352 852 1413 927">蓄圧タンク</td> <td data-bbox="1420 852 1480 927">-</td> <td data-bbox="1487 852 1547 927">○</td> <td data-bbox="1554 852 1615 927">-</td> <td data-bbox="1621 852 1682 927">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 932 1346 1007">他</td> <td data-bbox="1352 932 1413 1007">デイジーセル発電機燃料冷却器</td> <td data-bbox="1420 932 1480 1007">-</td> <td data-bbox="1487 932 1547 1007">-</td> <td data-bbox="1554 932 1615 1007">-</td> <td data-bbox="1621 932 1682 1007">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価	タンク面計部 であるベント 管より溢水が 浸入しないこ とを確認した。	同一区画内に 溢水原因とな る機器・配管 はない、浸入防 止措置を講じ ていることか ら溢水による 影響を受けな い。	暫時蓄圧され ていることか ら、溢水はよ り生じるこ とはない。	コンクリート に埋め込まれ ているため、 溢水による機 械的損傷が 生じることが ない。	溢水により機 械的損傷が 生じることが ない。	評価エリア番号	溢水高さより 高い位置に設 置している。	-	-	-	○	30B-F-22	A-1 集約容器スプレイ冷却器	-	○	-	○	30B-F-6	A、B-1 使用済燃料ピット 冷却器	-	○	-	○	30B-F-1	燃料配管用水加熱器	-	○	-	○	30B-F-37	A、B-1 デイジーセル発電機	-	○	-	○	30B-F-39	燃料冷却ピットタンク	-	○	-	○	C/F 西	再生熱交換器	-	○	-	○	C/F 内	蓄圧タンク	-	○	-	○	他	デイジーセル発電機燃料冷却器	-	-	-	○	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした呈取 表形式で整理している。評価判定 の考え方については女川と泊で相 違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防産区画番号	機器	評価																																																																															
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイオキサンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキサンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合物 FGS 冷却器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度測定系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																																															
R-1F-4	燃料ブール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																															
評価	タンク面計部 であるベント 管より溢水が 浸入しないこ とを確認した。	同一区画内に 溢水原因とな る機器・配管 はない、浸入防 止措置を講じ ていることか ら溢水による 影響を受けな い。	暫時蓄圧され ていることか ら、溢水はよ り生じるこ とはない。	コンクリート に埋め込まれ ているため、 溢水による機 械的損傷が 生じることが ない。	溢水により機 械的損傷が 生じることが ない。																																																																												
評価エリア番号	溢水高さより 高い位置に設 置している。	-	-	-	○																																																																												
30B-F-22	A-1 集約容器スプレイ冷却器	-	○	-	○																																																																												
30B-F-6	A、B-1 使用済燃料ピット 冷却器	-	○	-	○																																																																												
30B-F-1	燃料配管用水加熱器	-	○	-	○																																																																												
30B-F-37	A、B-1 デイジーセル発電機	-	○	-	○																																																																												
30B-F-39	燃料冷却ピットタンク	-	○	-	○																																																																												
C/F 西	再生熱交換器	-	○	-	○																																																																												
C/F 内	蓄圧タンク	-	○	-	○																																																																												
他	デイジーセル発電機燃料冷却器	-	-	-	○																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(3/6)</p> <p style="text-align: center;">評価</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであ り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用プーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">防護区画番号</th> <th style="width: 30%;">機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-3F-1</td> <td>換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク</td> </tr> <tr> <td>R-1F-15</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> </tr> </tbody> </table> </div>	防護区画番号	機器	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取 表形式で整理している。評価判定 の考え方については女川と泊で相 違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器								
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク								
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 268 1272 1361"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1198 981 1361">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 868 981 1193">機器</th> <th data-bbox="703 268 981 863">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="981 1198 1137 1361">R-2F-3</td> <td data-bbox="981 868 1137 1193">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="981 268 1137 863">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 1198 1279 1361">R-B3F-13</td> <td data-bbox="1137 868 1279 1193">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="1137 268 1279 863">○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 1198 1435 1361">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="1279 868 1435 1193">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="1279 268 1435 863">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした呈取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													

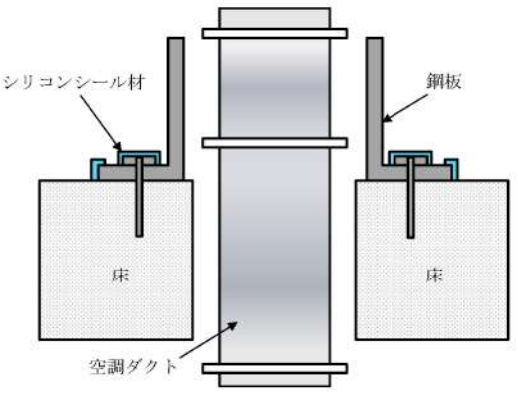
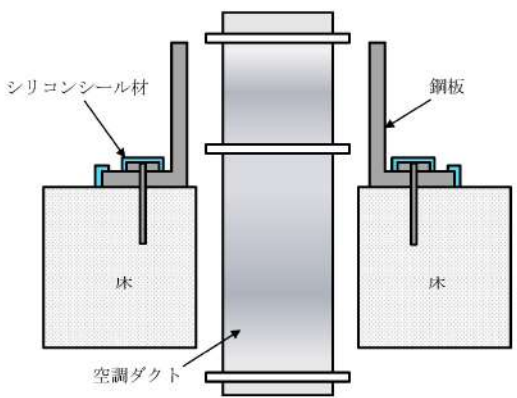
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(5/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1272 1382"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1214 898 1382">防護区画番号 -(PCV内)</th> <th data-bbox="703 874 898 1209">機器</th> <th data-bbox="703 256 898 869">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="904 1214 1010 1382">R-B1F-3-2</td> <td data-bbox="904 874 1010 1209">主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="904 256 1010 869">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1016 1214 1122 1382">R-3F-1</td> <td data-bbox="1016 874 1122 1209">主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="1016 256 1122 869">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1128 1214 1272 1382"></td> <td data-bbox="1128 874 1272 1209">原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1128 256 1272 869">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価	R-B1F-3-2	主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。	R-3F-1	主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。		原子炉補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価													
R-B1F-3-2	主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。													
R-3F-1	主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。													
	原子炉補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 263 1279 1212"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 263 862 782">評価</th> <th data-bbox="696 786 862 1212">機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="869 263 1008 782">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。</td> <td data-bbox="869 786 1008 1212">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1014 263 1086 782">○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> <td data-bbox="1014 786 1086 1212">R-1F-1, R-1F-11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 263 1164 782">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。</td> <td data-bbox="1093 786 1164 1212">残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1171 263 1265 782">○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> <td data-bbox="1171 786 1265 1212">R-2F-3-1</td> </tr> </tbody> </table>	評価	機器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。	原子炉補機冷却水系熱交換器	○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。	残留熱除去系熱交換器	○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-3-1		<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
評価	機器												
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。	原子炉補機冷却水系熱交換器												
○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11												
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。	残留熱除去系熱交換器												
○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-3-1												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）





大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について 耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響 LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレイが動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響 LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。 高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。 原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa [gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。 原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。 原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水の全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1mより高い位置に設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違により、原子炉格納容器内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水によって機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 原子炉格納容器内の防護対象設備を没水しない高さに設置しているのは泊と大飯と同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>【伊方3号炉】まとめ資料 添付資料1 9条-別添1-添1-28より抜粋</p> <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した1次冷却材の蒸気により、C/V内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>C/V内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう、設計および試験を実施している。</p>  <p>図-2 LOCA時のC/V内温度、圧力変化（環境条件）</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p>  <p>図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。図4に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。（伊方と同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【伊方】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

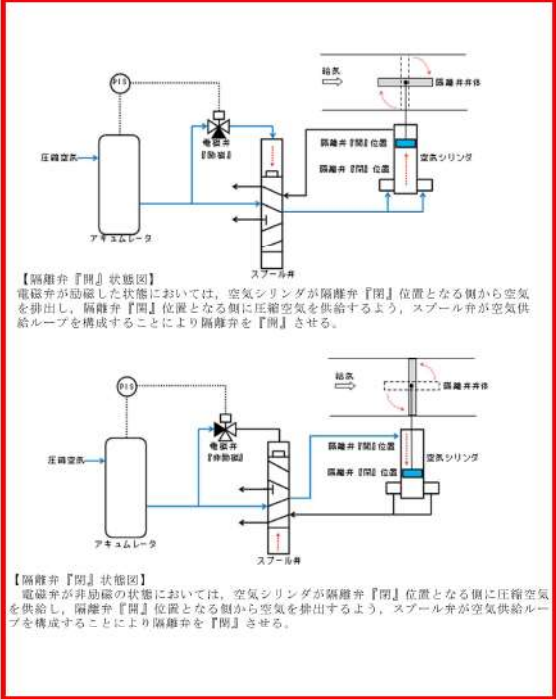
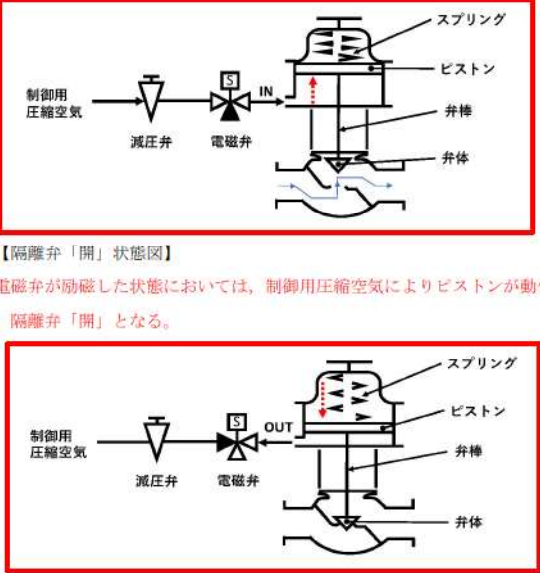
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="129 486 683 638"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m²]</td> <td>13.8 [L/min/m²]</td> <td>12.5 [L/min/m²]</td> <td>6.1 [L/min/m²]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図5 耐環境性試験品の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図4 耐環境性試験品の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違 記載表現の相違</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(S0)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 941 1232 1197"> </div> <p>弁“開”状態図 電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下られて、弁体はシート部より離れる。このときばねは伸ばされ、常に弁「閉」側にばね力が加わった状態となる。</p> <p>弁“閉”状態図 電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から解放され、ばねが縮みばね力にて弁体がシート部に密着する。</p> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(AOV)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『開』位置となる側から空気を排出し、隔離弁『開』位置となる側から圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="703 893 1258 1417" data-label="Diagram"> </div> <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)															
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}			
1次冷却系	原子炉容器		×	②	AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器逃がし弁	②	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	SA, 3B, 3C, 3D蒸気発生器		×	②	AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器逃がし弁元弁	③			
	SA, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	②	AC	T48-F004	S/Cバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系	3LCV-451, 452	抽出ライン第1（2）止め弁	②			
	SA, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 057	×	①	AC	T48-F004A	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁（A）	①	1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②			
	SA, 3加圧器逃がし弁	3PCV-452A, B	×	②	AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁（B）	①	1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②			
	SA, 3加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054A, B	×	①	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁（A）	③	1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側側継ぎ	3V-RC-077	×	②	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁（B）	③	1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度（狭域）	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側側継ぎ	3V-RC-078	×	①	AC	T48-F010	補給用空素ガス供給側第二隔離弁	③		1次冷却系	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度（狭域）		②	
	3加圧器逃がしタンク空素供給ライン格納容器側側継ぎ	3V-RC-084	×	①	AC	T48-F010	補給用空素ガス供給側第二隔離弁	③		1次冷却系	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度（広域）		②	
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側側継ぎ	3V-RC-095	×	①	AC	T48-F011	D/W補給用空素ガス供給用第一隔離弁	③		1次冷却系	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度（広域）		②	
	SA, 3D加圧器スプレイ弁	3PCV-451A, B	×	①	AC	T48-F012	S/C補給用空素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	①			
	3-1次冷却材圧力	3PT-429, 430	×	②	AC	T48-F016	バージ用空素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側側継ぎ	②			
	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	③		1次冷却系	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側側継ぎ		③	
	SA, B, C, D-1次冷却材高温側・低濃縮側度（狭域）	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	AC	T48-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク空素供給ラインC/V外側側継ぎ	③			
	SA, B, C, D-1次冷却材高温側・低濃縮側度（狭域）	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	AC	T48-F021	ベント用HYAC側隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側側継ぎ	③			
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側側継ぎ	②			
	SA, B, C, D-1次冷却材流量	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	AC	T48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③		1次冷却系	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側側継ぎ		③	
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-415A, 425A, 435A, 445A	×	②	AC	T48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク空素供給ラインC/V外側側継ぎ	③			
	SA, 3Bほう酸ポンプ		○	—	AC	T48-F708	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側側継ぎ	③			
SA, 3B, 3C充てんポンプ		○	—	AC	T48-F769	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③	※1 評価対象外とした理由 ①原本により機能を喪失しない、 ②原子炉格納容器内環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない、 ④他の設備で代替できる							
3体積制御タンク		×	②	AC	T48-F7001	バージ用空素供給流量	③								
3再生熱交換器		×	③	AC	T48-F7019	圧力抑制電圧力	③								
SA, 3Bほう酸タンク		×	③	AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁（A）計量用空気配管隔離弁	③								
3ほう酸フィルタ		×	③	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁（B）計量用空気配管隔離弁	③								
3貯水冷却器		×	③	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁（C）計量用空気配管隔離弁	③								
SA, 3B貯水注入フィルタ		×	③	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁（D）計量用空気配管隔離弁	③								
3貯水ストレーナ		×	③	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁（E）計量用空気配管隔離弁	③								
3体積制御タンク出口第1止め弁	3LCV-121B	○	—												
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（2/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（2/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（2/9）				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由**		
化学体積制御系	緊急3号機注入ライン補給弁	3V-CS-673	○	—	AC	F48-S0-F042F	真空破断弁（F）計装用空気配管側開弁	③	AC	3FCV-138	充てん流量制御弁	③		
	3号充てんポンプ入口燃料取替用ベドト開閉弁前止め弁	3LV-1210, E	○	—		AC	F48-S0-F708	L S 0 1 5 D/W温水水位計装配管（H）側隔離弁		③	AC	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③
	3号充てんライン格納容器側隔離弁	3V-CS-157	○	—		AC	F48-S0-F710	L S 0 1 5 D/W温水水位計装配管（L）側隔離弁		③	AC	3CST1	体積制御タンク	①
	3号充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—		AC	F48-S0-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁		③	AC	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③
	3号充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①		AC	F48-S0-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁		③	AC	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	④
	3号1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-146	×	①		AC	F48-S0-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁		③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①
	3号抽出ライン第1止め弁	3LV-451	×	②		AC	F48-S0-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁		③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①
	3号抽出ライン第2止め弁	3LV-452	×	②		AC	F48-S0-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁		③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁	3V-CS-004A, B, C	×	②		AC	F48-S0-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁		③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①
	3号加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②		AC	F48-S0-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁		③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①
	3号側抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②		AC	F48-S0-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁		③	AC	3CST5A, B	ほう酸タンク	①
	3号側抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②		AC	F48-S0-F772	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W水位計装配管（H）側隔離弁		③	AC	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③
	3号抽出ライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-607	×	①		AC	F48-S0-F774	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W水位計装配管（L）側隔離弁		③	AC	3V-CS-473A, B	ほう酸タンク出口隔離ライン切替弁	③
	3号充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-154	×	①		AC	F48-S0-F774	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W水位計装配管（H）側隔離弁		③	AC	3V-CS-474A, B	ほう酸タンク出口A（B）ほう酸タンク戻り弁	③
	3号ループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①		CMS	E23-0001A	校正ガスボンベサポート		①	CMS	E23-0001B	校正ガスボンベサポート	①
	3号1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①		CRD	C12	制御機駆動機構		①	CRD	C12	制御機駆動機構	①
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3V-CS-196A, B, C, D	×	①		CRD	C12-0001-120	方向制御弁		③	CRD	C12-0001-120	方向制御弁	③
	3号1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CS-310	×	②		CRD	C12-0001-123	方向制御弁		③	CRD	C12-0001-125	アキュムレータ	①
	3号1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-312	○	—		CRD	C12-0001-125	アキュムレータ		①	CRD	C12-0001-126	スタクム入口弁	③
	3号1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②		CRD	C12-0001-128	要素容器		①	CRD	C12-0001-128	要素容器	①
	3A, 3B, 3Cほう酸タンク水位	3LT-206, 208	○	—		CRD	C12-0001-132	制御機駆動水圧素ラプチュアディスク		①	CRD	C12-0001-132	制御機駆動水圧素ラプチュアディスク	①
	3号充てんポンプ速度制御弁	3CSC	○	—		CRD	C12-0001-135	方向制御弁フィルタ		①	CRD	C12-0001-135	方向制御弁フィルタ	①
	3号充てんポンプ速度制御弁速度	3CSC	○	—		CRD	C12-0001-139	スタクムバイロット弁		③	CRD	C12-0001-139	スタクムバイロット弁	③
	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ現場操作箱	3LB-5, 6, 7, 8	○	—		CRD	C12-LDS129	HCUアキュムレータレベルスイッチ		③	CRD	C12-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③
	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作箱	3LB-9, 10	○	—		CRD	C12-PS136	HCUアキュムレータ圧力スイッチ		③	CRD	C12-PS136	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	③
	3A, 3B高圧注入ポンプ		○	—										
3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク		×	②											
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A, B	○	—											
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-016A, B	○	—											
3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環ライン格納容器側隔離弁	3V-S1-090A, B	○	—											
3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	3V-S1-092A, B	○	—											
3A, 3B余熱除去ポンプRWSピット及び再循環ライン格納容器側隔離弁	3V-S1-096A, B	○	—											
3A, 3B高圧注入ライン格納容器側隔離弁	3V-S1-062A, B	×	①											
3A, 3B高圧注入ポンプ出口連絡弁	3V-S1-060A, B	×	②											

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②FCV等耐環境仕様仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子格納容器内耐環境仕様仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1	系統	機器番号	機器名称	理由※		
安全注入系	3A, 3B, 3C, 3D 高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②	E/W	G31-F002	C/UW入口ライン第一隔離弁	②	E/W	SIT2	ほう酸注入タンク	①		
	3A, 3B, 3C, 3D 蓄圧タンク出口弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		D3	R13-A001A	清水膨張タンク (A)		①	D3	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②
	3格納容器再循環サンプ水位(狭域)・広域)	3LT-470, 471, 472A, 472	×	②		D3	R13-A001B	清水膨張タンク (B)		①	D3	3V-SI-062A, B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②
	3A, 3B 高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		D3	R13-A100A	潤滑油サンプタンク (A)		①	D3	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③
	3A 高圧注入流量 (I), 3B 高圧注入流量 (II)	3FT-962, 963	○	—		D3	R13-A100B	潤滑油サンプタンク (B)		①	D3	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第 1 (2) 止め弁	③
	3燃料取替用水ポンプ水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		D3	R13-A101A	機関付動弁注油タンク (A)		①	D3	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①
	3A, 3B 余熱除去ポンプ		○	—		D3	R13-A101B	機関付動弁注油タンク (B)		①	D3	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②
	3A, 3B 余熱除去冷却器		×	①		D3	R13-A101B	機関付動弁注油タンク (B)		①	D3	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②
	3A, 3B 余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁	3PCV-661, 611	○	—		D3	R13-A200A	軽油タンク (A)		①	D3	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	①
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口流量設定弁	3BCV-663, 613	×	①		D3	R13-A200B	軽油タンク (B)		①	D3	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②
余熱除去系	3A, 3B 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3PCV-664, 614	×	①	D3	R13-A200C	軽油タンク (C)	①	D3	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	②		
	3A, 3B 余熱除去ポンプ B, C ループ高圧側入口止め弁	3PCV-420, 430	×	②	D3	R13-A200C	軽油タンク (C)	①	D3	3V-SI-164	蓄圧タンク流量供給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B 余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-01-002A, B	×	②	D3	R13-A200D	軽油タンク (D)	①	D3	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-01-043A, B	×	①	D3	R13-A200E	軽油タンク (E)	①	D3	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口連絡弁	3V-01-047A, B	×	②	D3	R13-A200F	軽油タンク (F)	①	D3	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③		
	3B, 3C ループ高圧側圧入ライン止め弁	3V-01-048A, B	×	②	D3	R13-A201A	燃料デイトンク (A)	①	D3	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B 余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—	D3	R13-A201B	燃料デイトンク (B)	①	D3	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①		
	3A, 3B 余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—	D3	R13-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	D3	3FCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③		
	3A, 3B 格納容器スプレイポンプ		○	—	D3	R13-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	D3	3PCV-604, 614	余熱除去 (A) ライン流量制御弁	③		
	3A, 3B 格納容器スプレイ冷却器		×	①	D3	R13-B001A	清水冷却器 (A)	①	D3	3PCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②		
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク		×	①	D3	R13-B001B	清水冷却器 (B)	①	D3	3V-R1-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②		
	3-内調整剤タンク		×	②	D3	R13-B003A-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	D3	3V-R1-020A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B よう素除去薬品注入ライン第1止め弁	3V-CP-054A, B	○	—	D3	R13-B003A-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	D3	3V-R1-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B よう素除去薬品注入ライン第2止め弁	3V-CP-056A, B	○	—	D3	R13-B003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	D3	3V-R1-034A, B	高圧側低圧注入ライン止め弁	②		
	3A, 3B 格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ピット挿入口止め弁	3V-CP-001A, B	○	—	D3	R13-B003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	D3	3LT-460, 461, 462, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②		
	3A, 3B 格納容器スプレイポンプ再循環サンプ挿入口格納容器隔離弁	3V-CP-003A, B	○	—	D3	R13-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①	D3					
	3A, 3B 格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—	D3	R13-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①	D3					
	3格納容器圧力 (広域) 1, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—	D3	R13-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①	D3					
	3A, 3B 格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LB-18, 19	○	—	D3	R13-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①	D3					
	3タービン駆動補助給水ポンプ		○	—										
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3A, 3B 電動補助給水ポンプ		○	—										
	3直水ピット		×	②										
	3タービン駆動補助給水ポンプ起動弁A, B	3V-WS-570A, B	○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D 補助給水隔離弁	3V-IV-574A, B, C, D	×	②										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐燃焼仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④単一の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐燃焼仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大飯】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	
主蒸気及び補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調整弁	3V-F9-667A, B, C, D	×	①	⑥	06	R43-0200A	燃料移送ポンプ入口ストレーナ（A）	①	①	主蒸気系 3WV-3616, 3626, 3636 主蒸気バイパス隔離弁	③	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3重水ビット電動補助給水ポンプ阻止弁	3V-F9-680	×	①									
	3重水ビットタービン駆動補助給水ポンプ阻止弁	3V-F9-681	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調整弁	3WV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①									
	3A, 3Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-675A, B	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-F9-620A, B, C, D	×	③									
	3重水ビット水位Ⅲ, IV	3LT-3760, 3761	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3FT-3718, 3726, 3736, 3746	○	—									
	3A, B, C, D蒸気発生器広域水位	3LT-484, 474, 484, 494	×	②									
	3A, B, C, D蒸気発生器狭域水位	3LT-480, 481, 482, 483, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 480, 481, 492, 493	×	②		②							
							3タービン駆動補助給水ポンプ起動配A, B	3TD-A, B	○				
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-630A, B, C, D	○	—		①							
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁バイパス弁	3WV-3615, 3625, 3635, 3645	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気過し弁	3WV-3613, 3623, 3633, 3643	○	—		①							
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-628A, B, C, D	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-627A, B, C, D	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-628A, B, C, D	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-629A, B, C, D	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-630A, B, C, D	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	3V-MS-685A, B, C, D	×	①		①							
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気過し弁弁弁	3V-MS-620A, B, C, D	×	①		①							
	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—		①							
	原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	○	—		①							
3原子炉補機冷却水サージタンク		×	③	③									
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		×	③	③									
3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁		3V-CC-178A, B	○	—									
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管遮断弁		3V-CC-050A, B	○	—									
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管遮断弁		3V-CC-043A, B	○	—									
3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止弁		3V-CC-114A, B	○	—									
5-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁		3V-CC-409	○	—									
5-2次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁		3V-CC-427	×	②									
3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水流量調整弁		3V-F9-667A, B, C, D	×	①									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCT内前処理機仕体の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内副凝縮仕体の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)					【大飯】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}			
原子炉機械冷却系	S-1冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-429	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)	06	B43-L5257B	シリンダー浸水スイッチ	③	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)	使用済燃料ピット水浄化冷却器	3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	S-1冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CC-342	○	—		06	B43-P1052A	機関付浸水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料ピット水浄化冷却器	3SFD1A,B	使用済燃料ピット脱塩塔	①	
	S-1冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第3隔離弁	3V-CC-365	○	—		06	B43-P1052B	機関付浸水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料ピット水浄化冷却器	3SFD1A,B	使用済燃料ピットフィルタ	①	
	2A,B,2B,C 格納容器内循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-189A,B	○	—		06	B43-P1191A	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-005	CVDT 自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁	②	
	3冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-198A,B,C,D	○	—		06	B43-P1191B	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-006	CVDT 自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁	③	
	5廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1,2止め弁（3号機側）	3HY-CC-600,600	○	—		06	B43-P1201B	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 内側隔離弁	②	
	原子炉補機冷却水サータンク水位III,IV	3LT-1200,1201	○	—		06	B43-P1202A	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 外側隔離弁	③	
	2A,2B,2C,2D原子炉補機冷却水ポンプ取組機作箱	3LB-20,21,22,23	○	—		06	B43-P1202B	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-017	格納容器冷却材ドレンタンク電素供給 C/V 隔離弁	③	
	3海水ポンプ	3A,3B,3C	○	—		06	B43-P1203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3海水ポンプ出口3A,3B,3C,3D海水ストレーナ	3S-SF-01A,B,C,D	× ¹	③		06	B43-P1203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 外側隔離弁	③	
	3A,3B,3C海水ポンプ輸送ストレーナA,B	3S-SF-02A,B,C	×	③		06	B43-P1211A	機関入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-113	格納容器サンポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3A,3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	3V-SF-03A,B,C	×	③		06	B43-P1211B	機関入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-114	格納容器サンポンプ出口 C/V 外側隔離弁	③	
	3A,3B1,3B2,3C海水ポンプ現場操作箱	3LB-26,27,28,29	○	—		06	B43-P1255A	機関入口吸気圧力（L側）指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-504	加圧器気相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A,3B使用済燃料ピットポンプ	3A,3B	○	—		06	B43-P1255B	機関入口吸気圧力（R側）指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9S-509	加圧器液相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A,3B使用済燃料ピット	3A,3B	× ¹	②		06	B43-P1256A	機関入口吸気圧力（L側）指示計	③						
	3A,3B,3C使用済燃料ピット冷却器	3A,3B,3C	× ¹	②		06	B43-P1256B	機関入口吸気圧力（R側）指示計	③						
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3A,3B	×	②		06	B43-P12560	機関入口吸気圧力（L側）指示計	③						
	3A,3B使用済燃料ピットフィルタ	3A,3B	×	②		06	B43-P15108A	機関潤滑油圧力	③						
	3A,3B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	3LB-24,25	○	—		06	B43-P15108B	機関潤滑油圧力	③						
	3A,3B燃料取替用水ポンプ		○	—		06	B43-P15113A	潤滑油プライングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③						
3燃料取替用水ピット		○	—	06	B43-P15113B	潤滑油プライングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③								
3A,3B燃料取替用水ポンプ現場操作箱	3LB-33,34	○	—	06	B43-P15253A	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③								
2A,2B,2C,2Dブローダウンライン格納容器隔離弁	3V-BD-101A,B,C,D	×	①	06	B43-P15253B	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③								
2A,2B,2C,2D高気圧発生器試験用ライン格納容器隔離弁	3V-BD-018A,B,C,D	×	①	06	B43-PuS200A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③								
S加圧器気相部試験用ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-503	×	②	06	B43-PuS200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③								
S加圧器液相部試験用ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-506	×	②	06	B43-PuS202A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③								
Sグループ高気圧試験用ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-522	×	②	06	B43-PuS202B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③								
Sグループ高気圧試験用ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-507	×	②	06	B43-PuS202C	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③								
Sグループ高気圧試験用ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-525	×	②	06	B43-PS250A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③								
Sグループ高気圧試験用ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-526	×	②	06	B43-PS250B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③								
2A,2B,2C,2D高気圧試験用ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-593A,B,C,D	×	②												
2高圧タンク試験用ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-594	×	①												
S冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3V-SS-574	×	①												
前扉用空気系	3A,3B扉用空気圧縮機		○	—											

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②C/V内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器	3IAH1A, B	×*1	④	00	R43-PS201A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内側保護仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④その他の設備で代替できる	B (C) ループ高圧側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B制御用空気乾燥器	3IAT1A, B	×*1	③		R43-PS201B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④			③		
	3A, 3B制御用空気主空気過し及び等価供給ラインの弁	3V-1A-505A, B	○	—		R43-TE331A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			④		
	3A-C, 3B-C制御用空気清浄装置	3V-1A-504A, B	○	—		R43-TE331B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			④		
	3A, 3B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A, B	○	—		R43-TE332A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③			④		
	3A, 3B格納容器内前部Bラスタ制御用空気貯留停止弁	3V-1A-510A, B	×	②		R43-TE332B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	④			④		
	3A, 3B制御用空気供給管圧力	3PT-1800, 1810	○	—		R43-TE333A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	④			④		
	3A, 3B制御用空気圧縮機制御弁	3IAC-A, B	○	—		R43-TE333B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	④			④		
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分取ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-078	×	②		R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			④		
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分取ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-079	×	①		R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			④		
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-083	×	②	R43-TE335A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	④	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内側保護仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④その他の設備で代替できる	Cループ高圧側サンプリングラインC/V 外側隔離弁	②		
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-084	×	①	R43-TE335B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	④					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵部給排水格納容器第1隔離弁	3V-ML-094	×	①	R43-TE336A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	④	④					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵部給排水格納容器第2隔離弁	3V-ML-042	×	②	R43-TE336B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	④	④					
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-043	×	①	R43-TE337A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	④					
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-143	×	②	R43-TE337B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	④					
	3格納容器サンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-144	×	①	R43-TE338A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	④					
	3格納容器サンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-144	×	①	R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	④					
	雨水水素	3V-FS-002	×	①	R43-TE339A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	④	④					
	3炉内排気計測装置ガスバーライン格納容器第1隔離弁	3V-TG-009	×	②	R43-TE339B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	④	④					
3炉内排気計測装置ガスバーライン格納容器第2隔離弁	3V-TG-008	×	①	R43-TE341A	非常用D/G (A) 軸受温度検出器	③	④						
換気空調系	手動弁 一式		×	③	R43-TE341B	非常用D/G (B) 軸受温度検出器	③	④	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内側保護仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④その他の設備で代替できる	PASS 1次冷却材サンプル戻りラインC/V 外側隔離弁	③		
	3熱気空調機	3VB	○	—	R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④	④					
	3A, 3B中央制御室空調ファン		○	—	R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④	④					
	3A, 3B中央制御室循環ファン		○	—	R43-TI5054A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	④	④					
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	3VSP22A, B	○	—	R43-TI5094B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	④	④					
	3A, 3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-VS-604A, B	×	①	R43-TI5109A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	④	④					
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-VS-602A, B	○	—									
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-VS-603A, B	○	—									
	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ	3D-VS-604A, B	○	—									
	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	3HD-2874, 2875	○	—									
3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ	3HD-2885, 2886	○	—										
3A, 3B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	3HD-2887, 2888	×	①										
3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3HD-2889, 2890	○	—										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^①	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常時前扉開放制御ダンパ	3BFC-2991, 2992	○	—	① 溢水により機能を喪失しない。 ② PCV内漏漏減仕様の設備。 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他の設備で代替できる。	06	R43-TIS109B	機関入口潤滑油温度指示計（検点付）	②	燃料取替用水系	3BF-P	燃料取替用水ヒット	①
	3B中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—		06	R43-TIS343A	非常用D/G(A) 軸受温度指示計（検点付）	②	燃料取替用水系	3BFH1	燃料取替用水加熱器	①
	3A, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—		06	R43-TIS343B	非常用D/G(B) 軸受温度指示計（検点付）	②	制御用空気系	3V-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—		06	R43-TS112A	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3D-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2904, 2905	○	—		06	R43-TS112B	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3VSL7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2904, 2905	○	—		PCS	T49-6001A	FCS再結晶器(A)	①	換気空調系	—	排気筒	①
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2905, 2906	○	—		PCS	T49-6001B	FCS再結晶器(B)	①	換気空調系	—	排気筒	①
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2907, 2908	×	①		PCS	T49-6001A	FCS弁駆動器(A)	①	換気空調系	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2905, 2906	○	—		PCS	T49-6001B	FCS弁駆動器(B)	①	換気空調系	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	②
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2907, 2908	×	①		PCS	T49-0001A	FCS気水分離器(A)	①	換気空調系	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3DC-2909, 2900	○	—		PCS	T49-0001B	FCS気水分離器(B)	①	換気空調系	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③
	3A, 3B中央制御室非常時前扉ダンパ流量設定	3DC-2991, 2992	○	—		PCS	T49-TI001A	FCS(A) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI001B	FCS(B) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3VSA18A, B	安全補機室冷却ユニット	①
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009A-1	FCS再結晶器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009A-2	FCS再結晶器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009B-1	FCS再結晶器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009B-2	FCS再結晶器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FDW	B21-F052A	F D W第二隔離弁(A)	②	換気空調系	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	①
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FDW	B21-F052B	F D W第二隔離弁(B)	②	換気空調系	3VSG2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	F31	使用済燃料プール	①	換気空調系	3VSA6A, B	安全補機間閉器室給気ユニット	①
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-6001A	スキマナージタンク	①				
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-6001B	スキマナージタンク	①				
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-6001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)	①				
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-6001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	①				
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-D006A	プール浄化水戻りデフューザ	①				
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-D006B	プール浄化水戻りデフューザ	①				
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-F013	F P Cラベ視気室出口弁	②				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ	3D-Y5-104A, B	○	—	FPC	641-L5016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調系	3VS4A, B	中央制御室給気ユニット	①			
	3A, 3Bアニュラス全量排気弁	3V-Y5-102A, B	○	—	FPC	641-P1006	F P Cポンプ出口圧力指示計	③	換気空調系	3D-Y5-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス少量排気弁	3V-Y5-103A, B	○	—	FPC	641-TB001	F P Cポンプ入口風速検出器	③	換気空調系	3D-Y5-611, 612	中央制御室排気第1 (2) 隔離ダンパ	④			
	3A, 3Bアニュラス圧力制御器	3VT-2522, 2542	×	①	FPC	641-TE014A	F P C 熱交換器 (A) 出口風速検出器	④	換気空調系	3HCD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	④			
	3A, 3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-Y5-068A, B	×	①	FPC	641-TE014B	F P C 熱交換器 (B) 出口風速検出器	④	換気空調系	3VS8	中央制御室非常用循環フィルタユニット	①			
	3格納容器排気止めダンパ	3D-Y5-061	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水位	③	換気空調系	3D-Y5-053	格納容器給気気密ダンパ	③			
	3補助建屋排気流路調節ダンパ	3PCD-2500	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水位	③	換気空調系	3D-Y5-064	格納容器排気気密ダンパ	③			
	3補助建屋排気止めダンパ	3D-Y5-351	×	①	FMUW	P15-P1001	F P M U Wポンプ入口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-065A, B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③			
	34放射線管理室排気流量制御ダンパ	34FC-2976	×	①	FMUW	P15-P1004	F P M U Wポンプ出口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-232	補助建屋排気隔離ダンパ	④			
	34放射線管理室排気止めダンパ	34D-Y5-658	×	①	HCC	P25-A002A	換気空調機非常用冷却水系サージタンク (A)	①	換気空調系	3PCD-2526	補助建屋排気流量制御ダンパ	④			
	3A, 3B安全補機室排気ダンパ	3D-Y5-195A, B	○	—	HCC	P25-A002B	換気空調機非常用冷却水系サージタンク (B)	①	換気空調系	3D-Y5-056	格納容器排気第2隔離弁	②			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-301, 302	×	①	HCC	P25-P007A	中央制御室給気冷却コイル (A) 温度調節弁	③	空調用冷水系	3CHT1	空調用冷水貯留タンク	①			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-303, 304	×	①	HCC	P25-P007B	中央制御室給気冷却コイル (B) 温度調節弁	③	水消火系	3V-FS-504	消火水 C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス給気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-052, 053	×	①	HCC	P25-P018A	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	炉内核計装装置ガスバージ設備系	3V-IG-008	炉内核計装装置二酸化炭素バージライン C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-056, 059	×	①	HCC	P25-P018B	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	炉内核計装装置ガスバージ設備系	3V-IG-009	炉内核計装装置二酸化炭素バージライン C/V 内側隔離弁	②			
	3格納容器給気第2隔離弁	3V-Y5-054	×	①	HCC	P25-P024A	原子炉補機 (A) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	原子炉格納容器直交送がし装置	3V-YR-001A, B	真空送がし装置 C/V 外側隔離弁	④			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-Y5-055	×	②	HCC	P25-P024B	原子炉補機 (B) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	非常用所内電源系	3DG11A, B	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①			
	3格納容器排気第1隔離弁	3V-Y5-056	×	②	HCC	P25-LS011A	H E C Wサージタンク (A) 水位スイッチ	③	非常用所内電源系	3DG12A, B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①			
	3格納容器排気第2隔離弁	3V-Y5-057	×	①	HCC	P25-LS011B	H E C Wサージタンク (B) 水位スイッチ	③							
	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱	3LB-92, 83	○	—	HCC	P25-P1001A	H E C W冷水ポンプ (A) 出口圧力	③							
	3A1, 42, 3B1-2 応ディーゼル発電機室排気ファン現場操作箱	3LB-94, 85	○	—	HCC	P25-P1001B	H E C W冷水ポンプ (B) 出口圧力	③							
	3A, 3B電機補機室給水ポンプ給気ファン現場操作箱	3LB-96, 87	○	—	HCC	P25-P1001C	H E C W冷水ポンプ (C) 出口圧力	③							
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90, 91	○	—	HCC	P25-P1001D	H E C W冷水ポンプ (D) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱	3LB-95, 99	○	—	HCC	P25-P1007A	H E C W冷水ポンプ (A) 入口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101, 102	○	—	HCC	P25-P1007B	H E C W冷水ポンプ (B) 入口圧力	③							
	3A4, 34B, 34C, 34D安全補機用閉塞室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	HCC	P25-P1007C	H E C W冷水ポンプ (C) 入口圧力	③							
	3A, 3Bほう機ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77, 78	○	—	HCC	P25-P1007D	H E C W冷水ポンプ (D) 入口圧力	③							
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—											
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱	3LB-97, 98	○	—											
	3空調用冷水貯留タンク			×	①										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水槽			○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ			○	—										
34C, 34D安全補機用閉塞室空調ユニット冷水温度制御弁	34TCY-2800, 2801	○	—												
3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCY-2878, 2879	○	—												

※1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② 炉内耐環境仕様設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 別の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}			
冷水系	5空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁	3F-CF-002, 003	○	—	※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない。 ② 原子炉格納容器内面腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他、設備で代替できる。	HPCW	F24-F302	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②		
	5高圧格納容器冷却球ニード冷水管入口、出口格納容器隔離弁	3F-CF-453, 457	×	①		HPCW	F24-F307	HNCW戻りライン第一隔離弁	②		関連設備	3NE31, 32	中性子領域検出器	②	
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ奥場操作箱設置1台機	3F-B-103, 104, 105, 106	○	—		HPCS	E22-0010	高圧が心スプレイストレーナ	①			関連設備	3RE-91A, 92A	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	②
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-003A, B	×	②		HPCS	E22-0010	HPCS S/N/C試験用調整弁	③				関連設備	3RE-91B, 92B	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）
3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-002A, B	×	①	HPCS		E22-P021	HPCS注入ライン試験用遮断弁	②	—	手動弁一式				①	
3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-003A, B	×	①	HPCS		E22-P021	HPCS注入ライン試験用遮断弁	②	—	遮断弁一式	①				
3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-002A, B	×	①	HPCS		E22-FT005B	HPCSポンプ出口流量変換器	③	—	配管一式	①				
格納容器減圧装置及び水素材料補給機	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-003A, B	×	②		HPCS	E22-PT001	HPCSポンプ入口圧力	③	※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない。 ② 原子炉格納容器内面腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他、設備で代替できる。	—	手動弁一式	①		
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-002A, B	×	①		HPCS	E22-PT004	HPCSポンプ出口圧力	③		—	遮断弁一式	①		
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-003A, B	×	①		HPCS	E22-PT001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③		HPCSDG	R44-A001	清水循環タンク	①	
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-DE-002A, B	×	①		HPCSDG	R44-A102	潤滑油補給タンク	①		HPCSDG	R44-A200	軽油タンク（G）	①	
放射線監視設備 空気サンプリング系	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-DE-001	×	②		HPCSDG	R44-A201	燃料デイツタンク	①		HPCSDG	R44-A300	空気だめ（自動）	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-DE-002	×	①		HPCSDG	R44-B001	清水冷却器	①		HPCSDG	R44-B003	機関付空気冷却器	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-DE-003	×	①		HPCSDG	R44-B100	潤滑油冷却器	①		HPCSDG	R44-B102	発電機軸受潤滑油冷却器	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-DE-001A	×	①		HPCSDG	R44-D100	機関付潤滑油フィルタ	①		HPCSDG	R44-D200	燃料移送ポンプ入口トレーナ	①	
電気盤	3主盤（原子炉盤）	3MCD	○	—		HPCSDG	R44-D201	HPCS D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①		HPCSDG	R44-D202-1	燃料油フィルタ-1	①	
	3原子炉補助盤	3BAD	○	—		HPCSDG	R44-D202-2	燃料油フィルタ-2	①		HPCSDG	R44-D300	始動用空気Y型トレーナ	①	
	3原子炉安全保護計装機1, 2, 3, 4	3MPC-1, 2, 3, 4	○	—		HPCSDG	R44-D301	始動用空気Y型トレーナ	①		HPCSDG	R44-gS112	機関付潤滑油フィルタ差圧	③	
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3MPL-A, B, C, D	○	—		HPCSDG	R44-D302	燃料移送ポンプ入口トレーナ	①						
	3安全保護シークス盤001, 002, 001, 002	3SPS-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ゾレノイド分電盤	3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—											
	3原子炉トリップ遮断器盤	3RTS	○	—											
	3A, 3Bドロップ盤	3BCT-A-D0P, 3BCT-B-D0P	○	—											
	3A, 3B直流き電盤	3BDF-A, B	○	—											
	3A, 3B直流分電盤	3BDF-A, B	○	—											
	3A, 3B蓄電池	3BDC-A, B	○	—											
	3A, 3B充電器	3BCC-A, B	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルケラッドスイッチギア	3MC-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ	3BCC-A1, A2, B1, B2	○	—											
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電解盤(1)~(3)	3IBC-A, B, C, D	○	—											
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—											
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電解切替盤	3ISF-A, B, C, D	○	—											
	3所内盤	3BSP	○	—											
	3AC, 3BD計装用後着分電盤	3IBD-AC, BD	○	—											
	3事故時放射線監視盤	3RMS-III, IV	○	—											
	計器	3出力領域中性子束	3F-41, 42, 43, 44	×	②										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3／4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（10/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（10/24）					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}		
計器	S中性子検出管中性子束	30V-S1,32	×	②	HPYSDG	R44-4P5210	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③		【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	S格納容器高レベルアラーム（監視）・（高レベル）	30H-R1A, 91B, 92A, 92B	×	②	HPYSDG	R44-G200	ブレイクシブルチューブ	①		
非常用電源系	3A,3Bディーゼル機関		○	—	HPYSDG	R44-L1S050	溢水影響タンク水位指示計（接点付）	③		
	3A,3Bディーゼル発電機		○	—	HPYSDG	R44-L8257	シリンドラード水スイッチ	③		
	3A,3Bディーゼル発電機コントロールセンサ	300C-A,B	○	—	HPYSDG	R44-P1052	機関付清水ポンプ出口圧力	③		
	3A,3Bディーゼル発電機制御装置	300C-A,B	○	—	HPYSDG	R44-P1102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルオープンとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。 ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震仕様が確保され機能喪失しない。又は、溢水現象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、逆止弁、手動弁等の静的機器は漏水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					HPYSDG	R44-P1202	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		
＜溢水影響評価対象外の注記＞ ① 静的機器は漏水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象装置リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。					HPYSDG	R44-P1203	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		
					HPYSDG	R44-P1211	機関入口燃料油圧力指示計	③		
					HPYSDG	R44-P1256	機関入口機油圧力指示計	③		
					HPYSDG	R44-P1S108	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③		
					HPYSDG	R44-P1S113	機関入口潤滑油圧力	③		
					HPYSDG	R44-P1S253	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③		
					HPYSDG	R44-P6S260	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-P6S262	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-P8250	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-P8251	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-TE301H	HPCSD/G固定子巻線温度（U相）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE302H	HPCSD/G固定子巻線温度（V相）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE303H	HPCSD/G固定子巻線温度（W相）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE304H	HPCSD/G固定子巻線温度（U相）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE305H	HPCSD/G固定子巻線温度（V相）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE306H	HPCSD/G固定子巻線温度（W相）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE307H	HPCSD/G固定子巻線温度（U相予備）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE308H	HPCSD/G固定子巻線温度（V相予備）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE309H	HPCSD/G固定子巻線温度（W相予備）検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE341H	HPCSD/G反直結機軸受温度検出器	③		
					※1 評価対象外とした理由 ①漏水による機能を喪失しない ②PCV内耐震増仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由			
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（1/10）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（11/24）								【大飯】			
系統	設備	番号	最大影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由	【女川】		
1次冷却材系	4号炉容器		×	㉑	HP/SDG	R44-TS342H	H P C S D / G 直結倒軸受温度検出器	㉑					記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器		×	㉑	HP/SDG	R44-T1051	機関入口ブローヤール冷却水温度指示計	㉑							
	4A, 4B, 4C, 4D-1 冷却材ポンプ		×	㉑	HP/SDG	R44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	㉑							
	4加圧器		×	㉑	HP/SDG	R44-TS3054	機関出口ブローヤール冷却水温度指示計（接点付）	㉑							
	4A, 4B, 4C 加圧器安全弁	4F-BC-055, 056, 057		×	㉑	HP/SDG	R44-T35111	機関潤滑油温度	㉑						
	4A, 4B 加圧器過剰し弁弁弁	4F-BC-054A, B		×	㉑	HP/SDG	R44-TS3430	H P C S D / G 直結倒軸受温度指示計（接点付）	㉑						
	4加圧器過剰しタンクガス分析ライン格納容器（圧縮弁）	4F-BC-077		×	㉑	HP/SDG	R44-TS344H	H P C S D / G 直結倒軸受温度指示計（接点付）	㉑						
	4加圧器過剰しタンクガス分析ライン格納容器（安全弁）	4F-BC-078		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4加圧器過剰しタンク蒸気戻りライン格納容器（圧縮弁）	4F-BC-084		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4加圧器過剰しタンク蒸気戻りライン格納容器（安全弁）	4F-BC-095		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4加圧器過剰しタンク蒸気戻りライン格納容器（圧縮弁）	4F-BC-095		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4A, 4B 加圧器スプレイ弁	4F7-451A, B		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	F-1 冷却材圧力	4F7-429, 430		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4加圧器水位	4L7-451, 452, 453, 454		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4A, B, C, D/A-1 冷却材高温側・低濃側温度（伝感）	41E-410, 415, 420, 425 420, 435, 440, 445		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4A, B, C, D/A-1 冷却材高温側・低濃側温度（戻感）	41E-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4加圧器圧力	4F7-451, 452, 453, 454		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	4A, B, C, D/A-1 冷却材流量	421-412, 413, 414, 415 422, 423, 424, 425 432, 433, 434, 435 442, 443, 444, 445		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	1次冷却材ポンプ回転数	43E-4185, 425A 4380, 4485		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
	化学体積調整系	4A, 4B 加圧器ポンプ		○	—	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
		4A, 4B, 4C 光てんポンプ		○	—	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
		4E 補填タンク		× ^㉑	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
		4再生熱交換器		×	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
		4A, 4B 加圧器タンク		× ^㉑	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
		4加圧器タンク		× ^㉑	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
		4加圧器タンク		× ^㉑	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑						
4加圧器タンク			× ^㉑	㉑	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑							
4加圧器タンク			○	—	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑							
4加圧器タンク			○	—	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑							
4緊急加圧器注入ライン補給弁	4F7-C9-575		○	—	HP/SDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	㉑							
				※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② 炉内耐腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)										<p>【大飯】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
化学体積制御系	圧延ポンプ入口燃料取替用ホット側 通過閥A,B	4FCV-121D,E	○	—	HVAC	V10-F024	D/C-MCC C 2A室非常用排気隔離ダンパ	②							
	圧延ポンプ燃料容器隔離弁	4V-CS-137	○	—	HVAC	V10-F001A	原子炉種排気隔離弁(A)用アクチュエレータ	①							
	圧延ポンプ止め弁	4V-CS-155	○	—	HVAC	V10-F001A	原子炉種排気隔離弁(A)	②							
	圧延ポンプ流量制御弁	4FCV-138	×	①	HVAC	V10-F001B	原子炉種排気隔離弁(B)用アクチュエレータ	①							
	1次冷却材ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4FCV-140	×	①	HVAC	V10-F001B	原子炉種排気隔離弁(B)	②							
	抽出ライン第1止め弁	4FCV-451	×	②	HVAC	V10-F002A	原子炉種排気隔離弁(A)用アクチュエレータ	①							
	抽出ライン第2止め弁	4FCV-452	×	②	HVAC	V10-F002A	原子炉種排気隔離弁(A)	②							
	AA, AB, AC抽出オリフロア出口格納容器第1 隔離弁	4V-CS-004A,B,C	×	②	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)用アクチュエレータ	①							
	加圧器補助スプレイヤ	4V-CS-109	×	②	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	②							
	4余剰抽出ライン第1止め弁	4V-CS-301	×	②	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	③							
	4余剰抽出ライン第2止め弁	4V-CS-302	×	②	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	④							
	抽出ライン格納容器第2隔離弁	4V-CS-007	×	①	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑤							
	圧延ポンプ流量制御弁前止め弁	4V-CS-151	×	①	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑥							
	4グループ共通圧延ポンプ止め弁	4V-CS-163	×	①	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑦							
	1次冷却材ポンプ排水注入ライン流量制 御弁前止め弁	4V-CS-177	×	①	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑧							
	AA, AB, AC, AD-1次冷却材ポンプ排水注入 ライン格納容器隔離弁	4V-CS-190A,B,C,D	×	①	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑨							
	1次冷却材ポンプ排水戻りライン格納容 器第1隔離弁	4V-CS-310	×	②	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑩							
	1次冷却材ポンプ排水戻りライン格納容 器第2隔離弁	4V-CS-312	○	—	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁(B)	⑪							
	AA, AB, AC, AD-1次冷却材ポンプ排水戻り ライン止め弁	4V-CS-208A,B,C,D	×	②	HVAC	V10-F150150	原子炉種排気隔離弁(B)用アクチュエレータ圧力	⑫							
	AA, ABはうなぎタンク水位	4LT-205,208	○	—	HVAC	V10-F150150	原子炉種排気隔離弁(B)用アクチュエレータ圧力	⑬							
	圧延ポンプ速度制御弁	4SC	○	—	HVAC	V10-F150160	原子炉種排気隔離弁(B)用アクチュエレータ圧力	⑭							
	圧延ポンプ速度制御弁駆動機	4SCAC	○	—	HVAC	V11-0001	原子炉補機(A)供給気冷却コイル	①							
	AA, AB, AC, AD2号ポンプ駆動機操作箱	4LB-5,6,7,8	○	—	HVAC	V11-0002	原子炉補機(A)供給気加熱コイル	②							
	AA, ABはうなぎ弁駆動機操作箱	4LB-9,10	○	—	HVAC	V11-0001	原子炉補機(A)供給気バグエアフィルタ	③							
	AA, AB, AC, AD高圧注入ポンプ		○	—	HVAC	V11-0002	D/G(A)供給気バグエアフィルタ	④							
	AA, AB, AC, AD高圧タンク		×	②	HVAC	V11-0002	D/G(A)供給気バグエアフィルタ	⑤							
	AA, AB高圧注入ポンプミニマムフローライ ン第1止め弁	4V-SI-015A,B	○	—	HVAC	V11-0P1001	原子炉補機(A)供給気バグエアフィルタ差圧指示計	⑥							
	AA, AB高圧注入ポンプミニマムフローライ ン第2止め弁	4V-SI-016A,B	○	—	HVAC	V11-0P1003	D/G(A)供給気バグエアフィルタ差圧指示計	⑦							
	AA, AB高圧注入ポンプ格納容器隔離弁	4V-SI-050A,B	○	—	HVAC	V11-0001	原子炉補機(A)供給気ループ	⑧							
	AA, AB高圧注入ポンプ燃料取替用ホット側 吸入口弁	4V-SI-002A,B	○	—	HVAC	V11-0002	原子炉補機(A)供給気ループ	⑨							
	AA, AB高圧注入ポンプKWSホット及び冷 却機コイル側入口弁	4V-SI-006A,B	○	—	HVAC	V11-0003	D/G(A)供給気ループ	⑩							
	AA, AB高圧注入ライン格納容器隔離弁	4V-SI-002A,B	×	①	HVAC	V11-0004	D/G(A)供給気ループ	⑪							
	AA, AB高圧注入ポンプ出口連絡弁	4V-SI-005A,B	×	②											
	AA, AB高圧注入ポンプ高圧側注入ライン止 め弁	4V-SI-007A,B	×	②											

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②ICV内耐腐蝕仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3ノ4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（3/10）						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（13/24）						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方		系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
安全注入系	IA, IB, IC, 40層圧タンク出口弁	4V-S1-132A, B, C, D	×	②		HVAC	V12-B001	原子炉補機（B） 密給気冷却コイル	①			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4格納容器内循環ポンプ水底（排気）（圧縮）	4LT-976, 977, 978, 979	×	②		HVAC	V12-B002	原子炉補機（B） 密給気加熱コイル	①			
	IA, 40層圧注入ポンプ現場操作箱	4IB-12, 13	○	—		HVAC	V12-D001	原子炉補機（B） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	4格納容器排水ピット水位1, II, III, IV	4LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-D002	D/G（B） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	40層圧注入流量（I）, 40層圧注入流量（II）	4PT-962, 963	○	—		HVAC	V12-4PT001	原子炉補機（B） 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 40層熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-4PT003	D/G（B） 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 40層熱除去冷却器		×	②		HVAC	V12-3001	原子炉補機（B） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスモークフロアイン止め弁	4PCV-601, 611	○	—		HVAC	V12-3002	原子炉補機（B） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去冷却器出口流量設定弁	4PCV-603, 613	×	①		HVAC	V12-3003	D/G（B） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去冷却器バイパス流量調整弁	4PCV-604, 614	×	①		HVAC	V12-3004	D/G（B） 密給気ルーバ	①			
余熱除去系	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側入口止め弁	4PCV-420, 430	×	②		HVAC	V12-3004A	D/G（B） 密給気ルーバ（A）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口止め弁	4PCV-420, 430	×	②		HVAC	V12-3004B	D/G（B） 密給気ルーバ（B）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-RH-902A, B	×	②		HVAC	V13-B001A	原子炉補機（HPCS） 密給気加熱コイル（A）	①			
	IA, 40層熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-RH-043A, B	×	①		HVAC	V13-B001B	原子炉補機（HPCS） 密給気加熱コイル（B）	①			
	IA, 40層熱除去冷却器出口連絡弁	4V-RH-047A, B	×	②		HVAC	V13-D001	原子炉補機（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	IB, 40層圧高圧側圧注入ライン止め弁	4V-RH-048A, B	×	②		HVAC	V13-D002	D/G（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ出口流量	4PT-601, 611	○	—		HVAC	V13-4PT001	原子炉補機（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ差圧	③			
	IA, 40層熱除去ポンプ現場操作箱	4IB-14, 15	○	—		HVAC	V13-4PT003	D/G（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 40層熱除去ポンプスモークフロアイン止め弁	4V-CP-054A, B	○	—		HVAC	V13-3001	原子炉補機（HPCS） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスモークフロアイン止め弁	4V-CP-056A, B	○	—		HVAC	V13-3002	原子炉補機（HPCS） 密給気ルーバ	①			
格納容器スプレイ系	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側入口止め弁	4V-CP-090A, B	○	—		HVAC	V13-3003	D/G（HPCS） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口止め弁	4V-CP-090A, B	○	—		HVAC	V13-3004	D/G（HPCS） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側バイパス流量調整弁	4V-CP-090A, B	○	—		HVAC	V30-B001A	中央制御室密給気冷却コイル（A）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁	4V-CP-302A, B	○	—		HVAC	V30-B001B	中央制御室密給気冷却コイル（B）	①			
	4格納容器圧力（圧縮） I, II, III, IV	4PT-950, 951, 952, 953	○	—		HVAC	V30-B001C	中央制御室密給気冷却コイル（C）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁	4IB-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001D	中央制御室密給気冷却コイル（D）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁	4IB-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001E	中央制御室密給気冷却コイル（E）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁	4IB-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001F	中央制御室密給気冷却コイル（F）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁	4IB-18, 19	○	—								
	主蒸気及び主給水系、補助給水系	4度水ピット		×	②							
4タービン動機補助給水ポンプ			○	—								
IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁			○	—								
IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側出口格納容器隔離弁			×	②								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐電圧仕様は設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由		
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (4/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (14/24)												
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由①	系統	機器番号	設備	理由①					
主蒸気及び主給水系統補助給水系	4号炉ピット電動補助給水ポンプ停止弁	4V-F9-580	×	①	① 溢水により機能を喪失しない ② PCT内前掲機仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる	IVAC	V30-B002A	中央制御室給気加熱コイル (A)	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	IVAC	V30-B002B	中央制御室給気加熱コイル (B)	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	4号炉ピットタービン補助給水ポンプ停止弁	4V-F9-581	×	①		IVAC	V30-B002C	中央制御室給気加熱コイル (C)	①		IVAC	V30-B002D	中央制御室給気加熱コイル (D)	①			
	IA, 4B, 4C, 4Dタービン補助給水ライン流量調整弁	4BVCV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①		IVAC	V30-B002E	中央制御室給気加熱コイル (E)	①		IVAC	V30-B002F	中央制御室給気加熱コイル (F)	①			
	IA, 4Bタービン補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	4V-MS-575A, B	×	①		IVAC	V30-B002G	中央制御室給気加熱コイル (G)	①		IVAC	V30-B002H	中央制御室給気加熱コイル (H)	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	4V-F9-520A, B, C, D	×	②		IVAC	V30-B001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		IVAC	V30-B001A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①			
	4号炉ピット水位計, IV	4LT-3700, 3761	○	—		IVAC	V30-B002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①		IVAC	V30-B002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B)	①			
	IA, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量調整弁	4FT-3710, 3720, 3730, 3740	○	—		IVAC	V30-B003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①		IVAC	V30-B004A	MCR給気バッグフィルタ (A)	①			
	IA, B, C, D蒸気発生器広域水位計	4LT-484, 474, 484, 494	×	②		IVAC	V30-B004B	MCR給気バッグフィルタ (B)	①		IVAC	V30-B005A	中央制御室加温器 (A)	③			
	IA, B, C, D蒸気発生器狭域水位計	4LT-480, 481, 482, 483, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 480, 481, 482, 483	×	②		IVAC	V30-B005B	中央制御室加温器 (B)	③		IVAC	V30-B005C	中央制御室加温器 (C)	③			
	4タービン駆動補助水ポンプ駆動機A, B	4TDP-A, B	○	—		IVAC	V30-B005D	中央制御室加温器 (D)	③		IVAC	V30-4PT001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁	4V-MS-533A, B, C, D	○	—		IVAC	V30-4PT001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③		IVAC	V30-4PT005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4BVCV-3615, 3625, 3635, 3645	×	①		IVAC	V30-4PT006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計	③		IVAC	V30-4PT007	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気遮り弁	4BVCV-3610, 3620, 3630, 3640	○	—		IVAC	V30-4PT008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③		IVAC	V30-ME1003A	中央制御室還気湿度 (A) 検出器 (変換器付)	③			
	IA, 4B, 4C, 4D-1主蒸気安全弁	4V-MS-529A, B, C, D	×	①		IVAC	V30-ME1003B	中央制御室還気湿度 (B) 検出器 (変換器付)	③		IVAC	V30-3001	MCR給気ルーバ	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-2主蒸気安全弁	4V-MS-527A, B, C, D	×	①													
	IA, 4B, 4C, 4D-3主蒸気安全弁	4V-MS-528A, B, C, D	×	①													
	IA, 4B, 4C, 4D-4主蒸気安全弁	4V-MS-529A, B, C, D	×	①													
	IA, 4B, 4C, 4D-5主蒸気安全弁	4V-MS-530A, B, C, D	×	①													
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁工質ドレンライン止弁	4V-MS-588A, B, C, D	×	①													
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気遮り弁元弁	4V-MS-523A, B, C, D	×	①													
I, II, III, IV, IA, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 489, 490, 497, 498	○	—														
原子炉補機冷却系	IA, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—													
	4号炉原子炉補機冷却水サージタンク		×	②													
	IA, 4B原子炉補機冷却水冷却器		×	②													
	IA, 4B格納容器スプレッド冷却器冷却水止弁	4V-CC-178A, B	○	—													
	IA-C, 4B-C原子炉補機冷却水供給母管遮断弁	4V-CC-050A, B	○	—													
	IA-C, 4B-C原子炉補機冷却水戻り母管遮断弁	4V-CC-043A, B	○	—													
	IA, 4B余熱除去冷却器冷却水止弁	4V-CC-114A, B	○	—													
	IA, 4B冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	4V-CC-400	○	—													
	IA, 4B冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	4V-CC-420	×	②													
	IA, 4B冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器遮断弁	4V-CC-420	○	—													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																			
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)					【大飯】																																																																																																																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">原子炉補機冷却系</td><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4V-CC-342</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・凝縮抽出冷却器</td><td>4V-CC-365</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・凝縮抽出冷却器</td><td>4V-CC-180A, B</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4V-CC-198A, B, C, D</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4V-CC-605, 606</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4LT-1200, 1201</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4LB-20, 21, 22, 23</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4A, 4B, 4C</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4S-58-01A, B, C, D</td><td>×^{※1}</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4S-58-02A, B, C, D</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4S-58-03A, B, C, D</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器</td><td>4LB-25, 27, 28, 29</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="5">燃料ピット冷却浄化系</td><td>4A, 4B使用済燃料ピットポンプ</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>4A, 4B使用済燃料ピット</td><td></td><td>×^{※1}</td><td>③</td></tr> <tr><td>4A, 4B, 4C使用済燃料ピット浄化器</td><td></td><td>×^{※1}</td><td>③</td></tr> <tr><td>4A, 4B使用済燃料ピット脱塩槽</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>4A, 4B使用済燃料ピットフィルタ</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td rowspan="2">燃料取替用水系</td><td>4A, 4B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱</td><td>4LB-24, 25</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>4A, 4B燃料取替用水ポンプ</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="3">蒸気発生器ブローダウンス系</td><td>4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器</td><td>4V-BD-010A, B, C, D</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器</td><td>4V-BD-010A, B, C, D</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器</td><td>4V-SS-503</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td rowspan="10">1次系統冷却系</td><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-505</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-506</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-522</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-507</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-525</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-525</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-525</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-593A, B, C, D</td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-594</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>H100高圧側燃料採取ライン格納容器</td><td>4V-SS-574</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td rowspan="2">制御用空気系</td><td>4A, 4B制御用空気圧縮機</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>4A, 4B制御用空気乾燥器</td><td>4A4B1A, B</td><td>×^{※1}</td><td>③</td></tr> </tbody> </table>					系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	原子炉補機冷却系	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4V-CC-342	○	—	H100冷却炉ユニット・凝縮抽出冷却器	4V-CC-365	○	—	H100冷却炉ユニット・凝縮抽出冷却器	4V-CC-180A, B	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4V-CC-605, 606	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4LT-1200, 1201	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4A, 4B, 4C	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4S-58-01A, B, C, D	× ^{※1}	③	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4S-58-02A, B, C, D	×	③	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4S-58-03A, B, C, D	○	—	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4LB-25, 27, 28, 29	○	—	燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ		○	—	4A, 4B使用済燃料ピット		× ^{※1}	③	4A, 4B, 4C使用済燃料ピット浄化器		× ^{※1}	③	4A, 4B使用済燃料ピット脱塩槽		×	③	4A, 4B使用済燃料ピットフィルタ		×	③	燃料取替用水系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	4LB-24, 25	○	—	4A, 4B燃料取替用水ポンプ		○	—	蒸気発生器ブローダウンス系	4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器	4V-SS-503	×	③	1次系統冷却系	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-505	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-506	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-522	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-507	×	①	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-525	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-525	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-525	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-593A, B, C, D	×	③	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-594	×	①	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-574	×	①	制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機		○	—	4A, 4B制御用空気乾燥器	4A4B1A, B	× ^{※1}	③	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BVAC</td><td>V30-3002</td><td>MCR排気ルーバ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V31-B001</td><td>計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V31-B002</td><td>計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V31-B001</td><td>計測制御電源 (A) 室給気バグフィルタ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V31-4P1001</td><td>計測制御電源 (A) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V31-3001</td><td>計測制御電源 (A) 室給気ルーバ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V31-3002</td><td>計測制御電源 (A) 室給気ルーバ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V32-B001</td><td>計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V32-B002</td><td>計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V32-B001</td><td>計測制御電源 (B) 室給気バグフィルタ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V32-4P1001</td><td>計測制御電源 (B) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V32-3001</td><td>計測制御電源 (B) 室給気ルーバ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BVAC</td><td>V32-3002</td><td>計測制御電源 (B) 室給気ルーバ</td><td>①</td></tr> <tr><td>IA/HPIN</td><td>P52-F111</td><td>I A第二隔離弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>IA/HPIN</td><td>P54-F015</td><td>H P I N常用第二隔離弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>IA/HPIN</td><td>P54-F068A</td><td>H P I N非常用第二隔離弁 (A)</td><td>④</td></tr> <tr><td>IA/HPIN</td><td>P54-F068B</td><td>H P I N非常用第二隔離弁 (B)</td><td>④</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>E21-0001</td><td>低圧炉心スプレイズストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>E21-F006</td><td>L P C S試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>E21-F016</td><td>L P C S注入ライン試験可能逆止弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>E21-P1001</td><td>L P C Sポンプ入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>E21-P1004</td><td>L P C Sポンプ出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>LPCS</td><td>E21-P1005</td><td>L P C Sポンプ出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>MS</td><td>B21</td><td>主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (A)</td><td>①</td></tr> <tr><td>MS</td><td>B21</td><td>主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (B)</td><td>①</td></tr> <tr><td>MS</td><td>B21</td><td>主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (C)</td><td>①</td></tr> <tr><td>MS</td><td>B21</td><td>主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (D)</td><td>①</td></tr> </tbody> </table>				系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	BVAC	V30-3002	MCR排気ルーバ	①	BVAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル	①	BVAC	V31-B002	計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル	①	BVAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気バグフィルタ	①	BVAC	V31-4P1001	計測制御電源 (A) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計	③	BVAC	V31-3001	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①	BVAC	V31-3002	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①	BVAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル	①	BVAC	V32-B002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①	BVAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 室給気バグフィルタ	①	BVAC	V32-4P1001	計測制御電源 (B) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計	③	BVAC	V32-3001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①	BVAC	V32-3002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①	IA/HPIN	P52-F111	I A第二隔離弁	④	IA/HPIN	P54-F015	H P I N常用第二隔離弁	④	IA/HPIN	P54-F068A	H P I N非常用第二隔離弁 (A)	④	IA/HPIN	P54-F068B	H P I N非常用第二隔離弁 (B)	④	LPCS	E21-0001	低圧炉心スプレイズストレーナ	①	LPCS	E21-F006	L P C S試験用調整弁	③	LPCS	E21-F016	L P C S注入ライン試験可能逆止弁	③	LPCS	E21-P1001	L P C Sポンプ入口圧力	③	LPCS	E21-P1004	L P C Sポンプ出口圧力	③	LPCS	E21-P1005	L P C Sポンプ出口圧力	③	MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (A)	①	MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (B)	①	MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (C)	①	MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (D)	①		【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉補機冷却系	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4V-CC-342	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・凝縮抽出冷却器	4V-CC-365	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・凝縮抽出冷却器	4V-CC-180A, B	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4V-CC-198A, B, C, D	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4V-CC-605, 606	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4LT-1200, 1201	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4LB-20, 21, 22, 23	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4A, 4B, 4C	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4S-58-01A, B, C, D	× ^{※1}	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4S-58-02A, B, C, D	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4S-58-03A, B, C, D	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100冷却炉ユニット・蒸気抽出冷却器	4LB-25, 27, 28, 29	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ		○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B使用済燃料ピット		× ^{※1}	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B, 4C使用済燃料ピット浄化器		× ^{※1}	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B使用済燃料ピット脱塩槽		×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B使用済燃料ピットフィルタ		×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
燃料取替用水系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	4LB-24, 25	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B燃料取替用水ポンプ		○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸気発生器ブローダウンス系	4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器	4V-BD-010A, B, C, D	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器	4V-BD-010A, B, C, D	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B, 4Cブローダウンス格納容器	4V-SS-503	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
1次系統冷却系	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-505	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-506	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-522	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-507	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-525	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-525	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-525	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-593A, B, C, D	×	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-594	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																									
	H100高圧側燃料採取ライン格納容器	4V-SS-574	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機		○	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4A, 4B制御用空気乾燥器	4A4B1A, B	× ^{※1}	③																																																																																																																																																																																																																																																																									
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V30-3002	MCR排気ルーバ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V31-B002	計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気バグフィルタ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V31-4P1001	計測制御電源 (A) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V31-3001	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V31-3002	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V32-B002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 室給気バグフィルタ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V32-4P1001	計測制御電源 (B) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V32-3001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
BVAC	V32-3002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
IA/HPIN	P52-F111	I A第二隔離弁	④																																																																																																																																																																																																																																																																										
IA/HPIN	P54-F015	H P I N常用第二隔離弁	④																																																																																																																																																																																																																																																																										
IA/HPIN	P54-F068A	H P I N非常用第二隔離弁 (A)	④																																																																																																																																																																																																																																																																										
IA/HPIN	P54-F068B	H P I N非常用第二隔離弁 (B)	④																																																																																																																																																																																																																																																																										
LPCS	E21-0001	低圧炉心スプレイズストレーナ	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
LPCS	E21-F006	L P C S試験用調整弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
LPCS	E21-F016	L P C S注入ライン試験可能逆止弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
LPCS	E21-P1001	L P C Sポンプ入口圧力	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
LPCS	E21-P1004	L P C Sポンプ出口圧力	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
LPCS	E21-P1005	L P C Sポンプ出口圧力	③																																																																																																																																																																																																																																																																										
MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (A)	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (B)	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (C)	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
MS	B21	主蒸気透がし安全弁排気管 T-クエンチャ (D)	①																																																																																																																																																																																																																																																																										
					<p>※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐震増強様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる</p>				【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}					
制御用空気系	4A、4B制御用空気ため	4IAT1A、B	× ^①	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (E)	①					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4A、4B制御用空気主蒸気逃がし弁弁閉結止防止弁	4V-1A-505A、B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (F)	①					
	4A、C、4B-C制御用空気母管連絡弁	4V-1A-503A、B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (G)	①					
	4A、4B制御用空気格納容器隔離弁	4V-1A-505A、B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (H)	①					
	4A、4B格納容器内前部クラス制御用空気母管閉結止弁	4V-1A-510A、B	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (I)	①					
	4A、4B制御用空気母管管圧力	4PT-1800、1810	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (J)	①					
廃棄物処理系	4A、4B制御用空気圧縮機制御盤	4IAC-A、B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (K)	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-078	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (L)	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-079	×	①	MS	B21-000JA	主蒸気逃し安全弁 (A) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-080	×	②	MS	B21-000JB	主蒸気逃し安全弁 (B) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-084	×	①	MS	B21-000JC	主蒸気逃し安全弁 (C) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク背面供給ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-094	×	②	MS	B21-000JD	主蒸気逃し安全弁 (D) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	4V-FL-042	×	②	MS	B21-000JE	主蒸気逃し安全弁 (E) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	4V-FL-043	×	②	MS	B21-000JF	主蒸気逃し安全弁 (F) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第3隔離弁	4V-FL-043	×	②	MS	B21-000JG	主蒸気逃し安全弁 (G) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第4隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	B21-000JH	主蒸気逃し安全弁 (H) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第5隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	B21-000JI	主蒸気逃し安全弁 (I) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第6隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	B21-000JJ	主蒸気逃し安全弁 (J) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
直大水系	4直大水ライン格納容器隔離弁	4V-FS-502	×	①	MS	B21-000JK	主蒸気逃し安全弁 (K) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4直大水ライン格納容器隔離弁	4V-FS-502	×	①	MS	B21-000JL	主蒸気逃し安全弁 (L) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
6号内排気調整系	46号内排気調整系スパーージライン格納容器第1隔離弁	4V-1G-009	×	②	MS	B21-000JM	主蒸気逃し安全弁 (M) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	46号内排気調整系スパーージライン格納容器第2隔離弁	4V-1G-008	×	①	MS	B21-000JN	主蒸気逃し安全弁 (N) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
—	手動弁 一式		×	②	MS	B21-000JO	主蒸気逃し安全弁 (O) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	遮止弁 一式		×	③	MS	B21-000JP	主蒸気逃し安全弁 (P) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
換気空調系	4換気空調盤	4VB	○	—	MS	B21-000JQ	主蒸気逃し安全弁 (Q) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン		○	—	MS	B21-000JA	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①					
	4A、4B中央制御室監視ファン		○	—	MS	B21-000JB	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (B) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用監視ファン	4VSP22A、B	○	—	MS	B21-000JC	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①					
	4A、4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A、B	×	①	MS	B21-000JE	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用監視ファン入口ダンパ	4D-VS-602A、B	○	—	MS	B21-000JH	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VS-603A、B	○	—	MS	B21-000JI	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (I) ADS	①					
	4A、4B中央制御室監視ファン入口ダンパ	4D-VS-604A、B	○	—	MS	B21-000JL	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①					
	4A、4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4BKP-2874、2875	○	—	MS	B21-000JA	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室新成量調節ダンパ	4BKP-2885、2886	○	—	MS	B21-000JB	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	4BKP-2887、2888	×	①	MS	B21-000JC	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室事故時空気取入流量調節ダンパ	4BKP-2889、2890	○	—									
	4A、4B中央制御室事故時換気流量調節ダンパ	4BKP-2891、2892	○	—									

※1 評価対象外とした理由
 ①原水により機能を喪失しない
 ②PCVが耐震規格仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (17/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
換気空調系	中央制御室温度(1),(2)	4TS-2908,2909	○	—	MS	B21-A0030	主蒸気第一隔離弁(D)用アキュムレータ	①	【大飯】		記載表現の相違
	4A,4B中央制御室非常用循環ファン出口流量	4FS-2904,2905	○	—					女川審査実績の反映		
	4A,4B中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910,2911	○	—					設計方針の相違		
	24キヤノン排気第1,2隔離ダンパ	24D-VS-905,906	×	①					プラント設計の違いによる相違		
	4A,4B中央制御室外気吸入調節ダンパ電機設定	4HC-2874,2875	○	—					【女川】		記載表現の相違
	4A,4B中央制御室前扉ダンパ電機設定	4HC-2885,2886	○	—					設計方針の相違		
	4A,4B中央制御室外気吸入ダンパ電機設定	4HC-2887,2888	×	①					プラント設計の違いによる相違		
	4A,4B中央制御室事故時排気吸入調節ダンパ電機設定	4HC-2889,2890	○	—							
	4A,4B中央制御室事故時循環ファン電機設定	4HC-2891,2892	○	—							
	4A,4B安全機械間閉扉室空調ファン		○	—							
	4C,34D安全機械間閉扉室空調ファン		○	—							
	4安全系電気盤室給気止めダンパA,B	4D-VS-532,533	○	—							
	4安全系電気盤室排気止めダンパA,B	4D-VS-536,537	○	—							
	4A,4B安全機械間閉扉室温度	4TS-2917,2918	○	—							
	4A,4B制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—							
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパA,B	4D-VS-431A,B	○	—							
	4制御用空気圧縮機室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2771,2772,2773,2774	○	—							
	4A,4B電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—							
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパA,B	4D-VS-411A,B	○	—							
	4A,4B電動補助給水ポンプ室温度(1),(2)	4TS-2741,2742,2743,2744	○	—							
	4A1,4A2,4B1,4B2ディーゼル発電機室給気ファン		○	—							
	4ディーゼル発電機室排気ダンパA1,A2,B1,B2	4D-VS-401A,B,403A,B	○	—							
	4A,4Bディーゼル発電機室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2701,2702,2703,2704,2711,2712,2713,2714	○	—							
	4A,4B安全機械室冷却ファン		○	—							
	4A,4B安全機械室温度(1),(2)	4TS-2680,2681,2690,2691	○	—							
	4A,4B3号酸ポンプ室空調ファン		○	—							
	4A,4B3号酸ポンプ室空調ファン前気熱コイル		○	—							
	4A,4B3号酸ポンプ室温度調節計	4TS-2691,2691	○	—							
	4B3号酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2692,2693,26913,26913	○	—							
	4A,4Bアンモニアガス空気浄化ファン	4VSP4,B	○	—							
4アンモニアガス空気浄化フィルタユニット電機加熱コイル	4VSH18A,B	×	①								
4A,4Bアンモニア排気ダンパ	4D-VS-101A,B	○	—								
4A,4Bアンモニアスリダダンパ	4D-VS-104A,B	○	—								
4A,4Bアンモニア全量排気弁	4V-VS-102A,B	○	—								
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内制御電圧線の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる						
									【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由					
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)											
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由※1								
換気空調系	4A, 4Bアニュラス少量排気弁	4A-4S-103A,B	○	—	MS	B21-F062	事故時炉水タンピング第二隔離弁	㊸	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違							
	4A, 4Bアニュラス圧力制御器	4PT-2522, 2542	×	㊸		PLR	B32-F002A	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁			㊸					
	4A, 4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4FV-060A,B	×	㊸		PLR	B32-F002B	原子炉再循環ポンプ(B) 吐出弁			㊸					
	4格納容器排気止めダンパ	4FV-061	×	㊸		PLR	B32-F013	P.L.R.タンピングライン第一隔離弁			㊸					
	4補助地層排気流量調整ダンパ	4RPD-2590	×	㊸		PLR	B32-F014	P.L.R.タンピングライン第二隔離弁			㊸					
	4補助地層排気止めダンパ	4FV-051	×	㊸		BCIC	E51-B004	原子炉隔離時冷却系ストレーナ			㊸					
	34放射線管理系排気流量制御ダンパ	34PCD-2976	×	㊸		BCIC	E51-B005	スパーージャ			㊸					
	34放射線管理系排気止めダンパ	34FV-058	×	㊸		BCIC	E51-F007	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第一隔離弁			㊸					
	4A, 4B安全補機室排気ダンパ	4FV-4S-105A,B	○	—		BCIC	E51-F027	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン隔離弁			㊸					
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4FV-301,302	×	㊸		BCIC	E51-F1001	R.C.I.C.ポンプ入口圧力指示計			㊸					
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4FV-303,304	×	㊸		BCIC	E51-P1003	R.C.I.C.ポンプ出口圧力指示計			㊸					
	4アニュラス排気第1,2隔離ダンパ	4FV-052,053	×	㊸		BCIC	E51-P1007	R.C.I.C.ポンプ電動用タービン入口蒸気圧力指示計			㊸					
	4アニュラス排気第1,2隔離ダンパ	4FV-058,059	×	㊸		BCIC	E51-P1009	R.C.I.C.タービン排気圧力指示計			㊸					
	4格納容器給気第2隔離弁	4FV-054	×	㊸		BCIC	E51-PT001A	R.C.I.C.ポンプ入口圧力伝感器			㊸					
	4格納容器給気第1隔離弁	4FV-055	×	㊸		BCV	P42-A001A	原子炉補機冷却水サージタンク(A)			㊸					
	4格納容器排気第1隔離弁	4FV-056	×	㊸		BCV	P42-A002B	原子炉補機冷却水サージタンク(B)			㊸					
	4格納容器排気第2隔離弁	4FV-057	×	㊸		BCV	P42-B001A	原子炉補機冷却水系統交換器(A)			㊸					
	4A, 4B安全補機室冷却ファン駆動機作箱	4LB-82,83	○	—		BCV	P42-B002B	原子炉補機冷却水系統交換器(B)			㊸					
	4A1,4B1,4B2ワイヤードル電機室給気ファン駆動機作箱	4LB-84,85	○	—		BCV	P42-B002C	原子炉補機冷却水系統交換器(C)			㊸					
	4A, 4B電機室給気給水ポンプ駆動機作箱	4LB-86,87	○	—		BCV	P42-B002D	原子炉補機冷却水系統交換器(D)			㊸					
	4A, 4B排煙用空気圧縮機室給気ファン駆動機作箱	4LB-90,91	○	—		BCV	P42-F006A	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(A) 制御弁			㊸					
	4A, 4B中央制御室通風ファン駆動機作箱	4LB-95,96	○	—		BCV	P42-F006B	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(B) 制御弁			㊸					
	4A, 4B中央制御室空調ファン駆動機作箱	4LB-101,102	○	—		BCV	P42-F010A	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(A) 制御弁			㊸					
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機室排気室空調ファン駆動機作箱	34LB-13,14,20,21	○	—		BCV	P42-F010B	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(B) 制御弁			㊸					
	4A, 4B3ヶ所排気ファン空調ファン駆動機作箱	4LB-77,78	○	—		BCV	P42-F080A	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(A)			㊸					
	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン駆動機作箱	4LB-52,53	○	—		BCV	P42-F080B	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(B)			㊸					
	4A, 4B中央制御室非常用通風ファン駆動機作箱	4LB-97,98	○	—		BCV	P42-F080C	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(C)			㊸					
	4空調用冷水貯水タンク			×		㊸										
	冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機		○		—										
		4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ		○		—										
		4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	4TCV-2878, 2879	○		—										
		34A, 34B安全補機室排気室空調ユニット冷水温度制御弁	34TCV-2796, 2799	○		—										
		4空調用冷水N-ヘッダ供給、戻りライン止め弁	4V-CI-032, 033	○		—										
		4制御室排気室空調ユニット冷水入口、出口排出流量調整弁	4V-CI-453, 457	×		㊸										
		4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ駆動機作箱	4LB-103, 104, 105, 106	○		—										
		※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内新増設仕様の設備 ③ 動作機種の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由等 ^{※1}			
格納容器減圧 及び水素抑制 装置	4A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器 設置用配管	4V-DF-001A,B	×	②	RCW	P42-F0650	RCW常用冷却水緊急しゃ断弁 (D)	③			
	4A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器 設置用配管	4V-DF-002A,B	×	①	RCW	P42-F112A	RCW供給側第二隔離弁 (A)	④			
	4A, 4B格納容器水素パーズ除気ライン格納 容器設置用配管	4V-HC-001A,B	×	①	RCW	P42-F112B	RCW供給側第二隔離弁 (B)	④			
	4A, 4B格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用配管	4V-RC-003A,B	×	①	RCW	P42-F115A	RCW戻り側第一隔離弁 (A)	⑤			
放射性監視設備 空気サンプリング 系	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用配管	4V-RM-001	×	②	RCW	P42-F115B	RCW戻り側第一隔離弁 (B)	⑤			
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用配管	4V-RM-002	×	①	RCW	P42-F115B	RCW戻り側第一隔離弁 (B)	⑤			
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用配管	4V-RM-013	×	①	RCW	P42-F1006A	RCW A系系統流量検出器	③			
	4土盤 (原子炉室)	4RC3	○	—	RCW	P42-F1006B	RCW B系系統流量検出器	③			
電気盤	4原子炉補助盤	4HAB	○	—	RCW	P42-F1014A	RCW A系常用系入口流量検出器	③			
	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4RPP-1, II, III, IV	○	—	RCW	P42-F1014B	RCW B系常用系入口流量検出器	③			
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4RPL-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-F1016A	RHR熱交換器 (A) 冷却水入口流量検出器	③			
	4安全保護シークス盤A01, B02, B01, B02	4SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-F1016B	RHR熱交換器 (B) 冷却水入口流量検出器	③			
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4フレ イド分電盤	4SD-A1, A2, A3, A4 , B1, B2, B3, B4	○	—	RCW	P42-L1009A	RCWサーージタンク (A) 水位	③			
	4原子炉トリップ遮断盤	4RTS	○	—	RCW	P42-L1009B	RCWサーージタンク (B) 水位	③			
	4A, 4Bドロップ盤	4RCP-A-100P , 4RCP-B-100P	○	—	RCW	P42-L1010A	RCWサーージタンク (A) 水位検出器	③			
	4A, 4B直流電盤	4RMP-A, B	○	—	RCW	P42-L1010B	RCWサーージタンク (B) 水位検出器	③			
	4A, 4B交流電盤	4RMP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001A	RCWポンプ (A) 出口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクワッドスイッ チ盤	4MC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1001B	RCWポンプ (B) 出口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4PC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1001C	RCWポンプ (C) 出口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2親子制御コントロールセ ンタ	4BCC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1001D	RCWポンプ (D) 出口圧力	⑤			
	4A, 4B, 4C, 4D計装用電盤 (1) ~ (3)	4RBC-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-P1007A	RCWポンプ (A) 入口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用 分電盤	4RFP-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	RCW	P42-P1007B	RCWポンプ (B) 入口圧力	⑤			
	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源母線	4RSP-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-P1007C	RCWポンプ (C) 入口圧力	⑤			
	4所内盤	4RISB	○	—	RCW	P42-P1007D	RCWポンプ (D) 入口圧力	⑤			
	4AC, 4BC計装用後備分電盤	4RIB-AC, BC	○	—	RCW	P42-TR005A	RCW A系冷却水供給温度検出器	③			
	4事故時燃料棒監視盤	4RMS-III, IV	○	—	RCW	P42-TR005B	RCW B系冷却水供給温度検出器	③			
	計器	4出力領域中性子束	4S-11, 42, 43, 44	×	②	RCW	P42-TR017A	RHR熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	③		
		4中性子制御域中性子束	4S-31, 32	×	②	RCW	P42-TR017B	RHR熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	③		
		4格納容器高レベルアラームホーン (監視レ ジ)・ (高レンジ)	4RBE-01A, 01B , 02A, 02B	×	②						
						※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②RCV内耐震増仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					
	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（10/10）</p> <table border="1" data-bbox="136 212 680 341"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>非号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用電源系</td> <td>IA、IBディーゼル機関</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IA、IBディーゼル発電機</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IA、IBディーゼル発電機コントロールセンサ</td> <td>46CC-A、B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IA、IBディーゼル発電機燃料調整</td> <td>46CC-A、B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止時に動作要求のない電動弁及び動作機関連先によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。 ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐液浸仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③ダンク、燃え、遮断弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。</p> <p>＜溢水影響評価対象外の注記＞ *1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対処設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>	系統	設備	非号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	非常用電源系	IA、IBディーゼル機関		○	—	IA、IBディーゼル発電機		○	—	IA、IBディーゼル発電機コントロールセンサ	46CC-A、B	○	—	IA、IBディーゼル発電機燃料調整	46CC-A、B	○	—	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（20/24）</p> <table border="1" data-bbox="705 212 1274 989"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BO</td><td>E11-F003</td><td>D/W LCWシンプ第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F103</td><td>D/W HCWシンプ第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001A</td><td>残留熱除去系統交換器（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001B</td><td>残留熱除去系統交換器（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001A</td><td>残留熱除去系A系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001B</td><td>残留熱除去系B系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001C</td><td>残留熱除去系C系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-gPT009A</td><td>L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-gPT009B</td><td>L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F012A</td><td>R H R A系試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F012B</td><td>R H R B系試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F012C</td><td>R H R C系試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F014A</td><td>R H R A系停止時冷却吸込元弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F014B</td><td>R H R B系停止時冷却吸込元弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F015A</td><td>R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F015B</td><td>R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F021</td><td>R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F044A</td><td>R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F044B</td><td>R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F044C</td><td>R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F045A</td><td>R H R A系RW連絡第一弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F045B</td><td>R H R B系RW連絡第一弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F049A</td><td>R H R A系系統吸機弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F049B</td><td>R H R B系系統吸機弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F058A</td><td>R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F058B</td><td>R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F014</td><td>原子炉ヘッドスプレイ流量変換器</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②PCV耐液浸仕様設備。 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる。</p>	系統	機器番号	設備	理由*1	BO	E11-F003	D/W LCWシンプ第一隔離弁	②	BO	E11-F103	D/W HCWシンプ第一隔離弁	②	BO	E11-D001A	残留熱除去系統交換器（A）	①	BO	E11-D001B	残留熱除去系統交換器（B）	①	BO	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①	BO	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①	BO	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①	BO	E11-gPT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③	BO	E11-gPT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③	BO	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③	BO	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③	BO	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③	BO	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①	BO	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①	BO	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BO	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BO	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	③	BO	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③	BO	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③	BO	E11-F049A	R H R A系系統吸機弁	③	BO	E11-F049B	R H R B系系統吸機弁	③	BO	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	③		<p>【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	非号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																					
非常用電源系	IA、IBディーゼル機関		○	—																																																																																																																																					
	IA、IBディーゼル発電機		○	—																																																																																																																																					
	IA、IBディーゼル発電機コントロールセンサ	46CC-A、B	○	—																																																																																																																																					
	IA、IBディーゼル発電機燃料調整	46CC-A、B	○	—																																																																																																																																					
系統	機器番号	設備	理由*1																																																																																																																																						
BO	E11-F003	D/W LCWシンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F103	D/W HCWシンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-D001A	残留熱除去系統交換器（A）	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001B	残留熱除去系統交換器（B）	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BO	E11-gPT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
BO	E11-gPT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
BO	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
BO	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
BO	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F049A	R H R A系系統吸機弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F049B	R H R B系系統吸機弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	③																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (21/24)</p> <table border="1" data-bbox="696 213 1279 983"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1001A</td><td>RHRポンプ(A) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1001B</td><td>RHRポンプ(B) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1001C</td><td>RHRポンプ(C) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1004A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1004B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1004C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1005A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1005B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-P1005C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RR</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RR</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RR</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器(A) 出口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RR</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器(B) 出口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RR</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器(A) 入口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RR</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器(B) 入口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001A</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001B</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001C</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001D</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003A</td><td>R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003B</td><td>R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003C</td><td>R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003D</td><td>R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="696 1046 963 1110"> ※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内耐震規格仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	RHR	E11-P1001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	③	RHR	E11-P1001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	③	RHR	E11-P1001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	③	RHR	E11-P1004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	③	RHR	E11-P1004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	③	RHR	E11-P1004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	③	RHR	E11-P1005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	③	RHR	E11-P1005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	③	RHR	E11-P1005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	③	RR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	③	RR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	③	RR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口風度検出器	③	RR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口風度検出器	③	RR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口風度検出器	③	RR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口風度検出器	③	RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)	①	RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)	①	RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)	①	RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)	①	RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	③		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
RHR	E11-P1001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-P1001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-P1001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-P1004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-P1004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-P1004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-P1005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
RHR	E11-P1005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
RHR	E11-P1005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
RR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	③																																																																																																																
RR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	③																																																																																																																
RR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口風度検出器	③																																																																																																																
RR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口風度検出器	③																																																																																																																
RR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口風度検出器	③																																																																																																																
RR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口風度検出器	③																																																																																																																
RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)	①																																																																																																																
RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	③																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (22/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1272 983"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004A</td><td>R C W熱交換器（A）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004B</td><td>R C W熱交換器（B）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004C</td><td>R C W熱交換器（C）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004D</td><td>R C W熱交換器（D）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002A</td><td>空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002B</td><td>空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1004</td><td>フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁（A）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁（B）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003A</td><td>ほう酸水注入系アクムレータ（A）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003B</td><td>ほう酸水注入系アクムレータ（B）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保護用ヒータ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L0001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1046 958 1110"> ※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内崩壊後仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口温度	㊦	RSW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口温度	㊦	RSW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口温度	㊦	RSW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口温度	㊦	SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊦	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊦	SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊦	SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊦	SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アクムレータ（A）	㊦	SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アクムレータ（B）	㊦	SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊦	SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保護用ヒータ	㊦	SLC	E41-L0001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊦	SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊦	SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊦	SLC	E41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊦	SLC	E41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊦		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口温度	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口温度	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口温度	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口温度	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊦																																																																																																																
SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊦																																																																																																																
SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊦																																																																																																																
SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アクムレータ（A）	㊦																																																																																																																
SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アクムレータ（B）	㊦																																																																																																																
SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊦																																																																																																																
SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保護用ヒータ	㊦																																																																																																																
SLC	E41-L0001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊦																																																																																																																
SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊦																																																																																																																
SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊦																																																																																																																
SLC	E41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊦																																																																																																																
SLC	E41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊦																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

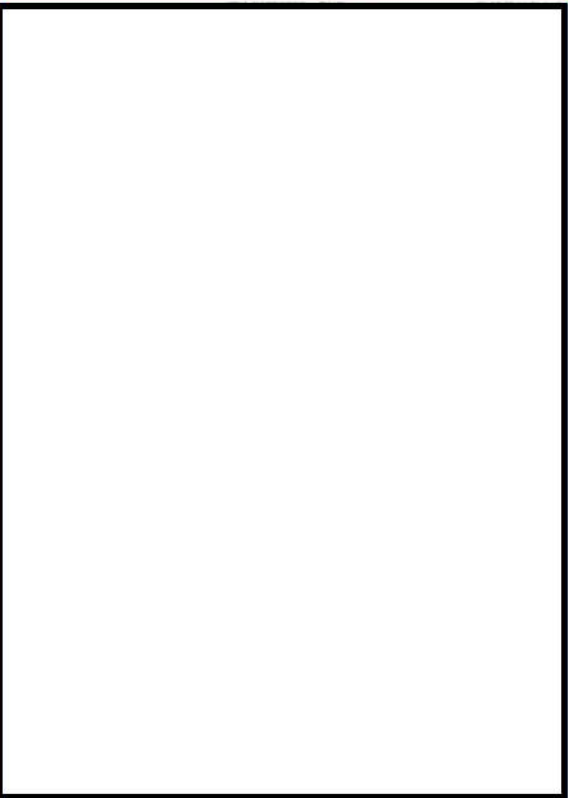
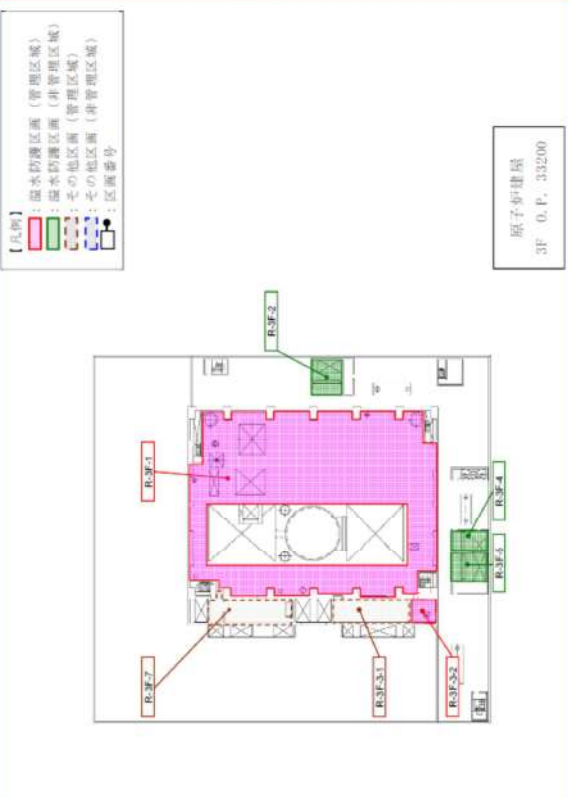
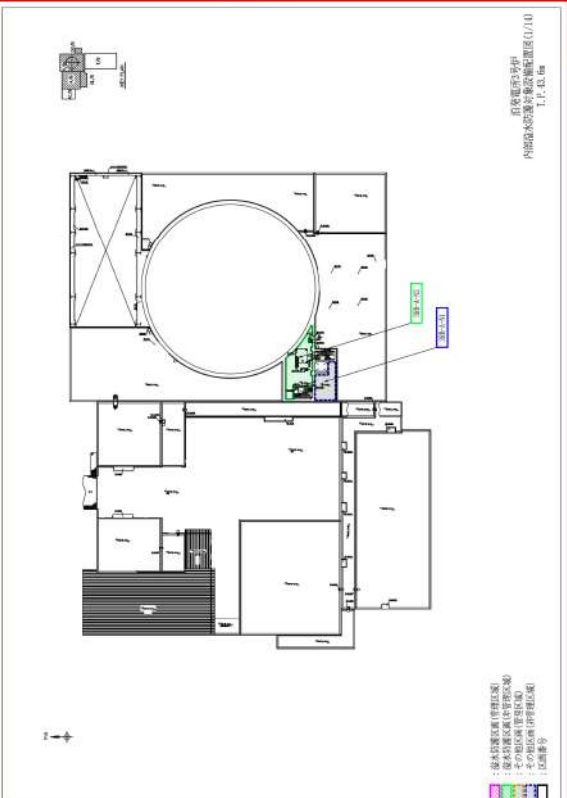
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (23/24)</p> <table border="1" data-bbox="696 210 1279 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS004</td><td>S/LC貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="696 1045 963 1109"> ※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	S/LC	C41-TS004	S/LC貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	③	S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	S/LC	C41-TS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	③	S/PM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	S/PM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	S/PM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	S/PM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	S/PM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	S/PM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	S/PM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	S/PM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	S/PM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	S/PM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	S/PM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	S/PM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	S/PM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	S/PM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	S/PM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	S/PM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	S/PM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	S/PM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	S/PM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	S/PM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	S/PM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS004	S/LC貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	③																																																																																																																
S/PM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


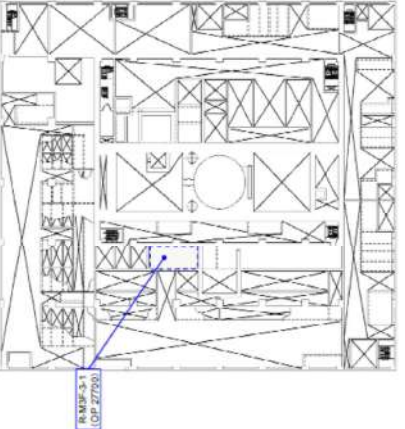
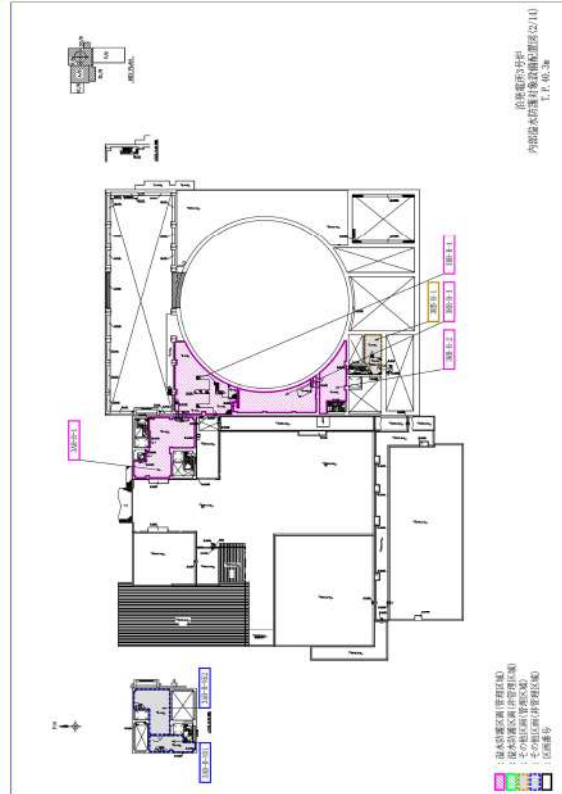
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (24/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1281 769"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011B</td><td>サブプレッションプール水温度 (23.6°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度 (25.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度 (25.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度 (28.1°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度 (28.1°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度 (30.4°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度 (30.4°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度 (32.6°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度 (32.6°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度 (34.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度 (34.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081A</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081B</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081C</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081D</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F083</td><td>T1Pバージョイント弁</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>遮止弁一式</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>㉑</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117"> ※1 評価対象外とした理由 ①冷水により機能を喪失しない ②PCV内耐腐蝕仕様 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度 (23.6°)	㉒	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒	TIP	CS1-F081A	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)	㉓	TIP	CS1-F081B	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)	㉓	TIP	CS1-F081C	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)	㉓	TIP	CS1-F081D	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)	㉓	TIP	CS1-F083	T1Pバージョイント弁	㉓	その他	-	手動弁一式	㉑	その他	-	遮止弁一式	㉑	その他	-	配管一式	㉑		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																
SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度 (23.6°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒																																																																																
TIP	CS1-F081A	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F081B	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F081C	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F081D	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F083	T1Pバージョイント弁	㉓																																																																																
その他	-	手動弁一式	㉑																																																																																
その他	-	遮止弁一式	㉑																																																																																
その他	-	配管一式	㉑																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

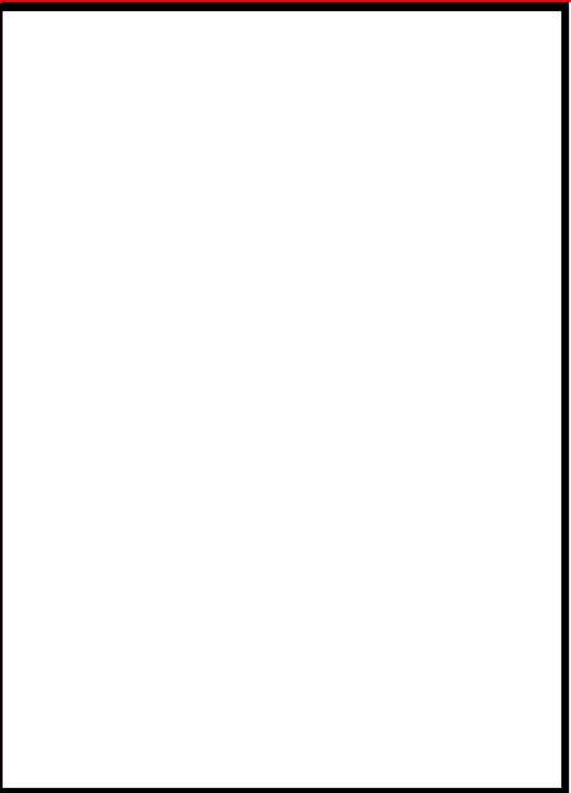
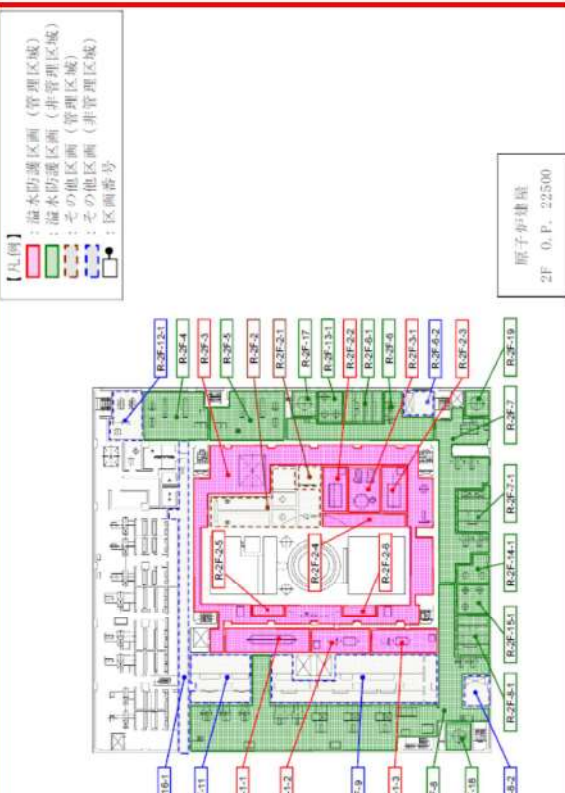
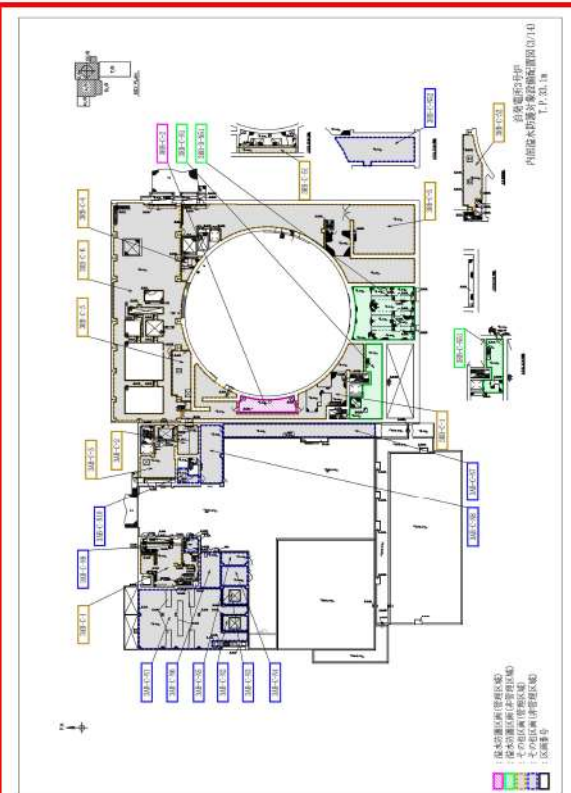
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.3-1	添付資料 7	添付資料 7	
溢水防護区画の設定	溢水防護区画図	溢水防護区画図	
 <p data-bbox="114 1053 680 1093">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1874 183 2136 207">【大飯】</p> <p data-bbox="1874 215 2136 239">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 271">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 279 2136 303">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 311 2136 335">プラント構成及び機器配置の相違</p>


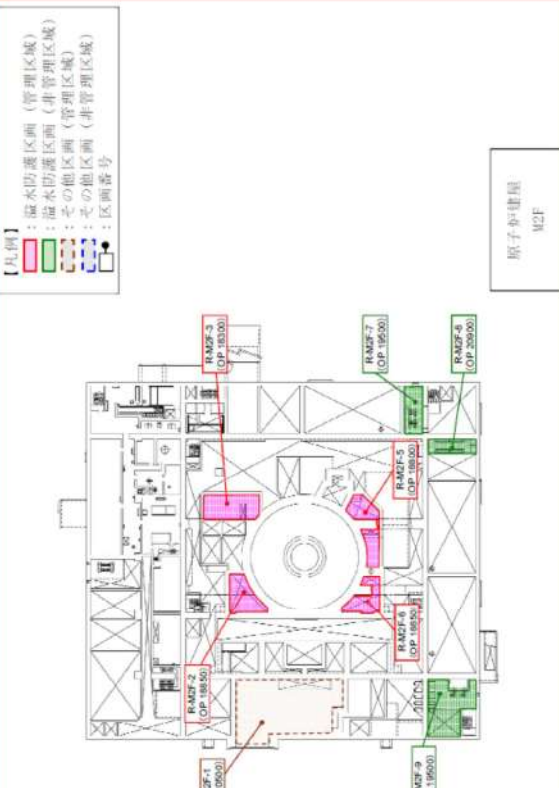
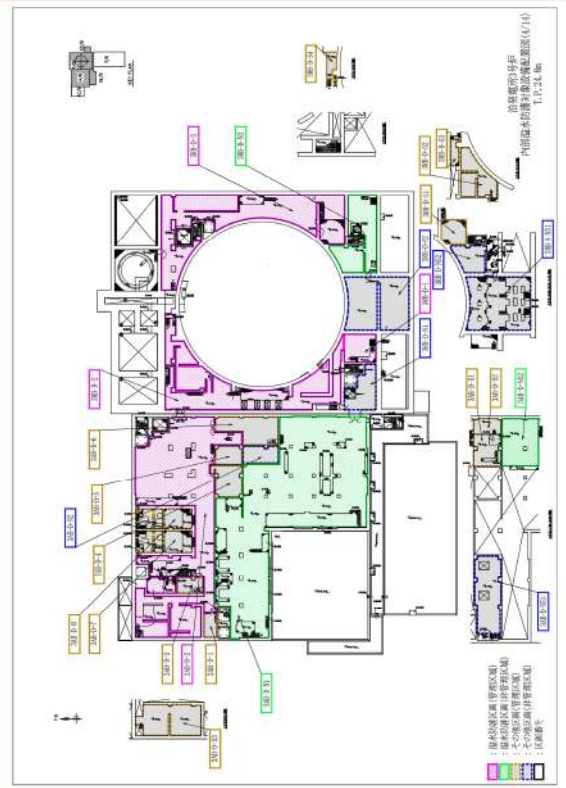
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 997 676 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 183 817 470">【凡例】 赤：溢水防護区画 (管理区域) 青：溢水防護区画 (非管理区域) 緑：その他区画 (管理区域) 黄：その他区画 (非管理区域) 白：区画番号</p> <p data-bbox="1198 327 1265 470">原子炉建屋 M3F</p> 	 <p data-bbox="1803 183 1848 343">内部設備の相違 T.P. 40.3a</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">赤：溢水防護区画 (管理区域) 青：溢水防護区画 (非管理区域) 緑：その他区画 (管理区域) 黄：その他区画 (非管理区域) 白：区画番号</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

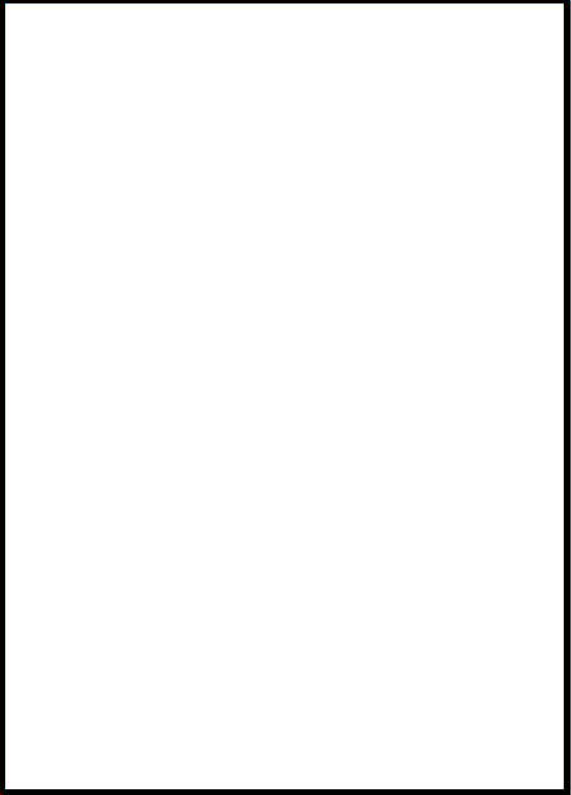
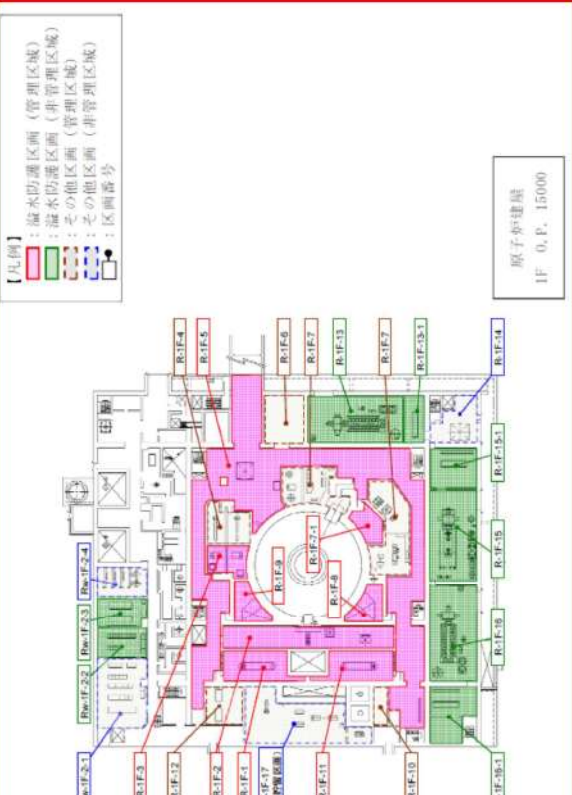
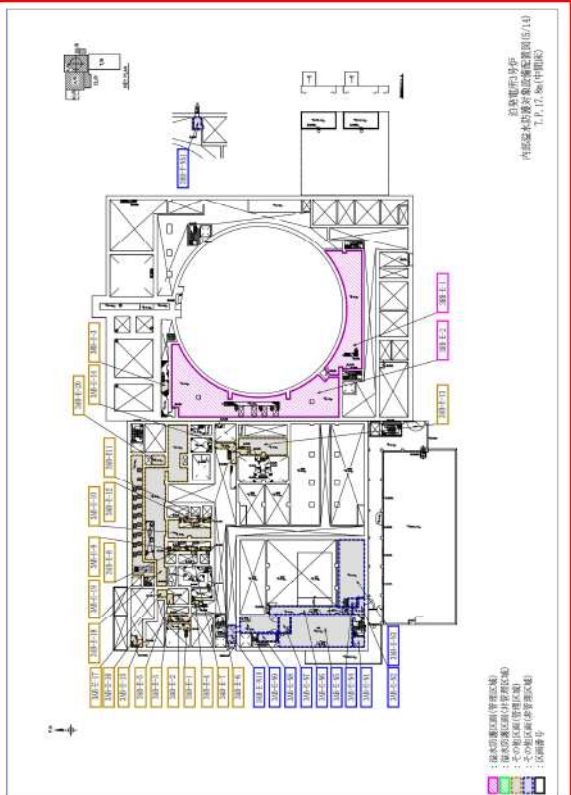
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 183 817 470"> 【丸例】 ■：溢水防護区画 (管理区画) ■：溢水防護区画 (非管理区画) ■：その他区画 (管理区画) ■：その他区画 (非管理区画) ■：区画番号 </p> <p data-bbox="1198 335 1265 470"> 原子力発電所 2F 0.F. 22500 </p>	 <p data-bbox="1769 183 1836 343"> 泊発電所3号炉 1F 0.F. 110 </p> <p data-bbox="1769 845 1836 973"> ■：溢水防護区画 (管理区画) ■：溢水防護区画 (非管理区画) ■：その他区画 (管理区画) ■：その他区画 (非管理区画) ■：区画番号 </p>	<p data-bbox="1877 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


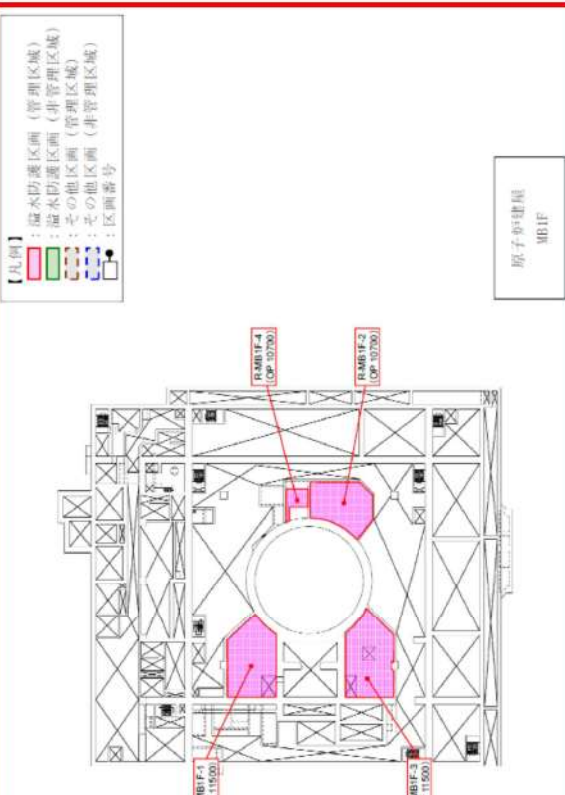
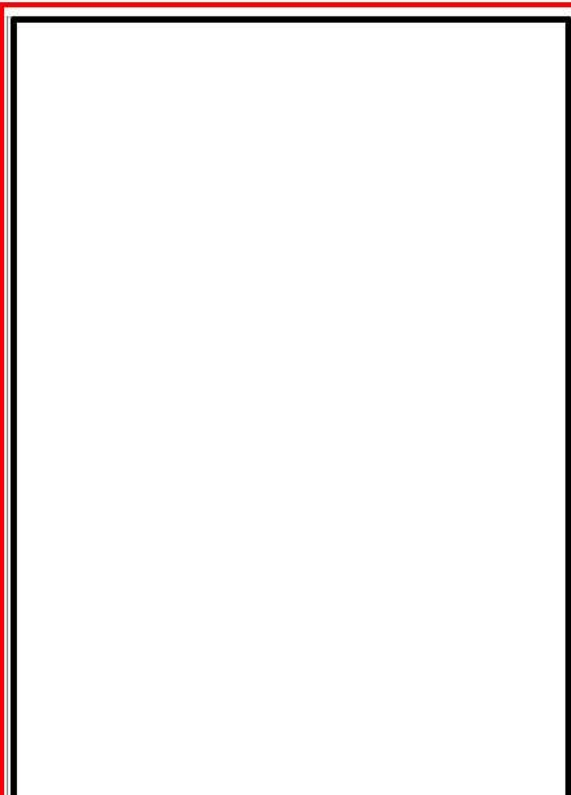
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 983 680 1021">※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 201 824 472">【凡例】 ■：溢水防護区域（管理区域） ■：溢水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p> <p data-bbox="1191 338 1263 472">原子力発電所 M2F</p>	 <p data-bbox="1765 201 1854 344">泊発電所3号炉 内部溢水防護非管理区域(M/F) 17.24 km</p> <p data-bbox="1765 849 1854 976">■：溢水防護区域（管理区域） ■：溢水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1872 185 2134 268">【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

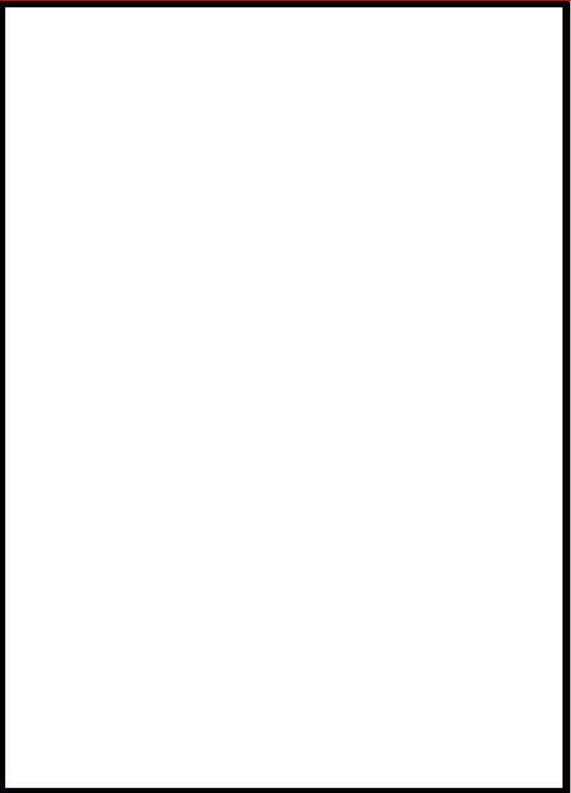
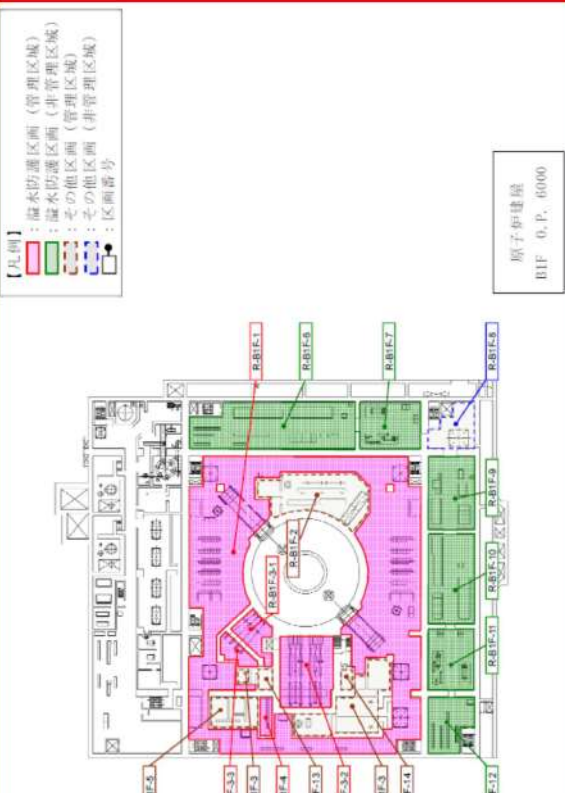
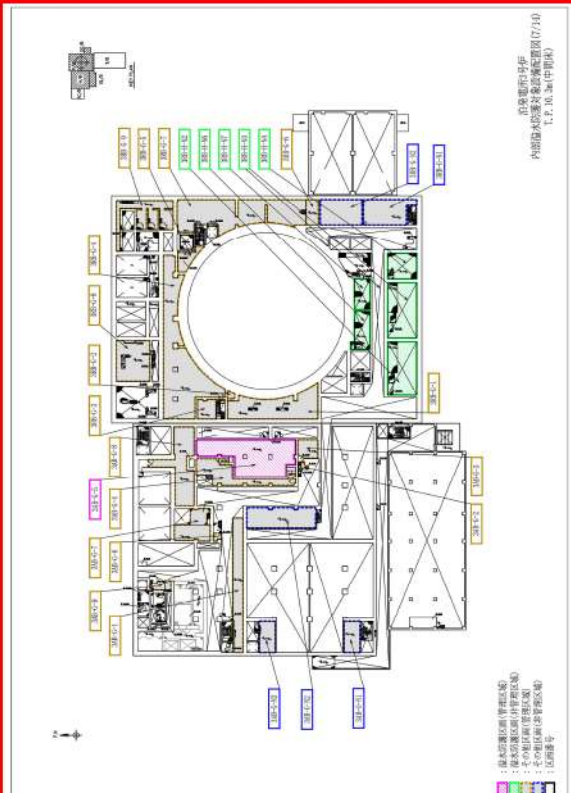
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1034">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 199 824 470">【凡例】 赤色：溢水防護区域 (管理区域) 緑色：溢水防護区域 (非管理区域) 青色：その他区域 (管理区域) 黄色：その他区域 (非管理区域) 黒色：区域番号</p> <p data-bbox="1198 343 1265 470">原子炉建屋 1F 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1780 183 1848 343">泊発電所3号炉 内部基本防護対策設備設置箇所 (L1, L17, 8F (中間層))</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">赤色：溢水防護区域 (管理区域) 緑色：溢水防護区域 (非管理区域) 青色：その他区域 (管理区域) 黄色：その他区域 (非管理区域) 黒色：区域番号</p>	<p data-bbox="1874 177 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 215 2004 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


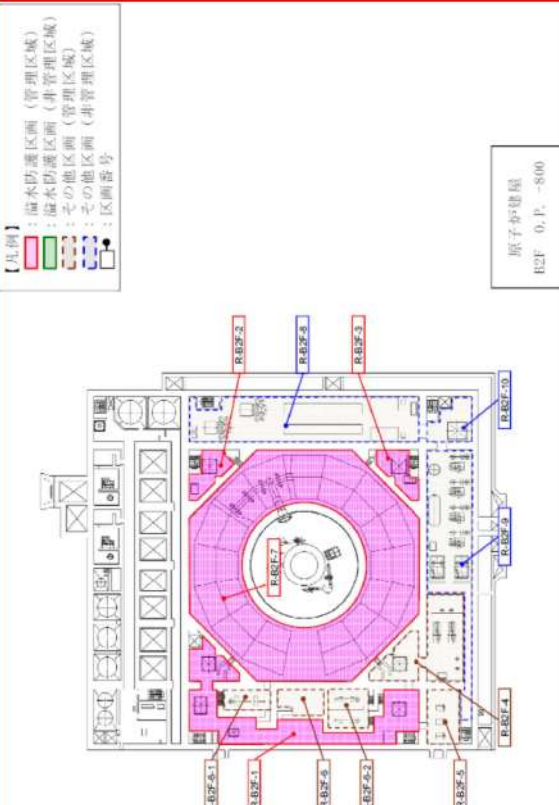
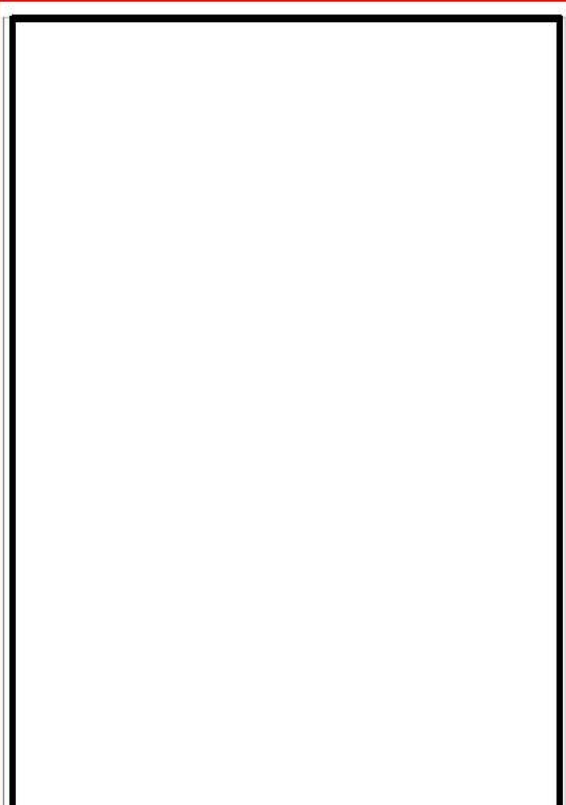
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1023">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		 <p data-bbox="1285 986 1854 1023">枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1874 177 2130 268">【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

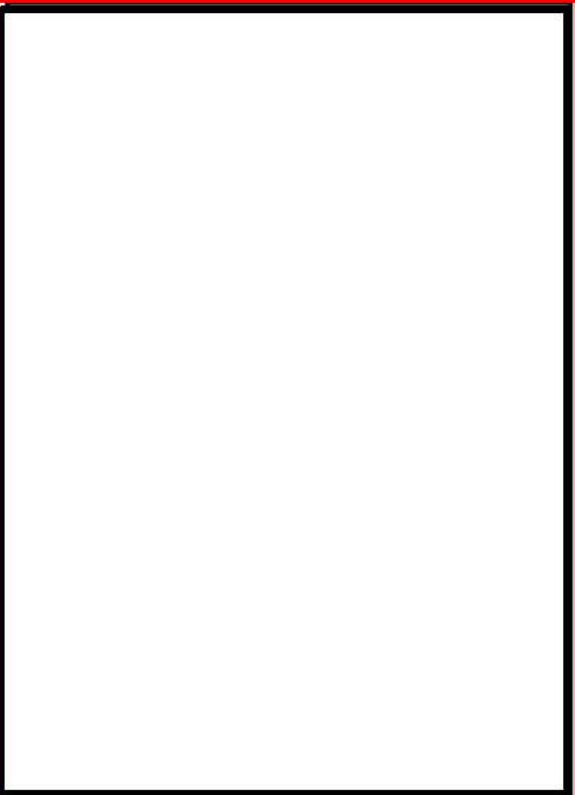
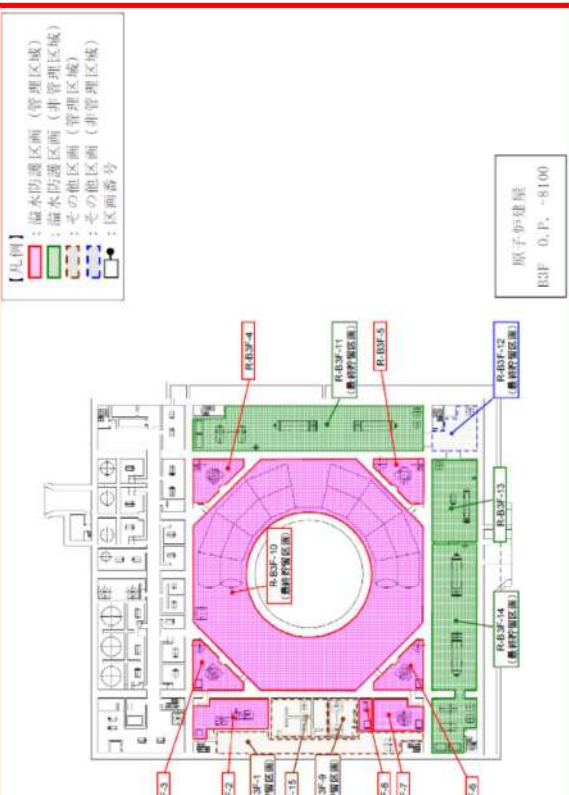
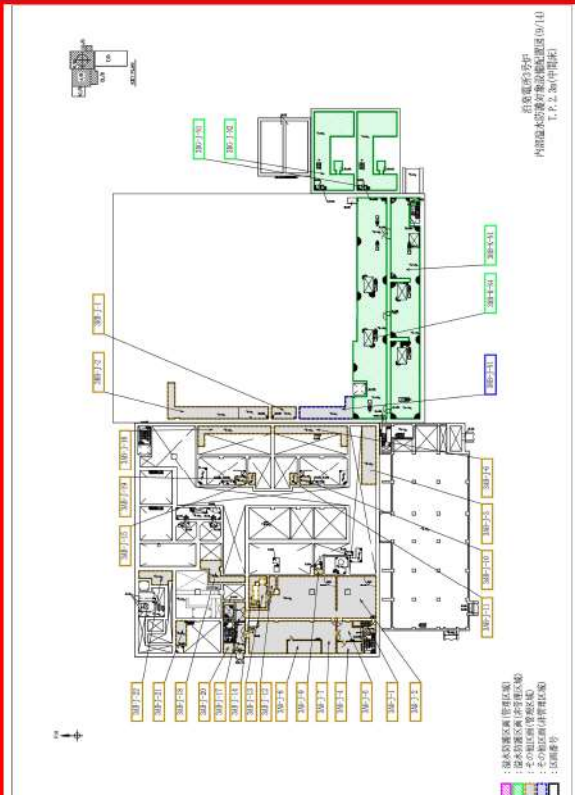
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1069"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	 <p data-bbox="703 183 1265 470"> 【凡例】 ■：基本防護区域 (管理区域) ■：溢水防護区域 (非管理区域) ■：その他区域 (管理区域) ■：その他区域 (非管理区域) ■：区域番号 原子炉建屋 B1F 0.P. 6000 </p>	 <p data-bbox="1285 183 1854 973"> 設備番号 内部防範対策対象設備配置図(7/10 4.2.10.3a(中図版)) ■：基本防護区域 (管理区域) ■：基本防護区域 (非管理区域) ■：その他区域 (管理区域) ■：その他区域 (非管理区域) ■：区域番号 </p>	<p data-bbox="1874 177 2130 271"> 【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違 </p>

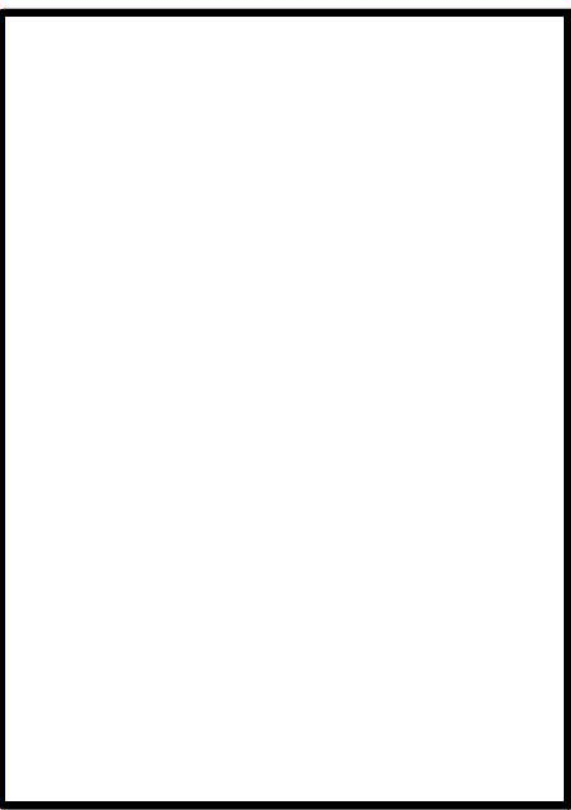
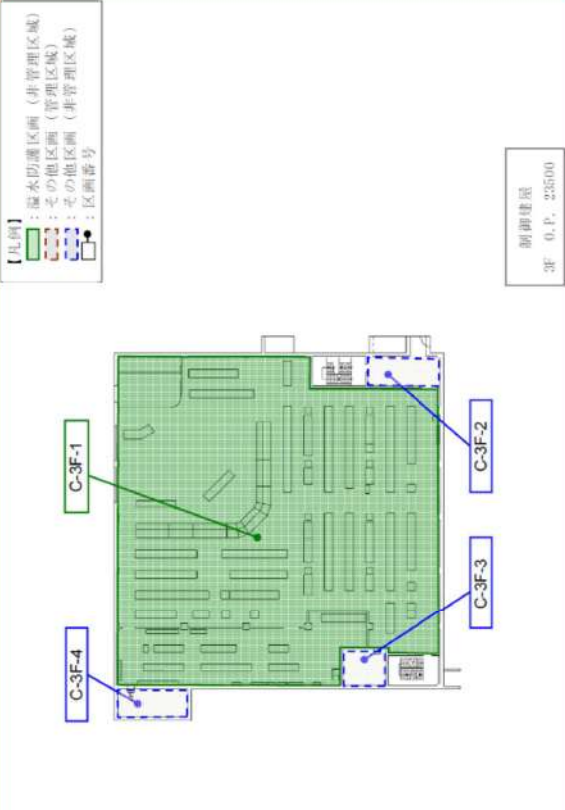
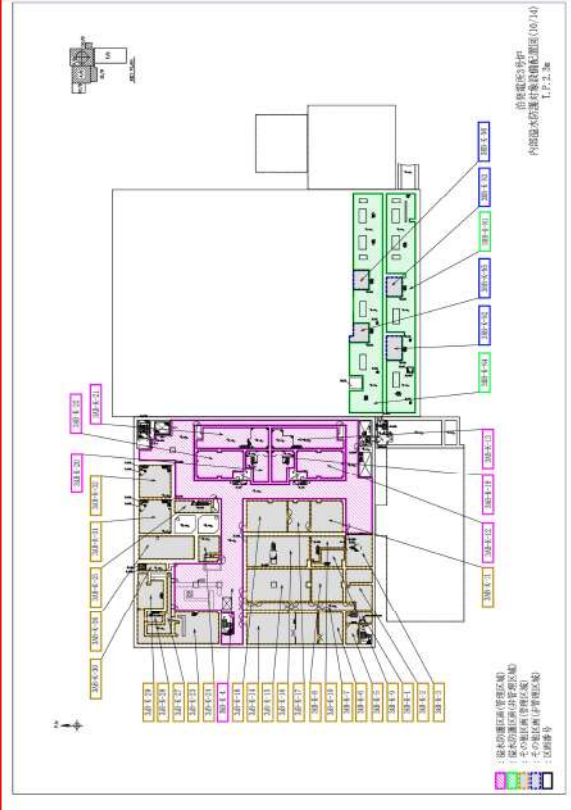
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 1005 1263 1037">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 1005 1854 1037">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 180 2134 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 213 2134 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 274">プラント構成及び機器配置の相違</p>

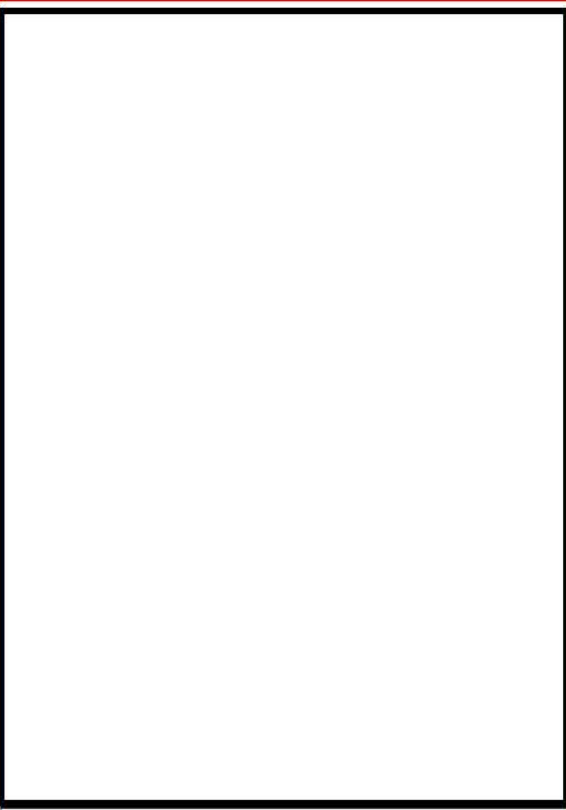
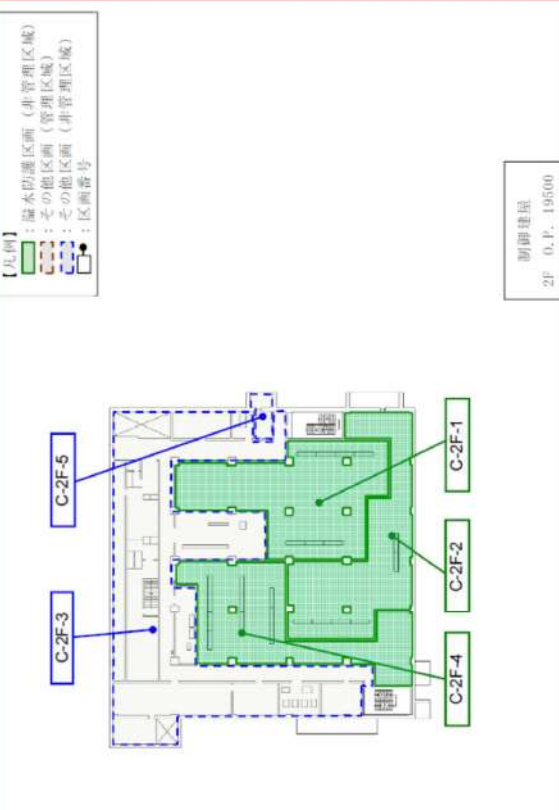
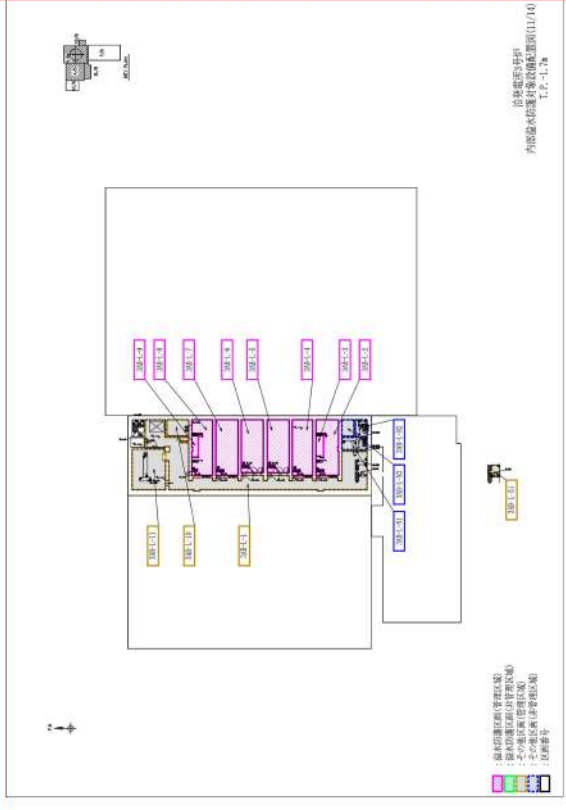
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 191 817 462">【凡例】 ■：溢水防護区域（管理区域） ■：漏水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1254 470">原子炉建屋 R3F 0. P. -8100</p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 335">対象部分の名称 外部図表記号及び設備記号(図/目) T. P. 2. 36(中図表)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 973">■：溢水防護区域(管理区域) ■：漏水防護区域(非管理区域) ■：その他管理区域 ■：その他非管理区域 ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1872 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

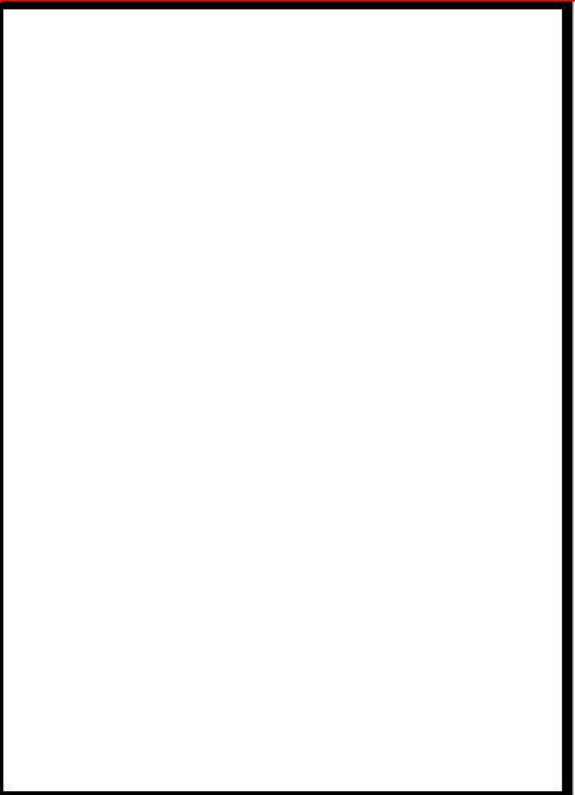
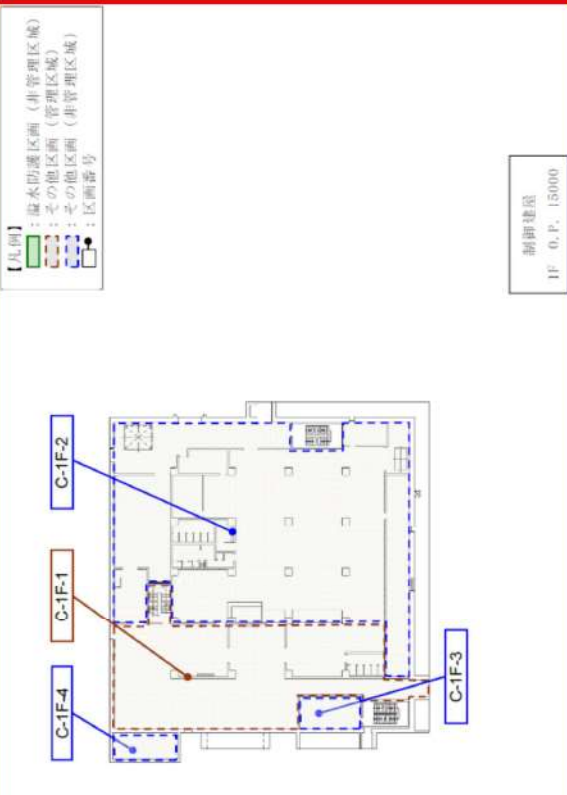
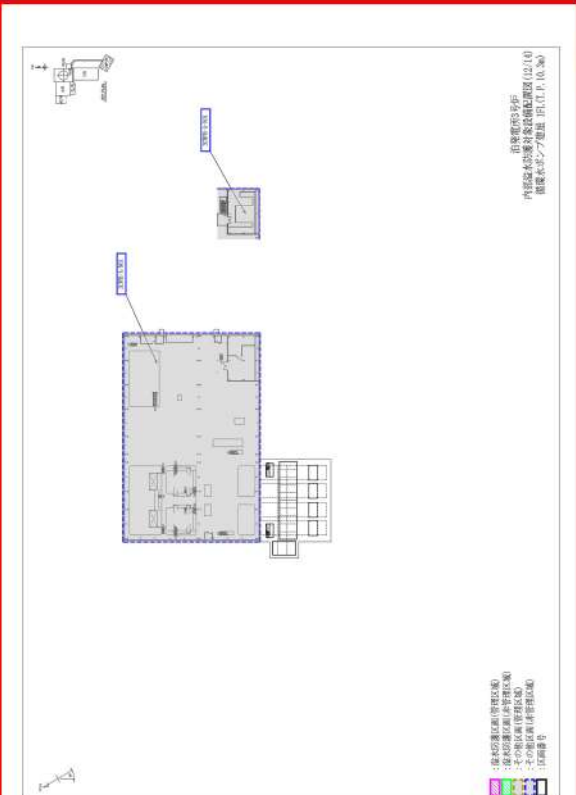
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1005 683 1037"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>			<p data-bbox="1874 183 2130 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 215 2130 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1069"> 特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	 <p data-bbox="707 199 801 478"> 【凡例】 ■：漏水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号 </p> <p data-bbox="1205 343 1263 486"> 明脚建屋 2F O.P. 19500 </p>	 <p data-bbox="1290 183 1854 343"> 設備配置基準 内部設備の設計対象設備配置箇所(1)100 T.F. 1.7. </p> <p data-bbox="1290 853 1854 997"> ■：漏水防護区域(管理区域) ■：漏水防護区域(非管理区域) ■：その他区域(管理区域) ■：その他区域(非管理区域) ■：区域番号 </p>	<p data-bbox="1872 183 2134 271"> 【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違 </p>


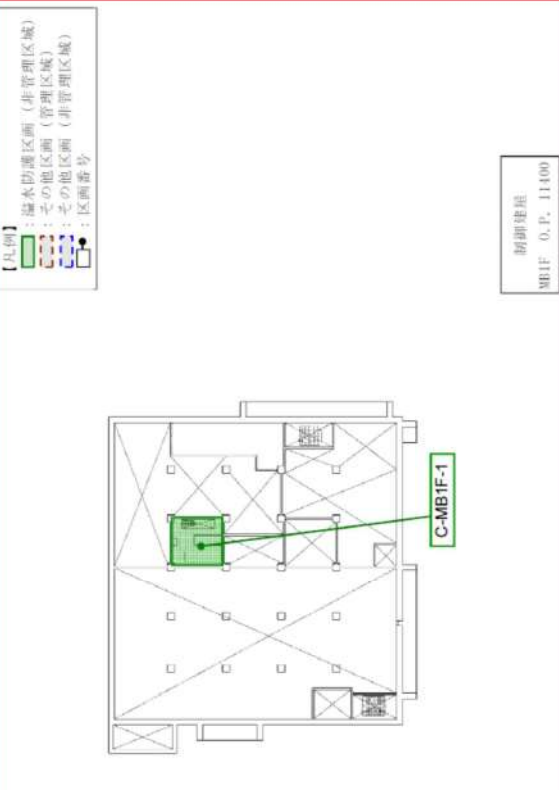
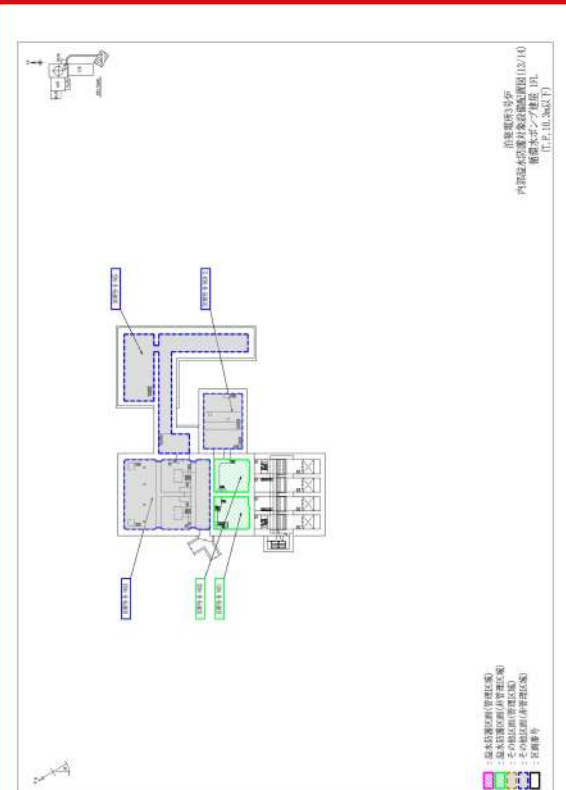
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 989 685 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 175 739 446">【凡例】 ■：洪水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p> <p data-bbox="1209 335 1254 462">制御 building IF 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1747 223 1836 383">泊発電所3号炉 内部保安対策計画策定配置図(02.1.0) 機密表示プログラム 15.11.11. 18. 360</p> <p data-bbox="1747 845 1836 973"> ■：洪水防護区域(非管理区域) ■：洪水防護区域(管理区域) ■：その他区域(非管理区域) ■：その他区域(管理区域) ■：区域番号 </p>	<p data-bbox="1877 175 1971 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

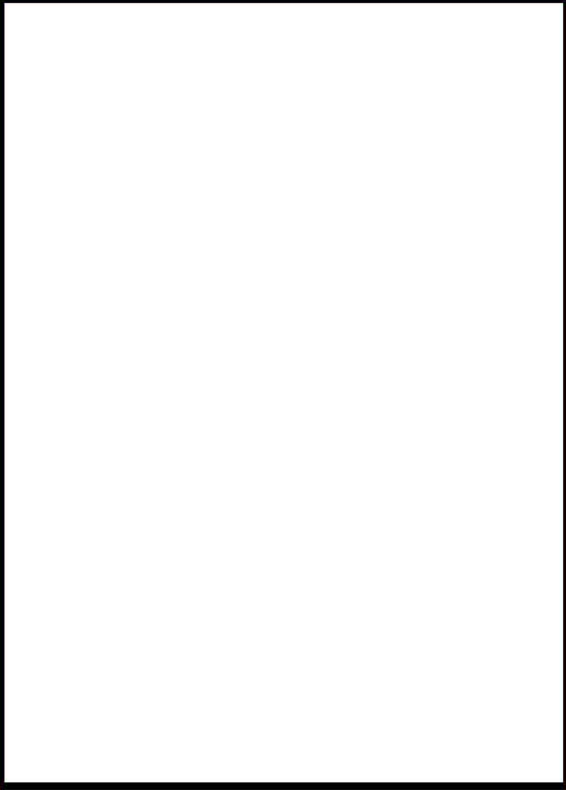

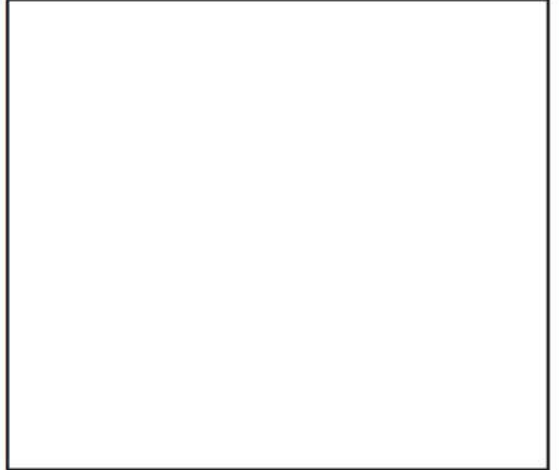
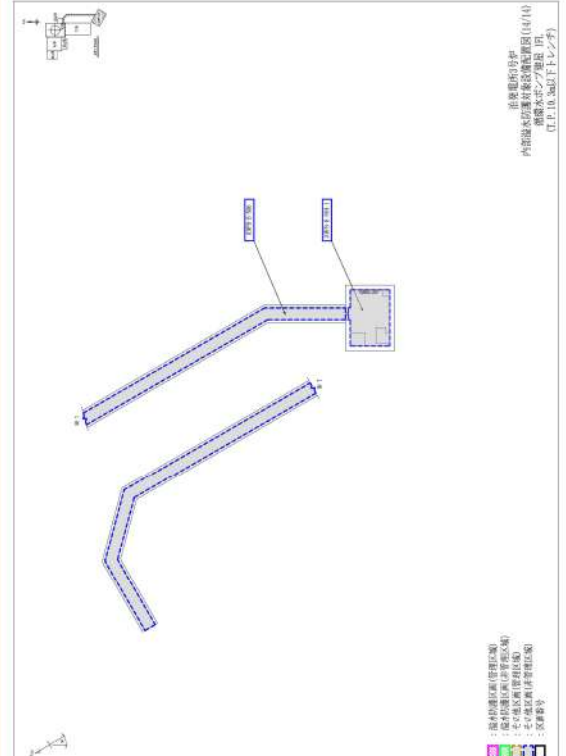
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

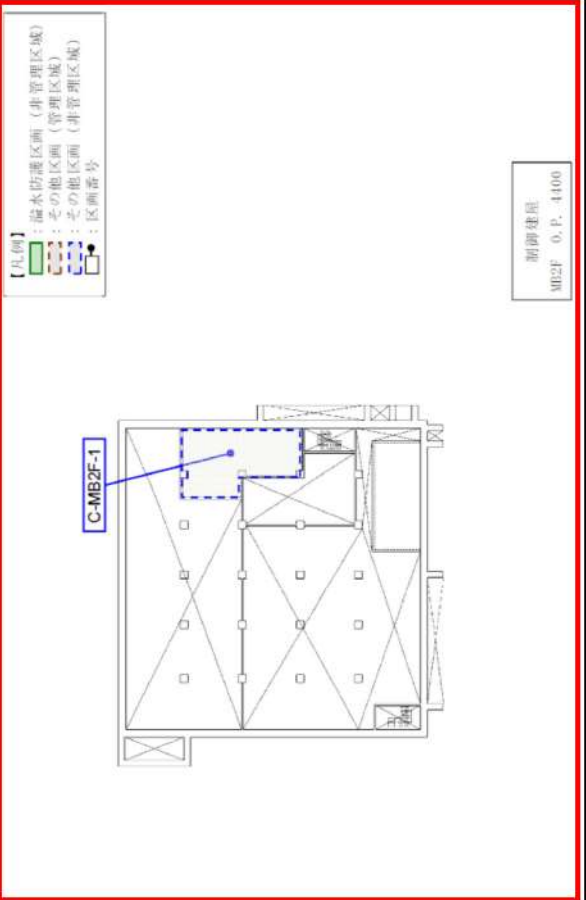
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1013">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 180 801 470"> 【凡例】 ■：基本防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号 </p> <p data-bbox="1205 335 1263 470"> 附属建屋 MB1F 0. P. 11,100 </p>	 <p data-bbox="1290 180 1854 335"> 泊発電所3号炉 内部設計図 基本設計（2010） 基本設計（2011） (T. E. 10. 30. 31. T) </p> <p data-bbox="1765 853 1854 973"> ■：基本防護区域（管理区域） ■：基本防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号 </p>	<p data-bbox="1872 180 2134 263"> 【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

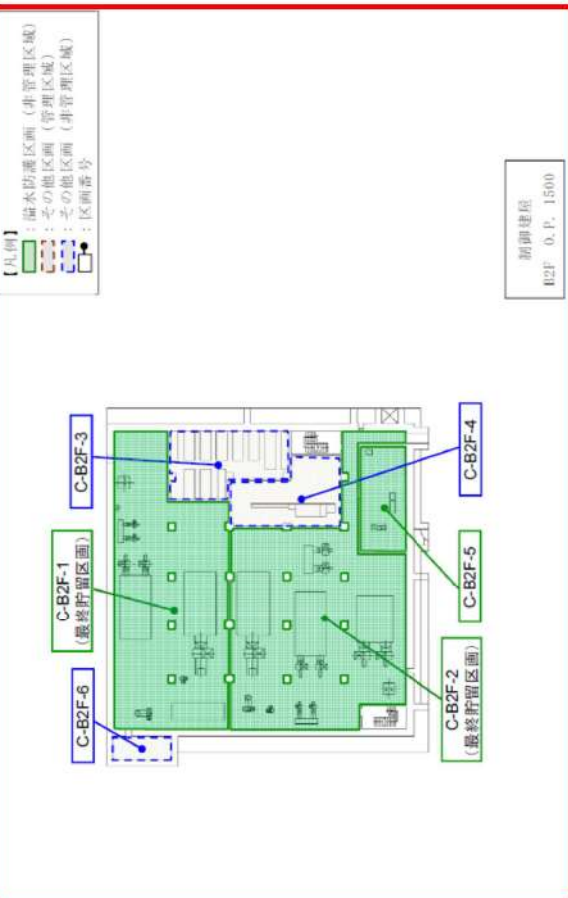
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1013">  枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<p data-bbox="707 215 806 486"> 【凡例】 溢水防護区画（非管理区域） 其他地区区画（管理区域） 其他地区区画（非管理区域） 区画番号 </p>  <p data-bbox="1198 359 1254 486" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 制御建屋 B1F 0. P. 8000 </p> <p data-bbox="772 981 1254 1013" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。 </p>	 <p data-bbox="1769 215 1848 375" style="font-size: small;"> 泊発電所3号炉 内部溢水防護対策設備配置図(0.1F) 設備名称・位置 (注) 図面は縮尺1/2000で表示 </p> <p data-bbox="1769 853 1848 973" style="font-size: small;"> 溢水防護区画(管理区域) 其他地区区画(管理区域) 其他地区区画(非管理区域) 区画番号 </p>	<p data-bbox="1872 180 2134 207" style="color: red;">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 2134 242" style="color: red;">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 274" style="color: red;">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

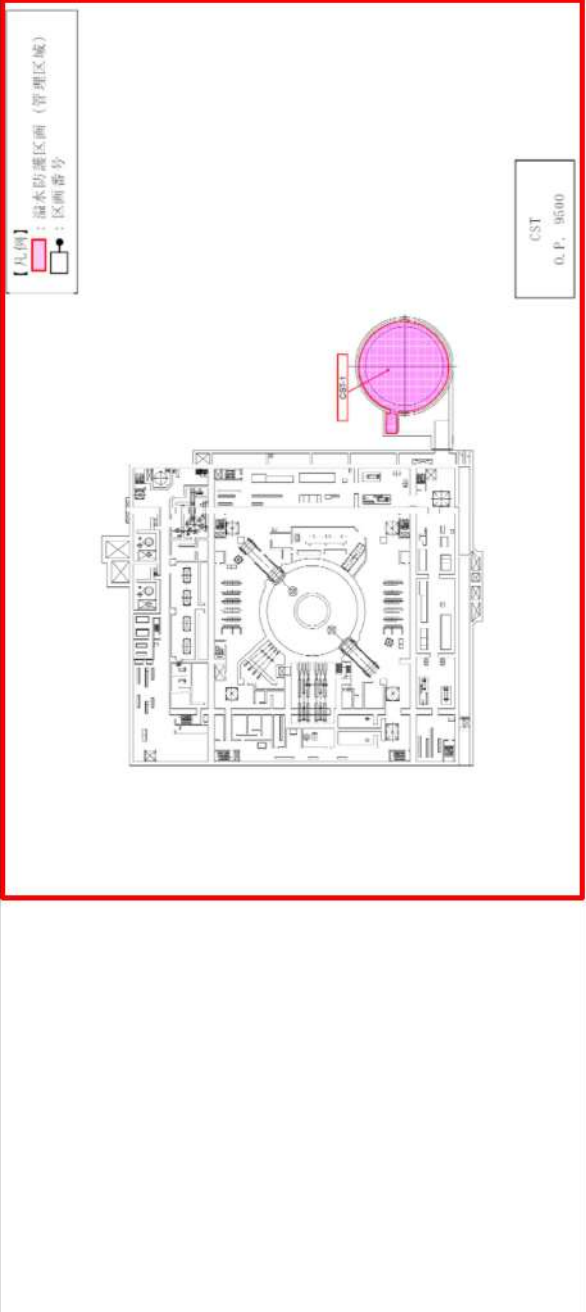
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

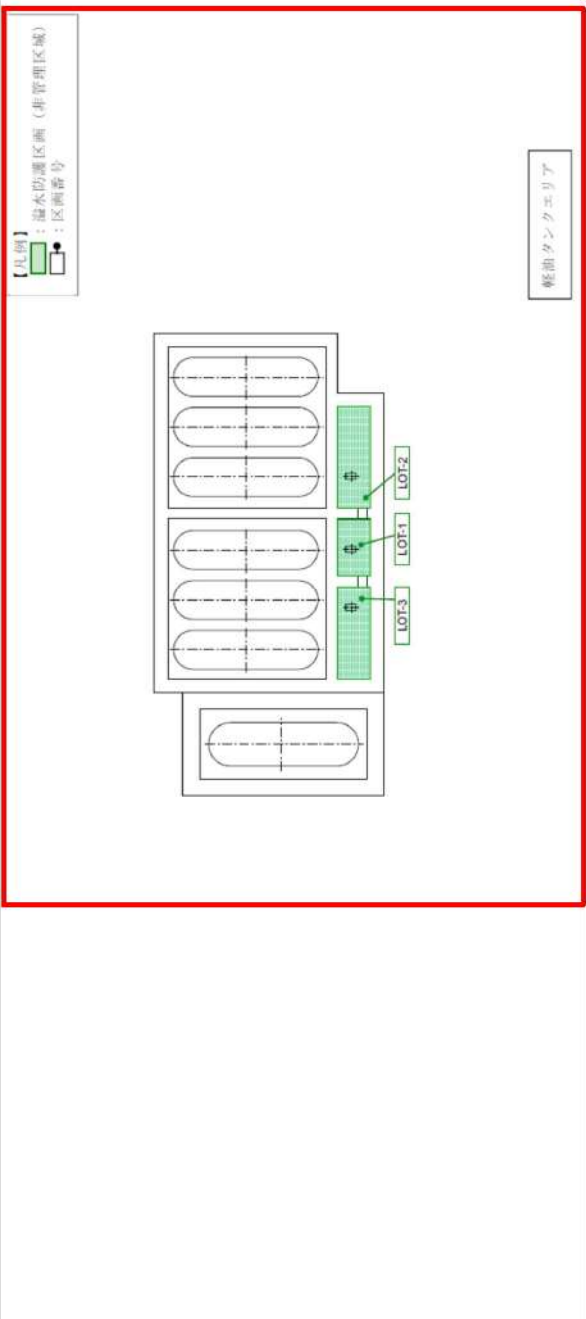
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 178 1279 1082" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <div data-bbox="705 199 795 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 溢水防護区画（非管理区域） その他区画（非管理区域） 区画番号 </div> <div data-bbox="705 494 1265 981" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin: 10px 0;"></div> <div data-bbox="1220 343 1265 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">海水ポンプ室</div> <div data-bbox="772 997 1265 1029" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</div> </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

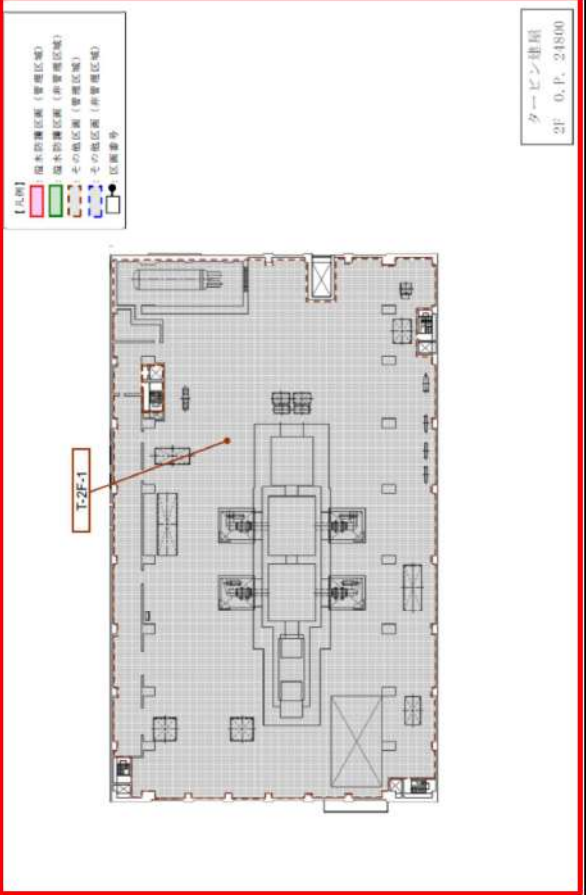
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

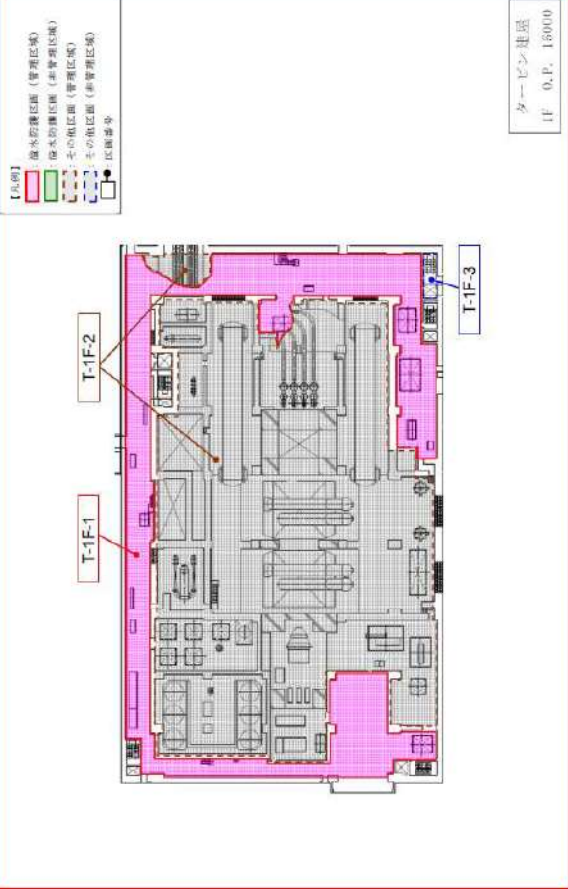
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

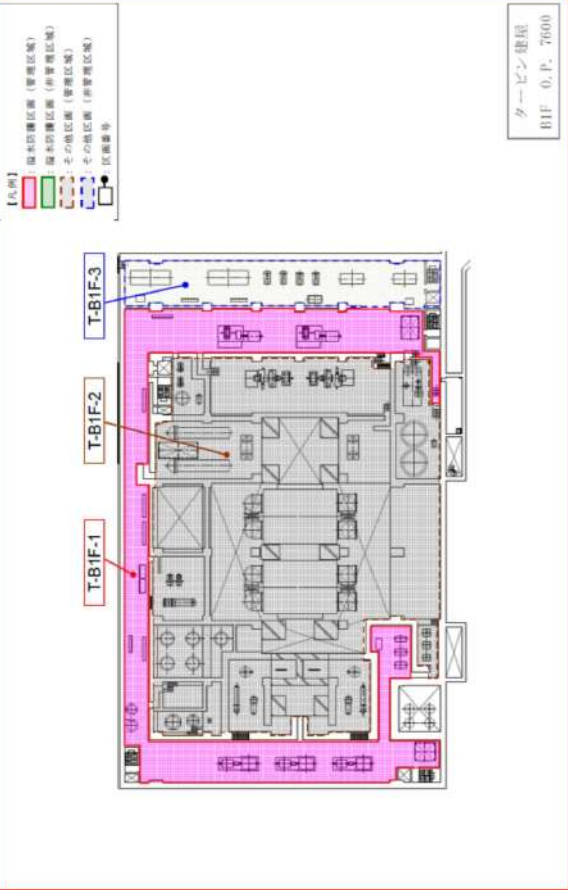
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント構成及び機器配置の相違</p>

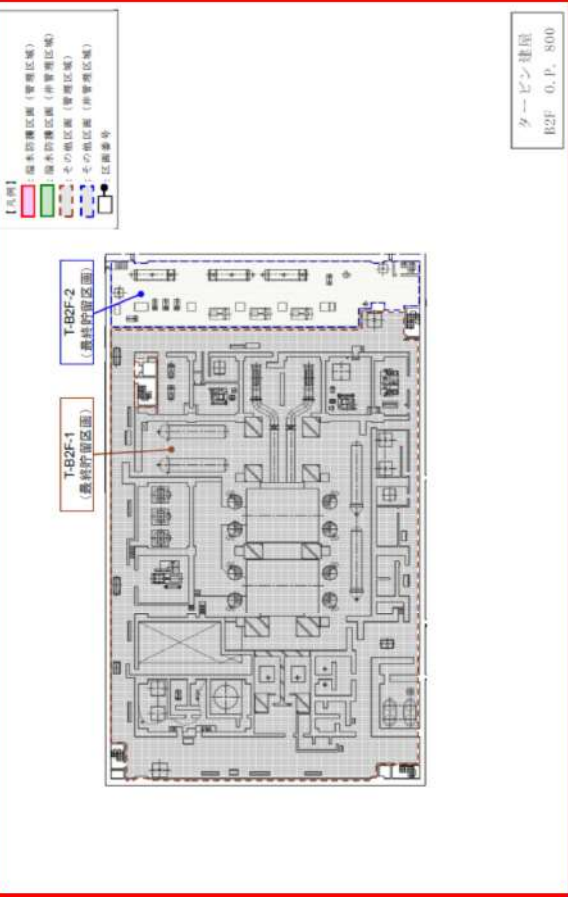
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <table border="1" data-bbox="129 726 656 949"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</th> </tr> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m³]</th> <th>② 滞留面積 [m²]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td rowspan="2">21.6</td> <td>165.7</td> <td rowspan="2">0.00</td> <td rowspan="2">0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③<④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>71.8</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー									① 溢水量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後	71.8	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを基本とし、評価における保守性を確保する。</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ビット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という)</p> <p>d. 上記 a. で算出した面積より、b. 及び c. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大飯は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「基本」という記載はしていない。</p> <p>【女川・大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>
原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー																															
	① 溢水量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																							
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																							
変更後		71.8																													

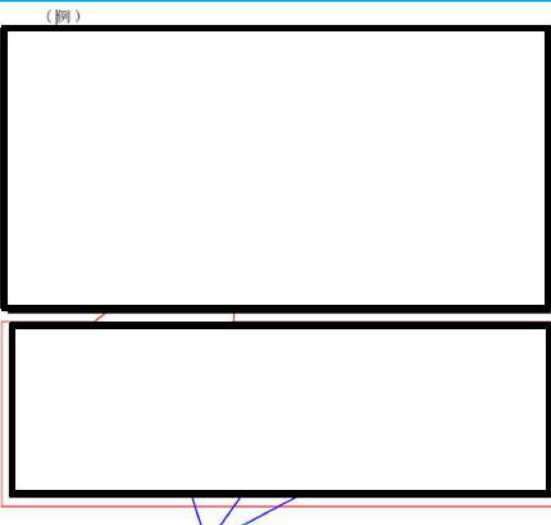
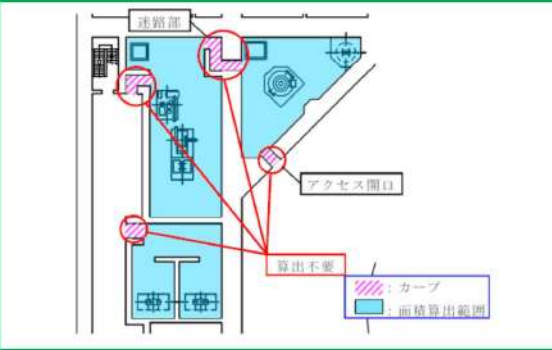
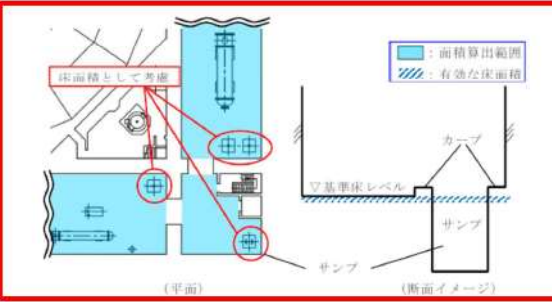
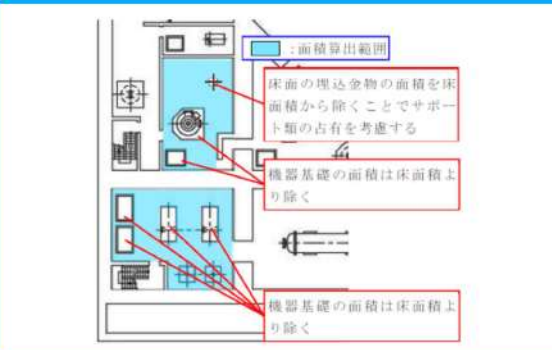
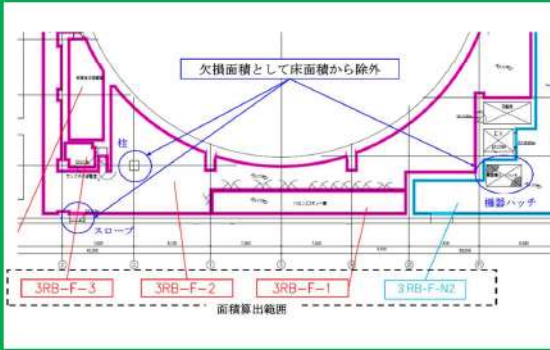
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が繁雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では迷路部も床面積として算出している。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>・また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

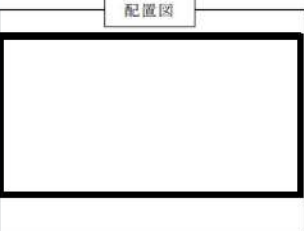


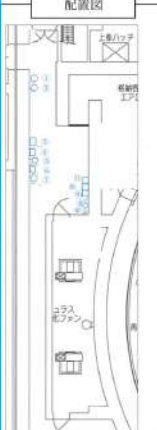






大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="696 518 1279 909"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分B非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250V バッテリ室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125V バッテリ室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125V バッテリ室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="696 1204 1279 1388"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>理込全物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>156.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室*</td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (BPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリ室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリ室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリ室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。</p> <p>・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>同上</p>
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリ室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリ室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリ室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p>  <p>（例）</p> <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。（床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。）</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い （例：最地下階サンプ）</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲（例）</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。</p> <p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> 建屋構成の違いによる</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊ではビットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 火災防護設備(盤)</p> <p>大飯3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="156 359 672 582"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m²)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033</td> <td>① 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>② 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>③ 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>④ 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p>  <p>No. 34①～②</p>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m ²)	備考	縦	横	033	① 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	② 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	③ 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	④ 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個	034	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	034	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個		<p>(例) 原子炉建屋 33.1m 3RB-C-1_通路, エアロック室①</p> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">高さ(m)</th> <th colspan="2">内径(m)</th> <th colspan="2">水中設置寸法(m)</th> <th colspan="2">水中中心位置(m)</th> </tr> <tr> <th>前</th> <th>後</th> <th>直径</th> <th>管壁厚</th> <th>設置高</th> <th>設置径</th> <th>Y座</th> <th>X座</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>作業員監視盤(2000×11)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>800</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2000×11監視盤(2000×11)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>700</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2000×11監視盤(2000×11)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>110</td> <td>0.11</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>検知器</td> <td></td> <td></td> <td>400</td> <td>0.102</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ケーブルトレー監視盤</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ケーブルトレー監視盤</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>ケーブルトレー監視盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 1, 2</p>  <p>No. 3</p>  <p>No. 4</p>  <p>No. 5</p>  <p>No. 6</p>  <p>No. 7</p>	No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中中心位置(m)		前	後	直径	管壁厚	設置高	設置径	Y座	X座	1	常設監視盤			300	0.103			0	110	2	常設監視盤			300	0.103			0	110	3	作業員監視盤(2000×11)	600	300	0.103				800	1000	4	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				700	1000	5	常設監視盤			300	0.103			0	110	6	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	1000	7	常設監視盤			110	0.11			0	1000	8	検知器			400	0.102			0	400	9	ケーブルトレー監視盤	200	200	0.103				0	1000	10	ケーブルトレー監視盤	200	200	0.103				0	1000	11	ケーブルトレー監視盤	300	300	0.103				0	1000	<p>【女川】 記載方針の相違 泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m ²)	備考																																																																																																																																																																							
	縦	横																																																																																																																																																																													
033	① 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	② 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	③ 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	④ 土台	850mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
034	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
034	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中中心位置(m)																																																																																																																																																																							
		前	後	直径	管壁厚	設置高	設置径	Y座	X座																																																																																																																																																																						
1	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
2	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
3	作業員監視盤(2000×11)	600	300	0.103				800	1000																																																																																																																																																																						
4	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				700	1000																																																																																																																																																																						
5	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
6	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	1000																																																																																																																																																																						
7	常設監視盤			110	0.11			0	1000																																																																																																																																																																						
8	検知器			400	0.102			0	400																																																																																																																																																																						
9	ケーブルトレー監視盤	200	200	0.103				0	1000																																																																																																																																																																						
10	ケーブルトレー監視盤	200	200	0.103				0	1000																																																																																																																																																																						
11	ケーブルトレー監視盤	300	300	0.103				0	1000																																																																																																																																																																						
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																													

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由						
添付資料1.3-3						添付資料9						添付資料9						【大阪】 記載表現の相違 ・女川審査実績の反映により表の名称が異なる。 ・また、表中の記載表現も一部異なるが、「号炉」以外の記載情報量に差異はない。 【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違						
溢水影響評価で止水を期待できる設備 表1 止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/3)												
号炉	設置場所	設置高さ	対象		新設 既設	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分		箇所 数					
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B3F	RCTCタービンポンプ室 (R-B3F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	原子炉建屋	T.P. 2.3m	3V-W-500 (3-T/D AFPP) 排気管温水ピ ット行きドレン管逆止弁 (-)	逆止弁	新設	1						
				ペント逆止弁	新設	1			3V-W-501 (3-T/D AFPP) リーク管温水 ピット行きドレン管逆止弁 (-)	逆止弁	新設	1												
				目皿逆止弁	新設	11				3V-W-502 (3-R/B 非管理区域ドレン管 定流ピット行きドレン管逆止弁 (-)	逆止弁	新設				1								
			サンプタンク*	既設	1	3V-W-503 (3-主蒸気室室ドレン管定流 ピット行きドレン管逆止弁 (-)					逆止弁	新設				1								
			E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁						既設	3				T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (3RB-K-N4)	水密扉	新設	1				
					目皿逆止弁						新設	14						水密扉 No. 93 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1			
		水密扉			新設						1	水密扉 No. 154 (3RB-H-N1)			水密扉				新設	1				
		E.L. + 17.1m	堰		新設				1		T.P. 10.5m				止水板 No. A (3RB-H-N5)				止水板	新設	1			
										RHRポンプ(B)室 (R-B3F-6)									水密扉	既設	1	止水板 DG-A (3RB-H-N11)	止水板	新設
						HPCSポンプ室 (R-B3F-5)													水密扉	既設	1		止水板 DG-B (3RB-H-N10)	止水板
		LPSCポンプ室 (R-B3F-4)	水密扉	既設	1				DG-A 出入り口堰 (3DG-H-N2)								堰		既設	1				
			RHRポンプ(A)室 (R-B3F-3)	水密扉	既設												1	DG-B 出入り口堰 (3DG-H-N1)	堰	既設	1			
CUW 配管・バルブ室 (R-B2F-6)	堰			新設	1		水密扉 No. 140 (3RB-F-N2)	水密扉				新設	1											
	MURCポンプ室 (R-B2F-5)			堰	新設			1			水密扉 No. 155 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1										
				共通エリア・ハッチ (HR-207) (R-B2F-1)	堰			新設		1		止水板 No. B (3RB-F-N3)	止水板	新設	1									
					RCTC MCC室 (R-B1F-4)	堰		新設		1			水密扉 No. 156 (3RB-D-N3)	水密扉	新設		1							
		TIP 駆動装置室 (R-B1F-3-3)				堰		新設	1	水密扉 No. 157 (3RB-D-N3)				水密扉	新設	1								
			(R-01)北西階段室			堰		新設	1					水密扉 No. 146 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1							
MS トンネル室 (R-B1F-3-2)						堰	新設	1	水密扉 No. 158 (3RB-C-N51)						水密扉	新設	1							
	(R-02)北東階段室					堰	新設	1			33.1m (区画境界②) 堰 (-)				堰	既設	1							
				共通エリア・ハッチ (HR-307) (R-B1F-1)		堰	新設	1				53.1m (区画境界③) 堰 (-)			堰	既設	1							
					共通エリア・ハッチ (HR-311) (R-B1F-1)	堰	新設	1					53.1m (区画境界④) 堰 (-)		堰	既設	1							
		RHR 熱交換器室(A)室 (R-1F-1)				水密扉	新設	1		水密扉 No. 147 (3RB-B-1)					水密扉	新設	1							
			FPCポンプ室 (R-1F-3)			堰	新設	1						(R-01)北西階段室	堰	新設	1							
(R-01)北西階段室						堰	新設	1																

※サンプタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="10">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用小屋</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2F</td> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1	2F	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="3">T.P. -3.7m</td> <td>湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)逆止弁) (3AB-L-N1)</td> <td>逆止弁</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 68 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 2.8m</td> <td>止水板 2.8-A (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 73 (3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.P. 6.3m</td> <td>止水板 6.3-A (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 6.3-B (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 77 (3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 78 (3AB-H-3A)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 87 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 85 (3AB-H-N2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口扉 (-)</td> <td>扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m (A-D)階段前機器ハッチ廻り 堰 (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No. 80 (3AB-H-M6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No. 81 (3AB-H-M6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No. 82 (3AB-H-N1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P. -3.7m	湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1	3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)逆止弁) (3AB-L-N1)	逆止弁	新設	1	水密扉 No. 68 (-)	水密扉	新設	1	T.P. 2.8m	止水板 2.8-A (-)	止水板	新設	1	水密扉 No. 73 (3AB-K-4)	水密扉	新設	1	T.P. 6.3m	止水板 6.3-A (-)	止水板	新設	1	止水板 6.3-B (-)	止水板	新設	1	水密扉 No. 77 (3AB-H-1)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 78 (3AB-H-3A)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 87 (-)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 85 (3AB-H-N2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口扉 (-)	扉	既設	1	10.3m (A-D)階段前機器ハッチ廻り 堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板 No. 80 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1	止水板 No. 81 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1	止水板 No. 82 (3AB-H-N1)	止水板	新設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違 記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		2F	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																												
			(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
			CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	(R-02)北東階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																											
RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉			既設	1																																																																																																																																																																													
HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉			既設 (改造)	1																																																																																																																																																																													
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉補助 建屋	T.P. -3.7m	湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1																																																																																																																																																																													
		3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)逆止弁) (3AB-L-N1)	逆止弁	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 68 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P. 2.8m	止水板 2.8-A (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 73 (3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P. 6.3m	止水板 6.3-A (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板 6.3-B (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 77 (3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P. 10.3m	水密扉 No. 78 (3AB-H-3A)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 87 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 85 (3AB-H-N2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		管理区域出入り口扉 (-)	扉	既設	1																																																																																																																																																																													
		10.3m (A-D)階段前機器ハッチ廻り 堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1																																																																																																																																																																													
		止水板 No. 80 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板 No. 81 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
止水板 No. 82 (3AB-H-N1)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																	
原子が建屋付属棟	表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (3/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (3/3)						【女川】 設備名称の相違 記載表現の相違																																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子が建屋付属棟</td> <td rowspan="3">B2F</td> <td>静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B1F</td> <td>D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D/G(HPCS)室 (R-1F-15)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子が補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子が補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子が建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)</td> <td rowspan="2">B3F</td> <td>2T-1トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子が建屋付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設		1	IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	1F	区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子が補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1	原子が補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子が建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">原子が補助建屋</td> <td rowspan="6">T.P.17.8m</td> <td>水密扉 No.141 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.142 (—)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.143 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N13)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.21.2m</td> <td rowspan="2">T.P.33.1m</td> <td>B-安全系計装室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.144 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.P.33.1m</td> <td>33.5m (区画境界) 堰 (—)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m (区画境界②) 堰 (—)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m (区画境界③) 堰 (—)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現状の基本設計設備にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い変更が生じる可能性がある。</p>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子が補助建屋	T.P.17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉 No.142 (—)	水密扉	新設	1	水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 ^{※1}	新設	1	A-安全系計装室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 ^{※1}	新設	1	B-安全系計装室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 ^{※1}	新設	1	T.P.21.2m	T.P.33.1m	B-安全系計装室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 ^{※1}	新設	1	水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	T.P.33.1m	33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1	33.5m (区画境界②) 堰 (—)	堰	既設	1	33.5m (区画境界③) 堰 (—)	堰
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																									
原子が建屋付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																									
		IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																									
		区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																																																																									
		区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																									
		D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
	1F	区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																																																																									
		区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																																																																									
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)		水密扉	新設	1																																																																																																																																										
原子が補機(A)室送風機室 (R-2F-6)		堰	新設	1																																																																																																																																										
原子が補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)		堰	新設	2																																																																																																																																										
原子が建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
		主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
		Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																									
原子が補助建屋	T.P.17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
		水密扉 No.142 (—)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
		水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
		A-安全系計装室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																									
		A-安全系計装室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																									
		B-安全系計装室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																									
	T.P.21.2m	T.P.33.1m	B-安全系計装室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																								
			水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																								
	T.P.33.1m	33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1																																																																																																																																									
		33.5m (区画境界②) 堰 (—)	堰	既設	1																																																																																																																																									
		33.5m (区画境界③) 堰 (—)	堰	既設	1																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由	
	表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)						【女川】 設備名称の相違 記載表現の相違	
	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分			箇所 数
	制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設			1
			制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設			1
			制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)			1
			T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
			1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
		B1F	1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設			1
			常用及び共通M/C、P/C室 【RSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設			1
		1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
			1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設			1
			1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設			1
			1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			2
			補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設			1
		2F	1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
			区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設			1
			常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設			2
3F		1号 MCR 境界	水密扉	新設	1			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1			共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1		<p>【女川】 設備名称の相違 記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数																																																																							
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																							
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																							
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																							
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																							
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1-3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>		<p>水密区画について</p> <p>別紙1</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密区画としている。水密区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。 （泊欄の赤色は女川との相違を示しており、以下同様である。） 【伊方】 記載表現の相違</p>																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																	
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>炉内容量</th> <th>電圧種</th> <th>溢水高さ</th> <th>耐水装置高さ</th> <th>室入口高さ</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵炉A</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>304/基</td> <td>150</td> <td>3.66^①</td> <td>3.7</td> <td>3.7</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵炉B</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵炉A</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵炉B</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂炉</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>5.3</td> <td>16</td> <td>0.4</td> <td>2.1</td> <td>3.3</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>凝液貯蔵炉A</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>凝液貯蔵炉B</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>一次系純水炉</td> <td>R/F EL. 10.0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.1</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液流入炉A</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液流入炉B</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮液炉</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>0.9</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮液流入炉</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：冷却材貯蔵タンクは定基で100%（304m³）以上の受入容量を確保するよう、マニュアルで規定されているが、溢水高さの算出においては90%容量（受入容量×インターロック閉止水位）×2基の水量（548m³）を適用した。（冷却材貯蔵炉A、B型は共通で適用）</p> <p>②：区画壁は、「①耐震設計と考慮している耐震壁」、耐震設計と考慮していないが「②学協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「学協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会、2005年）「19条 耐震壁の断面算定」第5項の記載（壁板の厚さ、壁板のせん断補強筋比、壁板の縦筋配筋、壁板の径と間隔等）を満たす壁とする。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	電圧種	溢水高さ	耐水装置高さ	室入口高さ	区画壁	冷却材貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	304/基	150	3.66 ^①	3.7	3.7	耐震壁 (①)	冷却材貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m							使用済燃料貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)	使用済燃料貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂炉	A/F EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)	凝液貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	凝液貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	一次系純水炉	R/F EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)	濃縮液流入炉A	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	濃縮液流入炉B	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	予備濃縮液炉	A/F EL. 10.0m	12	16	0.9	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	洗浄排水濃縮液流入炉	A/F EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	<p>表1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m³)</th> <th>室面積 (m²)</th> <th>溢水高さ (cm)</th> <th>耐水塗装高さ (cm)</th> <th>室入口高さ (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>T.P. 17.8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72.17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>T.P. 2.8m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉建屋</td> <td>365</td> <td>92.48</td> <td>394.7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画壁は、「①耐震設計と考慮している耐震壁」、 「②鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p>	水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m ³)	室面積 (m ²)	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	室入口高さ (cm)	区画壁	A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮液貯蔵タンク	T.P. 17.8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉補助建屋	70	72.17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70	A-使用済樹脂貯蔵タンク		70	一次系純水タンク	原子炉建屋	365	92.48	394.7	395	690	①	<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置している。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時閉鎖としており、漏水検知設備を設置する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】 <u>設計方針の相違</u> 伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p>【伊方】 <u>設備名称の相違</u> <u>記載表現の相違</u></p> <p>【伊方】 <u>記載表現の相違</u> <u>【伊方】</u> <u>設計方針の相違</u> 泊は漏えい検知器若しくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>
水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	電圧種	溢水高さ	耐水装置高さ	室入口高さ	区画壁																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	304/基	150	3.66 ^①	3.7	3.7	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m																																																																																																																																																																			
使用済燃料貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済燃料貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済樹脂炉	A/F EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
凝液貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
凝液貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
一次系純水炉	R/F EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
濃縮液流入炉A	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
濃縮液流入炉B	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
予備濃縮液炉	A/F EL. 10.0m	12	16	0.9	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
洗浄排水濃縮液流入炉	A/F EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m ³)	室面積 (m ²)	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	室入口高さ (cm)	区画壁																																																																																																																																																													
A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																													
B-濃縮液貯蔵タンク	T.P. 17.8m	25																																																																																																																																																																		
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉補助建屋	70	72.17	291	295	810	①																																																																																																																																																													
B-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70																																																																																																																																																																		
A-使用済樹脂貯蔵タンク		70																																																																																																																																																																		
一次系純水タンク	原子炉建屋	365	92.48	394.7	395	690	①																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

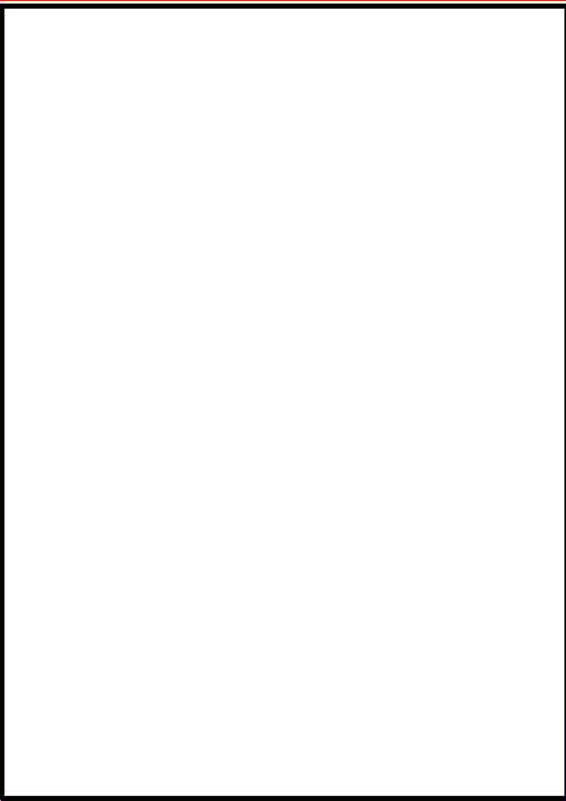
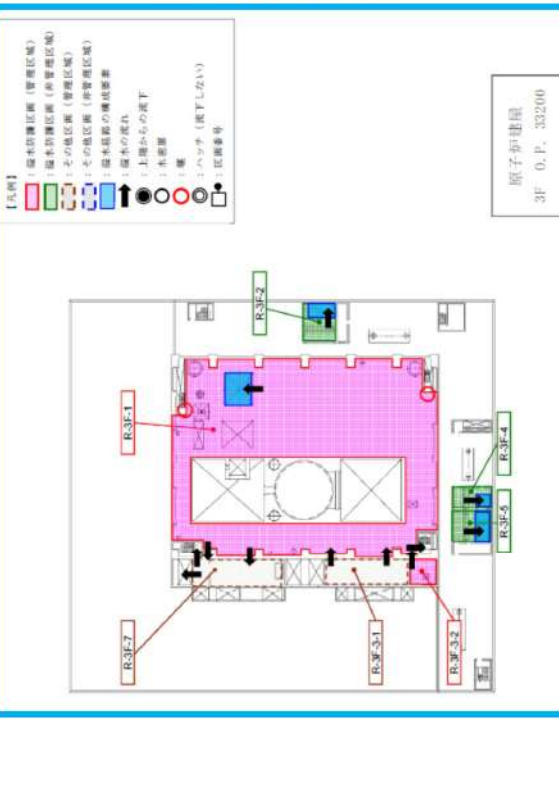
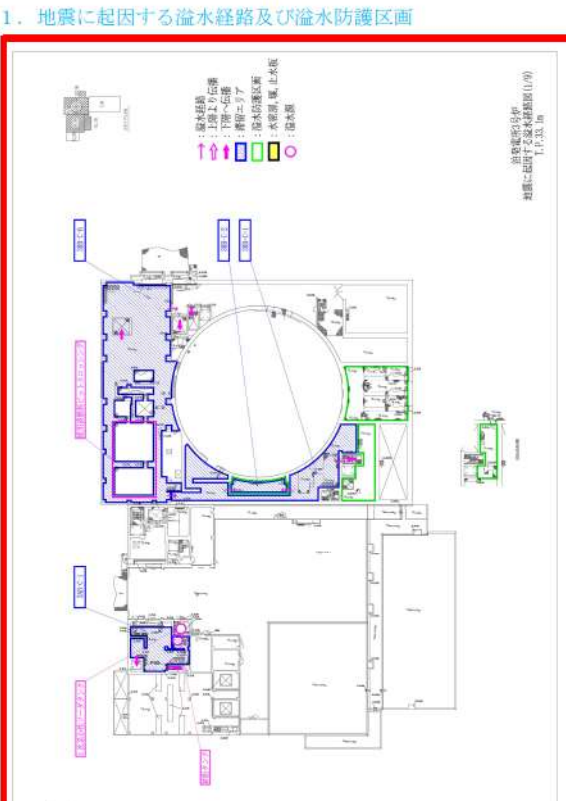
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>図-1 水密区画概要図（1次系純水タンクの例）</p>		<p>図1 水密区画内設置機器概要図</p>	<p>【伊方】 記載表現の相違 ・伊方は一例として1次系純水タンクを記載しているのに対し、泊は水密区画にあるタンクすべての概要図を記載し、設計が異なるものではないことを明示している。 ・水密区画の貫通部シール施工概要図及び貫通部シール施工例写真を図2及び図3として記載した（伊方は図-1の図中に記載）。</p>
		<p>図2 貫通部シール施工概要図</p> <p><現地施工状況例></p> <p>図3 貫通部シール施工例</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

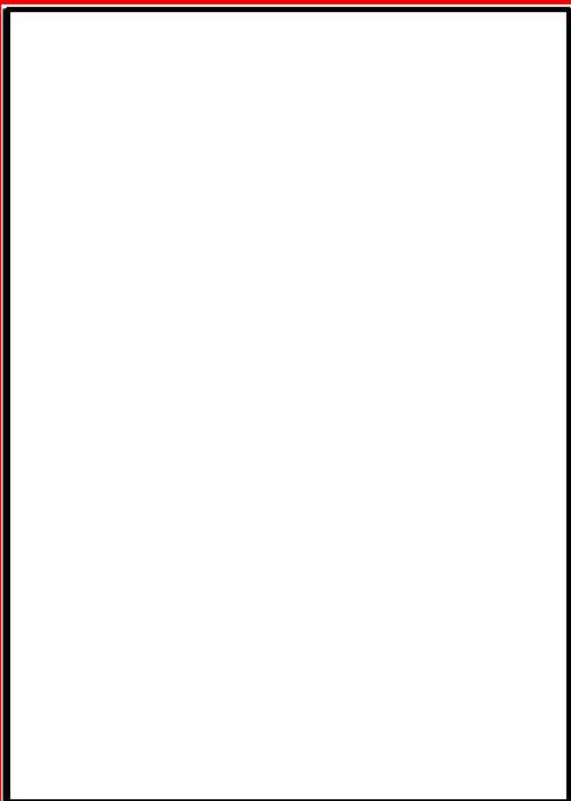
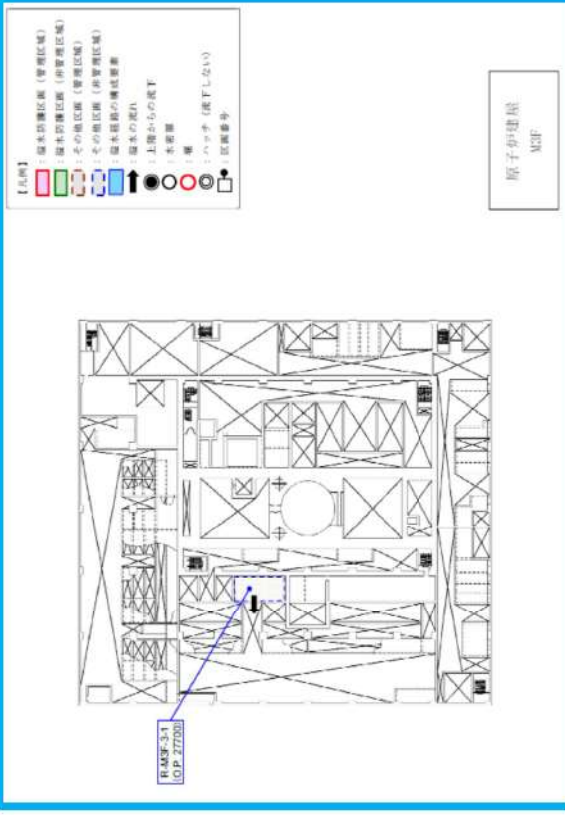
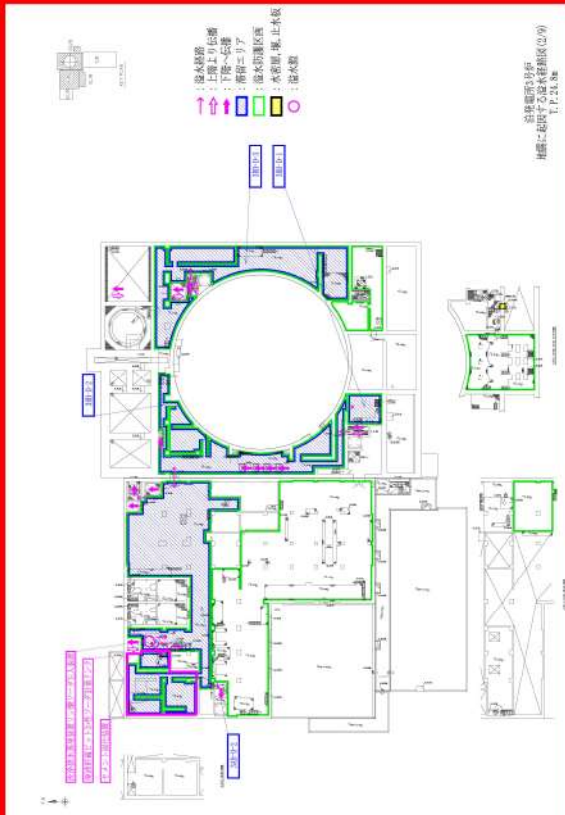
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について 水密区画の隔壁はマッシブな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動 S_s による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について 水密区画の隔壁は耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であるが、基準地震動による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討した結果、最大残留ひび割れ幅は「維持管理指針」に示される評価基準である「0.2mm」を超えないことを確認した。補足説明資料29「内部溢水評価における耐震壁等の確認について」に検討結果を示す。</p>	<p>【伊方】 記載表現の相違 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊方は対象の隔壁を総称してマッシブな鉄筋コンクリートと表現しているが、泊は耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁として分類し、記載している。（補足説明資料29） ・検討結果より、最終貯留区画の耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁において、ひび割れによる漏水が極めて少量であり、溢水影響評価へ影響しないことを確認した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

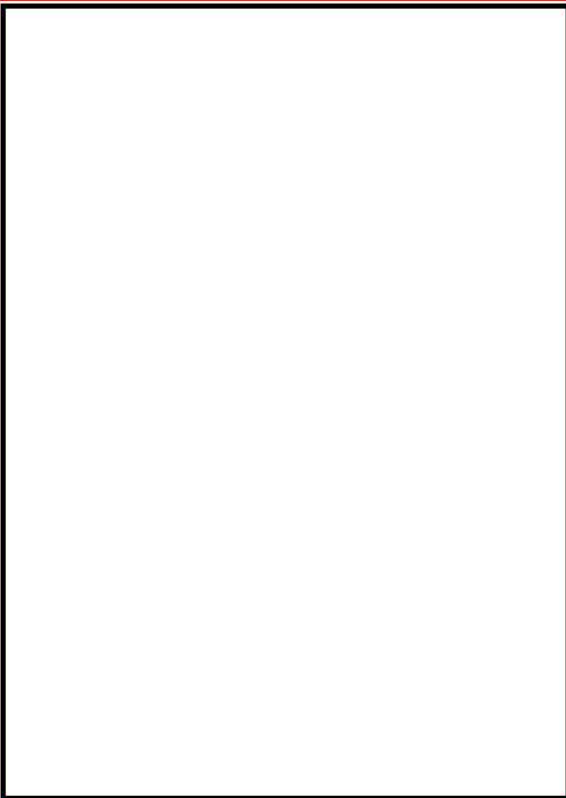
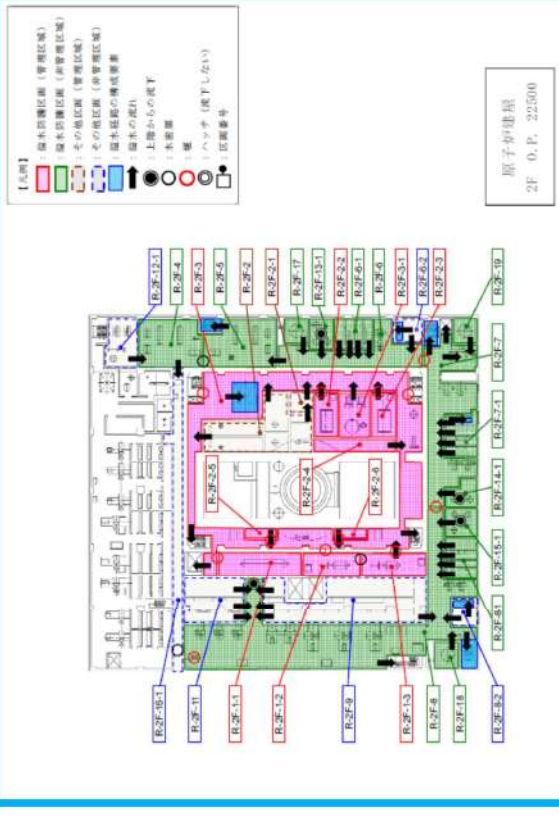
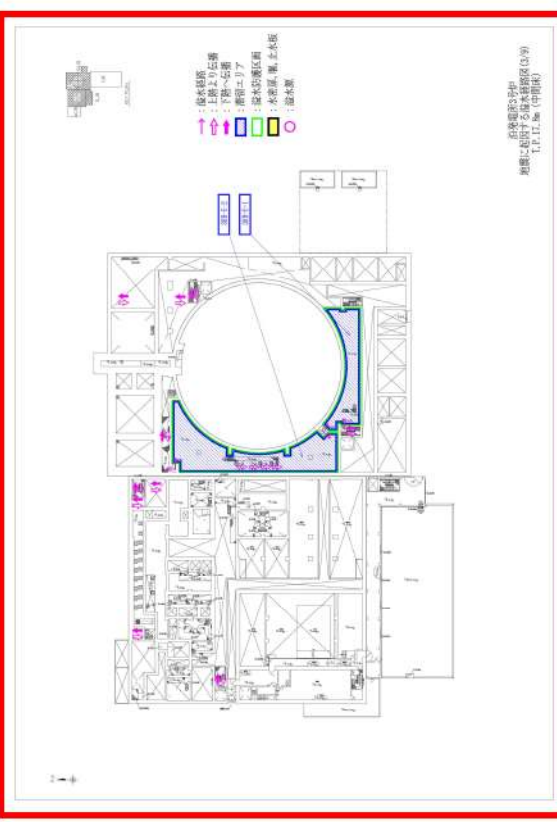
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.4.3-3	添付資料 10	添付資料 10	
	<p>溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			


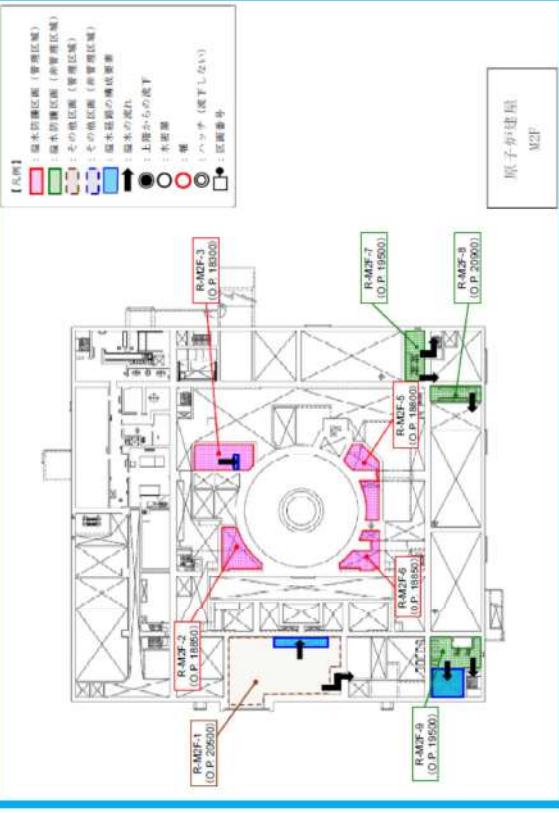
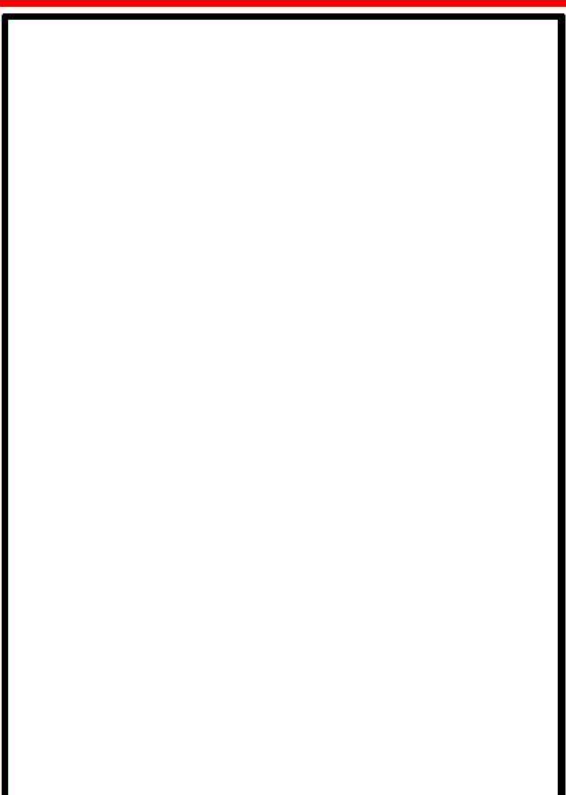
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【注例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 溢水防護区画 (管理区域) 溢水防護区画 (非管理区域) その他区域 (管理区域) その他区域 (非管理区域) 溢水部分の構成要素 溢水の配水 上層からの配水 本装置 層 ハッチ (開閉しない) 設備番号 <p>原子炉建屋 WCF</p>	 <p>溢水防護区画 (管理区域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 溢水防護区画 (非管理区域) その他区域 (管理区域) その他区域 (非管理区域) 溢水部分の構成要素 溢水の配水 上層からの配水 本装置 層 ハッチ (開閉しない) 設備番号 <p>泊発電所3号炉 設備に起因する相違事項(2/2)</p> <p>1.1.2.2.8</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p><u>プラント設計の相違</u></p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

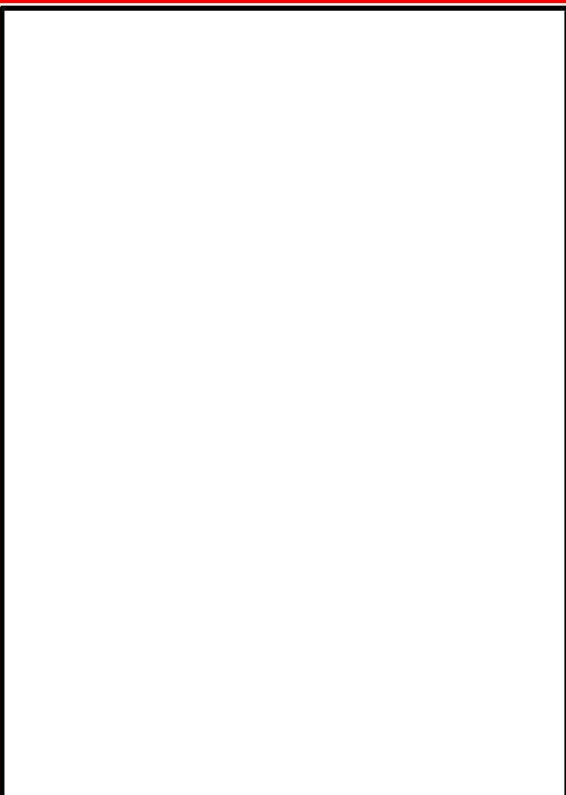
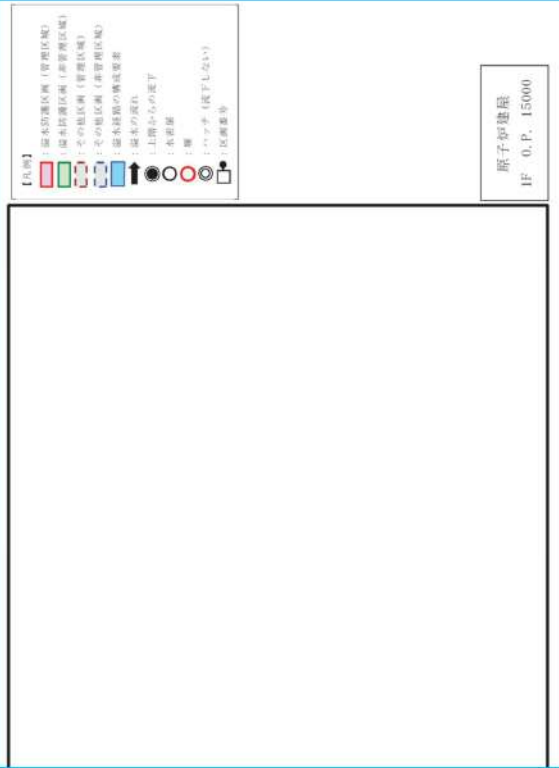
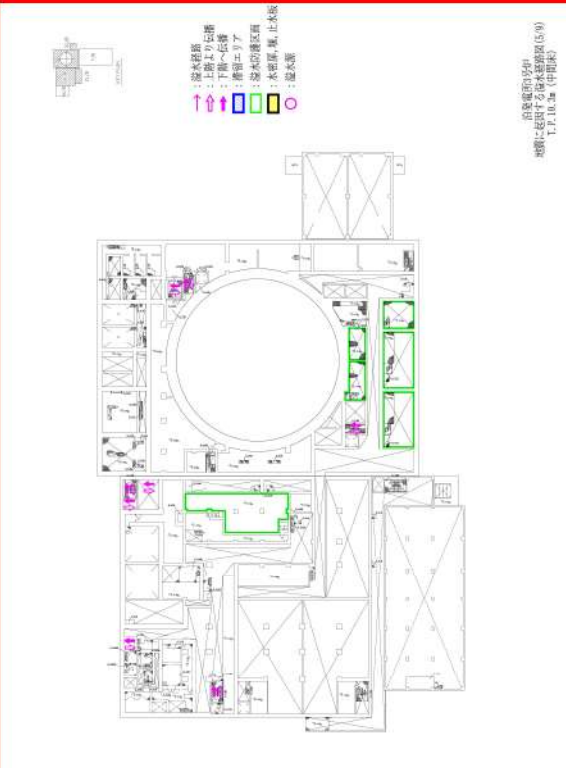
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

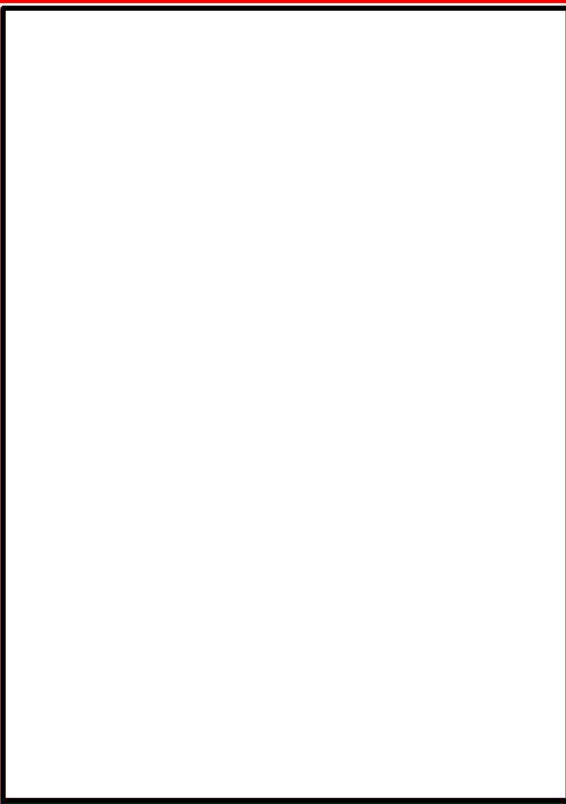
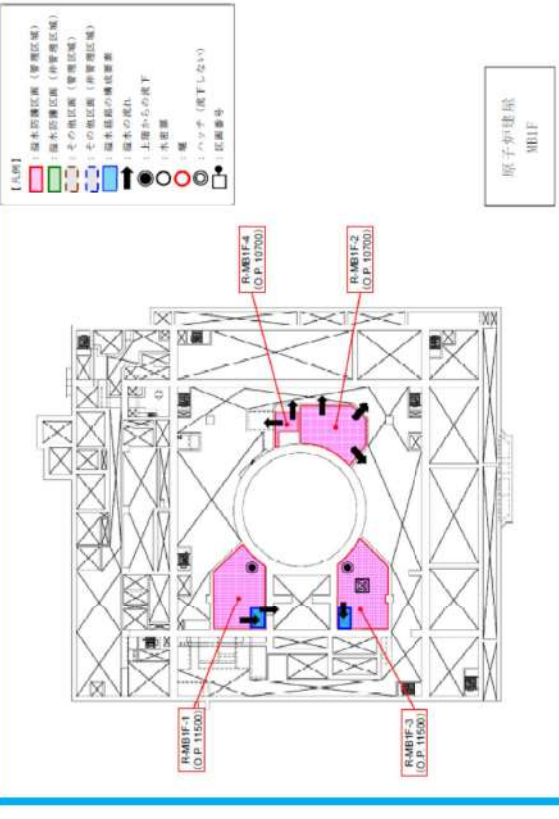
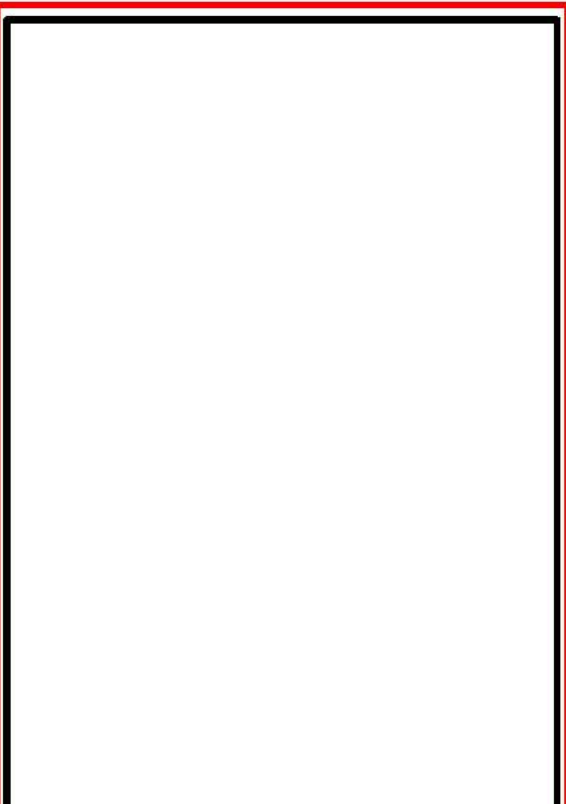
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

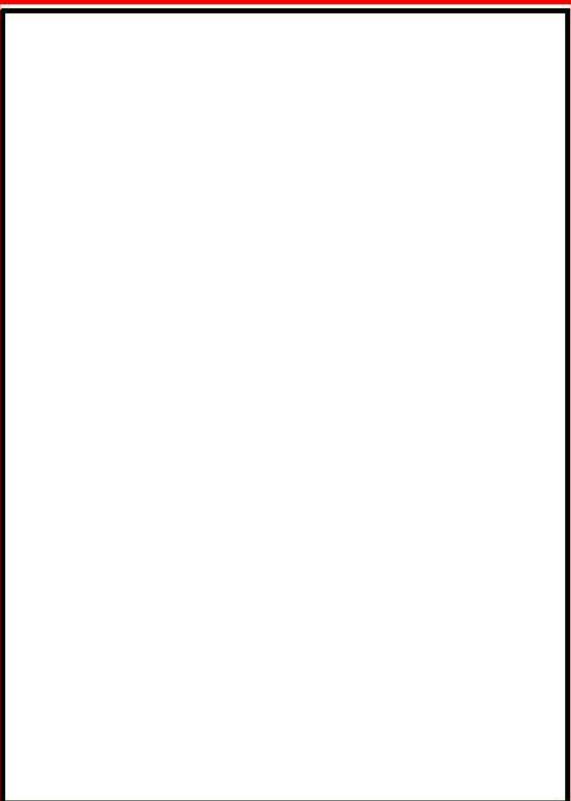

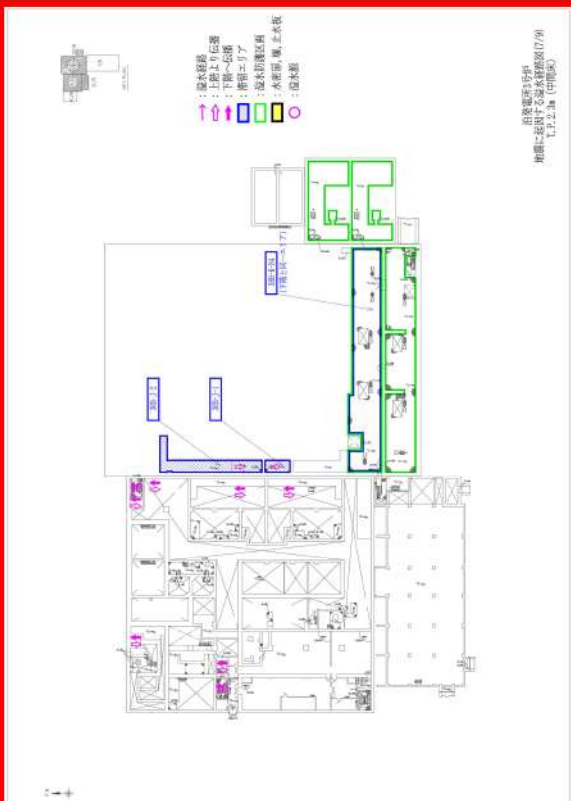
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子力発電所 IF 0. P. 150000</p> <p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p>高圧配管の途中 地盤に透出する海水配管(5号) 17.18.2m (平均高)</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

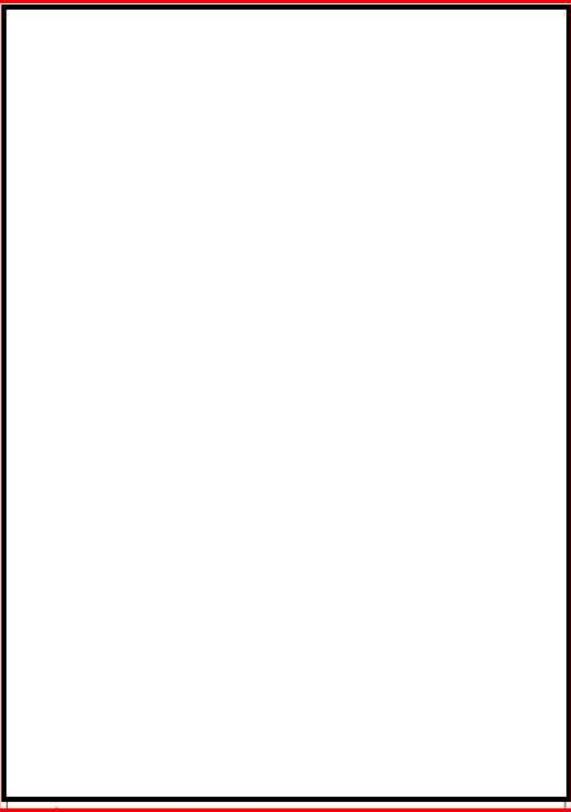
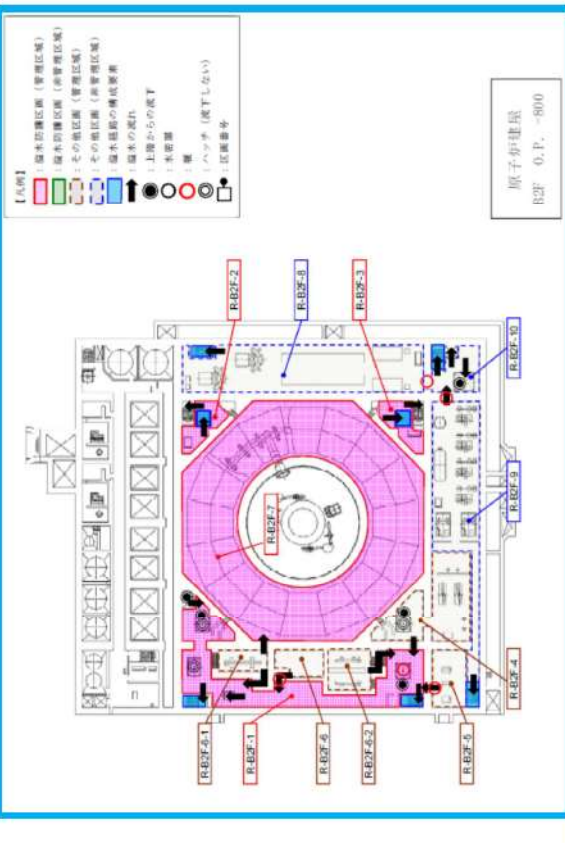
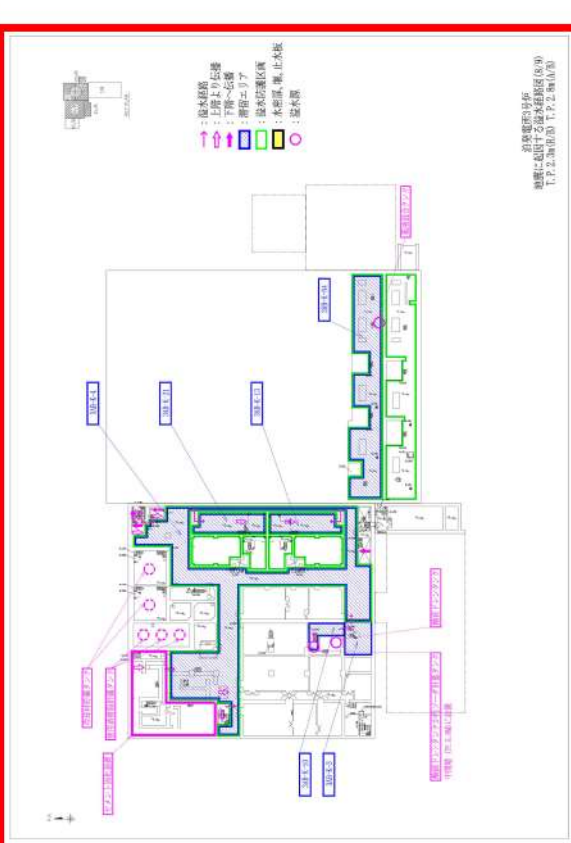
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

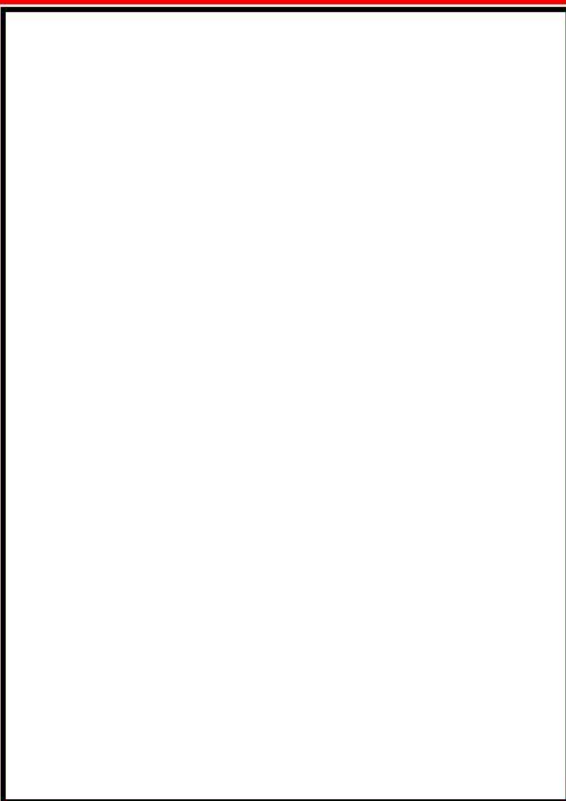
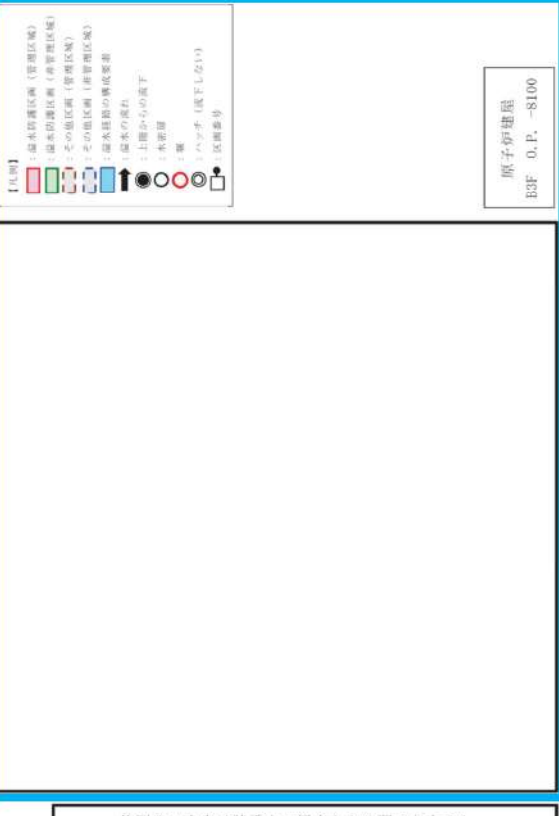
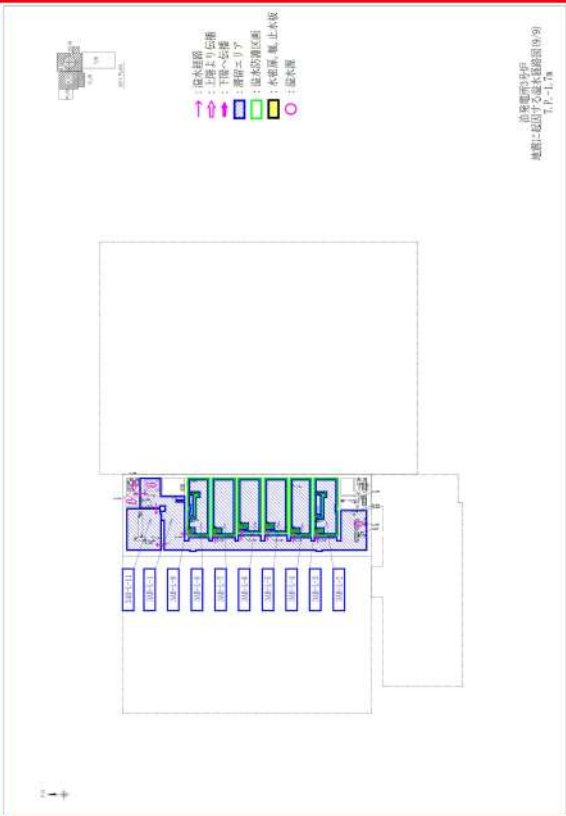
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 BIF O.P. 6000</p>		<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>種組みの範囲に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

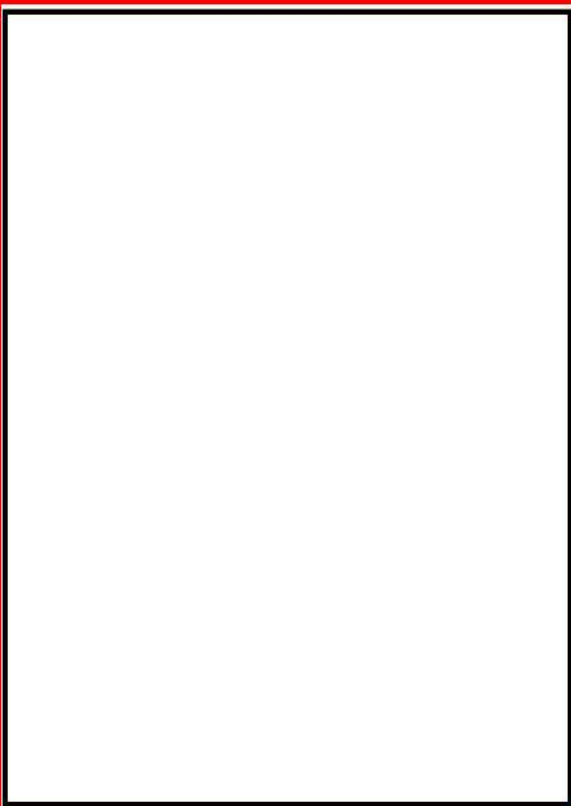
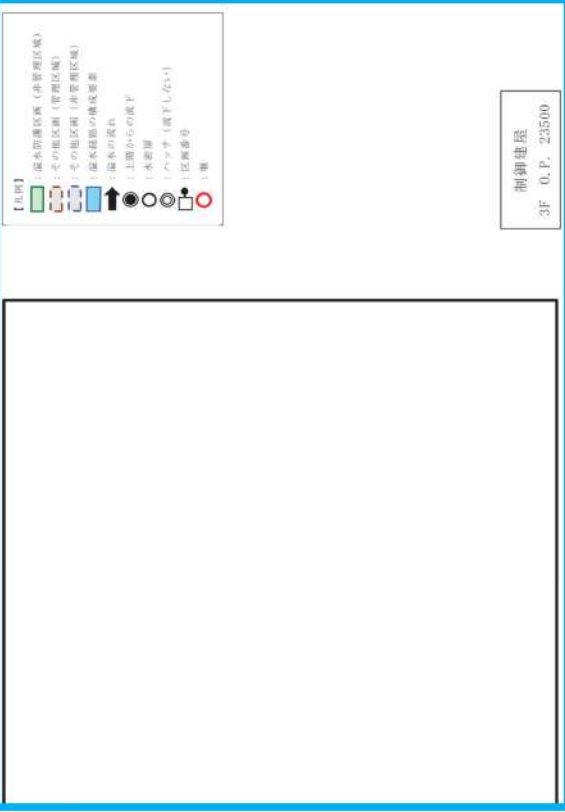
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

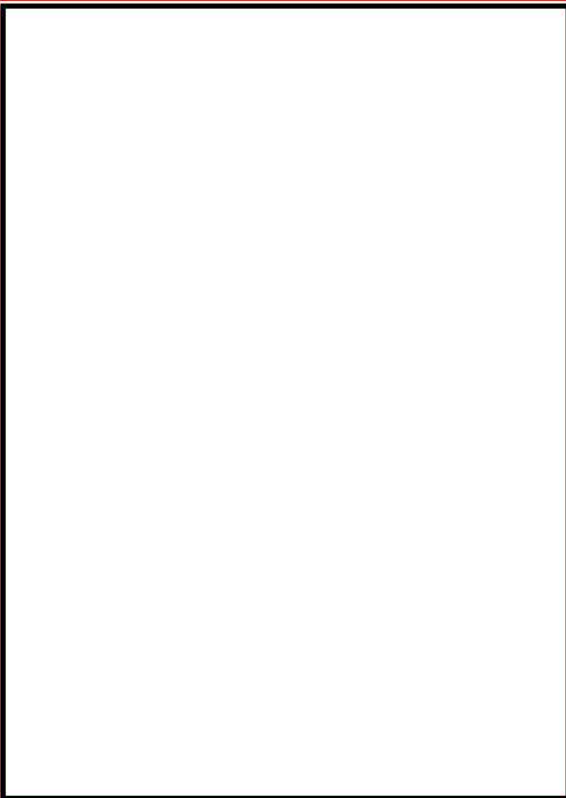
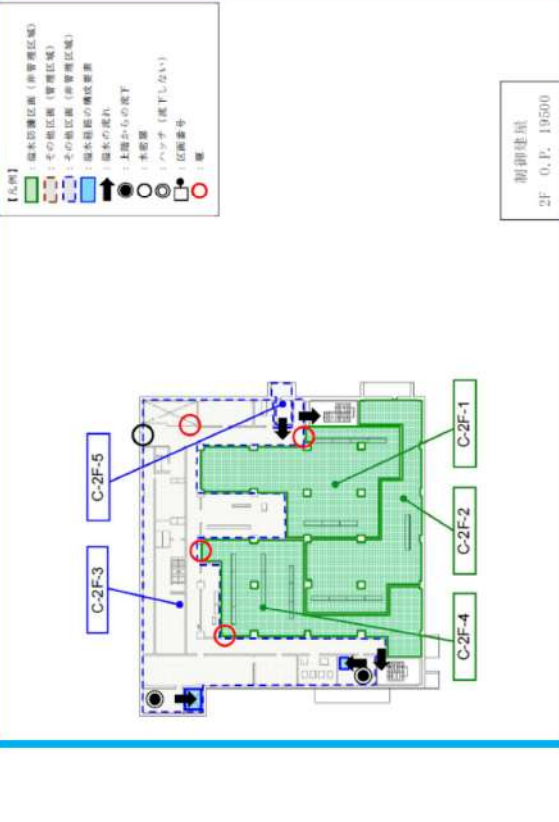
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 E3F 0.F. -8100</p>		<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

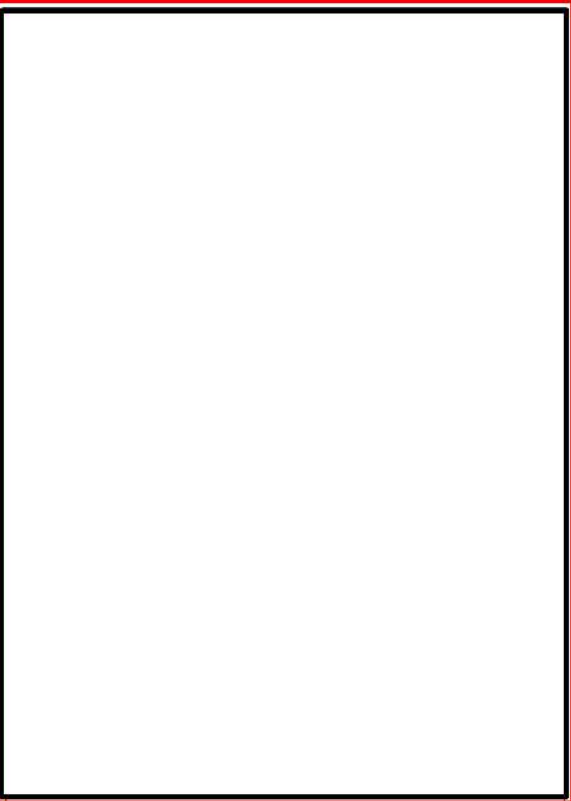
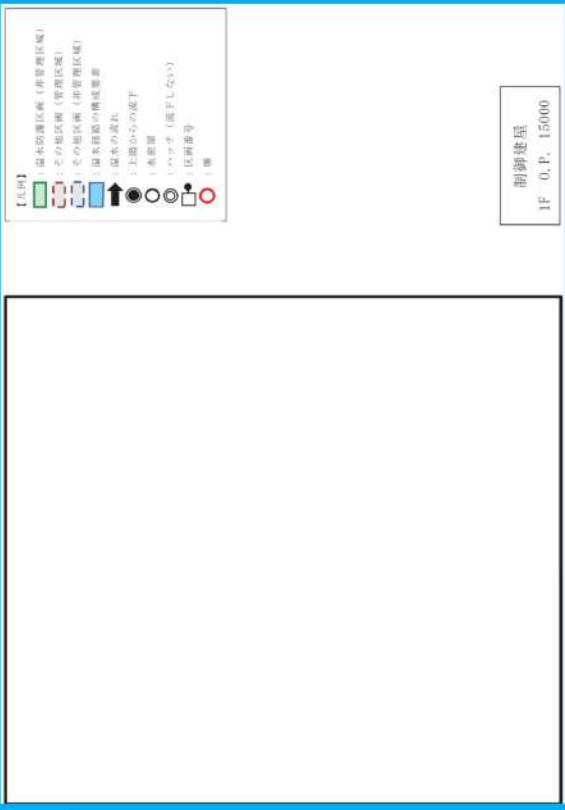
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1023 683 1050">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="770 1007 1189 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1874 181 1935 204">【女川】</p> <p data-bbox="1874 217 1995 239">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1874 252 2130 443">女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1874 456 1935 478">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 491 1995 513">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 526 2024 549">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

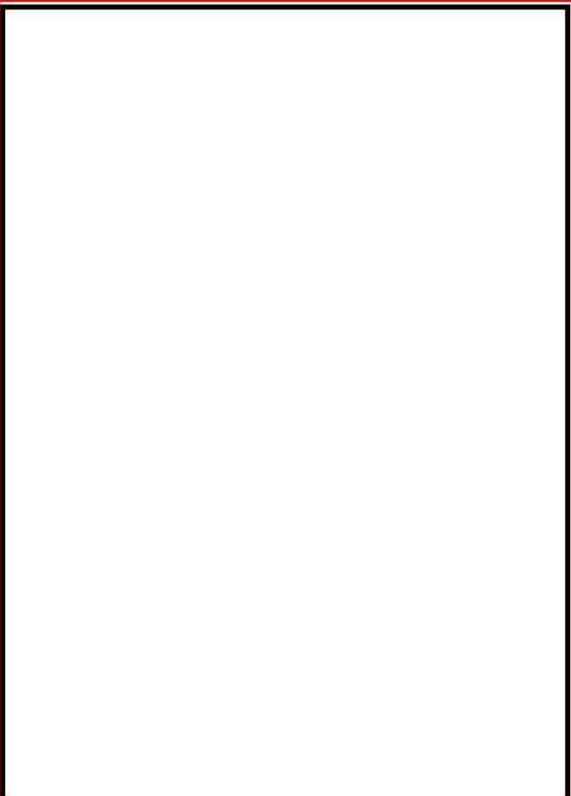
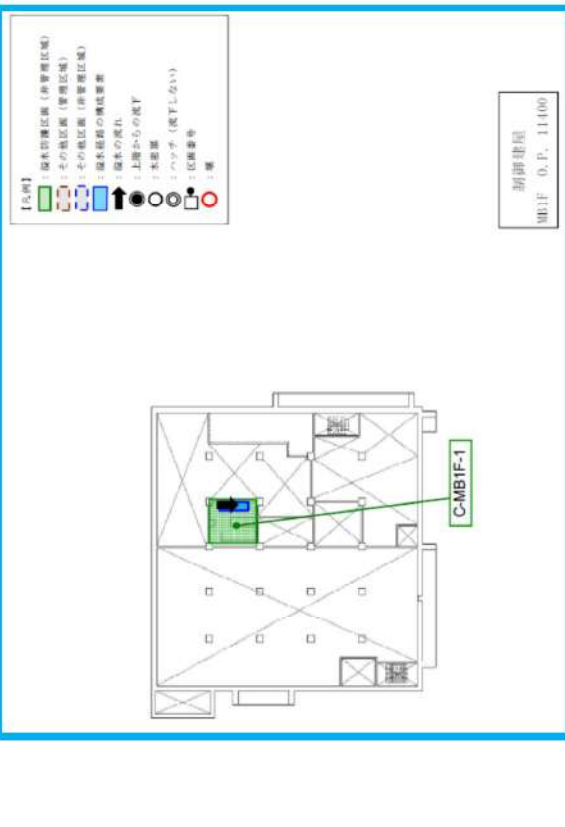
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

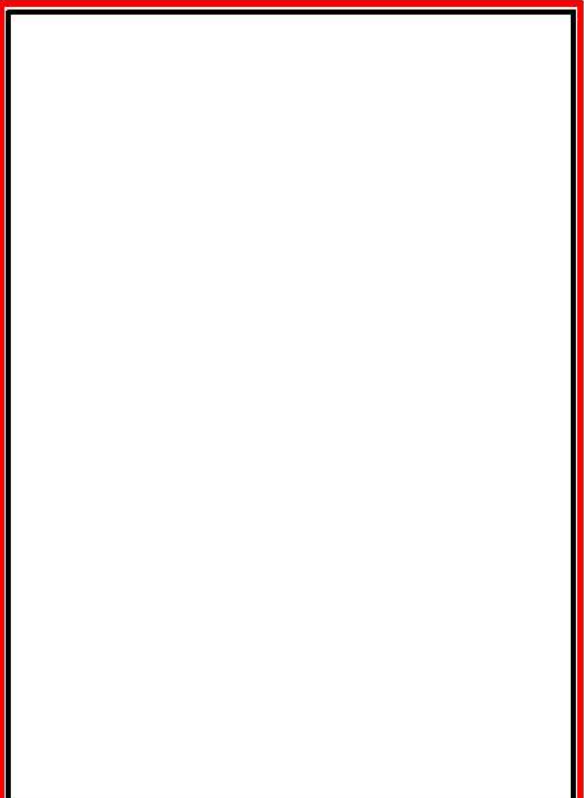

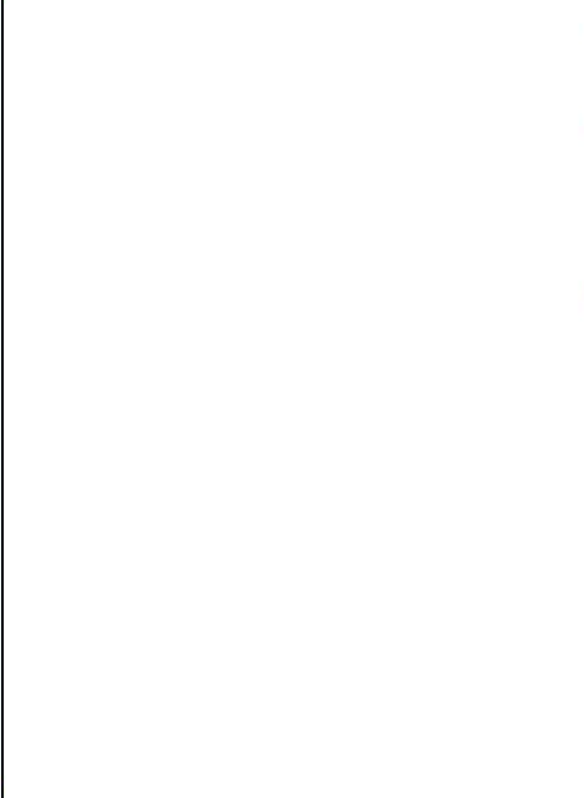
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1018 683 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 1005 1265 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1874 178 1933 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 1995 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 438">女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1874 454 1933 475">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 486 1995 507">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 518 2027 539">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>種別及び範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			


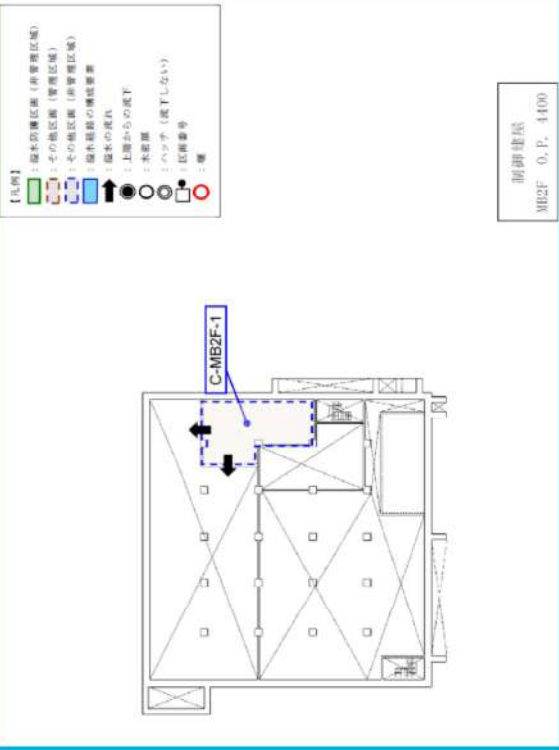
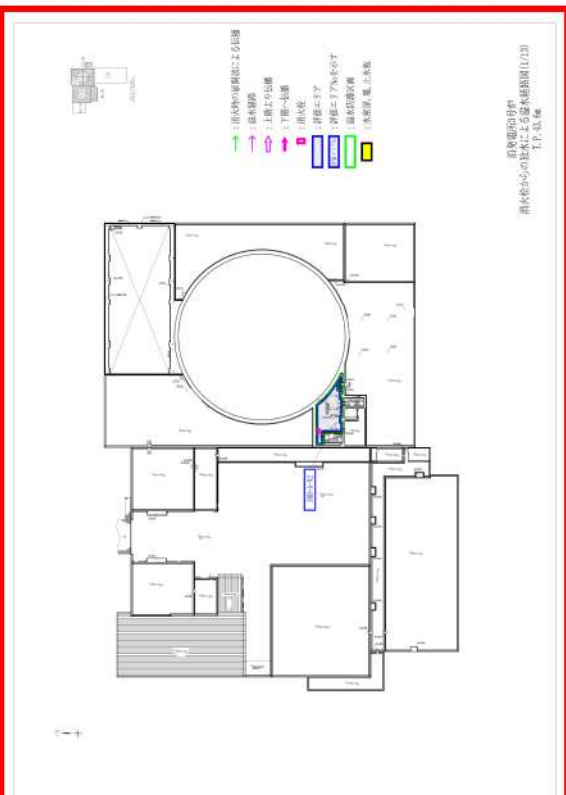
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）


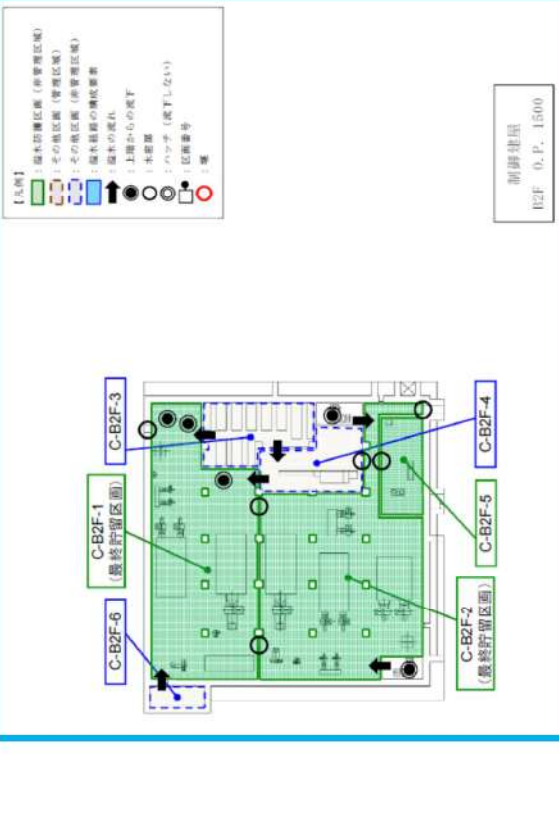
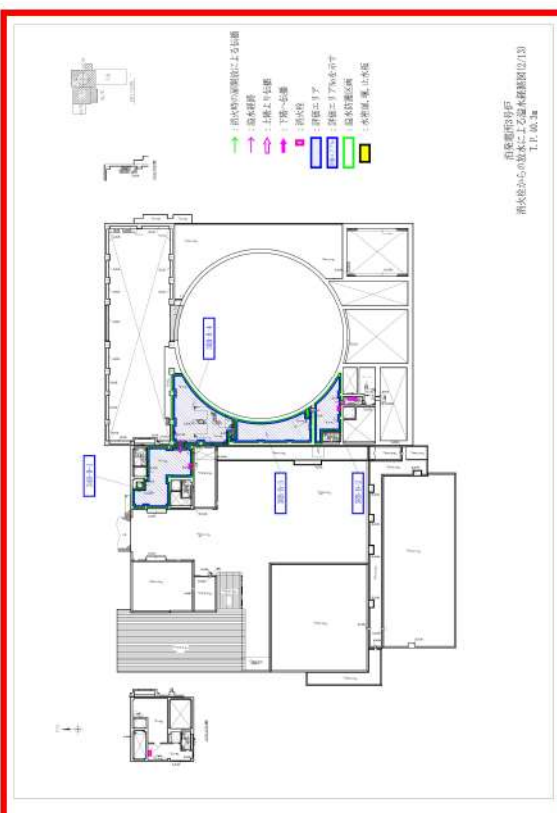
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

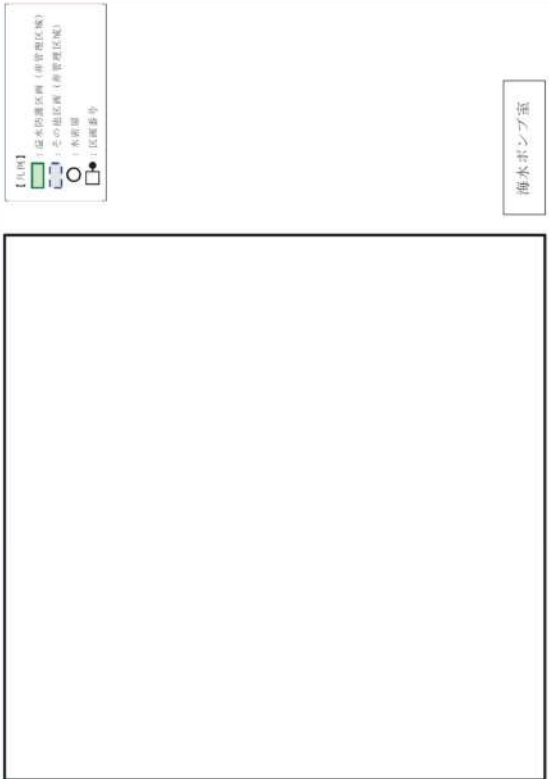
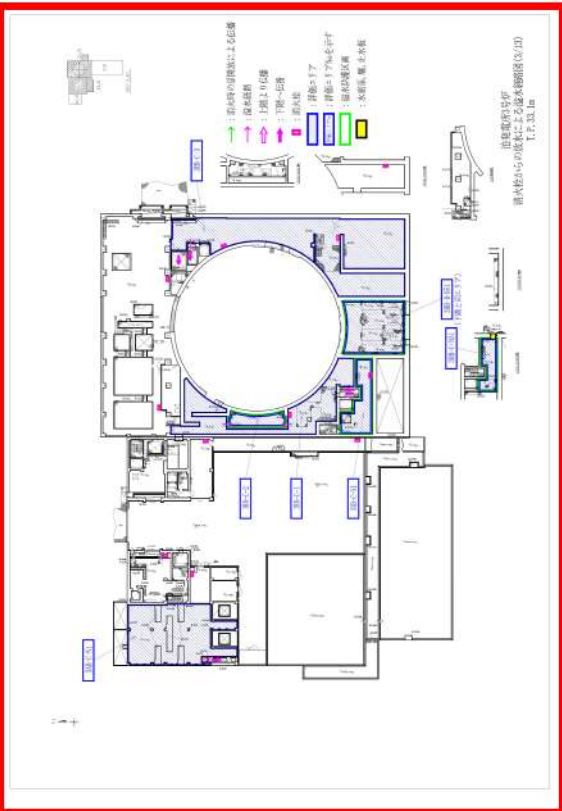
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.4.2-3</p> 	<p>前脚建屋 MB2F O.P. 4400</p> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

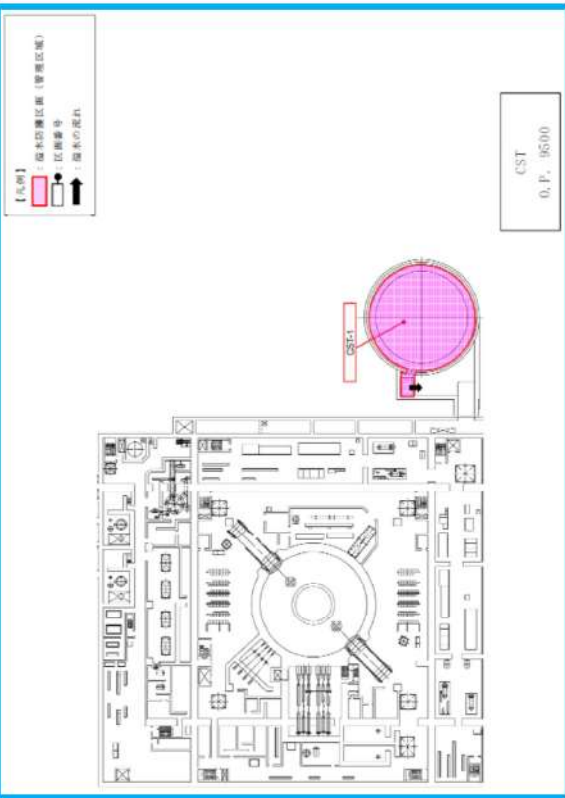
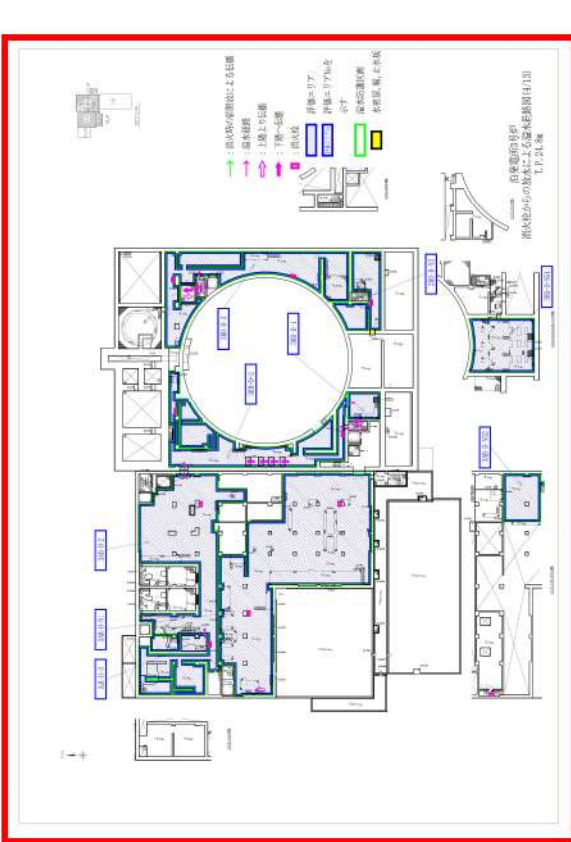
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 溢水防護区画（非常時区域） ■ その他の区画（管理区域） ■ その他の区画（非常時区域） ■ 溢水防護区画の境界線 ● 溢水の流路 ↑ 上層からの流下 ○ 弁 ○ パナチ（表示しない） ○ 区画番号 ○ 壁 <p>新設建屋 B2F 0.P. 1500</p>	 <p>→ 溢水の流路に示す設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ↑ 溢水 ↑ 上層からの流下 ↑ 下層からの流下 ○ 弁 ○ 区画番号 ○ パナチ（表示しない） ○ 区画番号 ○ 壁 <p>新設建屋 B2F 0.P. 1500</p>	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

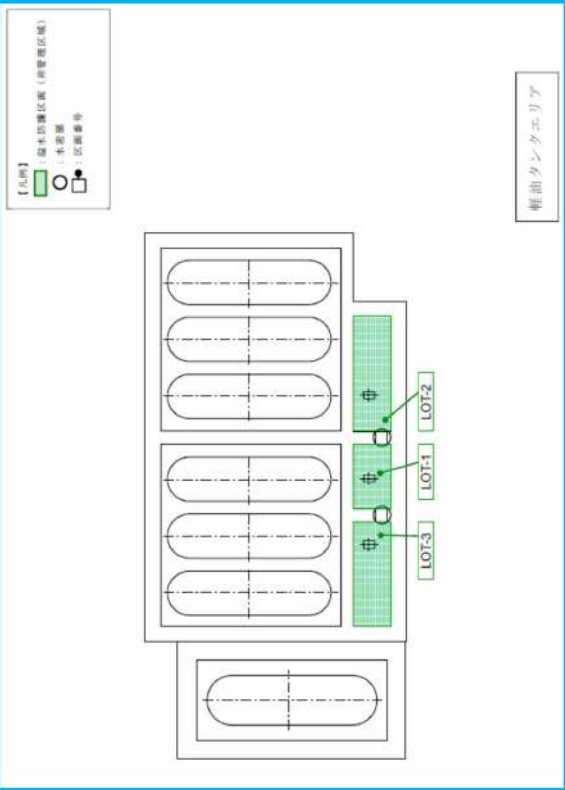
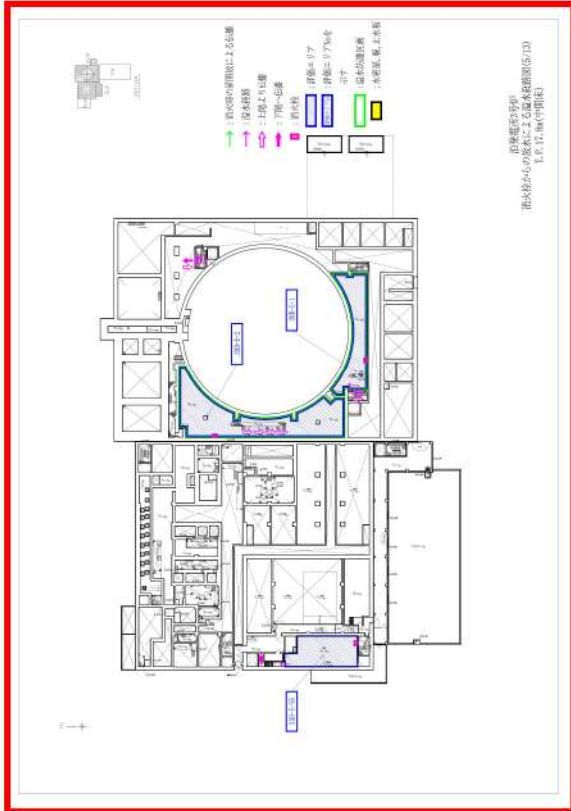
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="1214 279 1249 391" style="writing-mode: vertical-rl;">海水ポンプ室</p> <p data-bbox="772 981 1249 1005">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1877 183 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 231"><u>記載方針の相違</u></p> <p data-bbox="1877 247 2128 438">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p data-bbox="1877 454 1937 470">【大飯】</p> <p data-bbox="1877 486 2004 502"><u>設計方針の相違</u></p> <p data-bbox="1877 518 2027 534">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> <!-- Content of the red-bordered box, which is redacted in the original image --> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

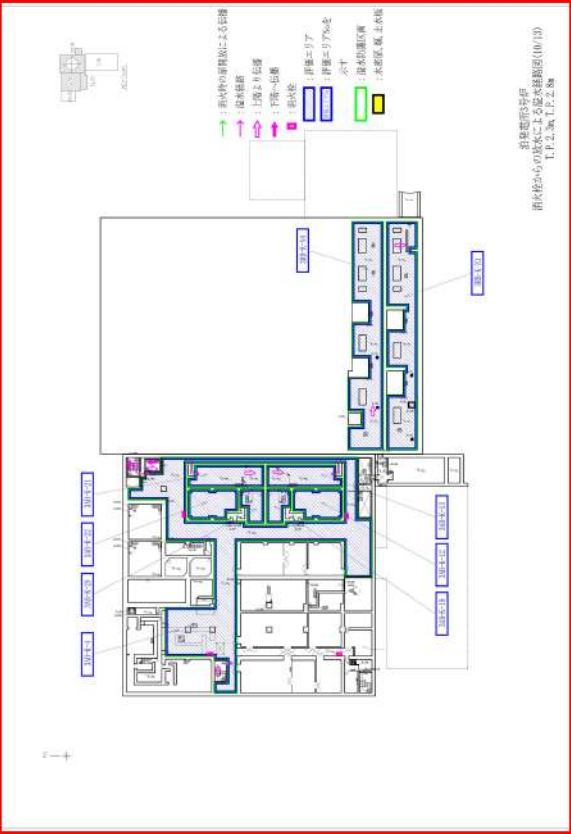
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1283 1085 1865 1117"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p data-bbox="1870 175 2134 207">【大飯】</p> <p data-bbox="1870 215 2134 247">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2134 279">プラント設計の相違</p>

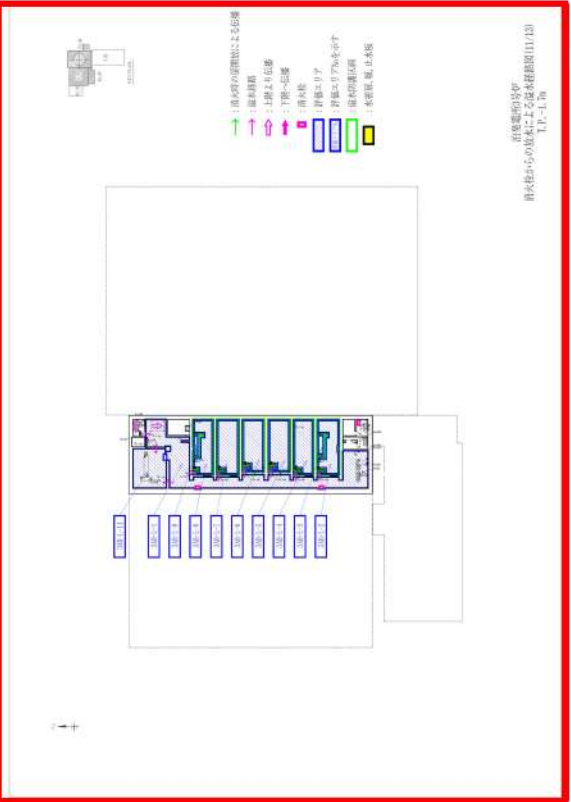
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

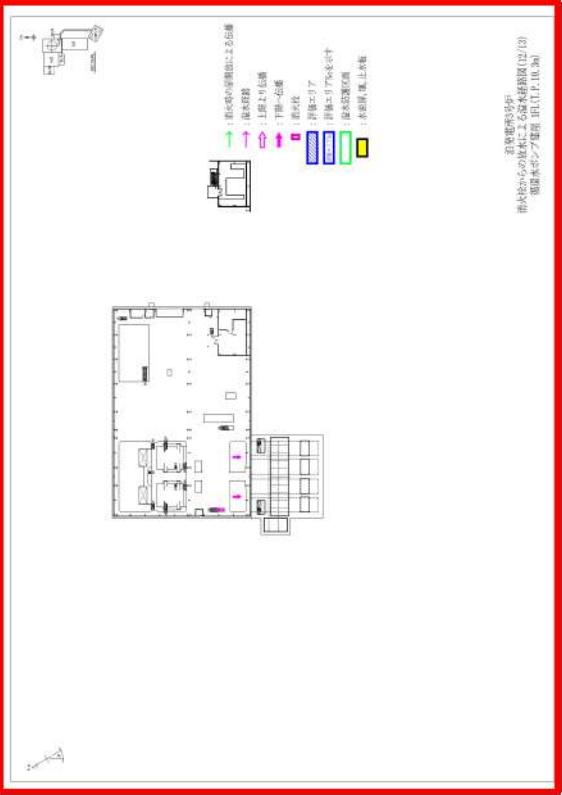
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

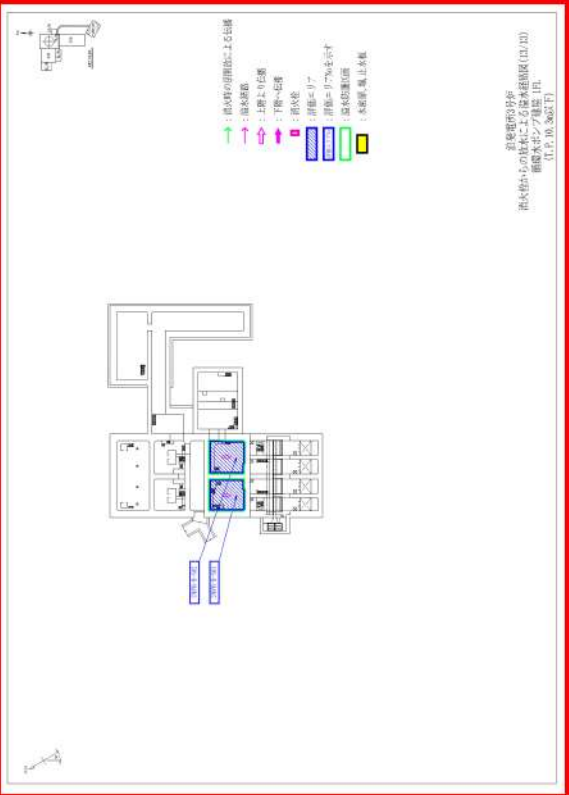
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

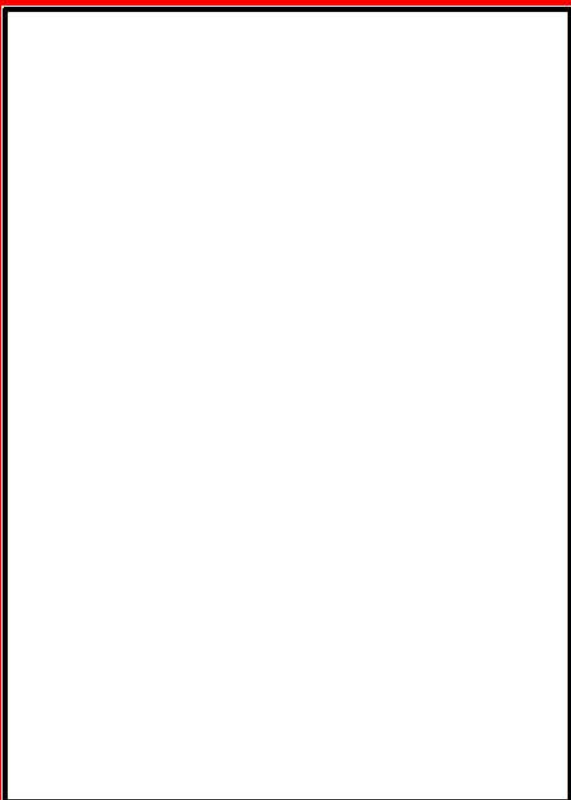
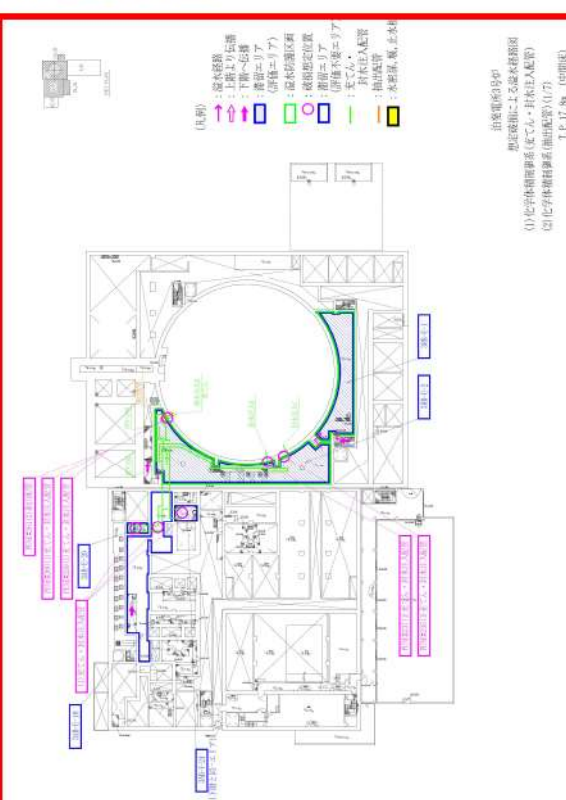
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

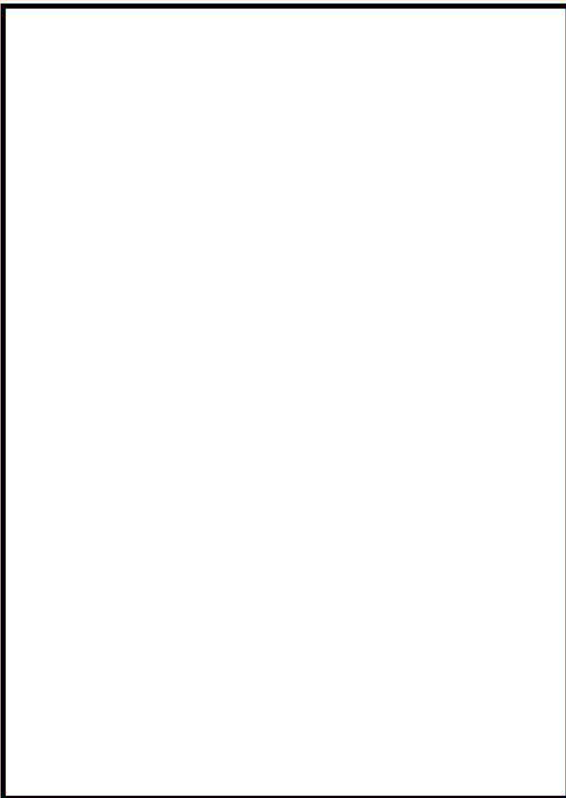
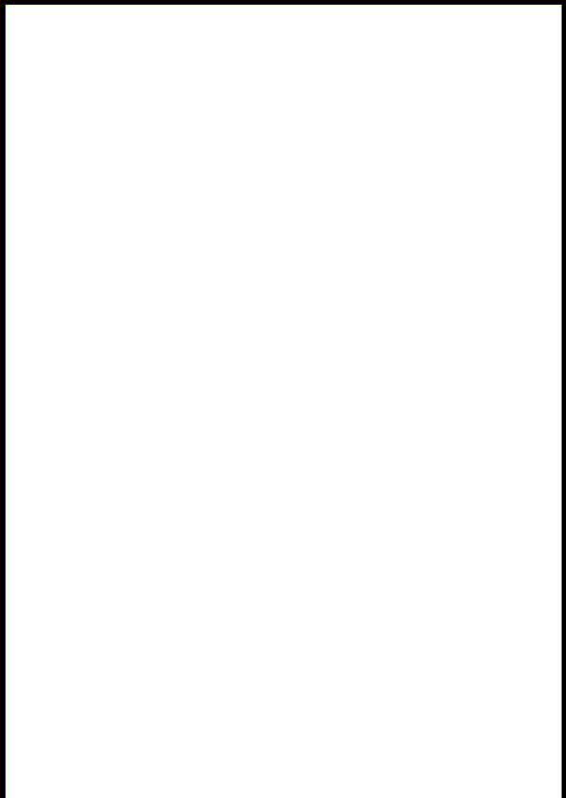
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

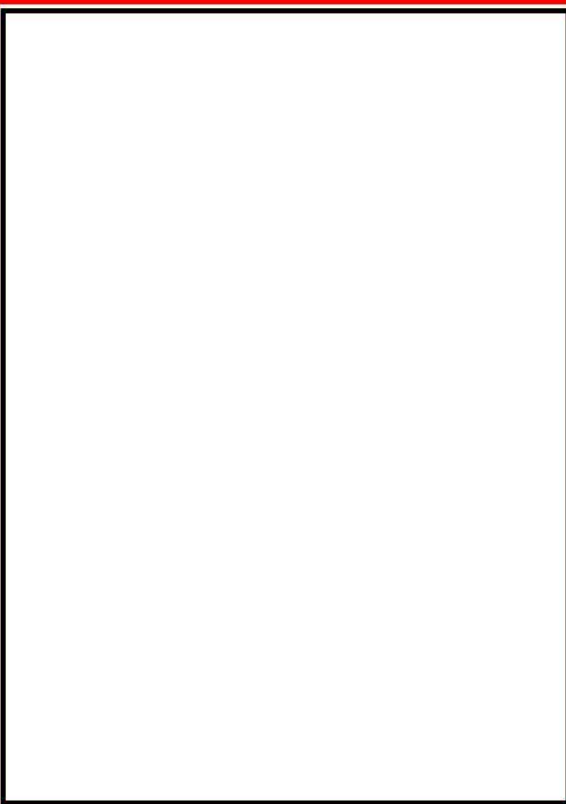
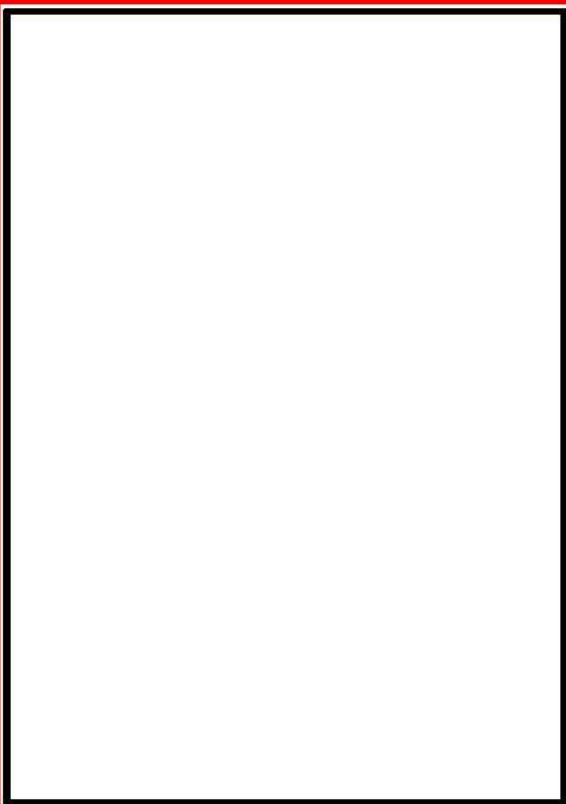
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画 (1) 化学体積制御系統</p>	 <p>由発電所の号炉 想定破損による溢水経路図 (1)化学体積制御系統(主待機・封水注入配管) 型化学体積制御系統(抽出配管)(1/7) T.P.17.8a (中略図)</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画面図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

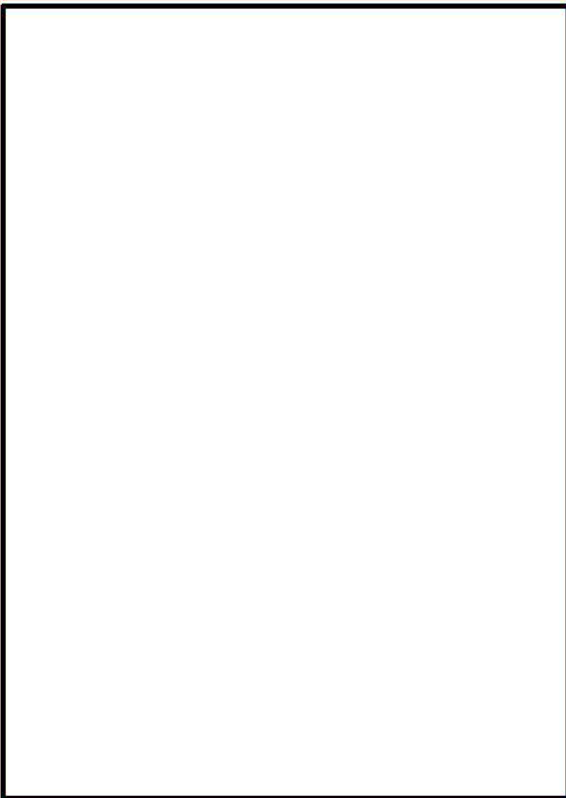
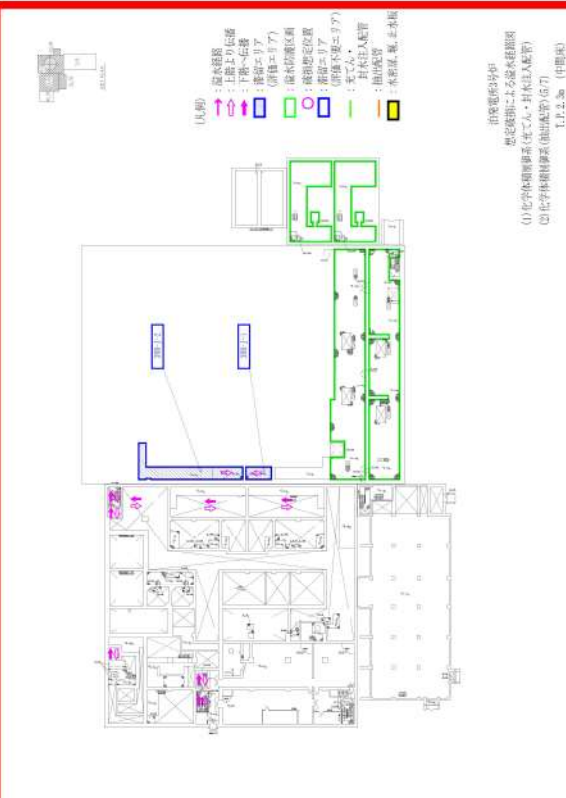
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

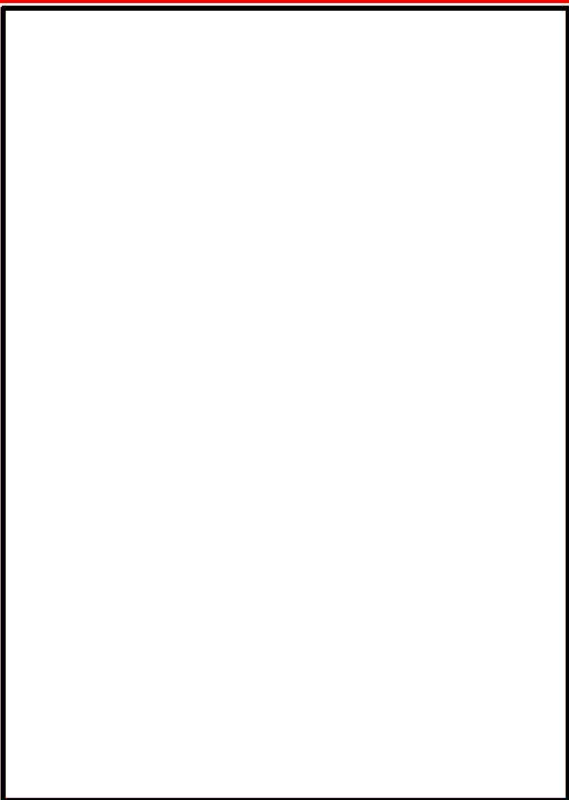
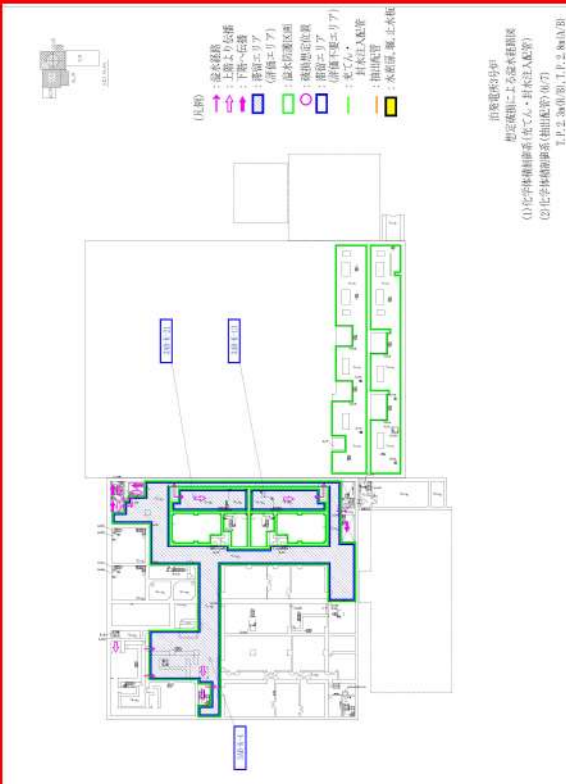
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>特記事項の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>特記事項の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

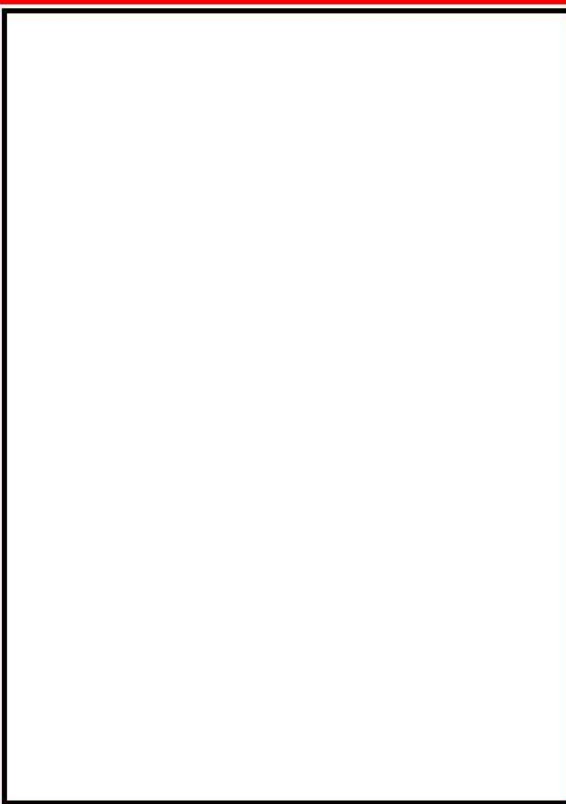

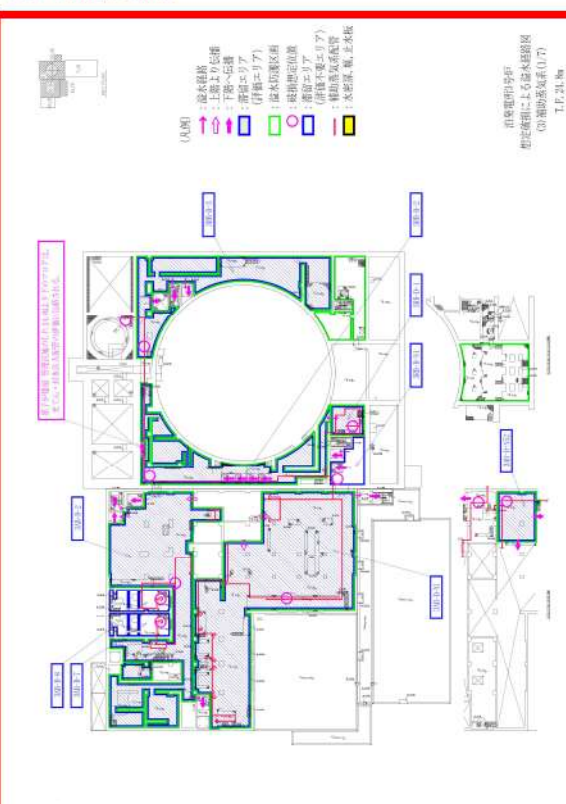
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 補助蒸気系統</p>  <p>赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違） 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違） 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p>	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

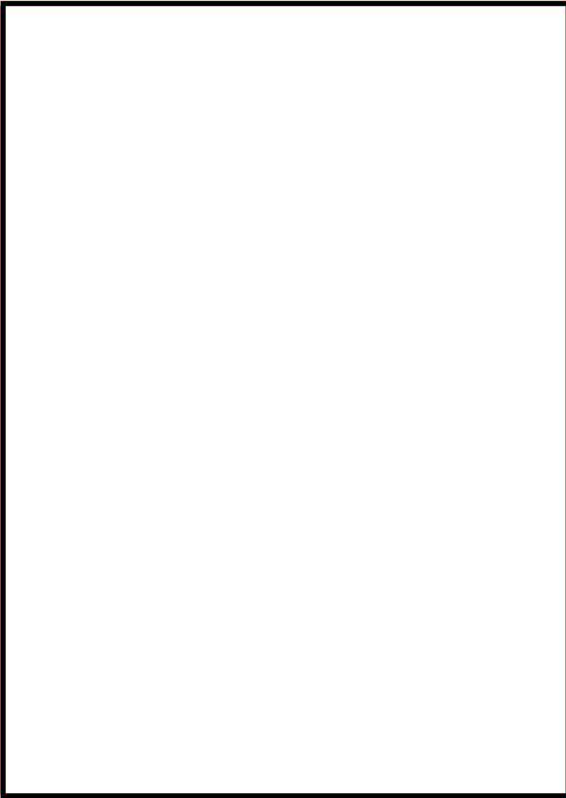

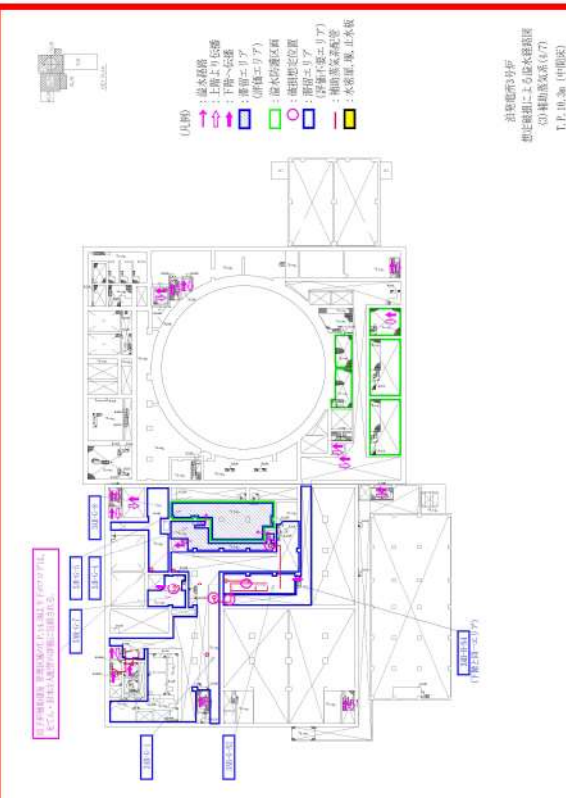
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 209 683 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 1023 683 1050" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<div data-bbox="1292 209 1856 1050" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> </div>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 グラント設計の相違</p>
<p>冷温みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>冷温みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

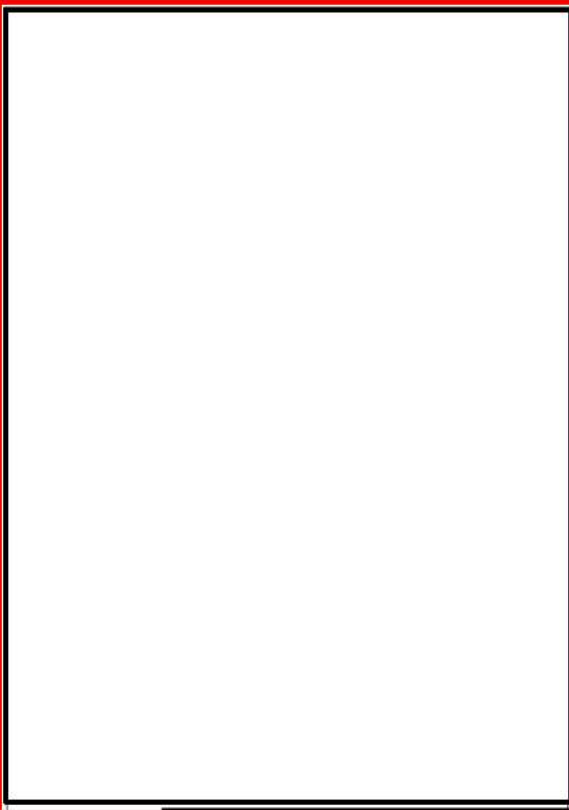
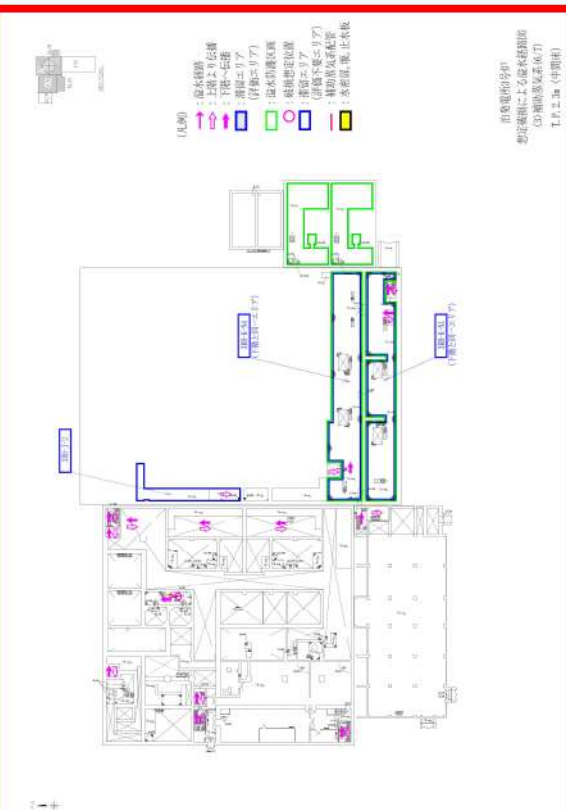
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


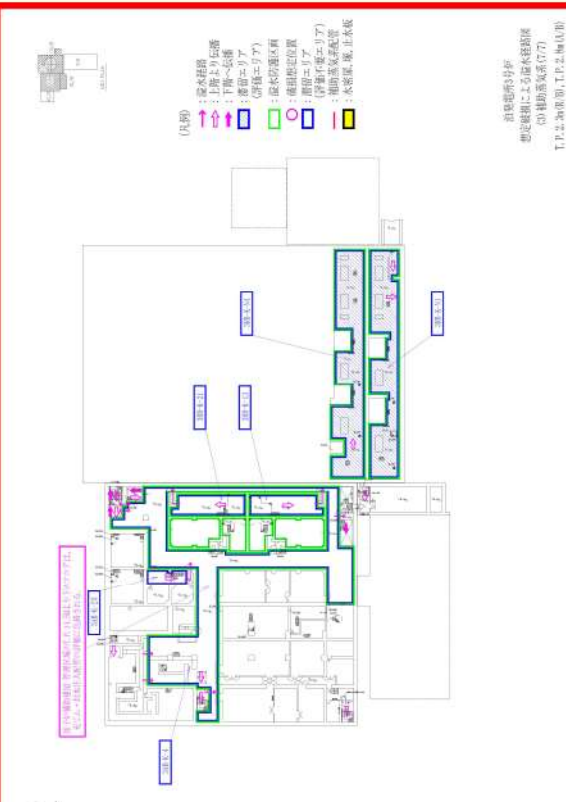
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

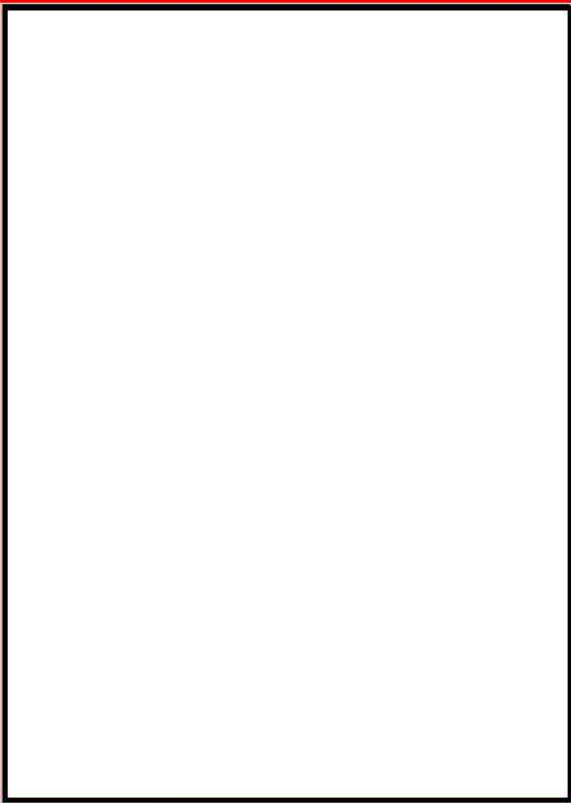
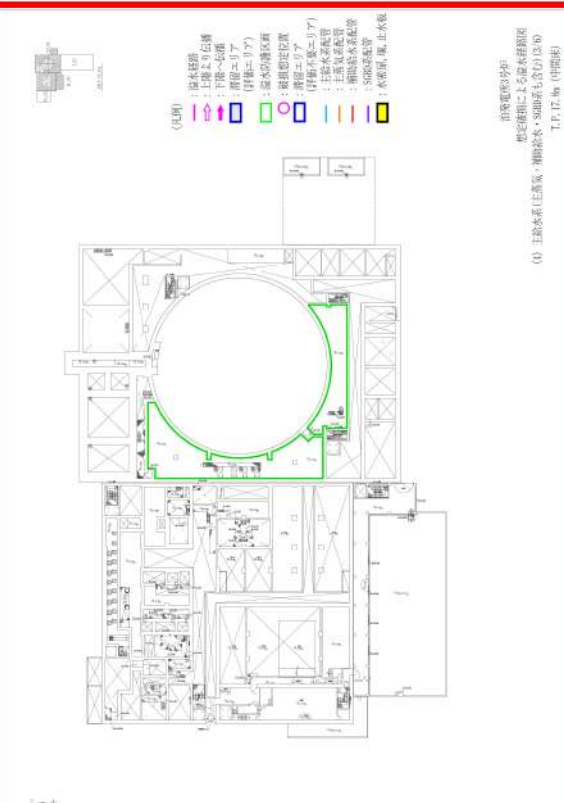
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←→ 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

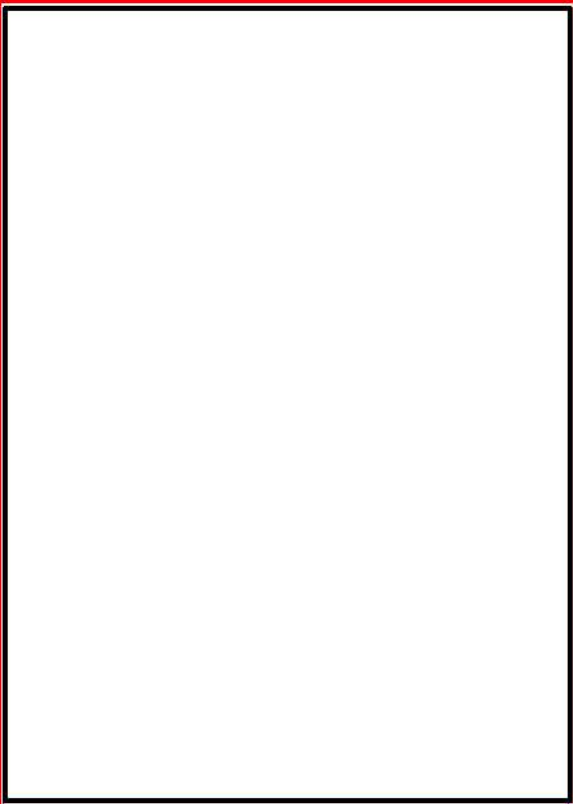
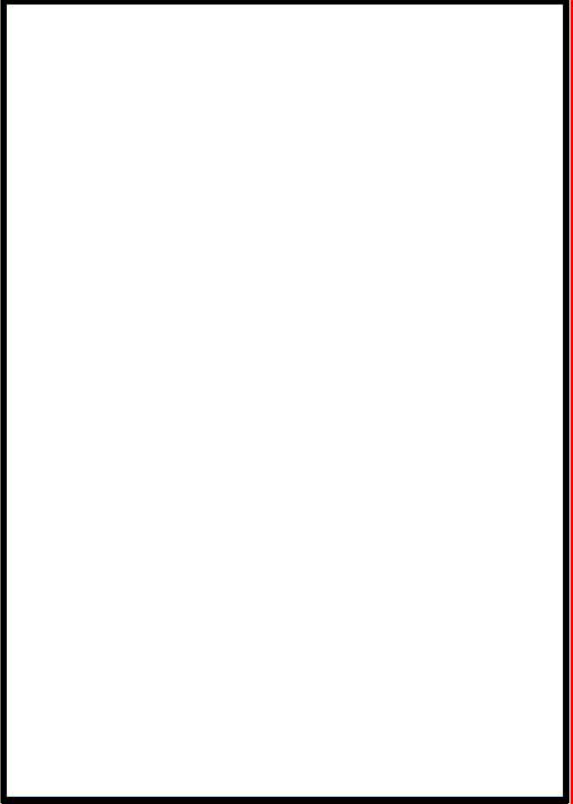
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 212 683 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 1023 683 1045" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>		<p>(3) 主給水系統（主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む）</p> <div data-bbox="1288 212 1856 1050" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> </div>	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

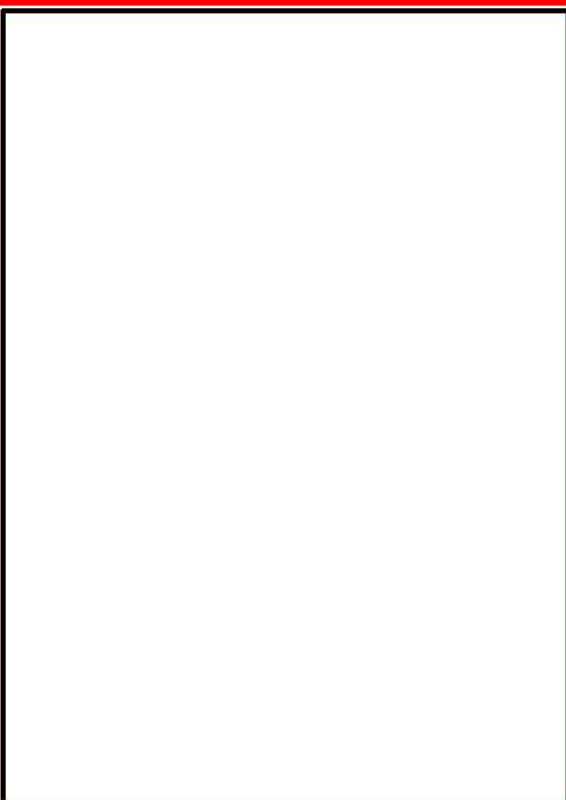
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>← 中</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

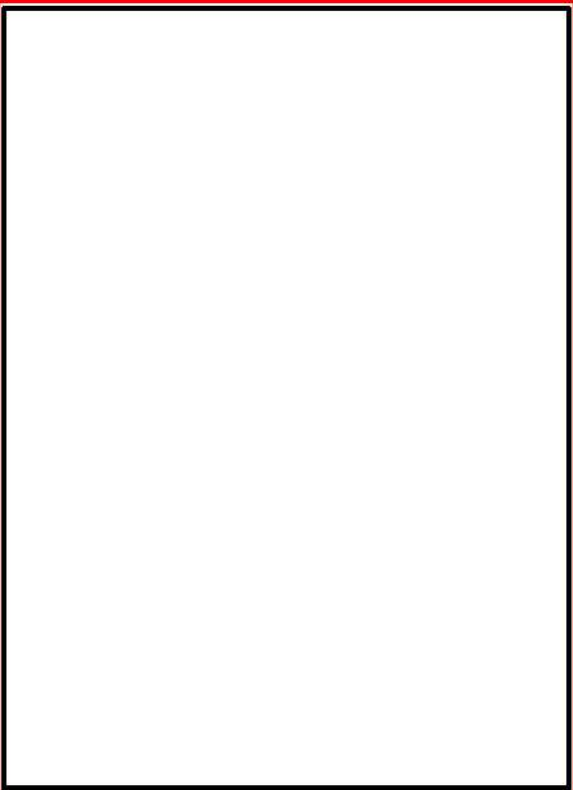

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
	<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 212 685 1015" style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 255px;"></div> <div data-bbox="114 1018 685 1043" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

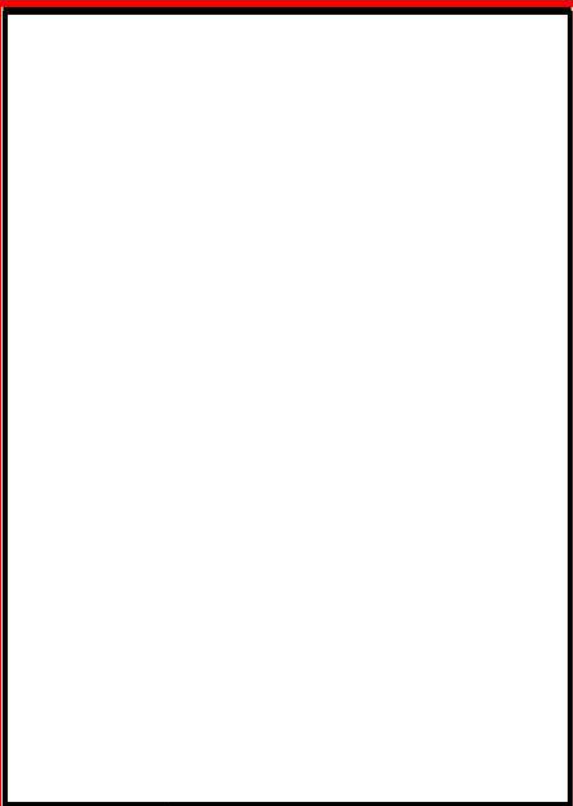
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> </div>			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

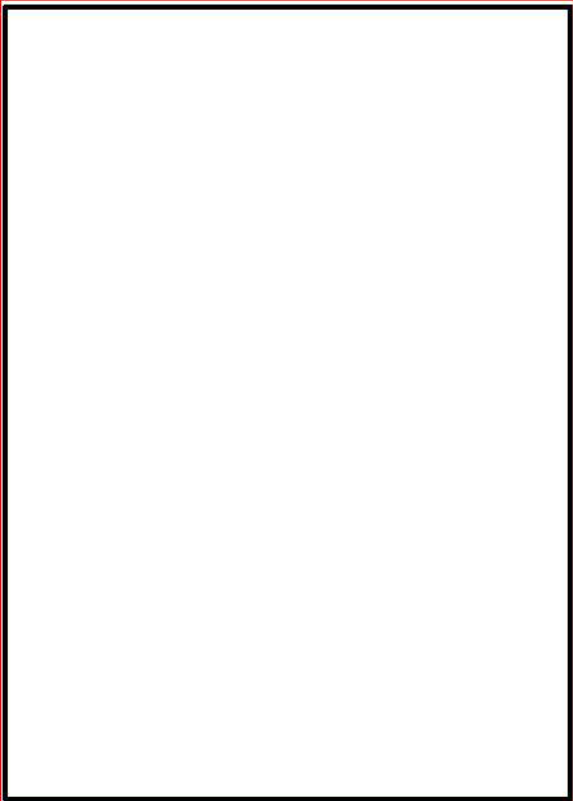
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>図4-4 炉内及び炉間は機器に接する事項ですが公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

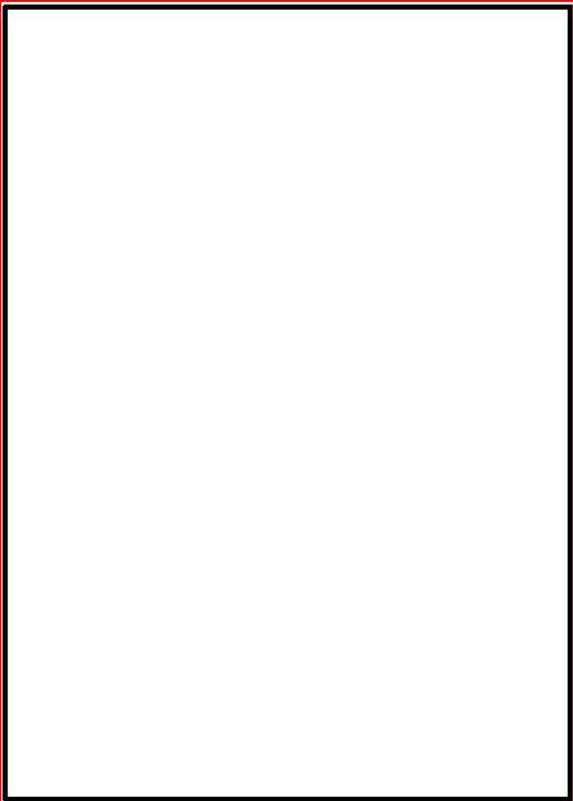
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 204 685 1018" style="border: 2px solid red; height: 510px; width: 255px;"></div> <div data-bbox="114 1023 685 1043" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

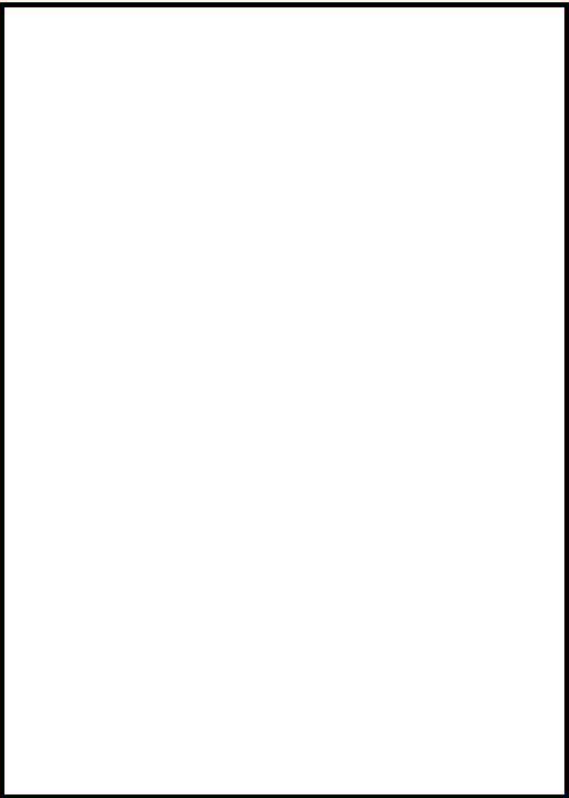
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ ← 特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-別1-60 より抜粋 2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 (3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【女川2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-4-3 より抜粋 4. 3 溢水経路の設定 (3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは開口部を経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>機器ハッチから溢水が流下しない場合の影響について</p> <p>1. はじめに 機器ハッチが床面にある区画の没水影響評価では、機器ハッチからの流下に期待せず、溢水全量が区画に貯留される条件で溢水水位を算出している。また、機器ハッチの下層階にある区画の没水影響評価では、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が下層階へ流入するものとしている。 ここでは、定期事業者検査作業に伴う機器ハッチの状態変更等により、一時的に上層階から下層階へ溢水が伝播しない機器ハッチが生じた場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>2. 確認結果 下層階への伝播経路には、機器ハッチの他、階段室やエレベータもあり、定期事業者検査作業等で機器ハッチから溢水が流下しない状況になった場合でも、上層階からの溢水が流下する区画への流下経路が複数存在しているケースでは、没水影響評価で想定する溢水伝播経路は変わらない。 また、上層階からの溢水流下経路が機器ハッチ1箇所の区画については、流下経路が閉塞した場合に下層階へ溢水伝播しないため、下層階の没水影響評価で考慮すべき溢水量が無くなる。若しくは下層階の溢水源から生じる溢水量のみに減少することにより、溢水水位は下層階への伝播を想定した場合よりも低くなるため、溢水防護対象設備が没水により必要な安全機能を損なうことはない。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>図1：流下経路の例</p>	<p>【女川・大阪】 記載方針の相違</p> <p>・女川と大阪も、上層階からの溢水伝播において、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとしている点は泊と同じである。 ・泊では、伝播経路として特定した溢水の流下経路のうち、機器ハッチが定期事業者検査作業等によって溢水が伝播しない状況になった場合の影響を確認している。</p>

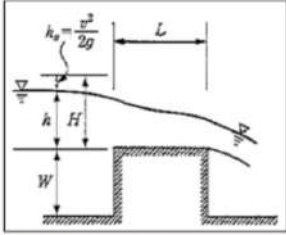
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに 没水高さが高くなるようなエリアについて、扉開運用などにより流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア 流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 997 1272 1493"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋原子炉棟</td><td>R-1F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B2F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ（大物搬入口）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-R3F-7</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2	R-B1F-1	扉（開運用）	2	R-B2F-1	扉（開運用）	2	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1	R-B2F-2	ハッチ（グレーチング）	1	R-B2F-3	ハッチ（グレーチング）	1	R-M2F-1	吹抜	1	R-M2F-2	吹抜	1	R-M2F-3	吹抜	1	R-M2F-5	吹抜	1	R-M2F-6	吹抜	1	R-1F-8	吹抜	1	R-1F-9	吹抜	1	R-M31F-1	吹抜	1	R-M31F-2	吹抜	1	R-M31F-3	吹抜	1	R-M31F-4	吹抜	1	R-R3F-7	吹抜	1	<p style="text-align: right;">添付資料 11</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに 没水高さが高くなるようなエリアについて、床開口部により流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア 流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画</p> <table border="1" data-bbox="1279 1007 1861 1107"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋</td><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="2">原子炉補助建屋</td><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2	原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1	3AB-H-9	吹抜	1	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・建屋名称、区画番号の相違。 ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																													
原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B2F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1																																																																													
	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1																																																																													
	R-B2F-2	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-B2F-3	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-M2F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-5	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-6	吹抜	1																																																																													
	R-1F-8	吹抜	1																																																																													
	R-1F-9	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-4	吹抜	1																																																																													
	R-R3F-7	吹抜	1																																																																													
	建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																												
原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2																																																																													
原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1																																																																													
	3AB-H-9	吹抜	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(2/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建屋</th> <th style="width: 15%;">区画番号</th> <th style="width: 45%;">流下開口</th> <th style="width: 20%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17">原子炉建屋付属棟</td><td>R-2F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-14</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-12</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-10</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="6">制御建屋</td><td>C-3F-3</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-3F-4</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">C-2F-3</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-1F-4</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>C-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-M32F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">タービン建屋</td><td>T-1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>T-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1	R-2F-7	扉（開運用）	1	R-2F-8	扉（開運用）	1	R-1F-14	扉（開運用）	1	R-B1F-8	扉（開運用）	1	R-B1F-12	扉（開運用）	1	R-B2F-10	扉（開運用）	1	R-3F-2	吹抜	1	R-3F-4	吹抜	1	R-3F-5	吹抜	1	R-M3F-3-1	吹抜	1	R-2F-6-2	吹抜	1	R-2F-7-1	吹抜	1	R-2F-8-2	吹抜	1	R-M2F-9	吹抜	1	制御建屋	C-3F-3	床開口	1	C-3F-4	床開口	1	C-2F-3	床開口	3	吹抜	1	C-1F-4	床開口	3	C-M31F-1	吹抜	1	C-M32F-1	吹抜	1	タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2	T-B1F-1	扉（開運用）	2		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・建屋名称、区画番号の相違。 ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																														
原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1																																																																														
	R-2F-7	扉（開運用）	1																																																																														
	R-2F-8	扉（開運用）	1																																																																														
	R-1F-14	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B1F-8	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B1F-12	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B2F-10	扉（開運用）	1																																																																														
	R-3F-2	吹抜	1																																																																														
	R-3F-4	吹抜	1																																																																														
	R-3F-5	吹抜	1																																																																														
	R-M3F-3-1	吹抜	1																																																																														
	R-2F-6-2	吹抜	1																																																																														
	R-2F-7-1	吹抜	1																																																																														
	R-2F-8-2	吹抜	1																																																																														
	R-M2F-9	吹抜	1																																																																														
	制御建屋	C-3F-3	床開口	1																																																																													
		C-3F-4	床開口	1																																																																													
C-2F-3		床開口	3																																																																														
		吹抜	1																																																																														
C-1F-4		床開口	3																																																																														
C-M31F-1		吹抜	1																																																																														
C-M32F-1	吹抜	1																																																																															
タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2																																																																														
	T-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																														
	<p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量</p> <p>常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ，土木学会編，技報堂出版」より，図1のような長方堰の流量算出式を参照し，以下の式を利用した。</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>																																																																														

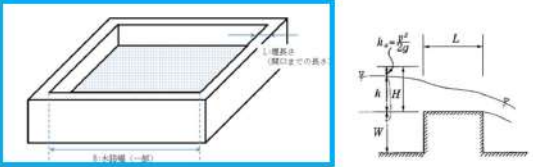
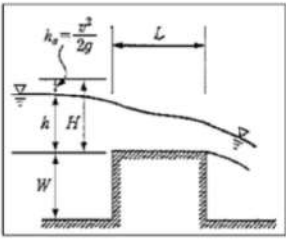
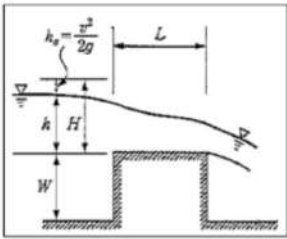
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>$Q=C \times B \times h^{\frac{3}{2}}$ …… ①式</p> <p>ここで、$0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)$; $C=1.444+0.352(\frac{h}{L})$</p> <p>Q：越流量(m³/s) B：堰の幅(m) h：越流水深(m) C：流量係数(m^{3/2}/s) L：堰長さ(m) W：堰高さ(m)</p>  <p>図1 長方堰の越流量</p> <p>(2) 算出結果</p> <p>前述の式から越流量を算出した結果を表2に示す。没水高さ0.3mの場合、扉（1箇所）での越流水深は0.17mとなり、越流量は331m³/hとなる。原子炉建屋について、扉からの排出を期待する系統のうち、原子炉建屋原子炉棟における最大漏えい流量は263m³/h（高圧炉心スプレイ系）、原子炉建屋付属棟における最大漏えい流量は201m³/h（原子炉補機冷却水系）であり、扉からの流出量が上回っているため、没水高さ0.3m以上に達することはない。</p> <p>表2 扉の諸元と越流量算出結果（没水高さ0.3mの場合）</p> <table border="1" data-bbox="703 1145 1272 1281"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰高さ【カーブ高さ】(m)</td> <td>W</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰長さ【カーブ奥行き】(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>越流水深(m)</td> <td>h</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の幅【開口幅】(m)</td> <td>B</td> <td>0.8</td> <td>躯体開口は1m</td> </tr> <tr> <td>越流量(m³/h)</td> <td>Q</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13		堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3		越流水深(m)	h	0.17		堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m	越流量(m ³ /h)	Q	331			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																								
堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13																									
堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3																									
越流水深(m)	h	0.17																									
堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m																								
越流量(m ³ /h)	Q	331																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>4. 流下開口（床開口）からの流出量</p> <p>建屋内の床面に開口を設置する対策について、開口部からの流出流量が想定破損時による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>(1) 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 床開口は満水流れとして評価を実施する。 下記に示す評価式のとおり、流量は落差が大きいくほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さを考慮する。 床開口は円形とし、φ100mmと設定する。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $Q = A \sqrt{\frac{2gH}{\lambda \frac{L}{d} + \xi + 1}} \dots\dots \text{②式}$ <p>Q：流量(m³/s) A：断面積(m²) H：落差(m) d：内径(m) L：直管長(m) ξ：損失係数 λ：摩擦係数 g：重力加速度(m/s²)</p> </div> <p>(2) 算出結果</p> <p>表3の結果より、床開口1箇所あたりの流出流量は52.8m³/hとなった。この条件をもとに、想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数を表4に示す。必要開口数を設置することにより、床面からの開口から系統流量が排出可能であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表3 床開口1箇所あたりの流出流量算出結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径(m)</td> <td>d</td> <td>0.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td>λ</td> <td>0.06</td> <td>最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定</td> </tr> <tr> <td>直管長(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td>スラブ厚さ</td> </tr> <tr> <td>損失係数</td> <td>ξ</td> <td>0.5</td> <td>管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定</td> </tr> <tr> <td>重力加速度(m/s²)</td> <td>g</td> <td>9.80665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>落差(m)</td> <td>H</td> <td>0.3</td> <td>スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮</td> </tr> <tr> <td>流量(m³/h)</td> <td>Q</td> <td>52.8</td> <td>開口部1箇所からの流出流量</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	内径(m)	d	0.10		摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定	直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ	損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定	重力加速度(m/s ²)	g	9.80665		落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮	流量(m ³ /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																																
内径(m)	d	0.10																																	
摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定																																
直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ																																
損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定																																
重力加速度(m/s ²)	g	9.80665																																	
落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮																																
流量(m ³ /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>表4 想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1265 368"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>区画内系統漏えい流量(m³/h)*</th> <th>床開口数</th> <th>床開口からの流出流量(m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3F-3</td> <td>20.1 (消火系)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-3F-4</td> <td>9.1 (所内用水)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-2F-3</td> <td rowspan="2">155 (BWC)</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">158.4</td> </tr> <tr> <td>C-1F-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区画内系統漏えい流量(m³/h)の値は、保守的に当該区画内を通過する配管口径ではなく、当該系統における最大口径を用いて評価した値</p>	区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)	C-3F-3	20.1 (消火系)	1	52.8	C-3F-4	9.1 (所内用水)	1	52.8	C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4	C-1F-4	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)																	
C-3F-3	20.1 (消火系)	1	52.8																	
C-3F-4	9.1 (所内用水)	1	52.8																	
C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4																	
C-1F-4																				
<p>【島根2】 まとめ資料 p.9条-別添1-補足 4-1 より抜粋 1. 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量 1.1 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量 一般的な機器搬入ハッチの形状を想定し、以下の式を利用して機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量を算出する。 開口部概略図を図1-1に示す。(参考文献「土木学会 水理公式集 平成11年度版」)</p> $Q_{out} = C_{out} \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots (1)$ $C_{out} = 1.642 \times \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022} \dots\dots\dots (2)$ <p> Q_{out} : 排出流量 [m³/s] B : 開口の幅 [m] C_{out} : 排出係数 [m^{1/2}/s] h : 溢水水位 [m] L : 開口までの長さ [m] W : 堰高さ [m] </p>  <p>図1-1 開口部概略図</p>	<p>5. 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量 「3. 流下開口（扉）からの流出量」より再掲 3. 流下開口（扉）からの流出量 (1) 扉からの流出量 常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ、土木学会編、技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \textcircled{1}式$ <p>ここで、$0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)$; $C = 1.444 + 0.352 \left(\frac{h}{L}\right)$</p> <p> Q : 越流量 [m³/s] B : 堰の幅 [m] h : 越流水深 [m] C : 流量係数 [m^{1/2}/s] L : 堰長さ [m] W : 堰高さ [m] </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>3. 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量 (1) グレーチング、吹抜からの流出量 グレーチング、吹抜の開口を想定し、堰を乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「土木学会 水理公式集（平成11年版）」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \textcircled{1}式$ <p>ここで、$0 < h/L \leq 0.1$; $C = 1.642 \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022}$</p> <p> Q : 越流量 [m³/s] B : 開口の幅 [m] h : 越流水深 [m] C : 流量係数 [m^{1/2}/s] L : 堰長さ [m] W : 堰高さ [m] </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> <u>記載方針の相違</u> ・泊は扉開口からの流出に期待しないため、本項において記載した。 ・女川は「3. 流下開口（扉）からの流出量」で左記の評価式を記載しており、ハッチ、吹抜からの流出流量についても左記の評価式を利用することを後述している。 また、女川でもハッチ、吹抜について、堰を考慮して評価を実施しているため、女川の「3. 流下開口（扉）からの流出量」の記載をグレーチング、ハッチに置き換えて記載する。 ・文献は異なるが利用している式に相違はない。(泊は島根と同様の文献を参照している。)</p> <p><u>設計方針の相違</u> 堰長さの保守性により、島根と同様の流出係数算出式に限定される。(島根と同様)</p> <p>【島根】 <u>記載方針の相違</u> 流出量の算出における、構文については、女川を参照し記載する。 <u>記載表現の相違</u></p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>(1) 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量評価の前提条件 ハッチ、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。 一部、開口周囲にカーブがない箇所もあるが、ここでは保守的にカーブ高さ、カーブ幅を仮定した場合の流出量を算出する。 また、ハッチについては、開口4辺のうち、2辺から流出していくこととして算出する。 表5にハッチ、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>(2) 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量評価の前提条件 グレーチング、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。 一部、開口周囲に堰がない箇所もあるが、ここでは保守的に堰高さ、堰長さを仮定した場合の流出量を算出する。 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。 表2にグレーチング、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、「開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。」（島根記載）を参考にし、泊も同様に、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p.9条-別添2-補足4-2より抜粋</p> <p>表1-1 開口部の各パラメータ値及び排出流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="136 320 656 453"> <tr><td>B: 開口の幅 [m]</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>h: 溢水水位 [m]</td><td>0.32</td></tr> <tr><td>L: 開口までの長さ [m]</td><td>50</td></tr> <tr><td>h/L</td><td>0.0064</td></tr> <tr><td>C_{dis}: 排出係数 [m³/s]</td><td>1.47</td></tr> <tr><td>Q_{dis}: 排出流量 [m³/h]</td><td>11,988</td></tr> </table> <p>まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-1より抜粋</p> <p>なお、開口までの長さLを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mとし、床面を長頂堰とみなして算出する。</p>	B: 開口の幅 [m]	12.5	h: 溢水水位 [m]	0.32	L: 開口までの長さ [m]	50	h/L	0.0064	C _{dis} : 排出係数 [m ³ /s]	1.47	Q _{dis} : 排出流量 [m ³ /h]	11,988	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 209 1265 635"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>3.0×3.0</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.1×3.1</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-1</td><td>1</td><td>11.1×2.2×2.2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.3×1.05×3.3</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-5</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-6</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-1</td><td>1</td><td>3.1 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>9.1以上</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>2.5 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-4</td><td>1</td><td>5.6</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-7</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 床なし区画 ※2 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25	R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25	R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2	R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1	R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25	R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2	R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1	R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25	R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25	R-4F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4F-2	1	9.1以上	0.13	0.2	R-4F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4F-4	1	5.6	0.13	0.2	R-4F-7	1	—※1	—※1	—※1	<p>表2 グレーチング、吹抜の開口条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 248 1854 397"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口の幅 (m)</th> <th>堰高さ (m)</th> <th>堰長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>2※1</td><td>2.075</td><td>0.1</td><td>76.6※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、評価上は開口部1箇所を想定 ※2 開口までの長さLを長くするほどに感流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺に相当する値とし、床面を長頂堰とみなして算出</p>	区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)	3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2	3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2	3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画番号の相違。開口数、開口の幅、堰高さ、堰長さについては評価条件の相違。 ・泊の※1について、開口部は2箇所あるが、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、保守的に開口部1箇所を想定して評価を実施している。 ・泊の※2について、島根の記載を参考にし、開口までの長さを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺を堰長さとして設定している。 ・女川の※1の床なし区画は、泊の開口条件にはない。 ・女川の※2の保守性については、泊では「排出を期待できる開口の幅の50%」としている。（島根と同様） <p>【島根】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堰長さの保守性の設定について、島根では原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mを用いている。一方で、泊では原子炉建屋、原子炉補助建屋それぞれの長辺として設定しており、プラント設計違いによる評価条件の相違であり、考え方は同様である。
B: 開口の幅 [m]	12.5																																																																																																																							
h: 溢水水位 [m]	0.32																																																																																																																							
L: 開口までの長さ [m]	50																																																																																																																							
h/L	0.0064																																																																																																																							
C _{dis} : 排出係数 [m ³ /s]	1.47																																																																																																																							
Q _{dis} : 排出流量 [m ³ /h]	11,988																																																																																																																							
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25																																																																																																																				
R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-2	1	9.1以上	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-4	1	5.6	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-7	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)																																																																																																																				
3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2																																																																																																																				
3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 799 1265 1107"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-2</td><td>1</td><td>2.7 (6.1) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>1</td><td>2.7 (3.0) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>1</td><td>6.1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-3-1</td><td>1</td><td>3.85</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>1</td><td>4.7×1.5</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-4F-9</td><td>1</td><td>4.0以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4F-1</td><td>1</td><td>4.4×1.2</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4F-1</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価 ※2 保守的に設定</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-2	1	2.7 (6.1) ※1	0.13	0.2	R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2	R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2	R-4F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2	R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15	R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-4F-9	1	4.0以上	0.13	0.25	C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25	C-4F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25	C-4F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																											
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-2	1	2.7 (6.1) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				
R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-4F-9	1	4.0以上	0.13	0.25																																																																																																																				
C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋 結果としては、溢水水位が0.32m（この区画の最も低い浸水防護設備の高さ）にて排出流量は11,900m³/h程度となり、これは系統からの流出に対し、機器搬入ハッチ等の開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量337m³/h（原子炉補機冷却系）よりも上回っているため、没水高さがこの区画の最も低い浸水防護設備の高さ以上となることはない。</p>	<p>（2）算出結果 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量に関して、越流水深を0.17mと仮定（没水高さ0.3m）した場合の算出結果を表6に示す。 越流量は十分に大きく、没水高さは0.3mを超えないことを確認した。</p>	<p>（3）算出結果 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量の算出結果を表3に示す。 結果としては、3RB-D-N51では溢水水位が0.5m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量は2,764m³/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量2,091m³/h（主給水系）よりも上回っている。 また、3AB-H-2及び3AB-H-9では溢水水位が0.8m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量4,243m³/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量120m³/h（化学体積制御系（充てん配管））よりも上回っている。 以上より、没水高さがこれらの区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ以上となることはない。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では、島根の構文を参考にして、結果を文章で示した後に表を掲載する。</p> <p>【島根】 設計方針の相違 ・溢水水位、最大流量、系統、越流量は評価条件の相違。 ・島根では浸水防護設備の高さに対して越流量を算出しているのに対して、泊では溢水防護対象設備の機能喪失高さに対して越流量を算出している。 記載方針の相違 ・2つの評価結果を示すため、区画を個別に記載する。 ・島根の1つの評価結果の構文を2つの評価結果を示すために、2回用いることによる構文の相違。 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ</td><td>4672^{※1}</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ</td><td>4672^{※1}</td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ</td><td>2548^{※1}</td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ</td><td>2633^{※1}</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>4882</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1401</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1715</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>2761</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1146</td></tr> <tr><td>R-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1363</td></tr> <tr><td>R-MB1F-2</td><td>吹抜</td><td>4002</td></tr> <tr><td>R-MB1F-3</td><td>吹抜</td><td>1099</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)	R-3F-1	ハッチ	4672 ^{※1}	R-2F-3	ハッチ	4672 ^{※1}	R-B2F-2	ハッチ	2548 ^{※1}	R-B2F-3	ハッチ	2633 ^{※1}	R-M2F-1	吹抜	4882	R-M2F-3	吹抜	1401	R-M2F-5	吹抜	1715	R-1F-8	吹抜	2761	R-1F-9	吹抜	1146	R-MB1F-1	吹抜	1363	R-MB1F-2	吹抜	4002	R-MB1F-3	吹抜	1099	<p>表3 グレーチング、吹抜からの越流量算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2,764</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> </tbody> </table>	区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)	3RB-D-N51	グレーチング	2,764	3AB-H-2	吹抜	4,243	3AB-H-9	吹抜	4,243	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・区画番号、種別、越流量の数値については、評価条件の相違。 ・女川は「開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定」として いるところに対して、泊は、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。 （島根と同様）</p>
区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)																																																				
R-3F-1	ハッチ	4672 ^{※1}																																																				
R-2F-3	ハッチ	4672 ^{※1}																																																				
R-B2F-2	ハッチ	2548 ^{※1}																																																				
R-B2F-3	ハッチ	2633 ^{※1}																																																				
R-M2F-1	吹抜	4882																																																				
R-M2F-3	吹抜	1401																																																				
R-M2F-5	吹抜	1715																																																				
R-1F-8	吹抜	2761																																																				
R-1F-9	吹抜	1146																																																				
R-MB1F-1	吹抜	1363																																																				
R-MB1F-2	吹抜	4002																																																				
R-MB1F-3	吹抜	1099																																																				
区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)																																																				
3RB-D-N51	グレーチング	2,764																																																				
3AB-H-2	吹抜	4,243																																																				
3AB-H-9	吹抜	4,243																																																				
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-MB1F-4</td><td>吹抜</td><td>2463</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>2683</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1596</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1395^{※1}</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1699</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>吹抜</td><td>1656</td></tr> <tr><td>C-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1019^{※1}</td></tr> <tr><td>C-MB2F-1</td><td>吹抜</td><td>2695</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)	R-MB1F-4	吹抜	2463	R-3F-2	吹抜	1187	R-3F-4	吹抜	1187	R-3F-5	吹抜	2683	R-M3F-3-1	吹抜	1596	R-2F-6-2	吹抜	1906	R-2F-7-1	吹抜	1395 ^{※1}	R-2F-8-2	吹抜	1906	R-M2F-9	吹抜	1699	C-2F-3	吹抜	1656	C-MB1F-1	吹抜	1019 ^{※1}	C-MB2F-1	吹抜	2695														
区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)																																																				
R-MB1F-4	吹抜	2463																																																				
R-3F-2	吹抜	1187																																																				
R-3F-4	吹抜	1187																																																				
R-3F-5	吹抜	2683																																																				
R-M3F-3-1	吹抜	1596																																																				
R-2F-6-2	吹抜	1906																																																				
R-2F-7-1	吹抜	1395 ^{※1}																																																				
R-2F-8-2	吹抜	1906																																																				
R-M2F-9	吹抜	1699																																																				
C-2F-3	吹抜	1656																																																				
C-MB1F-1	吹抜	1019 ^{※1}																																																				
C-MB2F-1	吹抜	2695																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大飯3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-14 より抜粋 ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p>	<p>6. 床ドレンからの排水について 女川2号炉内部溢水影響評価において、床ドレンからの流出を考慮する場合については以下のとおりとする。 (1) 評価条件 ・同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮する。 ・床ドレンからの流出流量は、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>$Q = AC\sqrt{2gH}$ …… ③式</p> <p>Q：流量(m³/s) A：開口の有効面積(m²) H：当該区画の水位(m) C：流出流量損失係数 (=0.82) g：重力加速度 (m/s²)</p> </div> <p>7. 今後の運用管理について 女川原子力発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、カーブからの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>4. 今後の運用管理について 泊発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、堰からの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は床ドレンからの排水に期待せずに溢水水位を算出し、没水影響評価を実施している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-2</p> <p>溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管及び低エネルギー配管を以下のフローによって分類した。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p>	<p style="text-align: right;">添付資料13</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</small></p>	<p style="text-align: right;">添付資料12</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</small></p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載の表現に相違があるものの、溢水ガイドに基づきフローを作成しているという点において、相違はない。 ・大阪の表現は異なるものの、対象としている配管は泊、女川と同様である。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉

添付資料1.4.1-1

表1 配管破損を想定する高エネルギー配管の抽出結果

系統名	溢水評価における対象範囲	対象範囲における使用条件	配置
化学体積制御系	封水注入配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	充てん配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	抽出配管／非再生冷却器出口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	抽出配管／非再生冷却器入口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 140℃	E/B
主蒸気系統	主蒸気管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気逃がし弁	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気隔離弁 バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気ドレン配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	タービン動補助給水ポンプ 駆動用蒸気配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
主給水系統	主給水管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
	主給水バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
蒸気発生器 ブローダウン系	蒸気発生器ブローダウン 配管（貫通部へアングル弁）	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室、 BD室
補助給水系	補助給水配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	運転圧力：約 0.7MPaG 運転温度：約 170℃	E/B、 C/B

E/B：原子炉周辺建屋 C/B：制御建屋
 MS室：主蒸気・主給水管室 BD室：ブローダウンタンク室

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア
(1/6)

系統	設計条件	分類		設置エリア	
		低エネ	高エネ	原子炉種別	設置エリア
給水系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	原子炉種別	設置エリア
新設機動給水注水系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	付属機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	66	66	付属機 (設置位置別設置エリア)	設置エリア
ほう湯水注入系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	管理	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	66	66	管理	設置エリア
西原機動注水系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	タービン機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	186	186	タービン機	設置エリア
蒸気発生器スプレッド系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	管理	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	100	100	管理	設置エリア
原子炉隔離時冷却系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	タービン機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	302	302	タービン機	設置エリア
原子炉冷却剂浄化系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	タービン機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	66	66	タービン機	設置エリア
燃料プール冷却 浄化系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	タービン機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	66	66	タービン機	設置エリア
放射性ドレン排送系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	タービン機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	66	66	タービン機	設置エリア
機動ドレン系	最高使用圧力 (MPa)	0	0	タービン機	設置エリア
	最高使用温度 (℃)	66	66	タービン機	設置エリア

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する
 ※2 廃燃料処理エリアのみ
 ※3 筒水相給水系の筒水量で考慮する
 ※4 休止設備であり保有本なし

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア
(1/3)

系統	設計条件	分類		設置エリア	
		低エネ	高エネ	原子炉種別	設置エリア
1号炉排系	運転圧力 (MPa)	15.4	325	原子炉種別	設置エリア
	運転温度 (℃)	1.3	40	原子炉種別	設置エリア
化学体積制御系 (全てん配管)	運転圧力 (MPa)	17.5	232	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	0.11	46.1	タービン機	設置エリア
化学体積制御系 (抽出配管)	運転圧力 (MPa)	15.4	193	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	1.8	46.1	タービン機	設置エリア
化学体積制御系 (その他)	運転圧力 (MPa)	3.1	77	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	0.3	40	タービン機	設置エリア
安全注入系 [※]	運転圧力 (MPa)	0.35	40	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	5.6	274	タービン機	設置エリア
主蒸気系	運転圧力 (MPa)	3.8	220	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	0.35	40	タービン機	設置エリア
原子炉格納容器 スプレッド系 [※]	運転圧力 (MPa)	1.1	43	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	1.1	65	タービン機	設置エリア
東原機動冷却水 浄化系	運転圧力 (MPa)	0.61	26	タービン機	設置エリア
	運転温度 (℃)	1.01	40	タービン機	設置エリア

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】
 記載表現の相違
 設計方針の相違
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
 【大飯】
 記載方針の相違
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3／4号炉

表2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果

系統名
原子炉補機冷却系
格納容器スプレイ系
化学体積制御系
冷水系
1次系洗浄水系
1次系放射性ドレン系(機器ドレン)
1次系放射性ドレン系(床ドレン)
消火水系
1次系補給水系
余熱除去系
燃料取替用水系
燃料ピット冷却浄化系
安全注入系
液体廃棄物処理系
固体廃棄物処理系
補助給水系（低温配管該当部分）

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア
(2/6)

系統	設計条件 最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度(°C)	分類		設置エリア							
			低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン 建屋	タービン 管理棟	補助 ボイラー 管理棟	LOIエ リア ※6	LOIエ リア ※6	
					原子炉種 別	付属機 別						付属機 別
床ドレン・化学廃液系	0.95	66	○	○								
ストームドレン系	0.34	145		○								
モニタリング系	0.36	66		○								
濃縮廃液系	1.37	66		○								
酸化系	1.37	95		○								
排水系	0.35	66		○								
排水系	1.94	66		○								
排水系	0.95	66		○								
排水系	15.49	180		○								
給水加熱器ドレン系	0.62	302		○								
排水系	1.94	66		○								
排水系	0.95	66		○								
排水系	1.94	66		○								
排水系	0.95	66		○								

※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する
 ※2 廃棄物処理エリアのみ
 ※3 排水系給水系の排水量で考慮する
 ※4 休止設備であり保有水なし
 ※5 CSTエリア：排水貯蔵タンクエリア
 ※6 LOIエリア：電源タンクエリア

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア
(2/3)

系統	設計条件 運転圧力 (MPa)	運転温度 (°C)	分類		設置エリア										
			低エネ	高エネ	原子炉建屋		原子炉補助建屋		タービン 建屋		タービン 管理棟	出入管理建屋	電気室	ポンプ 建屋	
					管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理					管理
液体廃棄物処理系	1.01	80		○											
固体廃棄物処理系	1.01	40		○											
飲料採取系	0.7	46.1		○											
蒸気発生器ブローダウン系	5.6	274		○											
燃料取替用水系	0.87	40		○											
原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40		○											
原子炉補給水系(純水)	1.01	40		○											
補助蒸気系	0.7	170		○											
水消火系	0.1	40		○											
地下水排水系	1.8	49		○											
排水系	0.47	40		○											
排水系	0.51	40		○											
海水電解装置排水供給・注入系	0.61	25		○											
空調用給水系	1.0	10		○											

※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】
[記載表現の相違](#)
[設計方針の相違](#)
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
 【大飯】
[記載方針の相違](#)
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静水圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用温度 (°C)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 (廃棄物処理用)</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋 (管理)</th> <th rowspan="2">補助ボイラー建屋</th> <th rowspan="2">機水ポンプ室</th> <th rowspan="2">LOEエリア 406</th> <th rowspan="2">LOEエリア 405</th> </tr> <tr> <th>原子炉種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別 (廃棄物処理用)</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定子冷却給排水系</td> <td>0.80</td> <td>74</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>0.45</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.07</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却水</td> <td>1.27</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却水</td> <td>0.85</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却水</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却給排水系</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水</td> <td>0.75</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却給排水</td> <td>0.69</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.15</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 原燃物処理用配管のみ ※3 機水冷却水系の機水量で考慮する ※4 休止設備であり保有水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						静水圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 (廃棄物処理用)		タービン建屋	タービン建屋 (管理)	補助ボイラー建屋	機水ポンプ室	LOEエリア 406	LOEエリア 405	原子炉種別	付属種別	付属種別 (廃棄物処理用)	管理	管理	固定子冷却給排水系	0.80	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	機水冷却水系	1.37	66	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	炉水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	1.07	40	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	熱交換器冷却水	1.27	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	熱交換器冷却水	0.85	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	熱交換器冷却水	1.15	85	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	タービン冷却給排水系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	原子炉補給冷却水	0.75	50	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	タービン冷却給排水	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	炉内用水系	1.15	70	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">運転圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度 (°C)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 (廃棄物処理用)</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋 (管理)</th> <th rowspan="2">出入室建屋</th> <th rowspan="2">機水ポンプ室</th> <th rowspan="2">機水ポンプ室</th> </tr> <tr> <th>原子炉種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別 (廃棄物処理用)</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機水系</td> <td>5.25</td> <td>208</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>輸送冷却系</td> <td>0.65</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>業務往入戻線</td> <td>2.0</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助給水系^{※1}</td> <td>3.8</td> <td>220</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機水ストレージ冷却水</td> <td>0.7</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.05</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水化設備</td> <td>0.91</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン補給水ポンプ車系</td> <td>0.11</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>スチームコンデンサ系</td> <td>2.46</td> <td>223</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却塔送気系</td> <td>3.48</td> <td>271</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>固定子冷却水処理装置</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料搬入戻線</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						運転圧力 (MPa)	運転温度 (°C)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 (廃棄物処理用)		タービン建屋	タービン建屋 (管理)	出入室建屋	機水ポンプ室	機水ポンプ室	原子炉種別	付属種別	付属種別 (廃棄物処理用)	管理	管理	機水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	循環水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	輸送冷却系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	業務往入戻線	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	補助給水系 ^{※1}	3.8	220	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	機水ストレージ冷却水	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	1.05	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水化設備	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン補給水ポンプ車系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	スチームコンデンサ系	2.46	223	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却塔送気系	3.48	271	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	固定子冷却水処理装置	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料搬入戻線	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様) プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	静水圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 (廃棄物処理用)		タービン建屋	タービン建屋 (管理)	補助ボイラー建屋	機水ポンプ室	LOEエリア 406	LOEエリア 405																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		原子炉種別				付属種別	付属種別 (廃棄物処理用)	管理	管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
固定子冷却給排水系	0.80	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却水系	1.37	66	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
炉水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
炉内用水系	1.07	40	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
熱交換器冷却水	1.27	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
熱交換器冷却水	0.85	66	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
熱交換器冷却水	1.15	85	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タービン冷却給排水系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
原子炉補給冷却水	0.75	50	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タービン冷却給排水	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
炉内用水系	1.15	70	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	運転圧力 (MPa)	運転温度 (°C)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 (廃棄物処理用)		タービン建屋	タービン建屋 (管理)	出入室建屋	機水ポンプ室	機水ポンプ室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					原子炉種別	付属種別	付属種別 (廃棄物処理用)	管理						管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
循環水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
輸送冷却系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
業務往入戻線	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助給水系 ^{※1}	3.8	220	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機水ストレージ冷却水	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
炉内用水系	1.05	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機水冷却水化設備	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
タービン補給水ポンプ車系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
スチームコンデンサ系	2.46	223	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
タービン冷却塔送気系	3.48	271	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
固定子冷却水処理装置	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
燃料搬入戻線	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (4/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 245 1167 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機軸使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟(設置別記)</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">補助ボイラー棟</th> <th rowspan="2">機軸ポンプ棟</th> <th rowspan="2">CSTエリア</th> <th rowspan="2">LOTエリア</th> </tr> <tr> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>管理</th> <th>管理</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東江原子炉スプレッド</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸冷却水系統</td> <td>2.55</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-置置系</td> <td>3.43</td> <td>300</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-冷却系</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び暖水戻り系</td> <td>1.57</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>○*</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内蒸水系統</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>0.64</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>東江原子炉スプレッド付属棟冷却水系統</td> <td>0.64</td> <td>95 (機軸建屋風量は94~95℃)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>0.96</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 原燃物処理エリアのみ ※3 原本機軸冷却水系統の流量で考慮する ※4 休止設備であり無圧水なし</p> <p>※5 CSTエリア：真水貯蔵タンクエリア ※6 LOTエリア：機軸タンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										機軸使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟		原子炉建屋付属棟(設置別記)		タービン建屋		補助ボイラー棟	機軸ポンプ棟	CSTエリア	LOTエリア	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	管理	管理	東江原子炉スプレッド	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	機軸冷却水系統	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	補助ボイラー-置置系	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	補助ボイラー-冷却系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	加熱蒸気及び暖水戻り系	1.57	204	○	○*	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	炉内蒸水系統	1.15	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東江原子炉スプレッド付属棟冷却水系統	0.64	95 (機軸建屋風量は94~95℃)	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.96	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様) ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																														
	機軸使用圧力(MPa)		最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟		原子炉建屋付属棟(設置別記)		タービン建屋		補助ボイラー棟	機軸ポンプ棟	CSTエリア	LOTエリア																																																																																																																																																																																		
		付属棟				付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	管理	管理																																																																																																																																																																																							
東江原子炉スプレッド	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																			
機軸冷却水系統	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
補助ボイラー-置置系	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
補助ボイラー-冷却系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
加熱蒸気及び暖水戻り系	1.57	204	○	○*	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
炉内蒸水系統	1.15	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
東江原子炉スプレッド付属棟冷却水系統	0.64	95 (機軸建屋風量は94~95℃)	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.96	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機軸吐出 圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">機軸吐出 温度(℃)</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th colspan="2">原子炉棟内</th> <th colspan="2">原子炉棟外</th> <th rowspan="2">タービン 棟内</th> <th rowspan="2">タービン 棟外</th> <th rowspan="2">補助 ボイラ ー</th> <th rowspan="2">機軸 ポン プ</th> <th rowspan="2">LOTエ リア</th> <th rowspan="2">LOTエ リア</th> </tr> <tr> <th>原子炉棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟(発電機島 種エリア)</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧炉心スプレイス システム発電設備</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン発電設備</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス システム発電設備</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン発電設備</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス システム発電設備</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン発電設備</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン潤滑油系</td> <td>2.16</td> <td>79</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.38</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.62</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.50</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.45</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧潤滑油系</td> <td>13.80</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧潤滑油系</td> <td>0.34</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 原燃物処理エリアのみ ※3 復水供給水系の過水流量で考慮する ※4 休止設備であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア：復水貯蔵タンクエリア ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						機軸吐出 圧力 (MPa)	機軸吐出 温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉棟内		原子炉棟外		タービン 棟内	タービン 棟外	補助 ボイラ ー	機軸 ポン プ	LOTエ リア	LOTエ リア	原子炉棟	付属棟	付属棟(発電機島 種エリア)	管理	高圧炉心スプレイス システム発電設備	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン発電設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧炉心スプレイス システム発電設備	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン発電設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧炉心スプレイス システム発電設備	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン発電設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン潤滑油系	2.16	79	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-		0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧潤滑油系	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧潤滑油系	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様) ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																														
	機軸吐出 圧力 (MPa)		機軸吐出 温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉棟内		原子炉棟外		タービン 棟内	タービン 棟外	補助 ボイラ ー	機軸 ポン プ	LOTエ リア	LOTエ リア																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉棟				付属棟	付属棟(発電機島 種エリア)	管理																																																																																																																																																																																																																											
高圧炉心スプレイス システム発電設備	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
タービン発電設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
高圧炉心スプレイス システム発電設備	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
タービン発電設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
高圧炉心スプレイス システム発電設備	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
タービン発電設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
タービン潤滑油系	2.16	79	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
高圧潤滑油系	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					
高圧潤滑油系	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>補足資料3-2</p> <p>図1のフローによって低エネルギー配管を抽出した結果を表1に示す。また、通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統について、高エネルギー状態にある運転時間割合を評価した結果を表1に示す。</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 860 1145"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機系使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">機系使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉種別</th> <th colspan="2">タービン種別</th> <th rowspan="2">補助ボイラータンク設置</th> </tr> <tr> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非放射能性ドレン移送系</td> <td>0.39</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>原子炉種別</td> <td>付属種別</td> <td>付属種別</td> <td>付属種別</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内用本系</td> <td>0.29</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>原子炉種別</td> <td>付属種別</td> <td>付属種別</td> <td>付属種別</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 廃棄物処理エリアのみ ※3 復水供給本系の溜水容量で考慮する ※4 休止容量であり保水なし</p> <p>※5 CSTエリア：復水貯蔵タンクエリア ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p> <p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				機系使用圧力(MPa)	機系使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種別		タービン種別		補助ボイラータンク設置	付属種別	付属種別	付属種別	付属種別	非放射能性ドレン移送系	0.39	66	-	○	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	○	炉内用本系	0.29	70	-	○	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	○	<p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大飯、高浜、美浜と同様） ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績を反映し、記載内容を変更した。大飯も高エネルギー配管を低エネルギー配管とすることを確認しており、実施内容について相違はない。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																								
	機系使用圧力(MPa)		機系使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種別		タービン種別		補助ボイラータンク設置																																			
		付属種別				付属種別	付属種別	付属種別																																					
非放射能性ドレン移送系	0.39	66	-	○	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	○																																				
炉内用本系	0.29	70	-	○	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	○																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした6系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、残留熱除去系については、定期検査中の停止時冷却モード運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計による相違 記載表現の相違 BWRは残留熱除去系の運転モードの1つとして原子炉停止後の崩壊熱を除去する「停止時冷却モード」がある。PWRではそのような運転モード名称はないため、定期事業者検査中の「冷却」とする。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違 ・プラント設計による系統の相違 ・運転期間が異なることによる評価条件の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績を反映した表の記載とし、高エネルギー状態の計算に用いる時間を記載した。</p>																																																																																												
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系※1</td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系※1</td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系※1</td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td><1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統。 ※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーバランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーバランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※2	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X^{※1}/Y^{※2})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>(A): 0.05 % (B): 0.05 %</td> <td>(A): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>(A): 0.03 % (B): 0.02 % (C): 0.02 %</td> <td>(A): (28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B): (23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C): (14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td>0.10 %</td> <td>(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>0.15 %</td> <td>(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>0.08 %</td> <td>(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び復水戻り系（原子炉隔離時冷却系タービンテストライン）</td> <td>0.01 %</td> <td>(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間） ※2 プラント運転開始（平成7年7月）～第11回定検解除（平成22年11月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})	ほう酸水注入系	(A): 0.05 % (B): 0.05 %	(A): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%	残留熱除去系	(A): 0.03 % (B): 0.02 % (C): 0.02 %	(A): (28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B): (23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C): (14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%	低圧炉心スプレイ系	0.10 %	(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%	高圧炉心スプレイ系	0.15 %	(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%	原子炉隔離時冷却系	0.08 %	(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%	加熱蒸気及び復水戻り系（原子炉隔離時冷却系タービンテストライン）	0.01 %	(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X^{※1}/Y^{※2})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>(A): 0.85 % (B): 0.85 %</td> <td>(A): (176h) / (20,760h) =0.85% < 1% (B): (176h) / (20,760h) =0.85% < 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系</td> <td>(A): 0.03 % (B): 0.03 %</td> <td>(A): (4.2h) / (20,760h) =0.03% < 1% (B): (4.2h) / (20,760h) =0.03% < 1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系（電動補助給水ポンプ）</td> <td>(A): 0.11 % (B): 0.03 %</td> <td>(A): (22.5h) / (20,760h) =0.11% < 1% (B): (4.5h) / (20,760h) =0.03% < 1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系（タービン駆動補助給水ポンプ）</td> <td>0.05 %</td> <td>(9h) / (20,760h) =0.05% < 1%</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>(A): 0.03 % (B): 0.03 %</td> <td>(A): (4.3h) / (20,760h) =0.03% < 1% (B): (4.3h) / (20,760h) =0.03% < 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間） ※2 プラント運転開始（平成21年12月）～第2回定検解除（平成24年5月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})	余熱除去系	(A): 0.85 % (B): 0.85 %	(A): (176h) / (20,760h) =0.85% < 1% (B): (176h) / (20,760h) =0.85% < 1%	原子炉格納容器スプレイ系	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.2h) / (20,760h) =0.03% < 1% (B): (4.2h) / (20,760h) =0.03% < 1%	補助給水系（電動補助給水ポンプ）	(A): 0.11 % (B): 0.03 %	(A): (22.5h) / (20,760h) =0.11% < 1% (B): (4.5h) / (20,760h) =0.03% < 1%	補助給水系（タービン駆動補助給水ポンプ）	0.05 %	(9h) / (20,760h) =0.05% < 1%	安全注入系	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.3h) / (20,760h) =0.03% < 1% (B): (4.3h) / (20,760h) =0.03% < 1%
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※2																																																																																													
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																													
格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																													
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																													
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																													
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%																																																																																													
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																													
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																													
安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																													
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																													
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																													
固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																													
系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})																																																																																													
ほう酸水注入系	(A): 0.05 % (B): 0.05 %	(A): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1% (B): (63 h)/(133921 h)=0.05 % < 1%																																																																																													
残留熱除去系	(A): 0.03 % (B): 0.02 % (C): 0.02 %	(A): (28 h)/(133921 h)=0.03 % < 1% (B): (23 h)/(133921 h)=0.02 % < 1% (C): (14 h)/(133921 h)=0.02 % < 1%																																																																																													
低圧炉心スプレイ系	0.10 %	(133 h)/(133921 h)=0.10 % < 1%																																																																																													
高圧炉心スプレイ系	0.15 %	(189 h)/(133921 h)=0.15 % < 1%																																																																																													
原子炉隔離時冷却系	0.08 %	(99 h)/(133921 h)=0.08 % < 1%																																																																																													
加熱蒸気及び復水戻り系（原子炉隔離時冷却系タービンテストライン）	0.01 %	(3 h)/(133921 h)=0.01 % < 1%																																																																																													
系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})																																																																																													
余熱除去系	(A): 0.85 % (B): 0.85 %	(A): (176h) / (20,760h) =0.85% < 1% (B): (176h) / (20,760h) =0.85% < 1%																																																																																													
原子炉格納容器スプレイ系	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.2h) / (20,760h) =0.03% < 1% (B): (4.2h) / (20,760h) =0.03% < 1%																																																																																													
補助給水系（電動補助給水ポンプ）	(A): 0.11 % (B): 0.03 %	(A): (22.5h) / (20,760h) =0.11% < 1% (B): (4.5h) / (20,760h) =0.03% < 1%																																																																																													
補助給水系（タービン駆動補助給水ポンプ）	0.05 %	(9h) / (20,760h) =0.05% < 1%																																																																																													
安全注入系	(A): 0.03 % (B): 0.03 %	(A): (4.3h) / (20,760h) =0.03% < 1% (B): (4.3h) / (20,760h) =0.03% < 1%																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙1）</p> <p>高エネルギー配管（補助蒸気供給配管）の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管について溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。本資料は補助蒸気供給配管の応力評価の手法、結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外又は貫通クラックの適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																							
<p style="text-align: right;">補足資料3-3</p> <p>表1 想定破損の応力評価に基づく破損形状の結果（一般部）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>応力評価</th> <th>破損形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td rowspan="5">実施なし</td> <td rowspan="5">完全全周破断</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> </tr> <tr> <td>主給水系</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 ブローダウン系</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>実施あり</td> <td>貫通クラック*</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 応力評価を実施し、評価結果は許容応力(0.8Sa)以下であった</p>	系統名	応力評価	破損形状	備考	化学体積制御系	実施なし	完全全周破断		主蒸気系	主給水系	蒸気発生器 ブローダウン系	補助給水系	補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*		<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">溢水防護 区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>200A-IS-100-1</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-1F-12</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="6">H S C R</td> <td>25A-HSCR-220</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-HSCR-152-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B2F-1</td> <td rowspan="5">H S C R</td> <td>20A-HSCR-452-1</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>40A-HSCR-208</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-206</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20A-HSCR-466-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-2</td> <td rowspan="3">H S</td> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>20A-IS-562-1</td> <td>STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RCIC-6-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>C-1F-3</td> <td>H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38	50A-IS-4	STPT38	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38	100A-IS-109	STPT38	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2	STPA23		H S C R	25A-HSCR-220	STPA23	100A-IS-109	STPT38	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2		200A-HSCR-153		100A-HSCR-152-3		R-B2F-1	H S C R	20A-HSCR-452-1	STPA23	40A-HSCR-208	STPT38	25A-HSCR-159		25A-HSCR-206		20A-HSCR-466-1		R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38	R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38	20A-IS-562-1	STS42	100A-RCIC-6-2		制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38	C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38	<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する対象配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>対象配管</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">補助蒸気系配管*</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>主蒸気系(主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸気影響範囲のみ応力評価を実施。</p>	設置エリア	対象配管	材質	原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370	原子炉補助建屋	STPT370	原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370	原子炉補助建屋	主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。(大飯, 高浜, 美浜, 玄海, 川内, 伊方と同様) ・建屋名称, 対象系統, 材質の相違。 ・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。 ・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。(大飯と同様) ・泊では、高エネルギー配管の蒸気影響範囲のみに絞って応力評価を実施している。 <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>大飯では想定破損除外を適用している高エネルギー配管はない。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を抽出する記載方針とする。</p>
系統名	応力評価	破損形状	備考																																																																																																							
化学体積制御系	実施なし	完全全周破断																																																																																																								
主蒸気系																																																																																																										
主給水系																																																																																																										
蒸気発生器 ブローダウン系																																																																																																										
補助給水系																																																																																																										
補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*																																																																																																								
設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																							
			ライン番号	材質																																																																																																						
原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38																																																																																																						
			50A-IS-4	STPT38																																																																																																						
	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38																																																																																																						
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																						
	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																						
			200A-HSCR-152-2	STPA23																																																																																																						
		H S C R	25A-HSCR-220	STPA23																																																																																																						
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																						
			40A-IS-110	STPT38																																																																																																						
			200A-HSCR-152-2																																																																																																							
			200A-HSCR-153																																																																																																							
			100A-HSCR-152-3																																																																																																							
	R-B2F-1	H S C R	20A-HSCR-452-1	STPA23																																																																																																						
			40A-HSCR-208	STPT38																																																																																																						
			25A-HSCR-159																																																																																																							
25A-HSCR-206																																																																																																										
20A-HSCR-466-1																																																																																																										
R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																							
R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38																																																																																																							
		20A-IS-562-1	STS42																																																																																																							
		100A-RCIC-6-2																																																																																																								
制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																						
			C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																				
設置エリア	対象配管	材質																																																																																																								
原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370																																																																																																								
原子炉補助建屋		STPT370																																																																																																								
原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																								
原子炉補助建屋		主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により S_n（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた S_a（許容応力）との比較により破損形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）S_nが、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 S_a の0.4倍以下であることを確認する。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）S_nと、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 S_a との比較により破断形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計による系統の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川はS_n（一次応力+二次応力）が許容応力S_aの0.4倍以下であれば想定破損除外を適用し、それ以外は完全全周破断を想定することにしているが、泊はそれに加えて、許容応力S_aの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することにしている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様） ・泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法における応力評価を実施しており、二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様） <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映 記載表現の相違</p>